

目黒区一般廃棄物処理基本計画改定に向けた 基礎調査報告書

令和5年1月

目 黒 区

目次

本編

第1章 家庭ごみ組成分析調査.....	1
1 調査概要	1
2 組成割合	4
3 その他調査結果	14
第2章 家庭ごみ計量調査.....	23
1 調査概要	23
2 調査結果	24
第3章 事業系燃やすごみ組成分析調査.....	27
1 調査概要	27
2 組成割合	30
3 事業系有料ごみ処理券の貼付状況	34
第4章 区民アンケート調査.....	37
1 調査概要	37
2 回答者の属性	38
3 発生抑制 (Reduce)・再使用 (Reuse) について	43
4 ごみの分別やりサイクル (Recycle) について	60
5 区の情報発信について	83
6 収集回数について	87
7 ごみ集積所について	88
8 今後の区の実施について	91
第5章 事業所アンケート調査.....	97
1 調査概要	97
2 事業所の概要	98
3 品目別のごみと資源の処理方法と発生量	102
4 ごみの処理方法	106
5 食品ロス	121
6 プラスチック	130
7 関心・取組状況	135
第6章 粗大ごみ3R調査.....	141
1 調査概要	141
2 調査結果	142

第7章 目黒区ごみのフロー推計..... 150

1 排出原単位の推計	150
2 家庭ごみ・事業系ごみ別の区収集ごみ量の推計	152
3 品目別の区収集ごみ量の推計	153
4 資源化量の推計	158
5 目黒区のごみ・資源のフロー（持込ごみを除く。）	159
6 分別徹底によるごみ減量の可能性	160
7 持込ごみ	161

参考資料

1 区民アンケート調査の主なクロス集計	163
2 区民アンケート調査の主な自由意見	188
3 事業所アンケート調査の主な自由意見	191
4 区民アンケート調査票	193
5 事業所アンケート調査票	202

第1章 家庭ごみ組成分析調査

1 調査概要

(1) 調査目的

区内の家庭から排出されたごみとそこに混入している資源の状況を住居形態別に調査することによって、一般廃棄物処理基本計画の改定に向け、排出指導のあり方や、新たなごみ減量施策に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査対象地区及び日程

調査対象とした住居形態は、戸建住宅、集合住宅（管理人有）、集合住宅（管理人無）、単身向け集合住宅、住商混在の5つとして、それぞれの区分から2地区ずつ合計10地区を選定した。その際、平成26年度調査とできるだけ比較できるように配慮した。

調査期間は、令和4年5月30日（月）から6月11日（土）までのうち、6月5日（日）を除く12日間とした。

表 1-1-1 調査対象地区及び調査日程

対象地区	地域特性	燃やすごみ	燃やさないごみ
①目黒本町1丁目	戸建住宅	6月11日（土）	6月2日（木）
②八雲4丁目		5月30日（月）	6月3日（金）
③柿の木坂3丁目	集合住宅 （管理人有）	6月6日（月）	6月3日（金）
④大橋2丁目		5月31日（火）	6月1日（水）
⑤目黒本町4丁目	集合住宅 （管理人無）	6月8日（水）	6月2日（木）
⑥青葉台3丁目		6月10日（金）	6月4日（土）
⑦八雲1丁目	単身向け 集合住宅	6月9日（木）	6月3日（金）
⑧東山3丁目		6月3日（金）	6月1日（水）
⑨上目黒1丁目	住商混在	6月7日（火）	6月4日（土）
⑩中根1丁目		6月1日（水）	6月6日（月）

(3) 調査方法

調査地区から、1か所あたり燃やすごみ200kg、燃やさないごみ50kgを目安に回収した。事業系有料ごみ処理券が貼付されているもの及び明らかに事業系と判断できるごみについては、分析の対象から除いた。回収したごみは、排出袋の種類ごとに重量と個数を計測した後、組成分類項目に従い63種に分別した。分析したサンプル量は、燃やすごみが2,031.06kg、燃やさないごみが554.35kgである。

食品ロスについては、「家庭系食品ロスの発生状況の把握のためのごみ袋開袋調査手順書（令和元年5月環境省）」に準じて分析する。



写真 1-1-1 調査風景

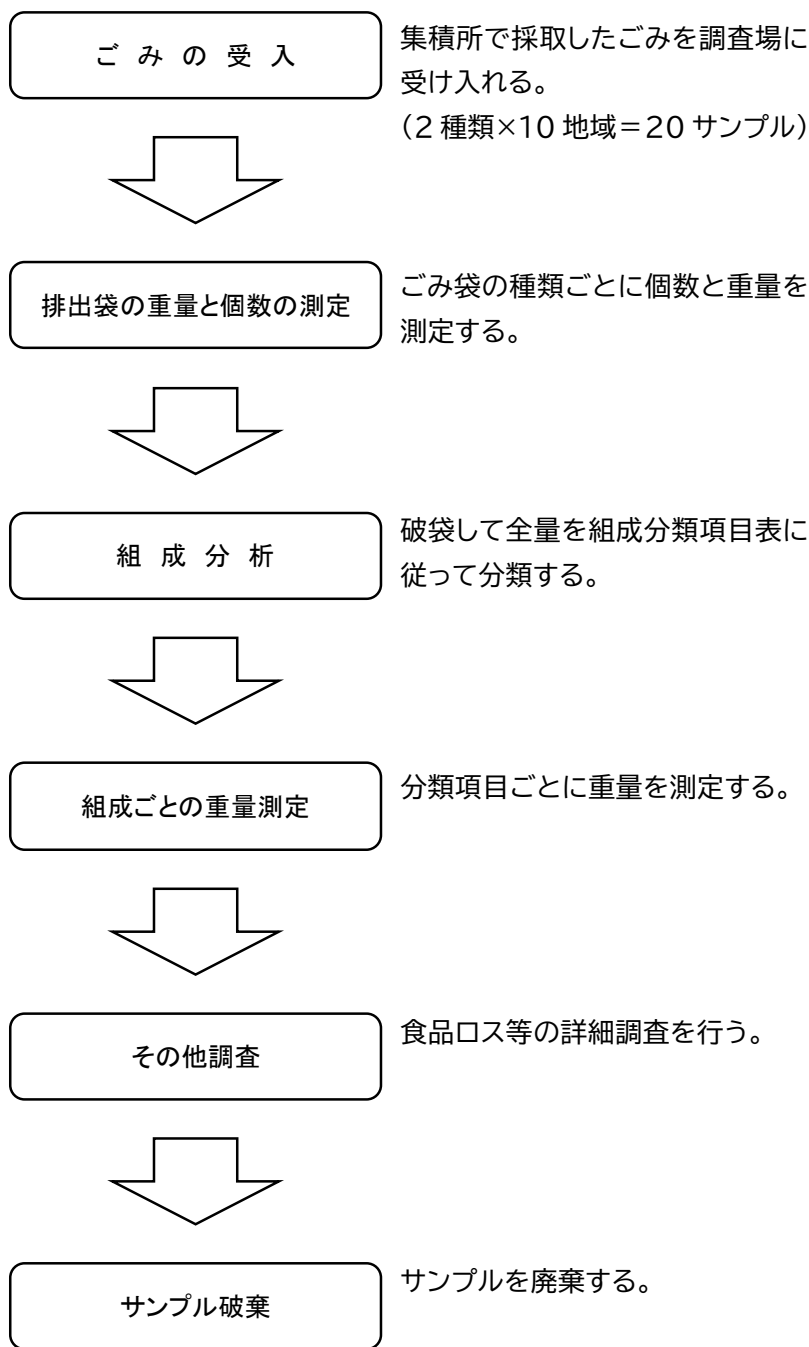


図 1-1-1 組成分析調査方法

(4) 分析場所

目黒区清掃事業所

(5) 組成分類項目

本調査の組成分類項目を表 1-1-2 に示す。

ごみの外袋については、袋回収を実施しているために必然的に使用されるものであることから「外袋」として区分した。

(6) 結果分析

調査結果を基に組成割合、適正分別割合を算定した。

表 1-1-2 家庭ごみの組成分類項目

	大分類	中分類	小分類	具体的な品目	
1	資源(古紙)	新聞・折込広告	新聞	新聞、新聞に入る広告	
2			雑誌・本	パンフレット、カタログ(4P以上)、ノート	
3			段ボール	断面が段々になっている	
4		容器包装紙類	紙箱	紙箱	リサイクル可能なもの
5				包装紙	リサイクル可能なもの
6				紙袋	リサイクル可能なもの
7			その他紙類(リサイクル可)	コピー用紙、パンフレット・チラシ、ポスター・カレンダー、封筒	
8	資源(びん・缶・PET)	びん	生きびん(リターナブル)	一升びん、ビールびん(大中小、スタイニーボトル)	
9			雑びん	飲食のみ	
10		缶	飲食用スチール缶	ペットフード、フタを含む	
11			飲食用アルミ缶	//	
12		ペットボトル	「PET」表示あり、飲料・酒・醤油		
13	資源(プラスチック)	レジ袋	レジ袋(中身あり)	ごみの小袋として利用	
14			レジ袋(中身なし)	利用されずに出されているレジ袋、未使用	
15		発泡トレイ	発泡トレイ(白)		
16			発泡トレイ(柄)	白以外、色・柄つき	
17		その他プラスチック製容器包装	ペットボトルのふた		
18			その他ボトル	PET以外、調味料、シャンプー、洗剤	
19			発泡スチロール		
20			食品用透明プラスチック容器	コロッケ・イチゴなどのパック、透明な惣菜のパック、弁当ガラの透明な上ふた	
22			その他プラスチック容器(硬いもの)	食品の不透明な容器、弁当ガラ、レトルト食品、食品以外のプラスチックケース	
21	その他プラスチック包装(柔らかいもの)	袋、フィルム・ラップ			
23	資源(拠点回収)	紙パック	アルミの貼っていないもの		
24			牛乳・ジュースの、山型紙パック(200ml以上)		
25		乾電池	乾電池		
26	可燃物	生ごみ	直接廃棄		
27			食べ残し		
28			飲み残し		
29			調理くず等(物理的可食)	キャベツやレタスの外葉、野菜の皮(タマネギ除く)	
30			調理くず等(非可食)	骨、貝、果物の皮(リンゴを除く)	
31			紙類(リサイクル不可)	ティッシュ、防水加工された紙、レシートなど感熱紙、圧着はがき、アルミコーティングされたもの、ピザや洗剤・線香の箱など汚れや臭いのついた紙、シュレッダー屑、写真、カーボン紙、紙製卵パック、果物などの紙製緩衝材、カップ麺やヨーグルトの容器	
32		繊維	繊維(リサイクル可)	タオル、シーツ、古着	
33			繊維(リサイクル不可)	下着、靴下、ストッキング	
34		紙おむつ			
35		木・草類	割箸・竹串、庭木・草、生花、コルク、麻ひも、木製玩具		
36		製品プラスチック	製品プラスチック(硬いもの)	歯ブラシ、おもちゃ、バケツ、ビデオテープ、CDケース、カトラリー、衣類用カバー、ハンガー	
37				製品プラスチック(柔らかいもの)	食品保存袋、フリーザーバッグ、市販の袋
38				製品プラスチック(複合品)	プラスチックの比率が50%以上
39			製品プラスチック(電池内蔵)	おもちゃ、プラモデル、カーラーで、ほとんどがプラスチックで電池内蔵のもの	
40		その他可燃物	プラスチック製チューブ	マヨネーズ、歯磨き	
41	ゴム・皮革類				
42	その他可燃		タバコ吸殻、湿布、油を固めたもの、掃除機のごみ、猫砂(紙を使用したもの)、カーペット、ぬいぐるみ、ガーゼ、包帯、衛生用品		
43	不燃物	金属	飲食以外の缶・金属容器	飲食以外、塗料・オイル缶、一斗缶より大きい缶	
44			針金ハンガー		
45			なべ・フライパン・やかんなど		
46			その他金属	アルミ箔、アルミホイル	
47			スプレー缶等中身無し	ふって音がしないもの	
48	小型家電製品(9品目以外)				
49	陶磁器				
50	その他不燃物	ライター(着火可能性なし)	着火しないもの		
51		その他不燃	かき・ポットなど複合品、使い捨てカイロ、乾燥剤、薬、猫砂(土を使用したもの)、化粧品・薬のびん、コップ、板ガラス、花瓶、植木鉢、電球		
52	危険物・水銀含有物	水銀体温計	水銀体温計		
53			蛍光管		
54			充電電池	充電式筒型電池、モバイルバッテリー	
55			ボタン電池		
56			スプレー缶等中身有り	ふって音がするもの	
57			ライター(着火可能性あり)	着火するもの、中身が残っているもの	
58			医療系廃棄物	注射器など針のついたもの	
59	収集不適物	園芸土	園芸土		
60			土砂・灰・石		
61	外袋	プラスチック袋	プラスチック袋		
62			レジ袋		
63			その他	紙袋	

2 組成割合

(1) 全体

① 燃やすごみ

燃やすごみの組成を図 1-2-1 及び表 1-2-1 に示す。

大分類では、資源(古紙)が 15.2%、資源(プラスチック)が 12.0%、資源(拠点回収)が 0.7%、資源(びん・缶・PET)が 0.5%の順で、資源が合計 28.4%である。その他、可燃物が 68.7%、外袋が 1.1%、不燃物が 1.0%、収集不適物が 0.7%の順である。

分別が適正なものは 69.8%、分別が不適正なものは 30.2%である。

可燃物の中分類では、生ごみが最も多く 25.8%、次いで、紙類が 14.3%、その他可燃物が 11.0%などの順である。生ごみの小分類のうち、直接廃棄が 6.8%、食べ残しが 5.0%、飲み残しが 0.2%で、合計 12.0%が食品ロスである。

資源(古紙)の中分類では、その他紙類が最も多く 6.5%、次いで、容器包装紙類が 4.5%、雑誌・本が 2.3%などの順である。

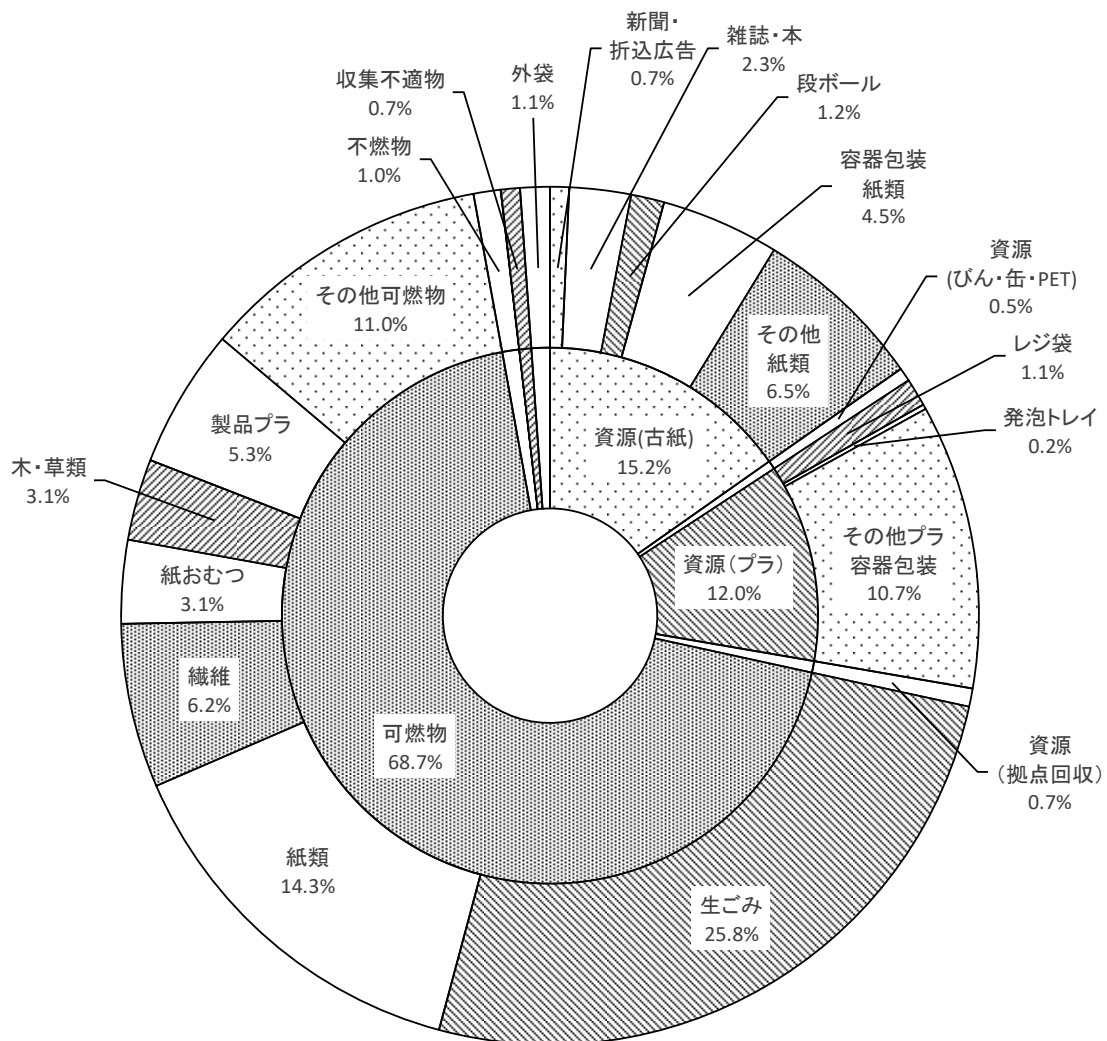


図 1-2-1 燃やすごみの組成分析結果

表 1-2-1 燃やすごみの組成分析結果(詳細)

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合	
資源(古紙)	新聞・折込広告		14.46	0.7%	
	雑誌・本		47.28	2.3%	
	段ボール		25.38	1.2%	
	容器包装紙類	紙箱	65.69	3.2%	
		包装紙	5.72	0.3%	
		紙袋	19.18	0.9%	
	その他紙類		131.87	6.5%	
資源(びん・缶・PET)	びん	生きびん(リターナブル)	0.00	0.0%	
		雑びん	2.03	0.1%	
	缶	飲食用スチール缶	0.52	0.0%	
		飲食用アルミ缶	0.40	0.0%	
	ペットボトル		7.45	0.4%	
資源(プラスチック)	レジ袋	レジ袋(中身あり)	18.41	0.9%	
		レジ袋(中身なし)	2.96	0.1%	
	発泡トレイ	発泡トレイ(白)	1.63	0.1%	
		発泡トレイ(柄)	2.17	0.1%	
	その他プラスチック製容器包装	ペットボトルのふた	2.43	0.1%	
		その他ボトル	22.57	1.1%	
		発泡スチロール	1.25	0.1%	
		食品用透明プラ容器	31.62	1.6%	
		その他プラスチック容器(硬いもの)	53.98	2.7%	
		その他プラスチック包装(柔らかいもの)	105.94	5.2%	
	資源(拠点回収)	紙バック		12.62	0.6%
乾電池		0.36	0.0%		
小型家電製品(拠点回収対象9品目)		1.08	0.1%		
可燃物	生ごみ	直接廃棄	137.98	6.8%	
		食べ残し	101.76	5.0%	
		飲み残し	3.73	0.2%	
		調理くず等(物理的可食)	88.75	4.4%	
		調理くず等(非可食)	191.04	9.4%	
	紙類(リサイクル不可)		291.21	14.3%	
	繊維	繊維(リサイクル可)	106.01	5.2%	
		繊維(リサイクル不可)	19.68	1.0%	
	紙おむつ		63.90	3.1%	
	木・草類		62.21	3.1%	
	製品プラスチック	製品プラスチック(硬いもの)	37.15	1.8%	
		製品プラスチック(柔らかいもの)	45.24	2.2%	
		製品プラスチック(複合品)	24.36	1.2%	
		製品プラスチック(電池内蔵)	0.00	0.0%	
	その他可燃物	プラスチック製チューブ	4.36	0.2%	
		ゴム・皮革類	26.18	1.3%	
		その他可燃	192.45	9.5%	
	不燃物	金属	飲食以外の缶・金属容器	1.01	0.0%
			針金ハンガー	0.09	0.0%
なべ・フライパン・やかなど			0.87	0.0%	
その他金属			5.47	0.3%	
スプレー缶等中身無し		0.42	0.0%		
小型家電製品(9品目以外)		3.75	0.2%		
陶磁器		1.80	0.1%		
その他不燃物		ライター(着火可能性なし)	0.36	0.0%	
その他不燃	その他不燃	6.91	0.3%		

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
危険物・水銀含有物	水銀体温計		0.00	0.0%
	蛍光管		0.00	0.0%
	充電池		0.00	0.0%
	ボタン電池		0.01	0.0%
	スプレー缶等中身有り		0.10	0.0%
	ライター(着火可能性あり)		0.14	0.0%
収集不適物	医療系廃棄物		0.14	0.0%
	園芸土		13.25	0.7%
	土砂・灰・石		1.10	0.1%
外袋	プラスチック袋		16.90	0.8%
	レジ袋		4.20	0.2%
	紙袋		1.53	0.1%
合計			2,031.06	100.0%

大分類	中分類	重量 (kg)	割合
資源(古紙)	新聞・折込広告	14.46	0.7%
	雑誌・本	47.28	2.3%
	段ボール	25.38	1.2%
	容器包装紙類	90.59	4.5%
	その他紙類	131.87	6.5%
資源(びん・缶・PET)	びん	2.03	0.1%
	缶	0.92	0.0%
	ペットボトル	7.45	0.4%
資源(プラスチック)	レジ袋	21.37	1.1%
	発泡トレイ	3.80	0.2%
	その他プラスチック製容器包装	217.79	10.7%
資源(拠点回収)		14.06	0.7%
可燃物	生ごみ	523.26	25.8%
	紙類	291.21	14.3%
	繊維	125.69	6.2%
	紙おむつ	63.90	3.1%
	木・草類	62.21	3.1%
	製品プラスチック	106.75	5.3%
	その他可燃物	222.99	11.0%
	金属	7.86	0.4%
不燃物	小型家電製品(9品目以外)	3.75	0.2%
	陶磁器	1.80	0.1%
	その他不燃物	7.27	0.4%
	危険物・水銀含有物	0.25	0.0%
収集不適物		14.49	0.7%
外袋		22.63	1.1%

大分類	重量 (kg)	割合
資源(古紙)	309.58	15.2%
資源(びん・缶・PET)	10.40	0.5%
資源(プラスチック)	242.96	12.0%
資源(拠点回収)	14.06	0.7%
資源合計	577.00	28.4%
可燃物	1,396.01	68.7%
不燃物	20.68	1.0%
危険物・水銀含有物	0.25	0.0%
収集不適物	14.49	0.7%
外袋	22.63	1.1%

分別が適正なもの	1,418.64	69.8%
分別が不適正なもの	612.42	30.2%

② 燃やさないごみ

燃やさないごみの組成を図1-2-2及び表1-2-2に示す。

大分類では、資源(びん・缶・PET)が7.1%、資源(拠点回収)が3.0%、資源(プラスチック)が1.3%、資源(古紙)が0.2%の順で、資源が合計11.6%である。その他、不燃物が71.8%、可燃物が13.7%、収集不適物が1.1%、外袋が1.0%、危険物・水銀含有物0.8%の順である。

分別が適正なものは72.8%、分別が不適正なものは27.2%である。

不燃物の中分類では、金属が最も多く22.8%、次いで、その他不燃物が20.5%、小型家電製品(9品目以外)が15.1%、陶磁器が13.4%の順である。

可燃物の中分類では、製品プラスチックが最も多く10.3%である。

資源の中分類では、びん類が最も多く5.0%である。

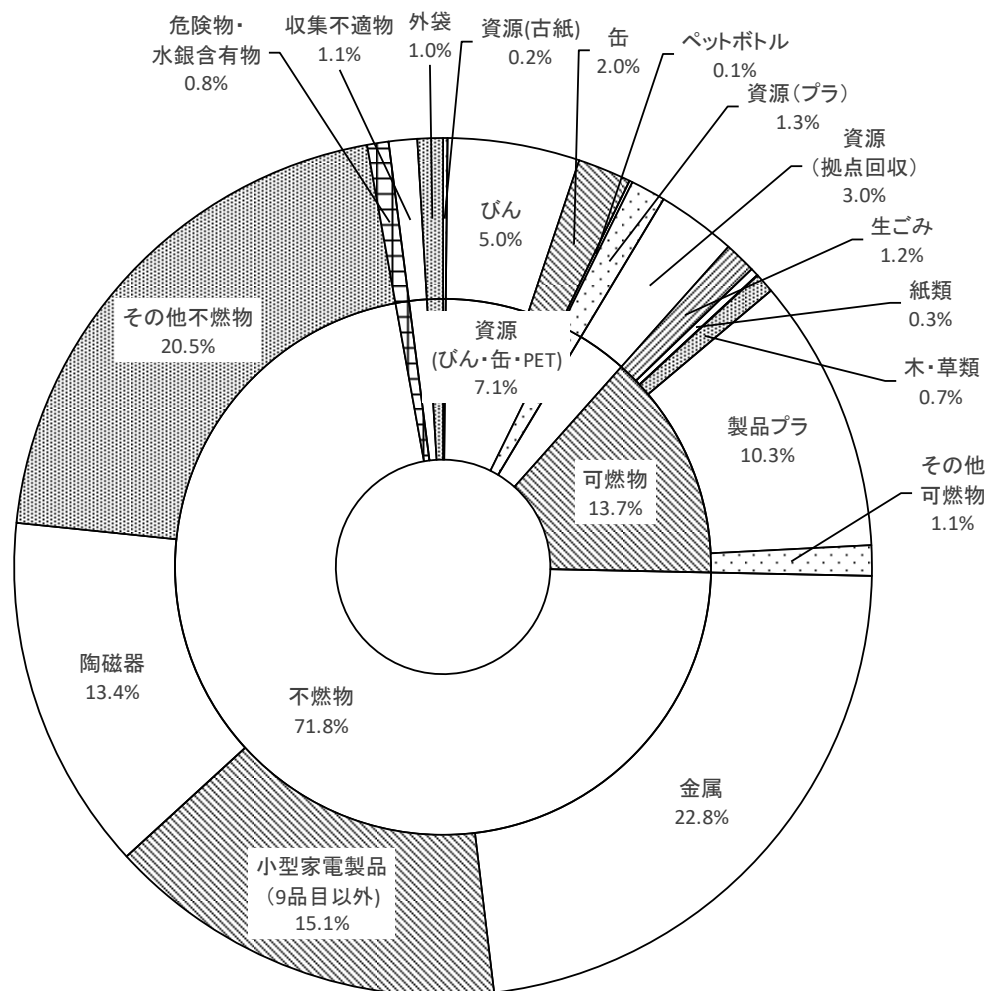


図1-2-2 燃やさないごみの組成分析結果

表 1-2-2 燃やさないごみの組成分析結果(詳細)

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合	
資源(古紙)	新聞・折込広告		0.06	0.0%	
	雑誌・本		0.00	0.0%	
	段ボール		0.03	0.0%	
	容器包装紙類	紙箱	0.35	0.1%	
		包装紙	0.02	0.0%	
		紙袋	0.17	0.0%	
	その他紙類		0.29	0.1%	
資源(びん・缶・PET)	びん	生きびん(リターナブル)	0.77	0.1%	
		雑びん	26.83	4.8%	
	缶	飲食用スチール缶	7.34	1.3%	
		飲食用アルミ缶	3.85	0.7%	
	ペットボトル		0.65	0.1%	
資源(プラスチック)	レジ袋	レジ袋(中身あり)	0.92	0.2%	
		レジ袋(中身なし)	0.14	0.0%	
	発泡トレイ	発泡トレイ(白)	0.01	0.0%	
		発泡トレイ(柄)	0.03	0.0%	
	その他プラスチック製容器包装	ペットボトルのふた	0.07	0.0%	
		その他ボトル	3.53	0.6%	
		発泡スチロール	0.00	0.0%	
		食品用透明プラ容器	0.04	0.0%	
		その他プラスチック容器(硬いもの)	1.50	0.3%	
		その他プラスチック包装(柔らかいもの)	1.05	0.2%	
資源(拠点回収)	紙バック		0.03	0.0%	
	乾電池		10.67	1.9%	
	小型家電製品(拠点回収対象9品目)		5.88	1.1%	
可燃物	生ごみ	直接廃棄	5.65	1.0%	
		食べ残し	0.03	0.0%	
		飲み残し	0.00	0.0%	
		調理くず等(物理的可食)	0.00	0.0%	
		調理くず等(非可食)	0.94	0.2%	
	紙類(リサイクル不可)		1.70	0.3%	
	繊維	繊維(リサイクル可)	0.00	0.0%	
		繊維(リサイクル不可)	0.14	0.0%	
	紙おむつ		0.00	0.0%	
	木・草類		4.13	0.7%	
	製品プラスチック	製品プラスチック(硬いもの)		35.66	6.4%
		製品プラスチック(柔らかいもの)		1.04	0.2%
		製品プラスチック(複合品)		20.24	3.7%
		製品プラスチック(電池内蔵)		0.36	0.1%
	その他可燃物	プラスチック製チューブ		0.28	0.1%
ゴム・皮革類		4.24	0.8%		
その他可燃		1.81	0.3%		
不燃物	金属	飲食以外の缶・金属容器	4.95	0.9%	
		針金ハンガー	2.01	0.4%	
		なべ・フライパン・やかんなど	32.28	5.8%	
		その他金属	74.65	13.5%	
	スプレー缶等中身無し		12.29	2.2%	
	小型家電製品(9品目以外)		83.74	15.1%	
	陶磁器		74.50	13.4%	
	その他不燃物	ライター(着火可能性なし)	0.67	0.1%	
その他不燃		113.08	20.4%		

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合
危険物・水銀含有物	水銀体温計		0.00	0.0%
	蛍光管		1.02	0.2%
	充電池		0.00	0.0%
	ボタン電池		0.04	0.0%
	スプレー缶等中身有り		3.02	0.5%
	ライター(着火可能性あり)		0.39	0.1%
収集不適物	医療系廃棄物		0.00	0.0%
	園芸土		5.48	1.0%
	土砂・灰・石		0.48	0.1%
外袋	プラスチック袋		1.44	0.3%
	レジ袋		2.03	0.4%
	紙袋		1.83	0.3%
合計			554.35	100.0%

大分類	中分類	重量 (kg)	割合	
資源(古紙)	新聞・折込広告		0.06	0.0%
	雑誌・本		0.00	0.0%
	段ボール		0.03	0.0%
	容器包装紙類		0.54	0.1%
	その他紙類		0.29	0.1%
資源(びん・缶・PET)	びん		27.60	5.0%
	缶		11.19	2.0%
	ペットボトル		0.65	0.1%
資源(プラスチック)	レジ袋		1.06	0.2%
	発泡トレイ		0.04	0.0%
	その他プラスチック製容器包装		6.19	1.1%
資源(拠点回収)		16.58	3.0%	
可燃物	生ごみ		6.62	1.2%
	紙類		1.70	0.3%
	繊維		0.14	0.0%
	紙おむつ		0.00	0.0%
	木・草類		4.13	0.7%
	製品プラスチック		57.30	10.3%
	その他可燃物		6.33	1.1%
不燃物	金属		126.18	22.8%
	小型家電製品(9品目以外)		83.74	15.1%
	陶磁器		74.50	13.4%
	その他不燃物		113.75	20.5%
危険物・水銀含有物		4.47	0.8%	
収集不適物		5.96	1.1%	
外袋		5.30	1.0%	

大分類	重量 (kg)	割合
資源(古紙)	0.92	0.2%
資源(びん・缶・PET)	39.44	7.1%
資源(プラスチック)	7.29	1.3%
資源(拠点回収)	16.58	3.0%
資源合計	64.23	11.6%
可燃物	76.22	13.7%
不燃物	398.17	71.8%
危険物・水銀含有物	4.47	0.8%
収集不適物	5.96	1.1%
外袋	5.30	1.0%

分別が適正なもの	403.47	72.8%
分別が不適正なもの	150.88	27.2%

(2) 住居形態別

① 燃やすごみ

燃やすごみの住居形態別の組成を表 1-2-3 及び図 1-2-3 に示す。

分別が適正なものの割合は、戸建住宅が最も高く 76.9%、次いで、単身向け集合住宅が 71.4%、集合住宅（管理人無）が 68.7%、住商混在が 66.5%、集合住宅（管理人有）が 65.7%の順である。

表 1-2-3 燃やすごみの住居形態別の組成分析結果(資源中分類)

		戸建住宅	集合住宅 (管理人有)	集合住宅 (管理人無)	単身向け集 合住宅	住商混在	合計
資源	新聞・折込広告	1.7%	0.6%	0.7%	0.3%	0.3%	0.7%
	雑誌・本	1.3%	2.1%	4.4%	1.8%	2.0%	2.3%
	段ボール	0.8%	1.5%	1.1%	1.1%	1.7%	1.2%
	容器包装紙類	3.4%	5.9%	4.1%	4.1%	4.9%	4.5%
	その他紙類	5.9%	9.0%	6.9%	4.8%	5.8%	6.5%
	びん	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%
	缶	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%
	ペットボトル	0.1%	0.2%	0.2%	0.5%	0.7%	0.4%
	レジ袋	0.8%	1.2%	0.9%	1.2%	1.1%	1.1%
	発泡トレイ	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
	その他プラスチック製容器包装	8.0%	11.8%	9.5%	12.6%	12.0%	10.7%
	資源（拠点回収）	0.5%	0.5%	0.8%	0.6%	1.0%	0.7%
	資源合計	22.6%	33.2%	29.0%	27.5%	29.9%	28.4%
可燃物		75.9%	64.6%	67.5%	70.3%	65.3%	68.7%
不燃物		0.4%	0.8%	2.0%	0.9%	0.9%	1.0%
危険物・水銀含有物		0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
収集不適物		0.1%	0.3%	0.3%	0.2%	2.7%	0.7%
外袋		1.0%	1.1%	1.2%	1.1%	1.2%	1.1%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

分別が適正なもの	76.9%	65.7%	68.7%	71.4%	66.5%	69.8%
分別が不適正なもの	23.1%	34.3%	31.3%	28.6%	33.5%	30.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

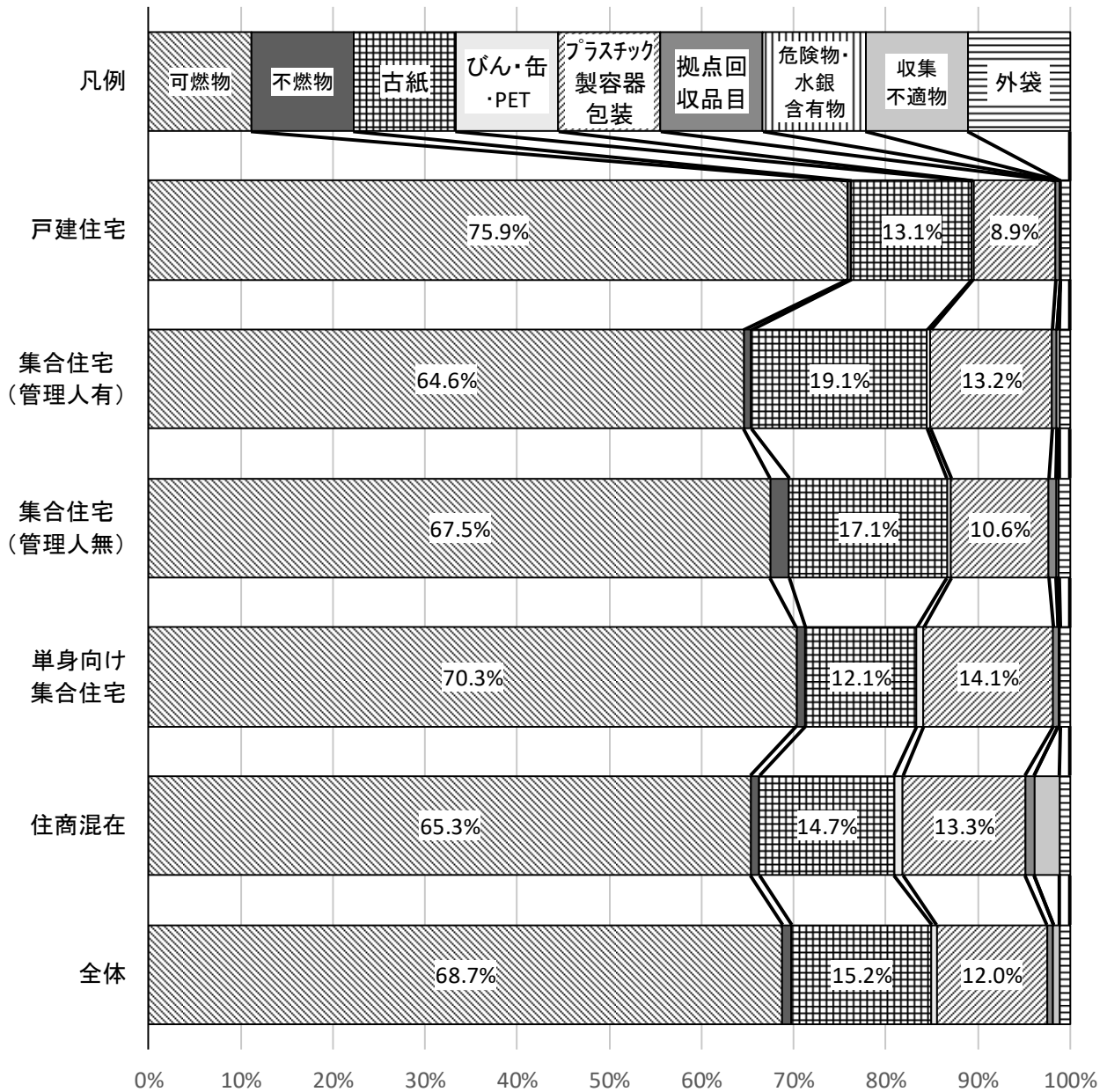


図 1-2-3 燃やすごみの住居形態別の組成分析結果(大分類)

② 燃やさないごみ

燃やさないごみの住居形態別の組成を表 1-2-4 及び図 1-2-4 に示す。

分別が適正なものの割合は、単身向け集合住宅が最も高く 79.2%、次いで、集合住宅（管理人有）が 78.0%、住商混在が 72.8%、戸建住宅が 70.6%、集合住宅（管理人無）が 62.6%の順である。

表 1-2-4 燃やさないごみの住居形態別の組成分析結果(資源中分類)

		戸建住宅	集合住宅 (管理人有)	集合住宅 (管理人無)	単身向け集 合住宅	住商混在	合計
資源	新聞・折込広告	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	雑誌・本	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	段ボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	容器包装紙類	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
	その他紙類	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
	びん	6.0%	4.5%	4.1%	4.1%	6.6%	5.0%
	缶	1.6%	1.1%	1.6%	1.6%	4.6%	2.0%
	ペットボトル	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.2%	0.1%
	レジ袋	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.5%	0.2%
	発泡トレイ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他プラスチック製容器包装	1.8%	0.8%	1.2%	0.9%	1.0%	1.1%
	資源（拠点回収）	1.9%	0.7%	1.8%	5.7%	4.7%	3.0%
	資源合計	11.6%	7.5%	9.4%	12.6%	17.7%	11.6%
可燃物		14.8%	14.1%	27.5%	3.9%	8.8%	13.7%
不燃物		69.5%	77.1%	61.7%	78.5%	71.3%	71.8%
危険物・水銀含有物		2.0%	0.4%	0.6%	0.4%	0.7%	0.8%
収集不適物		0.9%	0.0%	0.0%	3.9%	0.0%	1.1%
外袋		1.1%	0.9%	0.8%	0.7%	1.5%	1.0%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
分別が適正なもの		70.6%	78.0%	62.6%	79.2%	72.8%	72.8%
分別が不適正なもの		29.4%	22.0%	37.4%	20.8%	27.2%	27.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

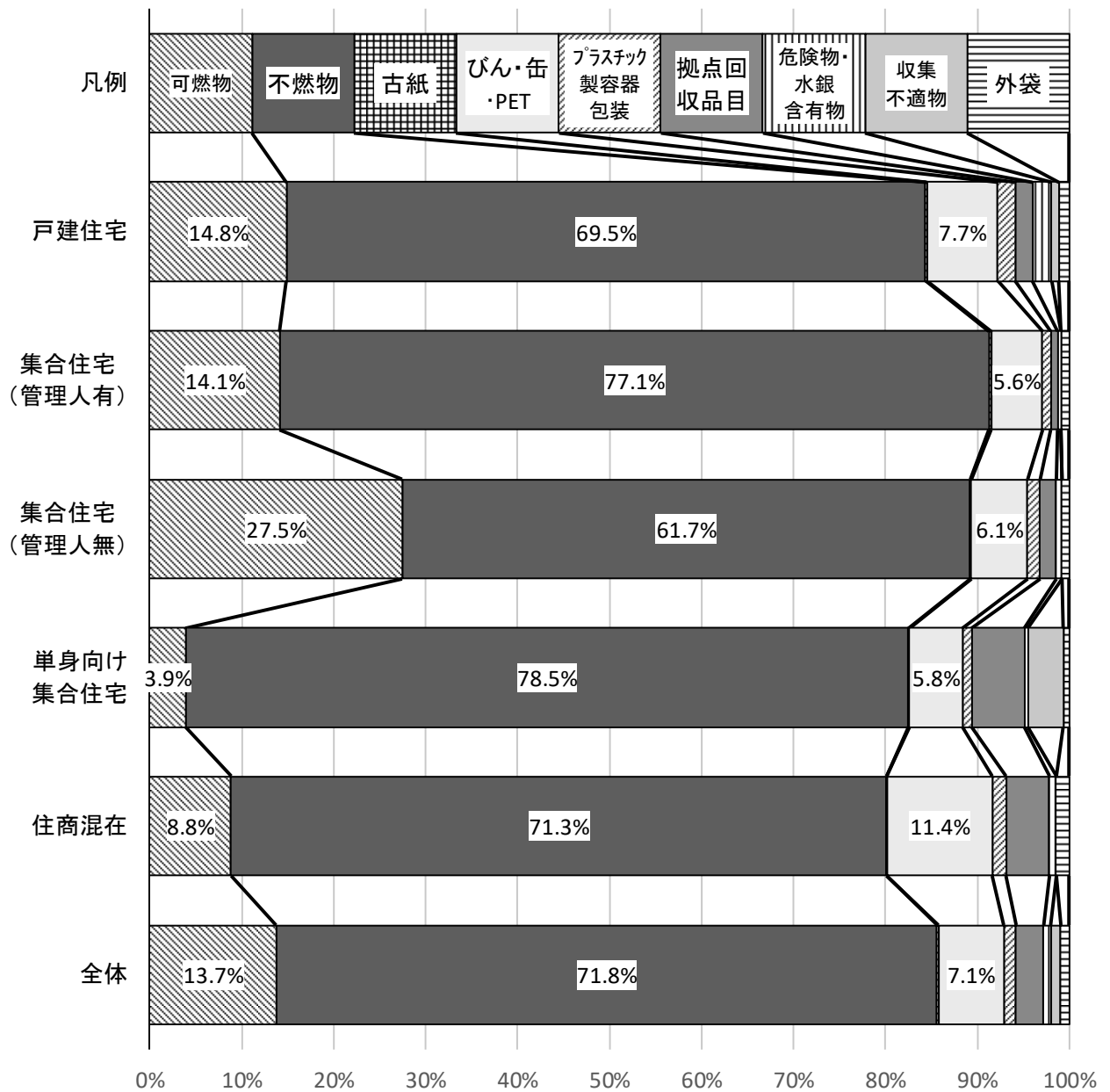


図 1-2-4 燃やさないごみの住居形態別の組成分析結果(大分類)

(3) 前回調査との比較

① 燃やすごみ

燃やすごみの前回調査(平成26年度)との比較を表1-2-5に示す。

分別が適正なものの割合は、前回調査の72.7%から今回調査の69.8%へと2.9ポイント減少している。

資源の割合は、前回調査の25.7%から今回調査の28.4%へと2.7ポイント増加しており、特に、プラスチック製容器包装の割合は、前回調査の8.4%から今回調査の12.0%へと3.6ポイント増加している。

表1-2-5 燃やすごみの過去の調査結果との比較

		令和4年度 調査	平成26年度 調査
資源	古紙	15.2%	16.7%
	びん・缶・ペットボトル	0.5%	0.5%
	プラスチック製容器包装	12.0%	8.4%
	拠点回収	0.7%	0.1%
	資源合計	28.4%	25.7%
可燃物		68.7%	72.0%
不燃物		1.0%	0.6%
有害・危険物		0.0%	0.0%
収集不適物		0.7%	1.1%
外袋		1.1%	0.7%
合計		100.0%	100.0%
分別が適正なもの		69.8%	72.7%
分別が不適正なもの		30.2%	27.3%
合計		100.0%	100.0%

② 燃やさないごみ

燃やさないごみの前回調査との比較を表 1-2-6 に示す。

分別が適正なものの割合は、前回調査の 71.2%から今回調査の 72.8%へと 1.6 ポイント増加している。

資源の割合は、前回調査の 14.6%から今回調査の 11.6%へと 3.0 ポイント減少しており、特に、びん・缶・ペットボトルの割合は、前回調査の 9.0%から今回調査の 7.1%へと 1.9 ポイント減少している。

表 1-2-6 燃やさないごみの過去の調査結果との比較

		令和4年度 調査	平成26年度 調査
資源	古紙	0.2%	0.6%
	びん・缶・ペットボトル	7.1%	9.0%
	プラスチック製容器包装	1.3%	1.3%
	拠点回収	3.0%	3.7%
	資源合計	11.6%	14.6%
可燃物		13.7%	13.3%
不燃物		71.8%	70.5%
有害・危険物		0.8%	0.7%
収集不適物		1.1%	0.2%
外袋		1.0%	0.7%
合計		100.0%	100.0%
分別が適正なもの		72.8%	71.2%
分別が不適正なもの		27.2%	28.8%
合計		100.0%	100.0%

3 その他調査結果

(1) 燃やすごみの食品ロス

① 燃やすごみ及び生ごみに占める割合

燃やすごみ及び生ごみに占める直接廃棄、食べ残し・飲み残し、調理くずの割合を表 1-3-1 及び図 1-3-1 に示す。

燃やすごみに占める割合は、直接廃棄が 6.8%、食べ残し・飲み残しが 5.2% で 12.0% が食品ロスである。

生ごみに占める割合は、直接廃棄が 26.4%、食べ残し・飲み残しが 20.2% で 46.5% が食品ロスである。

表 1-3-1 燃やすごみ及び生ごみに占める割合

		燃やすごみに占める割合		生ごみに占める割合	
		重量 (kg)	割合	重量 (kg)	割合
食品ロス	直接廃棄	137.98	6.8%	137.98	26.4%
	食べ残し・飲み残し	105.49	5.2%	105.49	20.2%
	小計	243.47	12.0%	243.47	46.5%
調理くず		279.79	13.8%	279.79	53.5%
生ごみ小計		523.26	25.8%	523.26	100.0%
生ごみ以外		1,507.80	74.2%		
合計		2,031.06	100.0%		



写真 1-3-1 食品ロス

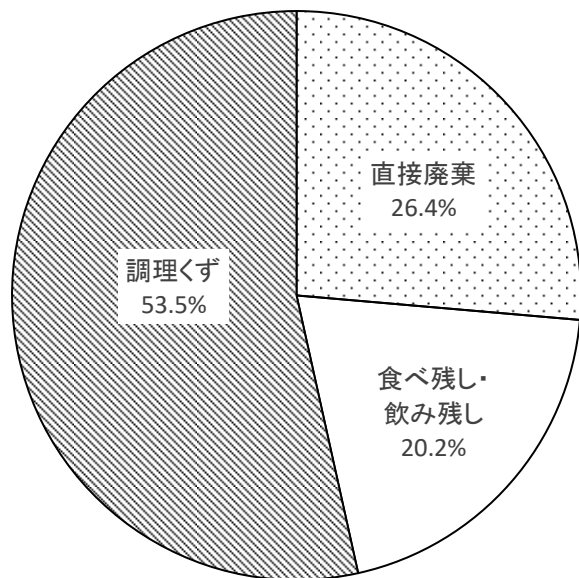


図 1-3-1 生ごみに占める割合

② 直接廃棄の品目別の割合

直接廃棄の品目別の割合を図 1-3-2 及び表 1-3-2 に示す。

野菜が最も多く 27.7%、次いで、果物が 9.1%、菓子が 8.0%などの順である。

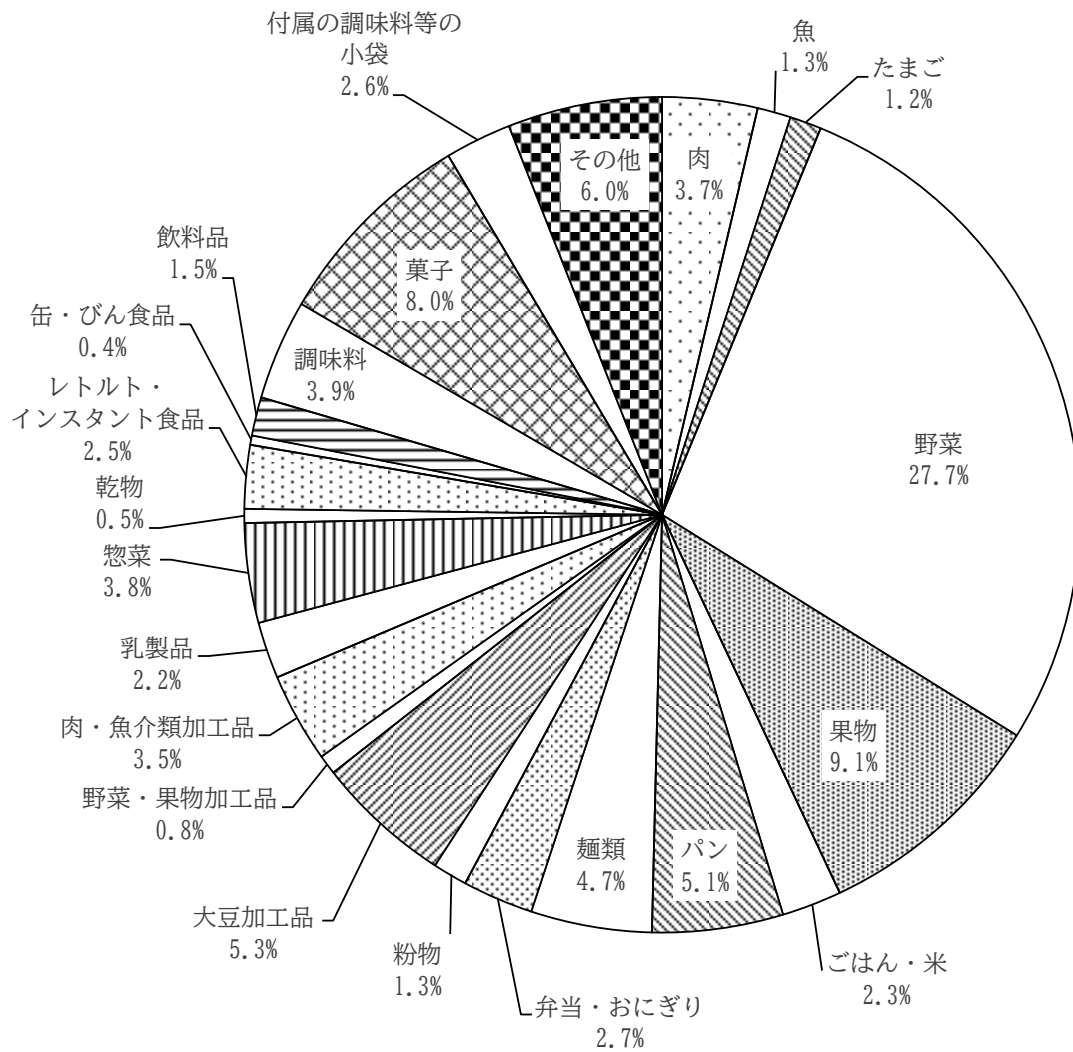


図 1-3-2 直接廃棄の品目別の割合

表 1-3-2 直接廃棄の品目別の重量と割合

品目		個数	重量	
			重量(kg)	割合
生鮮食品	生鮮食品小計	613	59.332	43.0%
	肉	36	5.078	3.7%
	魚	17	1.788	1.3%
	たまご	23	1.685	1.2%
	野菜	432	38.161	27.7%
	果物	105	12.620	9.1%
主食	主食小計	168	16.645	12.1%
	ごはん・米	23	3.197	2.3%
	パン	117	6.989	5.1%
	麺類	28	6.459	4.7%
その他	その他小計	1092	61.989	44.9%
	弁当・おにぎり	37	3.782	2.7%
	粉物	10	1.844	1.3%
	大豆加工品	65	7.268	5.3%
	野菜・果物加工品	14	1.050	0.8%
	肉・魚介類加工品	65	4.780	3.5%
	乳製品	40	3.027	2.2%
	惣菜	45	5.309	3.8%
	乾物	18	0.753	0.5%
	レトルト・インスタント食品	17	3.381	2.5%
	缶・びん食品	3	0.502	0.4%
	飲料品	10	2.055	1.5%
	調味料	41	5.362	3.9%
	菓子	240	11.083	8.0%
	付属の調味料等の小袋	380	3.554	2.6%
その他	107	8.239	6.0%	
合計		1,873	137.966	100.0%

③ 直接廃棄の消費・賞味期限別の割合

直接廃棄の消費・賞味期限別の割合を図 1-3-3 及び表 1-3-3 に示す。消費期限前に廃棄されたものが 0.2%、賞味期限前に廃棄されたものが 12.8%、合わせて 13.1%が期限前に廃棄されている。

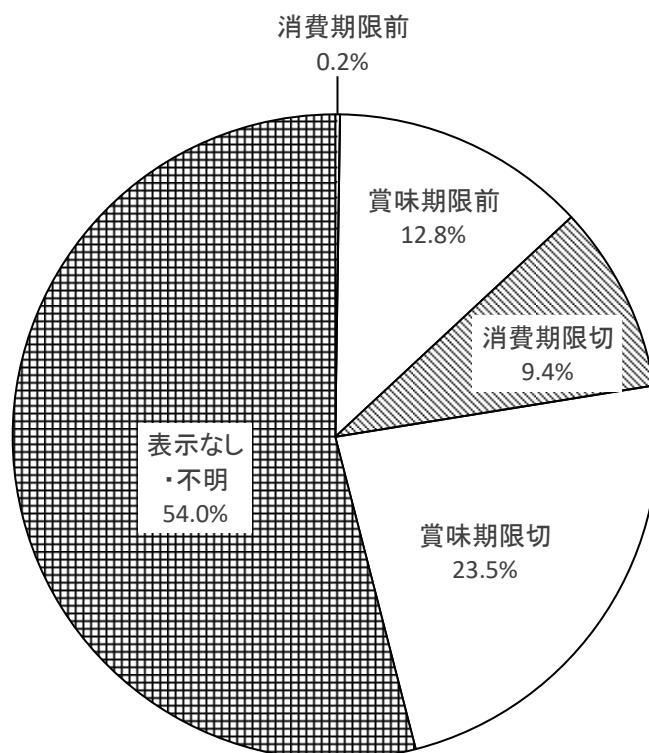


図 1-3-3 直接廃棄の消費・賞味期限別の割合

表 1-3-3 直接廃棄の消費・賞味期限別の重量と割合

		個数	重量	
			重量(kg)	割合
期限前廃棄	期限前廃棄小計	195	17.564	13.1%
	消費期限前	3	0.311	0.2%
	賞味期限前	192	17.253	12.8%
期限切廃棄	期限切廃棄小計	434	44.246	32.9%
	消費期限切	129	12.617	9.4%
	賞味期限切	305	31.629	23.5%
表示なし・不明等		864	72.602	54.0%
合計		1,493	134.412	100.0%

④ 直接廃棄の残存率

直接廃棄の残存率を表 1-3-4 に示す。100%残存が 74.4%、50%以上残存が 11.2%、50%未満残存が 14.4%である。

表 1-3-4 直接廃棄の残存率

	重量(kg)	割合
100%残存	102.650	74.4%
50%以上残存	15.429	11.2%
50%未満残存	19.887	14.4%
合計	137.966	100.0%

(2) プラスチック

①レジ袋の使用状況

レジ袋の使用状況を表 1-3-5 に示す。

燃やすごみに排出されたレジ袋の内訳は、中にごみが入っていたレジ袋が 72.0%で最も多く、次いで、外袋として使用されたレジ袋が 16.4%、中にごみが入っていないレジ袋が 11.6%である。

燃やさないごみに排出されたレジ袋の内訳は、外袋として使用されたレジ袋が 65.7%で最も多く、次いで、中にごみが入っていたレジ袋が 29.8%、中にごみが入っていないレジ袋が 4.5%である。

表 1-3-5 レジ袋の重量と割合

	燃やすごみ		燃やさないごみ	
	重量 (kg)	割合	重量 (kg)	割合
レジ袋(外袋)	4.20	16.4%	2.03	65.7%
レジ袋(中にごみあり)	18.41	72.0%	0.92	29.8%
レジ袋(中にごみなし)	2.96	11.6%	0.14	4.5%
合計	25.57	100.0%	3.09	100.0%

②製品プラスチックの内訳

製品プラスチックの内訳を表1-3-6に示す。

燃やすごみに排出された製品プラスチックの内訳は、柔らかいものが42.4%で最も多く、次いで、硬いものが34.8%、複合品が22.8%、電池内蔵がゼロである。

燃やさないごみに排出された製品プラスチックの内訳は、硬いものが62.2%で最も多く、次いで、複合品が35.3%、柔らかいものが1.8%、電池内蔵が0.6%である。

表 1-3-6 製品プラスチックの内訳

	燃やすごみ		燃やさないごみ	
	重量 (kg)	割合	重量 (kg)	割合
硬いもの	37.15	34.8%	35.66	62.2%
柔らかいもの	45.24	42.4%	1.04	1.8%
複合品	24.36	22.8%	20.24	35.3%
電池内蔵	0.00	0.0%	0.36	0.6%
合計	106.75	100.0%	57.30	100.0%

③製品プラスチックの素材表示

柔らかいプラスチックを除く、製品プラスチックの素材表示のあるものの内訳を表1-3-7に示す。

素材表示のあるものは、重量で15.4%である。素材別ではポリプロピレンが重量で10.2%と最も多い。

表 1-3-7 製品プラスチックの素材表示

		個数		重量	
		個数 (個)	割合	重量 (kg)	割合
表示あり	ポリエチレン	1	0.1%	0.74	0.6%
	ポリプロピレン	137	15.2%	12.03	10.2%
	ポリスチレン	51	5.7%	4.12	3.5%
	ABS樹脂	1	0.1%	0.40	0.3%
	AS樹脂	3	0.3%	0.81	0.7%
	小計	193	21.4%	18.10	15.4%
表示なし		708	78.6%	80.88	68.7%
50g未満		—	—	18.79	16.0%
合計		901	100.0%	117.77	100.0%

④製品プラスチックの品目

製品プラスチック(硬いもの)と製品プラスチック(複合品)の品目別の内訳を表1-3-8及び表1-3-9に示す。

製品プラスチック(硬いもの)の品目別の重量の内訳は、ハンガーが25.0%で最も多く、次いで、CDケースが13.8%、植木鉢・受け皿が4.3%などの順である。

製品プラスチック(複合品)の品目別の重量の内訳は、バッグが13.6%で最も多く、次いで、ファイルが12.6%、ハンガーピンチが7.1%などの順である。

表1-3-8 製品プラスチック(硬いもの)の品目別の内訳

品目	個数		重量	
	個数(個)	割合	重量(kg)	割合
ハンガー	418	55.5%	18.19	25.0%
CDケース	170	22.6%	10.07	13.8%
植木鉢・受け皿	16	2.1%	3.14	4.3%
ケース・ボックス	9	1.2%	2.36	3.2%
衣類袋	14	1.9%	2.03	2.8%
フィルター	1	0.1%	1.90	2.6%
かご	5	0.7%	1.57	2.2%
椅子	3	0.4%	1.50	2.1%
踏み台	1	0.1%	1.04	1.4%
その他	116	15.4%	31.01	42.6%
合計	753	100.0%	72.81	100.0%

表1-3-9 製品プラスチック(複合品)の品目別の内訳

品目	個数		重量	
	個数(個)	割合	重量(kg)	割合
バッグ	9	6.2%	6.05	13.6%
ファイル	37	25.3%	5.60	12.6%
ハンガーピンチ	18	12.3%	3.18	7.1%
シート	1	0.7%	2.90	6.5%
ブレイブボード	1	0.7%	2.06	4.6%
ハンガー	22	15.1%	1.82	4.1%
化粧ケース	1	0.7%	1.51	3.4%
水槽	1	0.7%	1.34	3.0%
ケース・ボックス	3	2.1%	1.21	2.7%
保温容器	1	0.7%	1.10	2.5%
その他	52	35.6%	17.83	40.0%
合計	146	100.0%	44.60	100.0%

(3) 排出袋

燃やすごみ及び燃やさないごみの排出袋の内訳を表 1-3-10 に示す。

燃やすごみの排出袋の平均重量は 2.14kg で、45 リットルの袋が 2.87kg、レジ袋が 0.99kg である。

燃やさないごみの排出袋の平均重量は 1.40kg で、45 リットルの袋が 3.23kg、レジ袋が 1.17kg である。

表 1-3-10 燃やすごみ及び燃やさないごみの排出袋

	燃やすごみ			燃やさないごみ		
	個数 (個)	重量 (kg)	平均 (kg/個)	個数 (個)	重量 (kg)	平均 (kg/個)
プラスチック袋	615	1,713.03	2.79	124	212.13	1.71
10リットル	8	2.20	0.28	55	12.90	0.23
20リットル	21	16.96	0.81	11	16.97	1.54
30リットル	91	132.61	1.46	20	41.63	2.08
45リットル	439	1,261.47	2.87	33	106.71	3.23
70リットル	38	153.43	4.04	4	30.78	7.70
90リットル	18	146.36	8.13	1	3.14	3.14
レジ袋	342	337.53	0.99	180	210.61	1.17
紙袋	6	10.36	1.73	12	18.12	1.51
その他	2	5.16	2.58	4	8.56	2.14
合計	965	2,066.08	2.14	320	449.42	1.40

(4) エアゾール缶等

収集車両の火災事故の原因であるエアゾール缶、コンロ用カセットボンベ、ライターについて調査した。本調査の対象ごみにはエアゾール缶が158本、コンロ用カセットボンベが23本、ライター88本が含まれている。

エアゾール缶のうち、可燃性ガスを使用したものが148本(94%)である。このうち、中身が残っていたもの(振って音がするもの)は21本(13%)で、ガスの残存量は最大で41gである。

コンロ用カセットボンベのうち、中身が残っていたものはゼロである。

ライターのうち40本(45%)は着火した。着火したもののうち、ほとんど使用されない状態(残存ガス量が75%以上)で廃棄されたものが2本あった。

表 1-3-11 エアゾール缶の残存ガス量

			本数	割合
不燃性ガス			10	6%
可燃性ガス	残存なし	孔あけあり	5	3%
		孔あけなし	122	77%
		中身なし小計	127	80%
	残存あり	10g未満	10	6%
		10g以上～20g未満	4	3%
		20g以上～30g未満	2	1%
		30g以上(注)	5	3%
		中身あり小計	21	13%
	可燃性ガス小計		148	94%
	合計			158

(注) 最大残存ガス量は41gである。

表 1-3-12 コンロ用カセットボンベの残存ガス量

	本数	割合
中身あり	0	0%
中身なし	23	100%
合計	23	100%

表 1-3-13 ライターの残存ガス量

		着火	未着火	合計
残存ガス量	なし		18	18
	25%未満	16	6	22
	25%以上50%未満	7	1	8
	50%以上75%未満	2		2
	75%以上	2	1	3
	不明	13	22	35
合計		40	48	88
着火割合		45%	55%	100%

第2章 家庭ごみ計量調査

1 調査概要

(1) 調査目的

区内の家庭から排出されたごみの重量を世帯人数、住居形態ごとに分類して調査し、各分類における1人1日あたりのごみ量（以下「排出原単位」という。）を比較することによって、一般廃棄物処理基本計画の改定に向け、排出指導のあり方や新たなごみ減量施策に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査対象地区及び日程

住居形態に偏りがないように、戸建住宅から2か所、集合住宅（管理人無）から1か所、単身向け集合住宅から2か所、住商混在から1か所を調査した。

調査日程は令和4年6月20日(月)～25日(土)の6日間とした。

表 2-1-1 調査対象住居形態及び調査日程

対象地区	地域特性	調査日
目黒本町1丁目	戸建住宅	6月25日(土)
八雲4丁目	戸建住宅	6月23日(木)
青葉台3丁目	集合住宅(管理人無)	6月24日(金)
八雲1丁目	単身向け集合住宅	6月20日(月)
東山3丁目	単身向け集合住宅	6月21日(火)
中根1丁目	住商混在	6月22日(水)

(3) 調査方法

燃やすごみの排出原単位を把握するため、調査対象地区の世帯に対して、世帯人数と何日分のごみかを記載するシールを配布した。ごみの排出時間に合わせて調査員を資源・ごみ集積所に配置し、排出されたごみに貼付されたシールの情報を転記し、その場で重量を測定した。

1人世帯の場合は年齢によって排出原単位が異なると考えられるため、30歳未満と30歳以上に分類し、調査を実施した。

各世帯から排出された燃やすごみの重量を世帯人数と日数（何日分のごみか）で除して、世帯ごとの排出原単位を算定した上で、世帯人数別のごみの排出原単位を算定した。

(4) 調査対象世帯数

調査対象世帯数を表 2-1-2 に示す。調査対象世帯数は 685 世帯である。

表 2-1-2 調査対象世帯数

世帯人数	住居形態				合計
	戸建住宅	集合住宅 (管理人無)	単身向け 集合住宅	住商混在	
1人世帯 (30歳未満)	2	4	2	3	11
1人世帯 (30歳以上)	65	37	67	29	198
2人世帯	75	34	71	39	219
3人世帯	57	14	32	23	126
4人以上世帯	49	13	38	31	131
合計	248	102	210	125	685

2 調査結果

(1) 世帯人数別・住居形態別の排出原単位

燃やすごみの世帯人数別・住居形態別の排出原単位を表 2-2-1 及び図 2-2-1 に示す。

世帯人数別では、1人世帯・30歳未満が 271.6 g/人日、1人世帯・30歳以上が 440.7 g/人日、2人世帯が 349.2 g/人日、3人世帯が 339.0 g/人日、4人以上世帯が 287.3 g/人日である。

住居形態別では、戸建住宅が 414.3 g/人日、集合住宅（管理人無）が 305.4 g/人日、単身向け集合住宅が 347.4 g/人日、住商混合が 321.8 g/人日である。

表 2-2-1 住居形態別・世帯人数別の排出原単位

世帯人数	住居形態				全ての住居形態
	戸建住宅	集合住宅 (管理人無)	単身向け集 合住宅	住商混在	
1人世帯 (30歳未満)	405.8	253.8	318.1	174.7	271.6
1人世帯 (30歳以上)	629.5	340.6	364.7	321.1	440.7
2人世帯	363.9	304.9	360.7	338.6	349.2
3人世帯	341.2	337.5	335.8	339.2	339.0
4人以上世帯	291.4	187.4	303.5	302.8	287.3
全ての世帯	414.3	305.4	347.4	321.8	—

□戸建住宅 □集合住宅（管理人無） ▨单身向け集合住宅 ■住商混在 ▨全ての住居形態

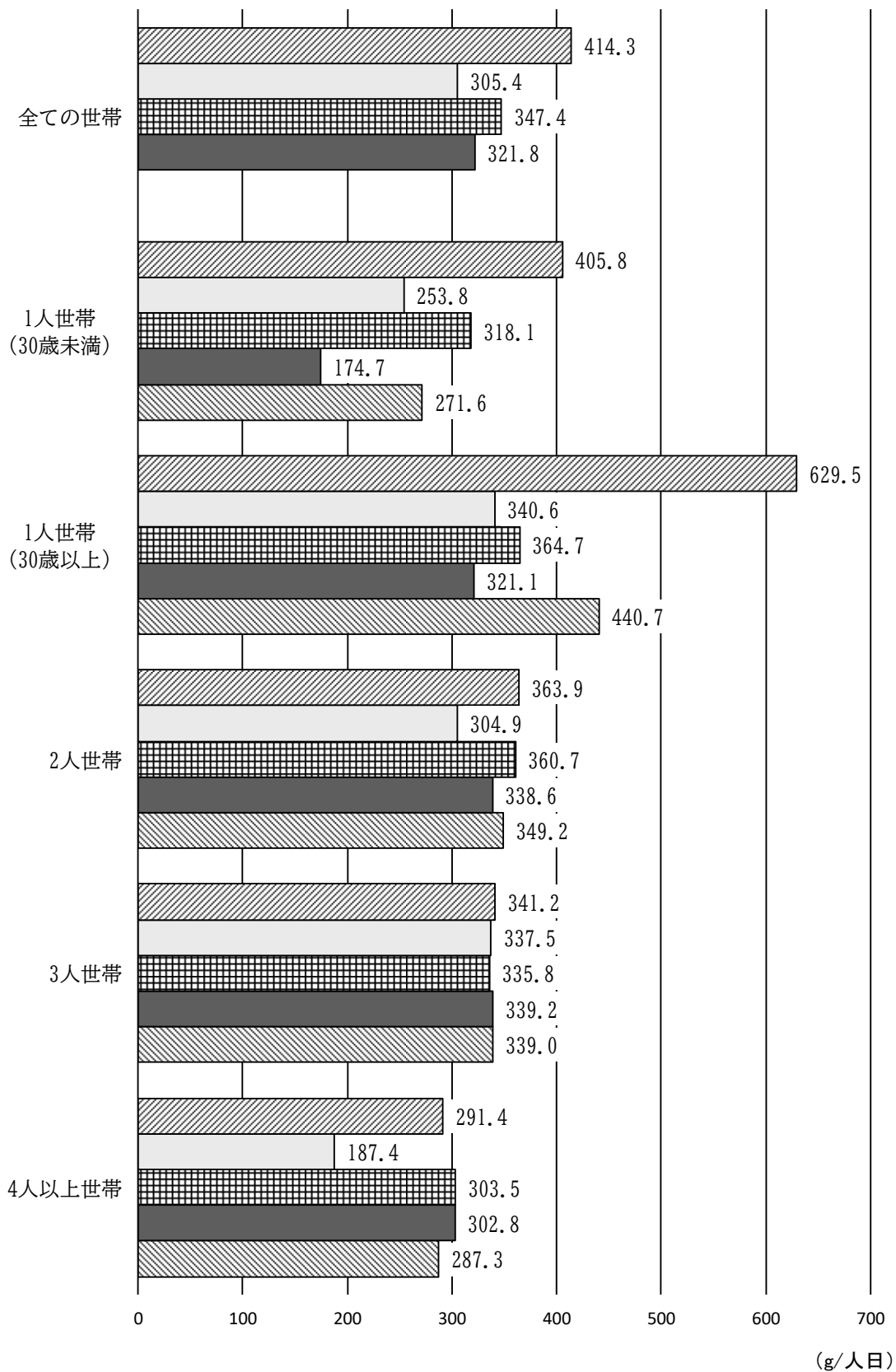


図 2-2-1 住居形態別・世帯人数別の排出原単位

(2) 燃やすごみの排出原単位の推計

調査で得られた世帯人数別の排出原単位を国勢調査に基づく令和2年10月1日現在の世帯人数別の人口割合で加重平均し、燃やすごみの排出原単位を推計した。燃やすごみの排出原単位は、347.0g/人日である。

なお、燃やすごみの排出原単位は、平成26年度の調査では331g/人日であった。

表 2-2-2 燃やすごみの排出原単位の推計

	排出原単位 (g/人日)	世帯人数別人口	
		人口(人)	割合
1人世帯・30歳未満	271.6	19,231	6.7%
1人世帯・30歳以上	440.7	63,546	22.2%
2人世帯	349.2	71,898	25.3%
3人世帯	339.0	60,987	21.3%
4人以上世帯	287.3	70,021	24.5%
排出原単位	347.0	285,683	100.0%

第3章 事業系燃やすごみ組成分析調査

1 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、事業所から区収集に排出される燃やすごみの組成と分別状況、事業系有料ごみ処理券の貼付状況を把握し、廃棄物施策を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査対象地区及び日程

本調査は、区で収集している事業系ごみを対象とすることから、区収集を利用している事業所が多い地区として、中目黒駅エリア、学芸大学駅エリア、都立大学駅エリアを選定した。

調査期間は、令和4年6月27日（月）から7月2日（土）までの6日間とした。

表 3-1-1 調査対象地区及び調査日程

対象地区	調査日
中目黒駅エリア（上目黒1丁目）	6月28日（火）
	7月1日（金）
学芸大学駅エリア（鷹番2丁目）	6月27日（月）
	6月30日（木）
都立大学駅エリア（中根1丁目）	6月29日（水）
	7月2日（土）

(3) 調査方法

調査対象地区の集積所から、事業系有料ごみ処理券の貼ってあるものや、明らかに事業系ごみと判断されるものをサンプルとして回収し、表 3-1-2 に示す 8 業種に分けて調査した。

回収したごみは、袋の容量と貼付されている事業系有料ごみ処理券の容量を記録した後、組成分類項目に従い 39 種に分別した。分析したサンプル量は、1,791.23kg である。

表 3-1-2 業種分類

食品小売業	コンビニエンスストア、八百屋、魚屋、肉屋、パン屋、酒屋
その他小売業	衣料品販売店、自転車販売店、薬局、雑貨販売店、書店
飲食・宿泊業	飲食店、ホテル
金融・保険・不動産業	銀行、質屋、貸金業、証券会社、保険業、不動産業
医療・福祉業	医院、歯科診療所、鍼灸マッサージ、老人福祉・介護施設
教育・学習支援業	学校、幼稚園、学習塾、音楽教室、英会話学校
その他サービス業	法律事務所、会計事務所、クリーニング店、理容・美容室、娯楽業、各種団体、宗教法人
その他業種	建設業、製造業、運輸業

(4) 分析場所

目黒区清掃事業所

(5) 組成分類項目

本調査の組成分類項目を表 3-1-3 に示す。

ごみの外袋については、袋回収を実施しているために必然的に使用されるものであることから「外袋」として区分した。

(6) 結果分析

調査結果を基に事業系有料ごみ処理券の貼付割合、組成割合、適正分別割合を算定した。

表 3-1-3 組成分類項目

	大分類	中分類	小分類	具体的な品目	
1	資源(古紙)	新聞・折込広告		新聞、新聞に入る広告	
2		雑誌・本		パンフレット、カタログ(4P以上)、ノート	
3		段ボール		断面が段々になっている	
4		コピー用紙・OA用紙			
5		シュレッダー紙			
6		その他紙類(リサイクル可)		コピー用紙、パンフレット・チラシ、ポスター・カレンダー、封筒	
7	資源 (びん・缶・PET)		飲料用びん		
8			飲食用缶	ペットフード、フタを含む	
9			ペットボトル	「PET」表示あり、飲料・酒・醤油	
10	資源(プラスチック)	弁当ガラ			
11		その他プラスチック製容器包装	レジ袋(中身あり)	ごみの小袋として利用	
12			レジ袋(中身なし)	利用されずに出されているレジ袋、未使用	
13			発泡トレイ(白)		
14			発泡トレイ(柄)	白以外、色・柄つき	
15			その他プラスチック製容器包装	上記以外のプラスチック製容器包装	
16	資源(その他)		紙パック	アルミの貼っていないもの 牛乳・ジュースの、山型紙パック(200ml以上)	
17			電池	乾電池	
18	可燃物	生ごみ	直接廃棄		
19			食べ残し		
20			飲み残し		
21			調理くず等		
22			廃食用油		
23				紙類(リサイクル不可)	ティッシュ、防水加工された紙、レシートなど感熱紙、圧着はがき、アルミコーティングされたもの、ピザや洗剤・線香の箱など汚れや臭いのついた紙、シュレッダー屑、写真、カーボン紙、紙製卵パック、果物などの紙製緩衝材、カップ麺やヨーグルトの容器
24		繊維	繊維(リサイクル可)	タオル、シーツ、古着	
25			繊維(リサイクル不可)	下着、靴下、ストッキング	
26			木・草類	割箸・竹串、庭木・草、生花、コルク、麻ひも、木製玩具	
27		製品プラスチック	製品プラスチック(プラスチックのみ)	歯ブラシ、おもちゃ、バケツ、ビデオテープ、CDケース、カトラリー、衣類用カバー、ハンガー、食品保存袋、フリーザーバッグ、市販の袋	
28			製品プラスチック(複合品)	プラスチックの比率が50%以上	
29			製品プラスチック(電池内蔵)	おもちゃ、プラモデル、カーラーで、ほとんどがプラスチックで電池内蔵のもの	
30			ゴム・皮革類		
31			その他可燃物	その他可燃	タバコ吸殻、湿布、油を固めたもの、掃除機のごみ、猫砂(紙を使用したもの)、カーペット、ぬいぐるみ、ガーゼ、包帯、衛生用品
32		不燃物		その他金属	飲食以外、塗料・オイル缶、一斗缶より大きい缶、針金ハンガー、なべ・フライパン・やかん、アルミ箔、アルミホイール
33				小型家電製品	
34				その他不燃	陶磁器、かき・ポットなど複合品、使い捨てカイロ、乾燥剤、薬、猫砂(土を使用したもの)、化粧品・薬のびん、コップ、板ガラス、花瓶、植木鉢、電球
35		危険物・水銀含有物			水銀体温計、蛍光管、充電電池、ボタン電池、スプレー缶等中身あり、ライター(着火可能性あり)
36		収集不適物			園芸土、土砂・灰・石、注射器など針のついたもの
37		外袋		プラスチック袋	
38				レジ袋	
39				その他	紙袋

2 組成割合

(1) 全体

事業系燃やすごみの組成を図 3-2-1 及び表 3-2-1 に示す。

大分類では、資源(古紙)が 16.4%、資源(プラスチック)が 9.4%、資源(びん・缶・PET)が 0.4%、資源(その他)が 0.2%の順で、資源が合計 26.4%である。その他、可燃物が 71.9%、外袋が 1.0%、不燃物が 0.8%の順である。

分別が適正なものは 72.8%、分別が不適正なものは 27.2%である。

可燃物の中分類では、生ごみが最も多く 32.2%、次いで、紙類が 19.7%、その他可燃物が 8.9%などの順である。生ごみの小分類のうち、直接廃棄が 1.3%、食べ残しが 3.6%、飲み残しが 0.1%で、合計 5.0%が食品ロスである。

資源(古紙)の中分類では、その他紙類が最も多く 9.3%、次いで、シュレッダー紙が 2.9%、雑誌・本が 1.9%などの順である。

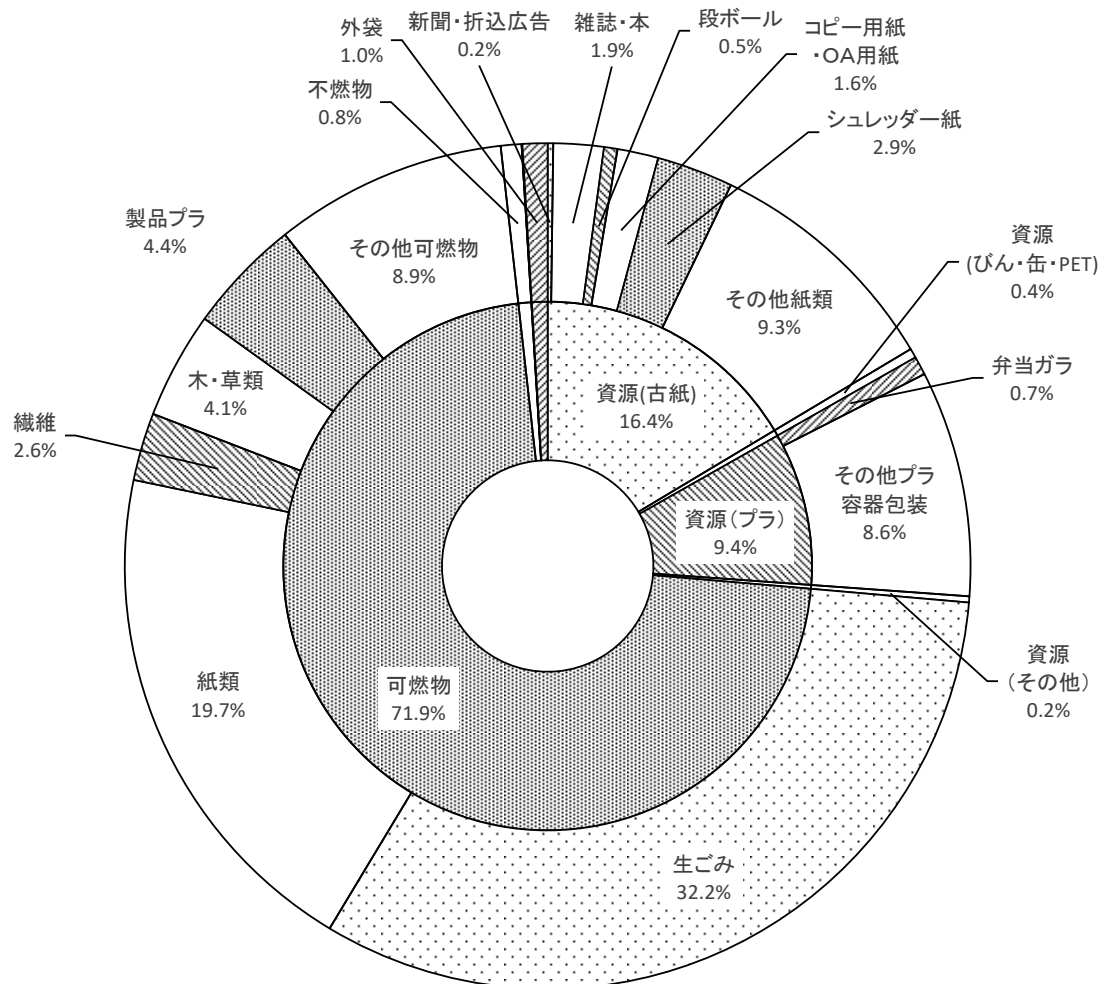


図 3-2-1 事業系燃やすごみの組成分析結果

表 3-2-1 事業系燃やすごみの組成分析結果(詳細)

大分類	中分類	小分類	重量 (kg)	割合	
資源 (古紙)	新聞・折込広告		3.82	0.2%	
	雑誌・本		34.33	1.9%	
	段ボール		9.20	0.5%	
	コピー用紙・OA用紙		28.09	1.6%	
	シュレッダー紙		52.38	2.9%	
	その他紙類		166.36	9.3%	
資源 (びん・缶・PET)	飲食料びん		1.34	0.1%	
	飲食用缶		0.61	0.0%	
	ペットボトル		4.54	0.3%	
資源 (プラスチック)	弁当ガラ		12.82	0.7%	
	その他プラスチック製容器包装	レジ袋 (中身あり)	8.33	0.5%	
		レジ袋 (中身なし)	1.77	0.1%	
		発泡トレイ (白)	0.32	0.0%	
		発泡トレイ (柄)	0.23	0.0%	
その他プラスチック製容器包装		144.13	8.0%		
資源 (その他)	紙バック		3.98	0.2%	
	電池		0.23	0.0%	
可燃物	生ごみ	直接廃棄	23.73	1.3%	
		食べ残し	63.82	3.6%	
		飲み残し	2.22	0.1%	
		調理くず等	409.04	22.8%	
		廃食用油	78.69	4.4%	
	紙類 (リサイクル不可)		352.01	19.7%	
	繊維	繊維 (リサイクル可)	22.88	1.3%	
		繊維 (リサイクル不可)	23.48	1.3%	
	木・草類		73.24	4.1%	
	製品プラスチック	製品プラスチック (プラスチックのみ)		75.24	4.2%
		製品プラスチック (複合品)		3.34	0.2%
		製品プラスチック (電池内蔵)		0.00	0.0%
	その他可燃物	ゴム・皮革類		39.29	2.2%
		その他可燃		120.03	6.7%
不燃物	その他金属		7.26	0.4%	
	小型家電製品		0.79	0.0%	
	その他不燃物		6.06	0.3%	
危険物・水銀含有物			0.00	0.0%	
収集不適物			0.57	0.0%	
外袋	プラスチック袋		15.89	0.9%	
	レジ袋		0.76	0.0%	
	紙袋		0.41	0.0%	
合計			1,791.23	100.0%	

大分類	重量 (kg)	割合
資源(古紙)	294.18	16.4%
資源(びん・缶・PET)	6.49	0.4%
資源(プラスチック)	167.60	9.4%
資源(その他)	4.21	0.2%
資源合計	472.48	26.4%
可燃物	1,287.01	71.9%
不燃物	14.11	0.8%
危険物・水銀含有物	0.00	0.0%
収集不適物	0.57	0.0%
外袋	17.06	1.0%
分別が適正なもの	1,304.07	72.8%
分別が不適正なもの	487.16	27.2%

(2) 業種別

事業系燃やすごみの業種別の組成を表 3-2-2 に示す。

分別が適正なものの割合は、飲食・宿泊業が最も高く 90.0%、次いで、食品小売業が 79.3%、医療・福祉業が 66.3%、その他サービス業が 59.0%、その他小売業が 56.8%、その他業種が 54.5%、教育・学習支援業が 51.3%、金融・保険・不動産業が 43.2%の順である。

表 3-2-2 事業系燃やすごみの業種別の組成分析結果(資源中分類)

		食品 小売業	その他 小売業	飲食・ 宿泊業	金融・ 保険・ 不動産 業	医療・ 福祉業	教育・ 学習支 援業	その他 サービ ス業	その他 業種	合計
資源	新聞・折込広告	0.0%	0.3%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.3%	0.7%	0.2%
	雑誌・本	0.4%	4.7%	0.2%	5.0%	1.7%	9.6%	2.9%	2.7%	1.9%
	段ボール	0.7%	0.2%	0.2%	3.9%	0.9%	0.2%	0.4%	0.3%	0.5%
	コピー用紙・OA用紙	0.1%	2.0%	0.0%	8.0%	1.9%	8.7%	1.0%	6.0%	1.6%
	シュレッダー紙	0.0%	2.9%	0.0%	4.6%	1.5%	0.0%	6.7%	17.8%	2.9%
	その他紙類	11.2%	23.4%	1.8%	23.7%	15.1%	15.8%	10.6%	10.2%	9.3%
	びん・缶・PET	0.0%	0.4%	0.3%	1.0%	0.3%	0.0%	0.4%	0.1%	0.4%
	弁当ガラ	0.0%	0.8%	0.1%	1.8%	0.8%	2.6%	1.6%	1.6%	0.7%
	その他プラスチック製容器包装	7.7%	6.7%	6.4%	8.4%	10.5%	11.4%	15.5%	5.4%	8.6%
	資源(その他)	0.4%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.0%	0.3%	0.3%	0.2%
	資源合計	20.5%	41.7%	9.3%	56.7%	33.3%	48.5%	39.7%	45.1%	26.4%
可燃物		78.4%	56.0%	89.0%	42.3%	65.3%	48.6%	58.1%	53.9%	71.9%
不燃物		0.1%	1.6%	0.7%	0.1%	0.2%	0.2%	1.3%	0.3%	0.8%
危険物・水銀含有物		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
収集不適物		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
外袋		0.9%	0.8%	1.0%	0.9%	0.9%	2.7%	0.9%	0.7%	1.0%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

分別が適正なもの	79.3%	56.8%	90.0%	43.2%	66.3%	51.3%	59.0%	54.5%	72.8%
分別が不適正なもの	20.7%	43.2%	10.0%	56.8%	33.7%	48.7%	41.0%	45.5%	27.2%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(3) 対象地区別

事業系燃やすごみの対象地区別の組成を表 3-2-3 に示す。

分別が適正なものの割合は、学芸大学駅エリアが最も高く 73.9%、次いで、都立大学駅エリアが 73.5%、中目黒駅エリアが 70.3%の順である。

表 3-2-3 事業系燃やすごみの対象地区別の組成分析結果(資源中分類)

		中目黒駅 エリア	学芸大学駅 エリア	都立大学駅 エリア	合計
資源	新聞・折込広告	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%
	雑誌・本	0.9%	1.5%	3.0%	1.9%
	段ボール	0.4%	0.4%	0.7%	0.5%
	コピー用紙・OA用紙	2.0%	0.7%	2.2%	1.6%
	シュレッダー紙	5.5%	1.9%	2.1%	2.9%
	その他紙類	9.0%	10.8%	7.9%	9.3%
	びん・缶・PET	0.2%	0.3%	0.6%	0.4%
	弁当ガラ	1.0%	0.4%	0.8%	0.7%
	その他プラスチック製容器包装	9.3%	8.8%	8.0%	8.6%
	資源(その他)	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%
	資源合計	28.9%	25.3%	25.7%	26.4%
可燃物		69.0%	73.1%	72.7%	71.9%
不燃物		0.7%	0.8%	0.9%	0.8%
危険物・水銀含有物		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
収集不適物		0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
外袋		1.3%	0.8%	0.8%	1.0%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
分別が適正なもの		70.3%	73.9%	73.5%	72.8%
分別が不適正なもの		29.7%	26.1%	26.5%	27.2%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3 事業系有料ごみ処理券の貼付状況

(1) 貼付状況

事業系有料ごみ処理券の貼付状況を表 3-3-1 及び表 3-3-2 に示す。排出袋に見合った事業系有料ごみ処理券を貼付している適正貼付が 75.7%、不足した事業系有料ごみ処理券を貼付している不足貼付が 11.2%、事業系有料ごみ処理券を貼付していないのが 13.1%である。

業種別では、事業系有料ごみ処理券を貼付していない割合は、飲食・宿泊業が最も高く 28.6%、次いで、教育・学習支援業が 15.4%、その他サービス業が 12.6%などの順である。

対象地区別では、事業系有料ごみ処理券を貼付していない割合は、中目黒駅エリアが最も高く 21.6%、次いで、学芸大学駅エリアが 9.8%、都立大学駅エリアが 8.1%の順である。

表 3-3-1 業種別の事業系有料ごみ処理券の貼付状況

業種	項目	適正貼付	不足貼付	処理券なし	合計
食品小売業	排出袋数	3	0	0	3
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他小売業	排出袋数	38	5	5	48
	割合	79.2%	10.4%	10.4%	100.0%
飲食・宿泊業	排出袋数	63	7	28	98
	割合	64.3%	7.1%	28.6%	100.0%
金融・保険・不動産業	排出袋数	35	2	0	37
	割合	94.6%	5.4%	0.0%	100.0%
医療・福祉業	排出袋数	58	5	3	66
	割合	87.9%	7.6%	4.5%	100.0%
教育・学習支援業	排出袋数	7	4	2	13
	割合	53.8%	30.8%	15.4%	100.0%
その他サービス業	排出袋数	91	20	16	127
	割合	71.7%	15.7%	12.6%	100.0%
その他業種	排出袋数	22	4	1	27
	割合	81.5%	14.8%	3.7%	100.0%
合計	排出袋数	317	47	55	419
	割合	75.7%	11.2%	13.1%	100.0%

表 3-3-2 対象地区別の事業系有料ごみ処理券の貼付状況

調査対象地区	項目	適正貼付	不足貼付	処理券なし	合計
中目黒駅エリア	排出袋数	96	13	30	139
	割合	69.1%	9.4%	21.6%	100.0%
学芸大学駅エリア	排出袋数	110	9	13	132
	割合	83.3%	6.8%	9.8%	100.0%
都立大学駅エリア	排出袋数	111	25	12	148
	割合	75.0%	16.9%	8.1%	100.0%
合計	排出袋数	317	47	55	419
	割合	75.7%	11.2%	13.1%	100.0%

(2) 容積貼付率

容積貼付率とは、事業系有料ごみ処理券の総容積を排出袋の総容積で除したものである。容積貼付率を表3-3-3及び表3-3-4に示す。全体の容積貼付率は81.5%である。

業種別では、飲食・宿泊業が最も低く70.6%、次いで、教育・学習支援業が71.2%、その他サービス業が78.1%などの順である。

対象地区別では、中目黒駅エリアが最も低く75.9%、次いで、都立大学駅エリアが81.6%、学芸大学駅エリアが87.5%の順である。

表 3-3-3 業種別の容積貼付率

業種	項目	適正貼付	不足貼付	処理券なし	合計
食品小売業	排出袋容積	135	—	—	135
	処理券容積	135	—	—	135
	容積貼付率	100.0%	—	—	100.0%
その他小売業	排出袋容積	1,810	340	210	2,360
	処理券容積	1,810	200	0	2,010
	容積貼付率	100.0%	58.8%	0.0%	85.2%
飲食・宿泊業	排出袋容積	2,820	250	1,080	4,150
	処理券容積	2,820	110	0	2,930
	容積貼付率	100.0%	44.0%	0.0%	70.6%
金融・保険・不動産業	排出袋容積	1,620	115	—	1,735
	処理券容積	1,620	75	—	1,695
	容積貼付率	100.0%	65.2%	—	97.7%
医療・福祉業	排出袋容積	2,685	320	110	3,115
	処理券容積	2,685	170	0	2,855
	容積貼付率	100.0%	53.1%	0.0%	91.7%
教育・学習支援業	排出袋容積	290	280	90	660
	処理券容積	290	180	0	470
	容積貼付率	100.0%	64.3%	0.0%	71.2%
その他サービス業	排出袋容積	4,395	1,395	785	6,575
	処理券容積	4,395	740	0	5,135
	容積貼付率	100.0%	53.0%	0.0%	78.1%
その他業種	排出袋容積	940	230	45	1,215
	処理券容積	940	85	0	1,025
	容積貼付率	100.0%	37.0%	0.0%	84.4%
合計	排出袋容積	14,695	2,930	2,320	19,945
	処理券容積	14,695	1,560	0	16,255
	容積貼付率	100.0%	53.2%	0.0%	81.5%

表 3-3-4 対象地区別の容積貼付率

調査対象地区	項目	適正貼付	不足貼付	処理券なし	合計
中目黒駅エリア	排出袋容積	4,595	685	1,165	6,445
	処理券容積	4,595	295	0	4,890
	容積貼付率	100.0%	43.1%	0.0%	75.9%
学芸大学駅エリア	排出袋容積	4,955	410	535	5,900
	処理券容積	4,955	210	0	5,165
	容積貼付率	100.0%	51.2%	0.0%	87.5%
都立大学駅エリア	排出袋容積	5,145	1,835	620	7,600
	処理券容積	5,145	1,055	0	6,200
	容積貼付率	100.0%	57.5%	0.0%	81.6%
合計	排出袋容積	14,695	2,930	2,320	19,945
	処理券容積	14,695	1,560	0	16,255
	容積貼付率	100.0%	53.2%	0.0%	81.5%

(3) 45 リットルあたりの重量

分析したごみの総重量を排出袋の総容積で除して 45 リットルあたりに換算した 45 リットルあたりの重量を表 3-3-5 及び表 3-3-6 に示す。

業種別では、飲食・宿泊業が 9.32kg で最も重く、次いで、食品小売業が 5.44kg、医療・福祉業が 3.87kg などの順である。

対象地区別では、中目黒駅エリアが最も重く 5.01kg、次いで、都立大学駅エリアが 4.28kg、学芸大学駅エリアが 4.15kg の順である。

表 3-3-5 業種別の 45 リットルあたりの重量

業種	重量 (kg)	排出袋容積 (ℓ)	45ℓあたり重量 (kg/45ℓ)
食品小売業	16.31	135	5.44
その他小売業	200.87	2,360	3.83
飲食・宿泊業	859.07	4,150	9.32
金融・保険・不動産業	99.76	1,735	2.59
医療・福祉業	268.18	3,115	3.87
教育・学習支援業	26.34	660	1.80
その他サービス業	411.66	6,575	2.82
その他業種	102.10	1,215	3.78
合計	1,984.29	19,945	4.48

表 3-3-6 対象地区別の 45 リットルあたりの重量

調査対象地区	重量 (kg)	排出袋容積 (ℓ)	45ℓあたり重量 (kg/45ℓ)
中目黒駅エリア	717.90	6,445	5.01
学芸大学駅エリア	543.90	5,900	4.15
都立大学駅エリア	722.49	7,600	4.28
合計	1,984.29	19,945	4.48

第4章 区民アンケート調査

1 調査概要

(1) 調査目的

区民が家庭でどのようにごみと資源を処理しているのか、ごみ減量やリサイクルについてどのように取り組んでいるのかを把握することとあわせ、区が実施している各種施策への意見、今後の方向性等の意識・意向を把握することにより、一般廃棄物処理基本計画の改定に向けた基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査内容

調査内容は、次のとおりである。設問はできる限り選択肢による回答ができるように設定した。

- ① アンケート回答者の属性（年齢、世帯人数、住居の種類等）
- ② 発生抑制・再使用
- ③ ごみの分別やリサイクル
- ④ 区の情報発信
- ⑤ ごみや資源の収集回数
- ⑥ ごみや資源の集積所
- ⑦ 今後の区の実施（自由意見を含む）

(3) 調査対象

住民基本台帳から無作為に 2,500 世帯を抽出した。

(4) 調査方法

郵送法（郵送配布—郵送回収）、オンラインフォーム回答

(5) 調査期間

令和4年7月29日（金）～8月15日（月）

(6) 回収状況

発送数 2,500 票のうち、823 票を回収した。宛先不明や転出などで返送された 39 票を除く 2,461 票に対し、有効回収率は 33.4%である。

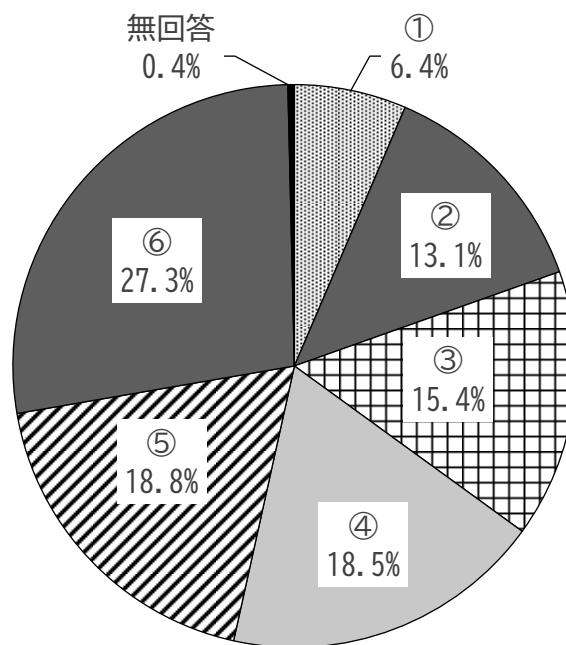
2 回答者の属性

回答者の属性は、年齢、世帯人数、居住地域、住居の種類、居住年数について質問した。これらの属性ごとに他の調査項目をクロス集計し、その属性の行動や考え方、意見を把握する。比較可能な項目については、平成26年度調査と比較した。

(1) 年齢

「⑥70歳以上」が最も多く27.3%、次いで「⑤60歳代」が18.8%、「④50歳代」が18.5%、「③40歳代」が15.4%などの順である。

選択肢	割合
① 30歳未満	6.4%
② 30歳代	13.1%
③ 40歳代	15.4%
④ 50歳代	18.5%
⑤ 60歳代	18.8%
⑥ 70歳以上	27.3%
無回答	0.4%



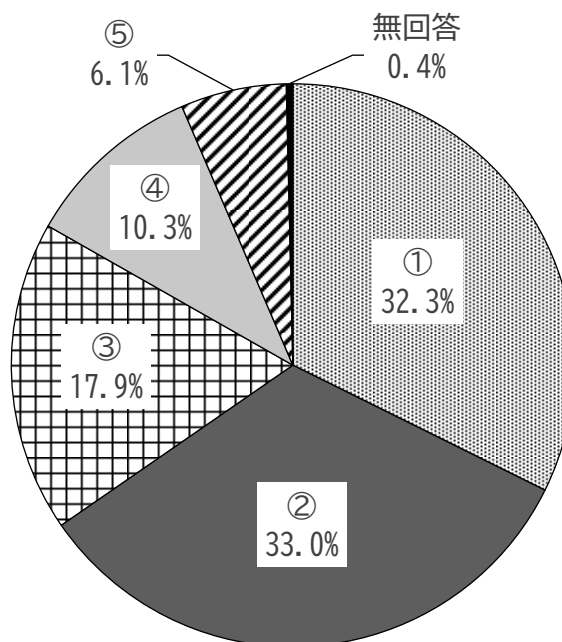
	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
平成26年度調査(A)	4.6%	13.7%	17.5%	18.1%	18.9%	26.5%	0.8%
令和4年度調査(B)	6.4%	13.1%	15.4%	18.5%	18.8%	27.3%	0.4%
増減(B-A)	1.9%	-0.6%	-2.1%	0.4%	0.0%	0.9%	-0.4%

図 4-2-1 年齢

(2) 世帯人数

「② 2人」が最も多く 33.0%、次いで「① 1人」が 32.3%、「③ 3人」が 17.9%、「④ 4人」が 10.3%などの順である。

選択肢	割合
① 1人	32.3%
② 2人	33.0%
③ 3人	17.9%
④ 4人	10.3%
⑤ 5人以上	6.1%
無回答	0.4%



総数：823

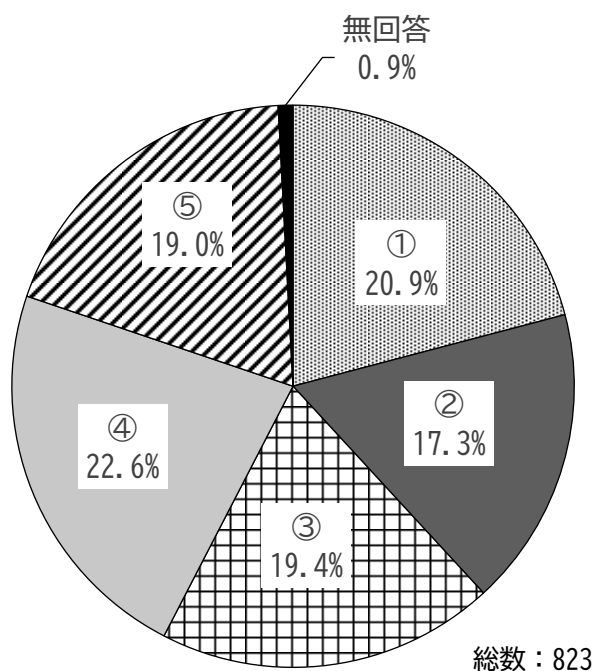
	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
平成26年度調査(A)	29.7%	33.1%	17.0%	13.5%	5.5%	1.1%
令和4年度調査(B)	32.3%	33.0%	17.9%	10.3%	6.1%	0.4%
増減(B-A)	2.6%	-0.1%	0.9%	-3.2%	0.6%	-0.8%

図 4-2-2 世帯人数

(3) 居住地域

「④南部」が最も多く 22.6%、次いで「①北部」が 20.9%、「③中央」が 19.4%、「⑤西部」が 19.0%、「②東部」が 17.3%の順である。平成 26 年度調査と比較すると「①北部」「④南部」が増加している。

選択肢	割合
① 北部	20.9%
② 東部	17.3%
③ 中央	19.4%
④ 南部	22.6%
⑤ 西部	19.0%
無回答	0.9%



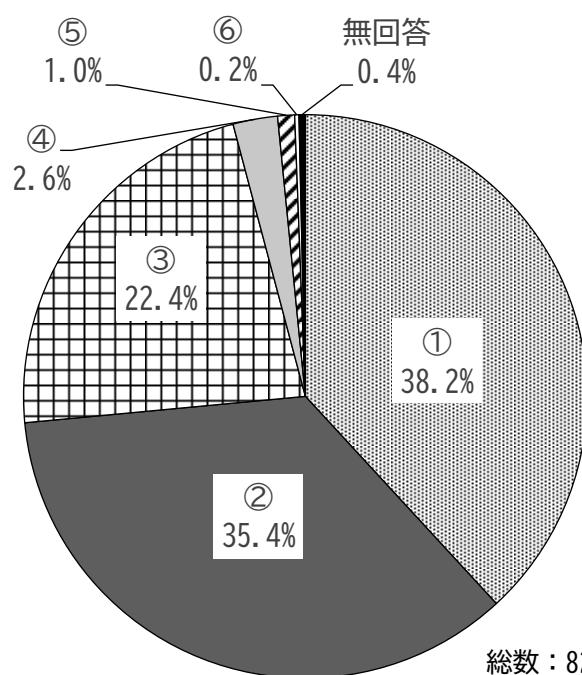
	北部	東部	中央	南部	西部	無回答
平成26年度調査(A)	18.3%	18.3%	20.4%	19.2%	21.5%	2.3%
令和4年度調査(B)	20.9%	17.3%	19.4%	22.6%	19.0%	0.9%
増減(B-A)	2.6%	-1.0%	-1.0%	3.4%	-2.5%	-1.4%

図 4-2-3 居住地域

(4) 住居の種類

「①一戸建て」が最も多く 38.2%、次いで「②各居住者が集積所にごみ出しする共同住宅」が 35.4%、「③管理人がごみ出しする共同住宅」が 22.4%、「④各居住者が集積所にごみ出しする店舗・事務所併設の住宅」が 2.6%、「⑤管理人がごみ出しをする店舗・事務所併設の住宅」が 1.0%の順である。平成 26 年度調査と比較すると「③管理人がごみ出しする共同住宅」が 4.8%増加している。

選択肢	割合
① 一戸建て	38.2%
② 各居住者が集積所にごみ出しする共同住宅	35.4%
③ 管理人がごみ出しする共同住宅	22.4%
④ 各居住者が集積所にごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	2.6%
⑤ 管理人がごみ出しをする店舗・事務所併設の住宅	1.0%
⑥ その他	0.2%
無回答	0.4%



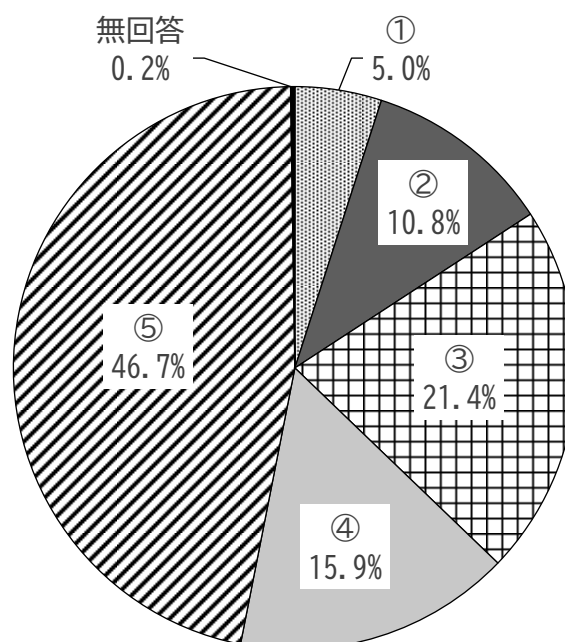
	一戸建て	各居住者が集積所にごみ出しする共同住宅	管理人がごみ出しする共同住宅	各居住者が集積所にごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	管理人がごみ出しをする店舗・事務所併設の住宅	その他	無回答
平成26年度調査(A)	41.0%	36.8%	17.5%	2.1%	1.1%	0.4%	1.1%
令和4年度調査(B)	38.2%	35.4%	22.4%	2.6%	1.0%	0.2%	0.4%
増減(B-A)	-2.8%	-1.4%	4.8%	0.5%	-0.2%	-0.1%	-0.8%

図 4-2-4 住居の種類

(5) 居住年数

「⑤20年以上」が最も多く46.7%、次いで「③3年以上～10年未満」が21.4%、「④10年以上～20年未満」が15.9%と続いている。平成26年度調査と比較すると「③3年以上～10年未満」が3.5%増加している。

選択肢	割合
① 1年未満	5.0%
② 1年以上～3年未満	10.8%
③ 3年以上～10年未満	21.4%
④ 10年以上～20年未満	15.9%
⑤ 20年以上	46.7%
無回答	0.2%



総数：823

	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上	無回答
平成26年度調査(A)	6.1%	10.7%	17.9%	17.3%	47.4%	0.6%
令和4年度調査(B)	5.0%	10.8%	21.4%	15.9%	46.7%	0.2%
増減(B-A)	-1.1%	0.1%	3.5%	-1.4%	-0.8%	-0.3%

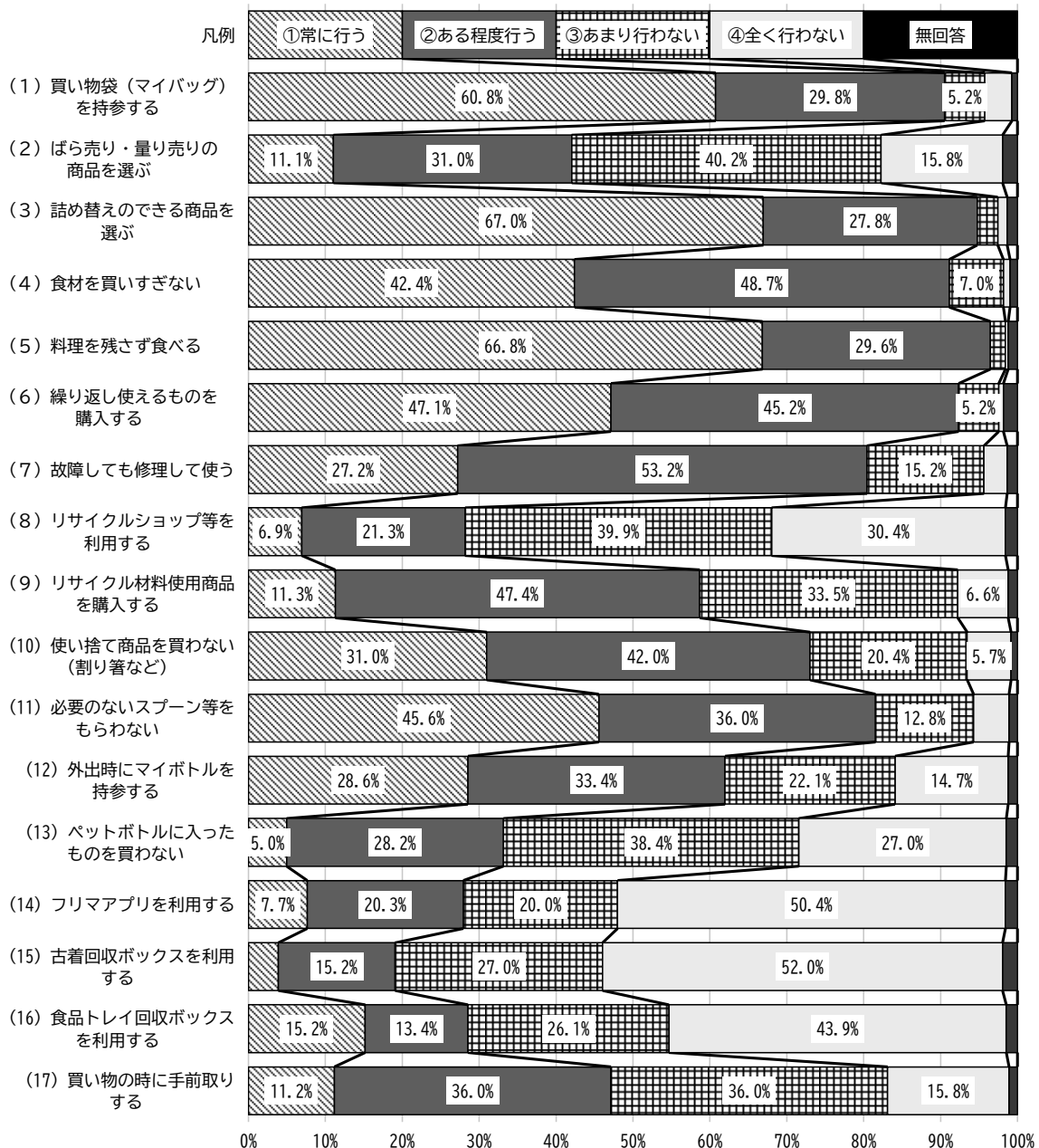
図 4-2-5 居住年数

3 発生抑制 (Reduce)・再使用 (Reuse) について

(1) 実践している発生抑制の取組

日頃から心がけていることで、「常に行う」「ある程度行う」の割合が多かったのは「(5)料理を残さず食べる」が96.4%、次いで「(3)詰め替えのできる商品を選ぶ」が94.8%、「(6)繰り返し使えるものを購入する」が92.3%などの順である。

一方、「あまり行わない」「全く行わない」の割合が多かったのは、「(15)古着回収ボックスを利用する」が79.0%、次いで「(14)フリマアプリを利用する」が70.4%となっている。



総数：823

図 4-3-1 実践している発生抑制の取組

(2) 発生抑制や再使用に関する取組について

すべての取組で、「知らなかった-利用してみたい」の割合が多い。「クラダシ、ジュニジュニ」が41.4%で最も多く、次いで「TABETE」が38.5%、「Loop (ループ)」が37.3%、「フードドライブ」が32.1%の順である。

「知っている-利用したことがない」の割合が多かったのは、「フードドライブ」が38.6%で最も多く、次いで「Loop (ループ)」が30.7%、「TABETE」が26.7%、「クラダシ、ジュニジュニ」が18.1%の順である。

すべての取組で、「知っている-利用したことがない」の割合が「知っている-利用したことがある」の割合より多い。

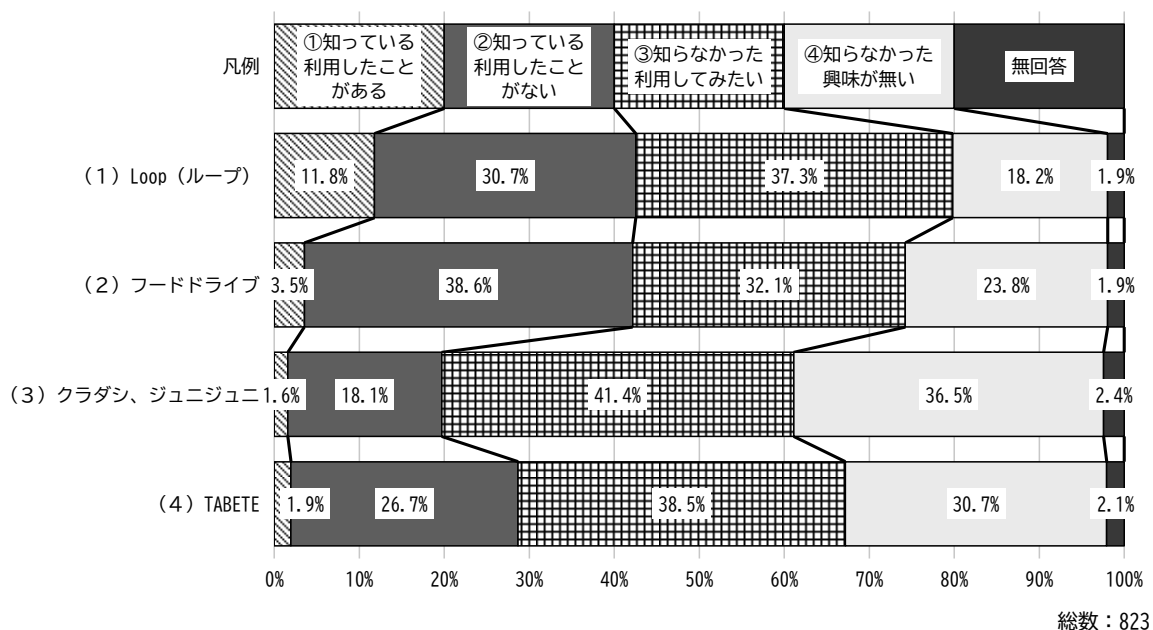


図 4-3-2 発生抑制や再使用に関する取組の認知度

(3) 発生抑制や再使用に関する区の取組について

すべての取組で、「知らなかった-利用してみたい」の割合が多い。「食べきり協力店」が60.0%で最も多く、次いで「めぐろ買い物ルール参加店」が57.8%、「エコテイクアウト」が52.4%、「マイ容器利用キャンペーン」が49.9%の順である。

「知っている-利用したことがない」の割合が多かったのは、「マイ容器利用キャンペーン」が24.3%で最も多く、次いで「エコテイクアウト」が19.3%、「めぐろ買い物ルール参加店」が16.5%、「食べきり協力店」が14.8%の順である。

すべての取組で、「知っている-利用したことがない」の割合が「知っている-利用したことがある」の割合より多い。

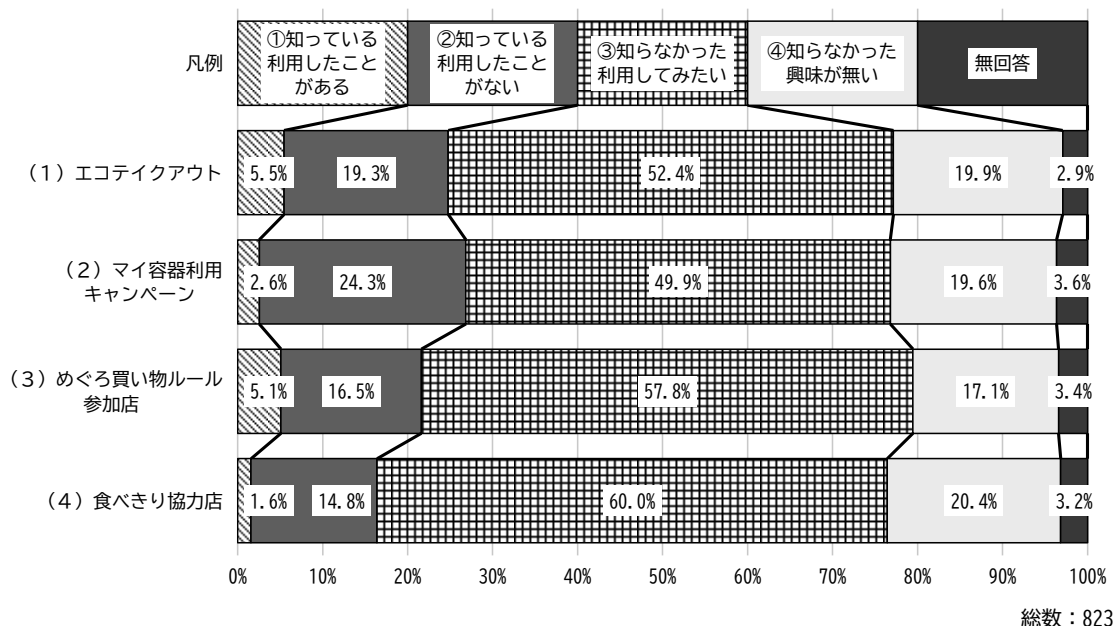


図 4-3-3 発生抑制や再使用に関する区の取組の認知度

(4) 食品ロスについて

ア 普段の生活での食品ロスに関する意識

普段の生活で食品ロスに関して意識しているかについて、「①とても意識している」が45.9%で最も多く、次いで「②少し意識している」が45.3%、「③あまり意識していない」が5.5%などの順である。

年齢別では、年齢が高いほど「①とても意識している」が多い傾向がある。

選択肢	割合
① とても意識している	45.9%
② 少し意識している	45.3%
③ あまり意識していない	5.5%
④ まったく意識していない	1.8%
⑤ どちらともいえない	1.2%
無回答	0.2%

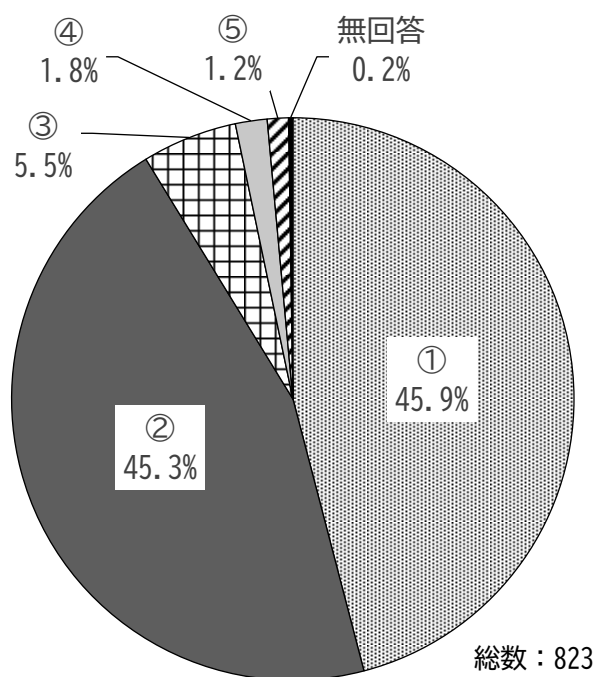


図 4-3-4 食品ロスに関する意識

表 4-3-1 食品ロスに関する意識(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

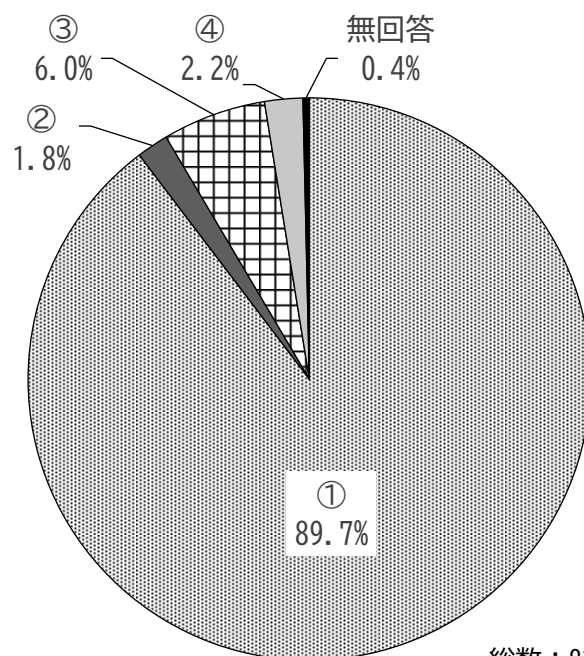
	合計	問4 (1) 普段の生活で食品ロスを意識しているか					無回答	
		とても意識している	少し意識している	あまり意識していない	まったく意識していない	どちらともいえない		
全体	823 100.0	378 45.9	373 45.3	45 5.5	15 1.8	10 1.2	2 0.2	
年齢	30歳未満	53 100.0	9 17.0	28 52.8	11 20.8	3 5.7	2 3.8	0 0.0
	30歳代	108 100.0	36 33.3	54 50.0	13 12.0	5 4.6	0 0.0	0 0.0
	40歳代	127 100.0	45 35.4	70 55.1	7 5.5	4 3.1	0 0.0	1 0.8
	50歳代	152 100.0	80 52.6	67 44.1	3 2.0	0 0.0	2 1.3	0 0.0
	60歳代	155 100.0	80 51.6	67 43.2	4 2.6	0 0.0	4 2.6	0 0.0
	70歳以上	225 100.0	127 56.4	86 38.2	7 3.1	3 1.3	2 0.9	0 0.0
	世帯人数	1人	266 100.0	113 42.5	116 43.6	23 8.6	10 3.8	4 1.5
2人		272 100.0	143 52.6	112 41.2	12 4.4	3 1.1	2 0.7	0 0.0
3人		147 100.0	62 42.2	77 52.4	5 3.4	1 0.7	2 1.4	0 0.0
4人		85 100.0	30 35.3	48 56.5	4 4.7	1 1.2	1 1.2	1 1.2
5人以上		50 100.0	29 58.0	19 38.0	1 2.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0
地域(地区別)	北部	172 100.0	76 44.2	81 47.1	8 4.7	6 3.5	1 0.6	0 0.0
	東部	142 100.0	64 45.1	63 44.4	9 6.3	2 1.4	3 2.1	1 0.7
	中央	160 100.0	77 48.1	77 48.1	5 3.1	0 0.0	1 0.6	0 0.0
	南部	186 100.0	85 45.7	85 45.7	11 5.9	3 1.6	2 1.1	0 0.0
	西部	156 100.0	73 46.8	64 41.0	12 7.7	4 2.6	3 1.9	0 0.0
住居の種類	一戸建て	314 100.0	159 50.6	141 44.9	9 2.9	1 0.3	3 1.0	1 0.3
	居住者がごみ出しする共同住宅	291 100.0	120 41.2	134 46.0	22 7.6	11 3.8	4 1.4	0 0.0
	管理人がごみ出しする共同住宅	184 100.0	86 46.7	80 43.5	14 7.6	2 1.1	2 1.1	0 0.0
	居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	21 100.0	7 33.3	13 61.9	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0
	管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	8 100.0	3 37.5	4 50.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0
	その他	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住年数	1年未満	41 100.0	10 24.4	22 53.7	7 17.1	2 4.9	0 0.0	0 0.0
	1年以上～3年未満	89 100.0	27 30.3	48 53.9	9 10.1	3 3.4	2 2.2	0 0.0
	3年以上～10年未満	176 100.0	78 44.3	82 46.6	8 4.5	6 3.4	2 1.1	0 0.0
	10年以上～20年未満	131 100.0	51 38.9	67 51.1	11 8.4	1 0.8	1 0.8	0 0.0
	20年以上	384 100.0	211 54.9	154 40.1	10 2.6	3 0.8	5 1.3	1 0.3

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

イ 消費期限と賞味期限の理解

消費期限と賞味期限について、「①どちらも理解している」が 89.7%で最も多く、次いで「③賞味期限は理解している」が 6.0%、「④どちらもわからない」が 2.2%、「②消費期限は理解している」が 1.8%の順である。

選択肢	割合
① どちらも理解している	89.7%
② 消費期限は理解している	1.8%
③ 賞味期限は理解している	6.0%
④ どちらもわからない	2.2%
無回答	0.4%



総数：823

図 4-3-5 消費期限と賞味期限の理解

表 4-3-2 消費期限と賞味期限の理解(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問4(2)「消費期限」と「賞味期限」の違い					
		どちら も理解 してい る	消費期 限は理 解して いる	賞味期 限は理 解して いる	どちら もわか らない	無回答	
全体	823 100.0	738 89.7	15 1.8	49 6.0	18 2.2	3 0.4	
年齢	30歳未満	53 100.0	52 98.1	0 0.0	0 0.0	1 1.9	0 0.0
	30歳代	108 100.0	104 96.3	1 0.9	2 1.9	1 0.9	0 0.0
	40歳代	127 100.0	119 93.7	0 0.0	5 3.9	2 1.6	1 0.8
	50歳代	152 100.0	138 90.8	5 3.3	5 3.3	4 2.6	0 0.0
	60歳代	155 100.0	136 87.7	3 1.9	11 7.1	4 2.6	1 0.6
	70歳以上	225 100.0	187 83.1	6 2.7	26 11.6	6 2.7	0 0.0
	世帯人数	1人	266 100.0	238 89.5	6 2.3	14 5.3	8 3.0
2人		272 100.0	241 88.6	7 2.6	18 6.6	5 1.8	1 0.4
3人		147 100.0	135 91.8	1 0.7	8 5.4	3 2.0	0 0.0
4人		85 100.0	77 90.6	1 1.2	5 5.9	1 1.2	1 1.2
5人以上		50 100.0	45 90.0	0 0.0	4 8.0	1 2.0	0 0.0
地域(地区別)	北部	172 100.0	150 87.2	4 2.3	14 8.1	3 1.7	1 0.6
	東部	142 100.0	124 87.3	5 3.5	7 4.9	5 3.5	1 0.7
	中央	160 100.0	145 90.6	2 1.3	8 5.0	5 3.1	0 0.0
	南部	186 100.0	168 90.3	3 1.6	12 6.5	3 1.6	0 0.0
	西部	156 100.0	146 93.6	1 0.6	8 5.1	1 0.6	0 0.0
住居の種類	一戸建て	314 100.0	278 88.5	7 2.2	20 6.4	7 2.2	2 0.6
	居住者がごみ出しする共同住宅	291 100.0	262 90.0	4 1.4	16 5.5	9 3.1	0 0.0
	管理人がごみ出しする共同住宅	184 100.0	166 90.2	4 2.2	12 6.5	2 1.1	0 0.0
	居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	21 100.0	20 95.2	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0
	管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	8 100.0	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住年数	1年未満	41 100.0	39 95.1	1 2.4	1 2.4	0 0.0	0 0.0
	1年以上～3年未満	89 100.0	86 96.6	0 0.0	1 1.1	2 2.2	0 0.0
	3年以上～10年未満	176 100.0	158 89.8	2 1.1	12 6.8	4 2.3	0 0.0
	10年以上～20年未満	131 100.0	120 91.6	2 1.5	7 5.3	2 1.5	0 0.0
	20年以上	384 100.0	334 87.0	10 2.6	28 7.3	10 2.6	2 0.5

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

ウ 賞味期限の過ぎた食品の扱い方

賞味期限の過ぎた食品の扱い方について、「④色や見た目、において判断する」が43.7%で最も多く、次いで「①1週間以内であれば使う」が32.7%、「②1か月以内であれば使う」が11.4%などの順である。

年齢別では、70歳以上は「①1週間以内であれば使う」が多く、70歳以上以外は「④色や見た目、において判断する」が多い。

【その他の主な意見】

- 食品による。
- 生ものは、捨てるが、調味料などは使用する。
- 期限前に、余裕があるうちに人に貰ってもらう。
- 少々心配なら火を通す。
- 食べてみて、判断する。

選択肢	割合
① 1週間以内であれば使う	32.7%
② 1か月以内であれば使う	11.4%
③ 3か月以内であれば使う	3.3%
④ 色や見た目、において判断する	43.7%
⑤ 捨てる	3.5%
⑥ その他	4.9%
無回答	0.5%

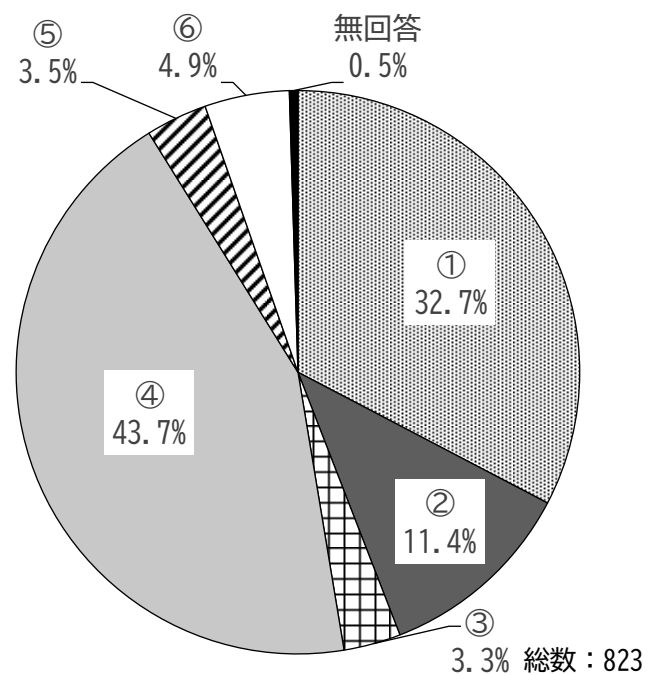


図 4-3-6 賞味期限の過ぎた食品の扱い方

表 4-3-3 賞味期限の過ぎた食品の扱い方(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問4(3)「賞味期限」の過ぎた食品の扱い方							
		1週間以内であれば使う	1か月以内であれば使う	3か月以内であれば使う	色や見た目、において判断する	捨てる	その他	無回答	
全体	823 100.0	269 32.7	94 11.4	27 3.3	360 43.7	29 3.5	40 4.9	4 0.5	
年齢	30歳未満	53 100.0	15 28.3	6 11.3	0 0.0	28 52.8	3 5.7	1 1.9	0 0.0
	30歳代	108 100.0	32 29.6	11 10.2	1 0.9	59 54.6	4 3.7	1 0.9	0 0.0
	40歳代	127 100.0	40 31.5	7 5.5	5 3.9	67 52.8	2 1.6	6 4.7	0 0.0
	50歳代	152 100.0	36 23.7	16 10.5	3 2.0	86 56.6	2 1.3	8 5.3	1 0.7
	60歳代	155 100.0	48 31.0	23 14.8	10 6.5	63 40.6	2 1.3	9 5.8	0 0.0
	70歳以上	225 100.0	98 43.6	31 13.8	8 3.6	55 24.4	16 7.1	15 6.7	2 0.9
	世帯人数	1人	266 100.0	89 33.5	27 10.2	9 3.4	115 43.2	10 3.8	14 5.3
2人		272 100.0	75 27.6	34 12.5	11 4.0	130 47.8	10 3.7	11 4.0	1 0.4
3人		147 100.0	52 35.4	21 14.3	5 3.4	57 38.8	3 2.0	9 6.1	0 0.0
4人		85 100.0	30 35.3	5 5.9	1 1.2	41 48.2	4 4.7	4 4.7	0 0.0
5人以上		50 100.0	23 46.0	7 14.0	1 2.0	15 30.0	2 4.0	2 4.0	0 0.0
地域(地区別)	北部	172 100.0	58 33.7	17 9.9	7 4.1	77 44.8	6 3.5	7 4.1	0 0.0
	東部	142 100.0	39 27.5	19 13.4	4 2.8	72 50.7	3 2.1	5 3.5	0 0.0
	中央	160 100.0	66 41.3	19 11.9	3 1.9	60 37.5	4 2.5	6 3.8	2 1.3
	南部	186 100.0	56 30.1	19 10.2	5 2.7	87 46.8	7 3.8	12 6.5	0 0.0
	西部	156 100.0	48 30.8	20 12.8	8 5.1	60 38.5	9 5.8	10 6.4	1 0.6
住居の種類	一戸建て	314 100.0	116 36.9	40 12.7	15 4.8	118 37.6	10 3.2	13 4.1	2 0.6
	居住者がごみ出しする共同住宅	291 100.0	86 29.6	33 11.3	6 2.1	135 46.4	13 4.5	17 5.8	1 0.3
	管理人がごみ出しする共同住宅	184 100.0	54 29.3	19 10.3	5 2.7	93 50.5	6 3.3	7 3.8	0 0.0
	居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	21 100.0	8 38.1	2 9.5	0 0.0	9 42.9	0 0.0	2 9.5	0 0.0
	管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	8 100.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5	4 50.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0
	その他	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	居住年数	1年未満	41 100.0	9 22.0	4 9.8	0 0.0	27 65.9	0 0.0	1 2.4
1年以上～3年未満		89 100.0	30 33.7	12 13.5	2 2.2	38 42.7	4 4.5	3 3.4	0 0.0
3年以上～10年未満		176 100.0	42 23.9	15 8.5	5 2.8	96 54.5	7 4.0	10 5.7	1 0.6
10年以上～20年未満		131 100.0	40 30.5	15 11.5	3 2.3	60 45.8	6 4.6	7 5.3	0 0.0
20年以上		384 100.0	148 38.5	48 12.5	17 4.4	138 35.9	12 3.1	19 4.9	2 0.5

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

エ 食品ロスを出さない取組

食品ロスを出さない取組について、「食品は必要な分だけ買う」が70.6%で最も多く、次いで「食材を無駄なく使う」が56.3%、「賞味期限、消費期限の近い食品を早めに使う」が52.2%などの順である。

年齢別では、30歳未満で「飲食店では食べきれる量を注文する」が多く、「食材を無駄なく使う」が少ない。

世帯人数では、5人以上世帯で「料理を作りすぎない」が少ない。

【その他の主な意見】

- 保存するなど工夫する。
- 生鮮食品の廃棄を意識して減らす。
- 余ったものはとりあえず冷凍する。
- 外食で食べきれない場合は持ち帰りを依頼する。
- 興味本位で購入して失敗する事が多いので同じものを買う。

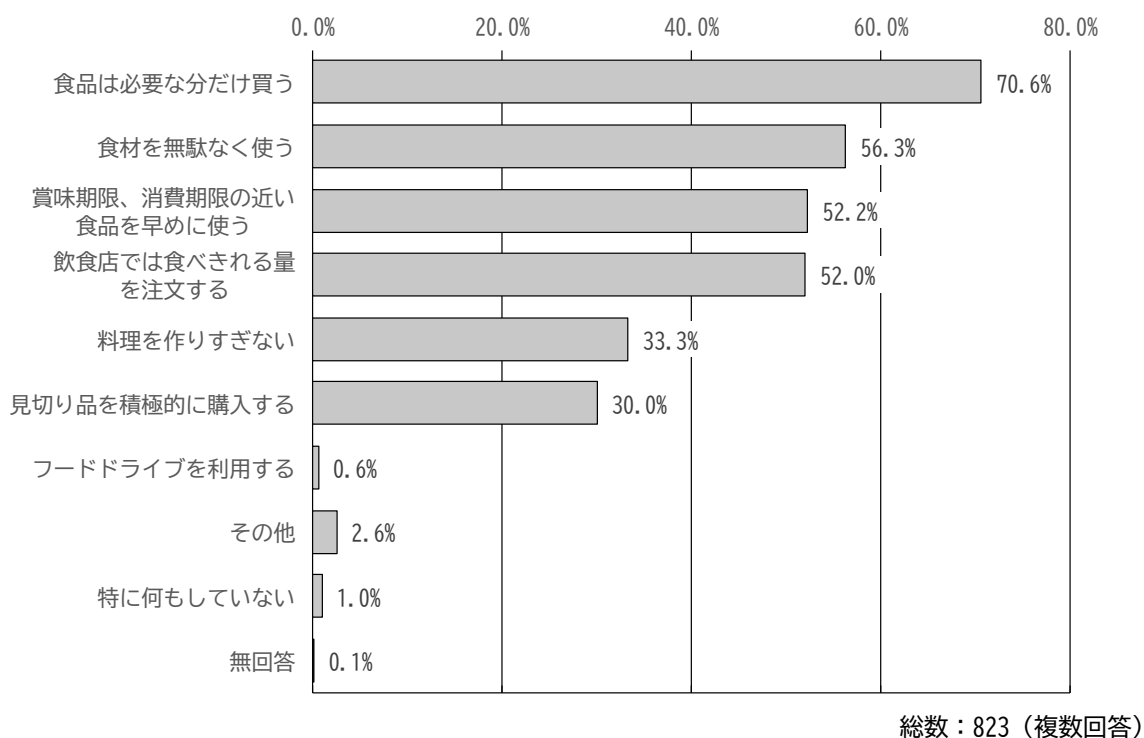


図 4-3-7 食品ロスを出さないために普段行っていること

表 4-3-4 食品ロスを出さないために普段行っていること(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問4（4）食品ロスを出さないために普段行っていること										
		食品は必要な分だけ買う	食材を無駄なく使う	賞味期限、消費期限の近い食品を早めに使う	飲食店では食べきれぬ量を注文する	料理を作りすぎない	見切り品を積極的に購入する	フードドライブを利用する	その他	特に何もしていない	無回答	
全体	823 100.0	581 70.6	463 56.3	430 52.2	428 52.0	274 33.3	247 30.0	5 0.6	21 2.6	8 1.0	1 0.1	
年齢	30歳未満	53 100.0	38 71.7	20 37.7	31 58.5	32 60.4	15 28.3	22 41.5	0 0.0	1 1.9	2 3.8	0 0.0
	30歳代	108 100.0	93 86.1	54 50.0	53 49.1	64 59.3	34 31.5	33 30.6	0 0.0	1 0.9	1 0.9	0 0.0
	40歳代	127 100.0	92 72.4	75 59.1	64 50.4	72 56.7	47 37.0	37 29.1	1 0.8	3 2.4	2 1.6	0 0.0
	50歳代	152 100.0	112 73.7	96 63.2	83 54.6	82 53.9	49 32.2	59 38.8	1 0.7	3 2.0	0 0.0	0 0.0
	60歳代	155 100.0	104 67.1	96 61.9	89 57.4	85 54.8	44 28.4	44 28.4	2 1.3	5 3.2	1 0.6	0 0.0
	70歳以上	225 100.0	140 62.2	121 53.8	110 48.9	91 40.4	84 37.3	52 23.1	1 0.4	8 3.6	2 0.9	0 0.0
	世帯人数	1人	266 100.0	207 77.8	132 49.6	127 47.7	132 49.6	82 30.8	92 34.6	2 0.8	9 3.4	4 1.5
2人		272 100.0	191 70.2	161 59.2	154 56.6	135 49.6	98 36.0	83 30.5	1 0.4	10 3.7	1 0.4	0 0.0
3人		147 100.0	90 61.2	86 58.5	69 46.9	78 53.1	53 36.1	31 21.1	0 0.0	1 0.7	2 1.4	0 0.0
4人		85 100.0	63 74.1	51 60.0	56 65.9	52 61.2	30 35.3	19 22.4	0 0.0	1 1.2	0 0.0	0 0.0
5人以上		50 100.0	29 58.0	31 62.0	24 48.0	30 60.0	11 22.0	22 44.0	2 4.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0
地域（地区別）	北部	172 100.0	127 73.8	100 58.1	94 54.7	95 55.2	64 37.2	47 27.3	2 1.2	6 3.5	3 1.7	0 0.0
	東部	142 100.0	93 65.5	77 54.2	88 62.0	84 59.2	54 38.0	40 28.2	1 0.7	3 2.1	1 0.7	0 0.0
	中央	160 100.0	112 70.0	87 54.4	78 48.8	76 47.5	45 28.1	53 33.1	0 0.0	4 2.5	2 1.3	0 0.0
	南部	186 100.0	139 74.7	109 58.6	94 50.5	105 56.5	56 30.1	62 33.3	1 0.5	3 1.6	2 1.1	0 0.0
	西部	156 100.0	105 67.3	86 55.1	74 47.4	66 42.3	55 35.3	45 28.8	1 0.6	5 3.2	0 0.0	0 0.0
住居の種類	一戸建て	314 100.0	205 65.3	187 59.6	163 51.9	150 47.8	104 33.1	91 29.0	3 1.0	13 4.1	2 0.6	0 0.0
	居住者がごみ出しする共同住宅	291 100.0	206 70.8	146 50.2	151 51.9	144 49.5	82 28.2	97 33.3	2 0.7	6 2.1	5 1.7	0 0.0
	管理人がごみ出しする共同住宅	184 100.0	146 79.3	109 59.2	101 54.9	115 62.5	72 39.1	52 28.3	0 0.0	2 1.1	0 0.0	0 0.0
	居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	21 100.0	14 66.7	13 61.9	10 47.6	13 61.9	12 57.1	4 19.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	8 100.0	7 87.5	7 87.5	5 62.5	5 62.5	4 50.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	居住年数	1年未満	41 100.0	31 75.6	23 56.1	24 58.5	26 63.4	12 29.3	20 48.8	0 0.0	1 2.4	0 0.0
1年以上～3年未満		89 100.0	67 75.3	37 41.6	42 47.2	38 42.7	26 29.2	27 30.3	0 0.0	1 1.1	2 2.2	0 0.0
3年以上～10年未満		176 100.0	142 80.7	110 62.5	98 55.7	114 64.8	65 36.9	63 35.8	2 1.1	5 2.8	1 0.6	0 0.0
10年以上～20年未満		131 100.0	95 72.5	72 55.0	64 48.9	67 51.1	39 29.8	35 26.7	0 0.0	2 1.5	1 0.8	0 0.0
20年以上		384 100.0	245 63.8	220 57.3	202 52.6	182 47.4	132 34.4	102 26.6	3 0.8	12 3.1	4 1.0	0 0.0

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

※複数回答であるため、割合の合計は100%にならないことがある。

オ 食品の廃棄

1か月間で食品を捨てたことについて、「③あまりなかった」が39.6%で最も多く、次いで「②たまにあった」が35.2%、「④まったくなかった」が21.1%などの順である。「①よくあった」は2.8%と少ない。

選択肢	割合
① よくあった	2.8%
② たまにあった	35.2%
③ あまりなかった	39.6%
④ まったくなかった	21.1%
無回答	1.2%

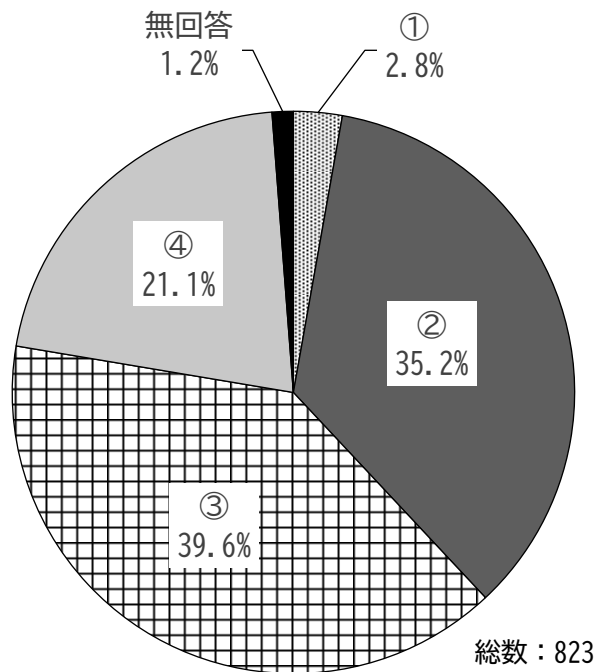


図 4-3-8 1か月間で食品を捨てたこと

表 4-3-5 1か月間で食品を捨てたこと(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問4 (5) 1か月間で食品を捨てたこと					
		よくあった	たまにあった	あまりなかった	まったくなかった	無回答	
全体	823 100.0	23 2.8	290 35.2	326 39.6	174 21.1	10 1.2	
年齢	30歳未満	53 100.0	3 5.7	24 45.3	19 35.8	5 9.4	2 3.8
	30歳代	108 100.0	5 4.6	44 40.7	45 41.7	14 13.0	0 0.0
	40歳代	127 100.0	5 3.9	46 36.2	52 40.9	24 18.9	0 0.0
	50歳代	152 100.0	1 0.7	44 28.9	62 40.8	44 28.9	1 0.7
	60歳代	155 100.0	3 1.9	55 35.5	64 41.3	32 20.6	1 0.6
	70歳以上	225 100.0	6 2.7	75 33.3	84 37.3	55 24.4	5 2.2
	世帯人数	1人	266 100.0	7 2.6	69 25.9	115 43.2	70 26.3
2人		272 100.0	3 1.1	97 35.7	117 43.0	54 19.9	1 0.4
3人		147 100.0	8 5.4	55 37.4	56 38.1	26 17.7	2 1.4
4人		85 100.0	3 3.5	46 54.1	23 27.1	13 15.3	0 0.0
5人以上		50 100.0	2 4.0	22 44.0	14 28.0	11 22.0	1 2.0
地域(地区別)		北部	172 100.0	7 4.1	59 34.3	73 42.4	31 18.0
	東部	142 100.0	7 4.9	49 34.5	49 34.5	35 24.6	2 1.4
	中央	160 100.0	3 1.9	46 28.8	69 43.1	39 24.4	3 1.9
	南部	186 100.0	4 2.2	78 41.9	68 36.6	36 19.4	0 0.0
	西部	156 100.0	2 1.3	55 35.3	65 41.7	32 20.5	2 1.3
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	5 1.6	122 38.9	115 36.6	69 22.0
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	12 4.1	92 31.6	121 41.6	62 21.3	4 1.4
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	4 2.2	67 36.4	75 40.8	37 20.1	1 0.5
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	0 0.0	5 23.8	12 57.1	4 19.0	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	0 0.0	3 37.5	3 37.5	2 25.0	0 0.0
その他		2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	0 0.0	16 39.0	15 36.6	9 22.0
	1年以上～3年未満	89 100.0	4 4.5	37 41.6	34 38.2	12 13.5	2 2.2
	3年以上～10年未満	176 100.0	5 2.8	63 35.8	73 41.5	34 19.3	1 0.6
	10年以上～20年未満	131 100.0	5 3.8	40 30.5	52 39.7	34 26.0	0 0.0
	20年以上	384 100.0	9 2.3	133 34.6	152 39.6	85 22.1	5 1.3

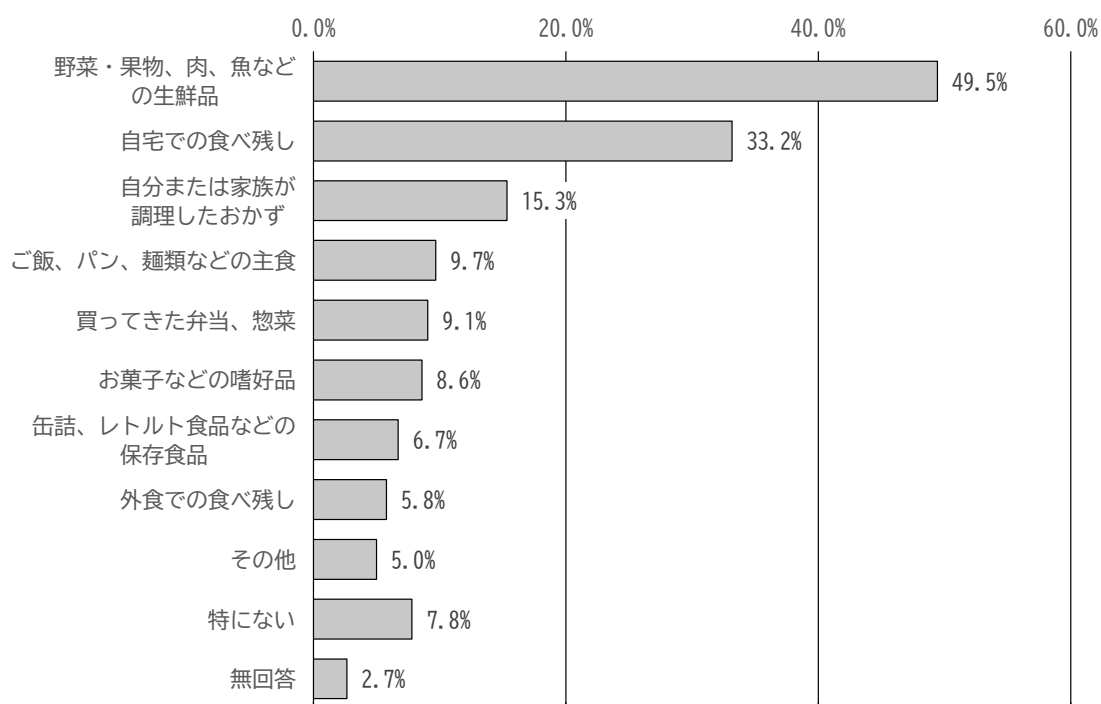
※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

カ 廃棄した食品について

廃棄した食品について、「野菜・果物、肉、魚などの生鮮品」が49.5%で最も多く、次いで「自宅での食べ残し」が33.2%、「自分または家族が調理したおかず」が15.3%などの順である。

【その他の主な意見】

- お寿司に付いてきたガリ・わさび。
- いただき物（どう使えば良いか分からない食品等）。
- 飲料水の飲み残し。
- お弁当などの食べられない物（野菜など）。
- 調味料。



総数：823（複数回答）

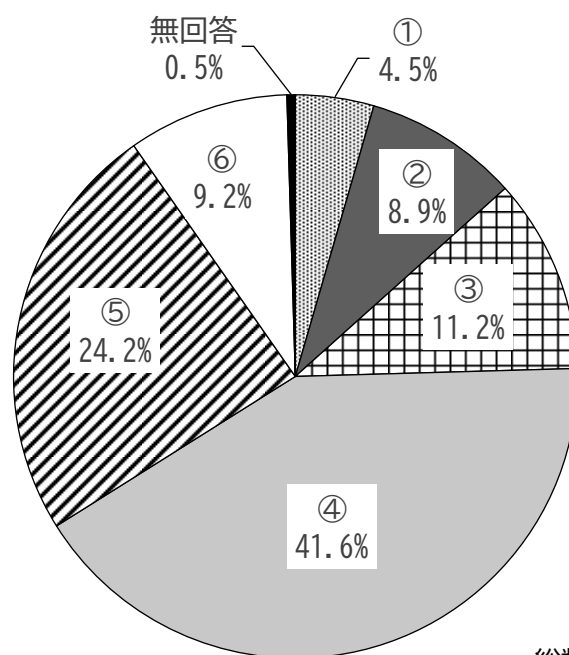
図 4-3-9 廃棄した食品

(5) レジ袋有料化

有料化後のレジ袋の購入の変化について、「④80%くらい減った」が41.5%で最も多く、次いで「⑤100%減った」が24.2%、「③半分くらい減った」が11.2%、「②20%くらい減った」が8.9%と、「減った」と回答している割合の合計が85.9%である。

年齢別では、年齢が高いほど「⑤100%減った」が多い。

選択肢	割合
① 減っていない	4.5%
② 20%くらい減った	8.9%
③ 半分くらい減った	11.2%
④ 80%くらい減った	41.6%
⑤ 100%減った	24.2%
有料化になる以前からレジ袋はもらったり買ったりしないようにしている	9.2%
無回答	0.5%



総数：823

図 4-3-10 レジ袋有料化

表 4-3-6 レジ袋有料化(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問5 レジ袋有料化後のレジ袋をもらったり買ったりする枚数							
		減っていない	20%くらい減った	半分くらい減った	80%くらい減った	100%減った	有料化になる以前からレジ袋はもらったり買ったりしないようにしている	無回答	
全体	823 100.0	37 4.5	73 8.9	92 11.2	342 41.6	199 24.2	76 9.2	4 0.5	
年齢	30歳未満	53 100.0	7 13.2	10 18.9	5 9.4	23 43.4	6 11.3	2 3.8	0 0.0
	30歳代	108 100.0	6 5.6	17 15.7	24 22.2	41 38.0	13 12.0	7 6.5	0 0.0
	40歳代	127 100.0	6 4.7	10 7.9	18 14.2	55 43.3	27 21.3	10 7.9	1 0.8
	50歳代	152 100.0	5 3.3	7 4.6	16 10.5	79 52.0	33 21.7	12 7.9	0 0.0
	60歳代	155 100.0	3 1.9	12 7.7	11 7.1	71 45.8	43 27.7	15 9.7	0 0.0
	70歳以上	225 100.0	10 4.4	15 6.7	18 8.0	73 32.4	77 34.2	30 13.3	2 0.9
	世帯人数	1人	266 100.0	22 8.3	35 13.2	31 11.7	90 33.8	59 22.2	28 10.5
2人		272 100.0	8 2.9	19 7.0	27 9.9	117 43.0	77 28.3	22 8.1	2 0.7
3人		147 100.0	6 4.1	10 6.8	21 14.3	63 42.9	34 23.1	13 8.8	0 0.0
4人		85 100.0	1 1.2	4 4.7	7 8.2	46 54.1	18 21.2	9 10.6	0 0.0
5人以上		50 100.0	0 0.0	4 8.0	6 12.0	25 50.0	11 22.0	4 8.0	0 0.0
地域(地区別)		北部	172 100.0	9 5.2	16 9.3	15 8.7	65 37.8	47 27.3	18 10.5
	東部	142 100.0	6 4.2	20 14.1	15 10.6	54 38.0	34 23.9	12 8.5	1 0.7
	中央	160 100.0	3 1.9	14 8.8	18 11.3	67 41.9	42 26.3	16 10.0	0 0.0
	南部	186 100.0	12 6.5	11 5.9	23 12.4	79 42.5	47 25.3	14 7.5	0 0.0
	西部	156 100.0	7 4.5	11 7.1	20 12.8	74 47.4	29 18.6	15 9.6	0 0.0
住居の種類	一戸建て	314 100.0	10 3.2	13 4.1	38 12.1	123 39.2	95 30.3	35 11.1	0 0.0
	居住者がごみ出しする共同住宅	291 100.0	21 7.2	37 12.7	38 13.1	117 40.2	50 17.2	27 9.3	1 0.3
	管理人がごみ出しする共同住宅	184 100.0	6 3.3	15 8.2	13 7.1	90 48.9	47 25.5	11 6.0	2 1.1
	居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	21 100.0	0 0.0	6 28.6	3 14.3	8 38.1	3 14.3	1 4.8	0 0.0
	管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	8 100.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	2 25.0	3 37.5	2 25.0	0 0.0
	その他	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	1年未満	41 100.0	3 7.3	2 4.9	6 14.6	23 56.1	5 12.2	2 4.9	0 0.0
	1年以上～3年未満	89 100.0	8 9.0	13 14.6	12 13.5	33 37.1	17 19.1	6 6.7	0 0.0
3年以上～10年未満	176 100.0	8 4.5	22 12.5	27 15.3	67 38.1	37 21.0	14 8.0	1 0.6	
10年以上～20年未満	131 100.0	7 5.3	9 6.9	15 11.5	62 47.3	28 21.4	10 7.6	0 0.0	
20年以上	384 100.0	11 2.9	26 6.8	32 8.3	157 40.9	112 29.2	44 11.5	2 0.5	

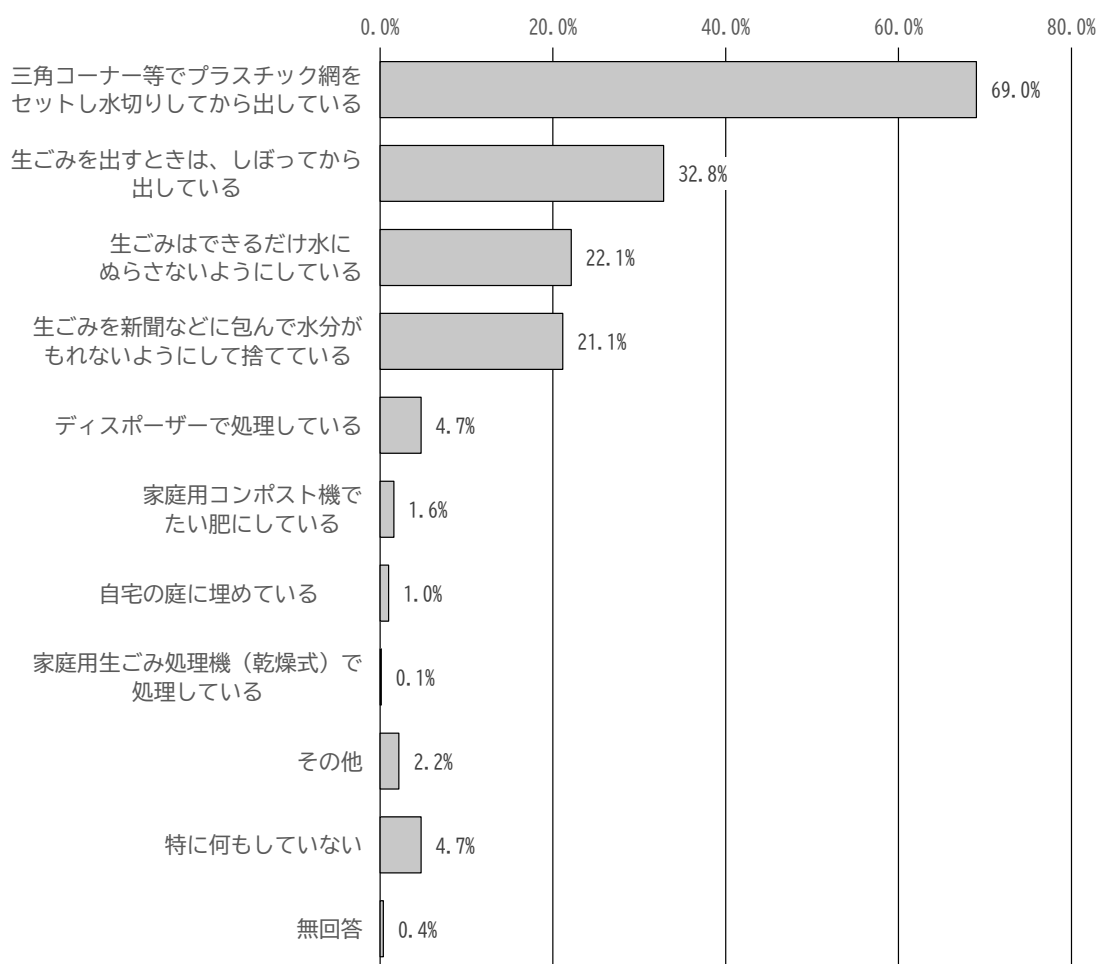
※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

(6) 生ごみの処理

生ごみの処理の仕方について、「三角コーナー等でプラスチック網をセットし水切りしてから出している」が69.0%で最も多く、次いで「生ごみを出すときは、しばってから出している」が32.8%、「生ごみはできるだけ水にぬらさないようにしている」が22.1%などの順である。

【その他の主な意見】

- できるだけ流しから排水溝に流さないようにしている。
- ぼろ布などに包んだり、不要になったちり紙などにくるむ。
- 冷凍庫に入れ収集日に捨てる。
- 一日水気を切ってからごみに出す。
- 生ごみは乾燥させて出している。



総数：823（複数回答）

図 4-3-11 生ごみの処理方法

4 ごみの分別やリサイクル（Recycle）について

(1) ごみや資源の出し方

ア 新聞・折込広告

「④町会・自治会の集団回収」が最も多く43.1%、次いで「①燃やすごみ」が18.7%、「⑧新聞販売店の回収」が12.5%、「⑨ごみや資源として出ない」が9.0%などの順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	18.7%
② 燃やさないごみ	3.9%
③ 資源の集積所回収	-
④ 町会・自治会の集団回収	43.1%
⑤ 区施設の拠点回収	-
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	-
⑦ 自動販売機の回収ボックス	-
⑧ 新聞販売店の回収	12.5%
⑨ ごみや資源として出ない	9.0%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	6.6%
無回答	6.2%

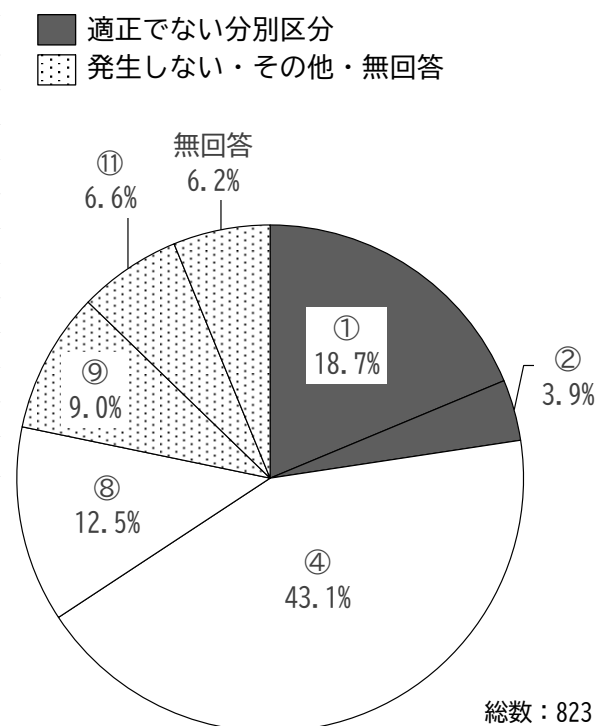


図 4-4-1 新聞・折込広告

イ 雑誌・本

「④町会・自治会の集団回収」が最も多く58.8%、次いで「①燃やすごみ」が10.9%、「⑨ごみや資源として出ない」が9.4%、「②燃やさないごみ」が5.1%の順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	10.9%
② 燃やさないごみ	5.1%
③ 資源の集積所回収	-
④ 町会・自治会の集団回収	58.8%
⑤ 区施設の拠点回収	-
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	-
⑦ 自動販売機の回収ボックス	-
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	9.4%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	8.4%
無回答	7.4%

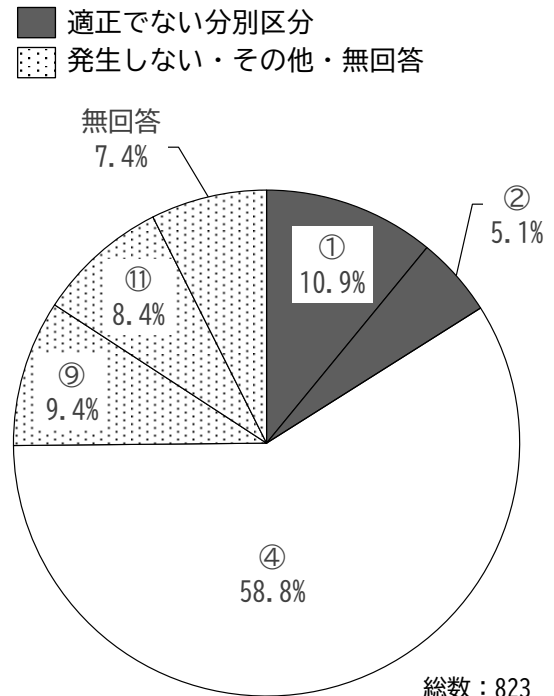


図 4-4-2 雑誌・本

ウ 段ボール

「④町会・自治会の集団回収」が最も多く68.7%、次いで「①燃やすごみ」が7.8%、「②燃やさないごみ」が5.5%、「⑨ごみや資源として出ない」が1.2%の順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	7.8%
② 燃やさないごみ	5.5%
③ 資源の集積所回収	-
④ 町会・自治会の集団回収	68.7%
⑤ 区施設の拠点回収	-
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	-
⑦ 自動販売機の回収ボックス	-
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	1.2%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	9.1%
無回答	7.8%

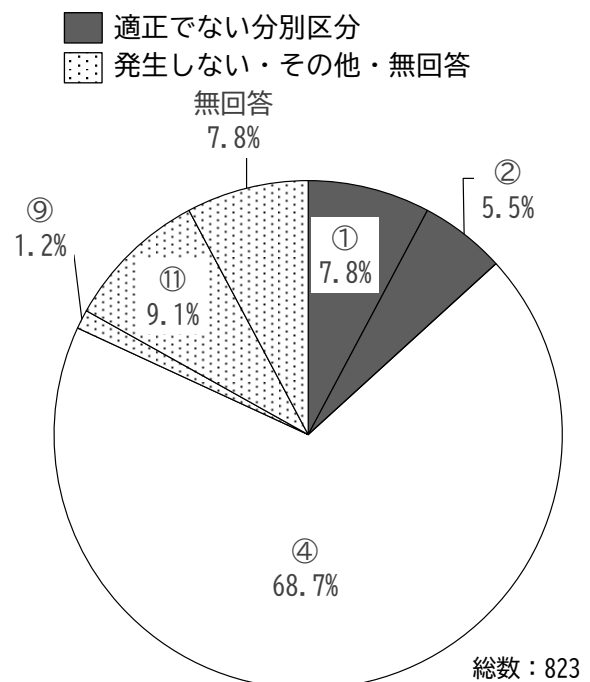


図 4-4-3 段ボール

エ 紙パック

「①燃やすごみ」が最も多く43.9%、次いで「④町会・自治会の集団回収」が20.9%、「⑥販売店の回収・販売店への返却」が13.7%、「⑨ごみや資源として出ない」が3.2%などの順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	43.9%
② 燃やさないごみ	2.9%
③ 資源の集積所回収	-
④ 町会・自治会の集団回収	20.9%
⑤ 区施設の拠点回収	2.6%
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	13.7%
⑦ 自動販売機の回収ボックス	-
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	3.2%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	5.0%
無回答	7.9%

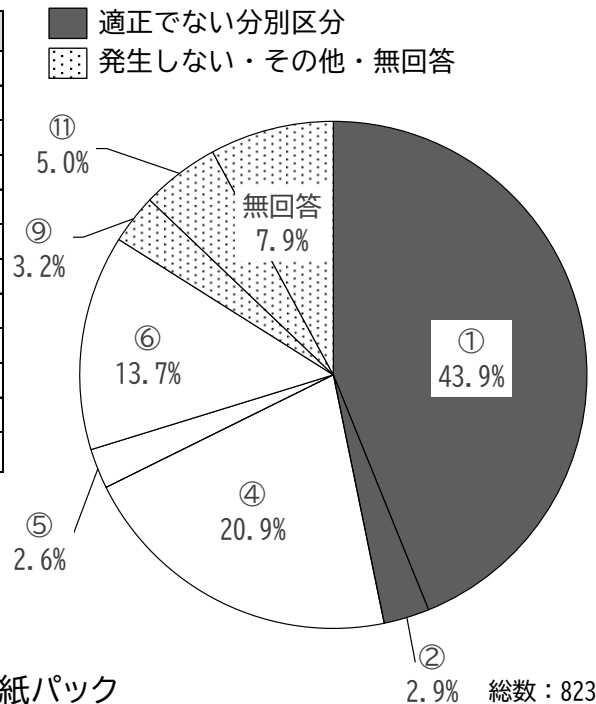


図 4-4-4 紙パック

オ 雑紙

「④町会・自治会の集団回収」が最も多く44.0%、次いで「①燃やすごみ」が32.6%、「②燃やさないごみ」が4.0%、「⑨ごみや資源として出ない」が2.8%の順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	32.6%
② 燃やさないごみ	4.0%
③ 資源の集積所回収	-
④ 町会・自治会の集団回収	44.0%
⑤ 区施設の拠点回収	-
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	-
⑦ 自動販売機の回収ボックス	-
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	2.8%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	5.8%
無回答	10.8%

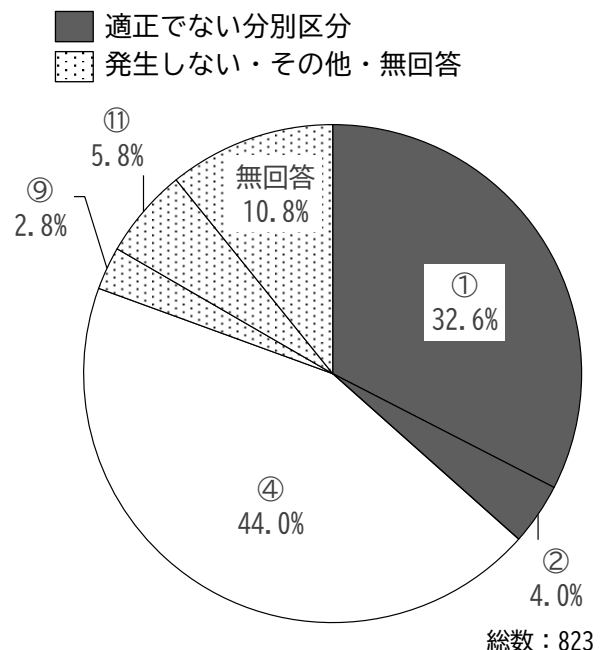


図 4-4-5 雑紙

カ 古着・古布

「①燃やすごみ」が最も多く61.2%、次いで「④町会・自治会の集団回収」が10.0%、「⑨ごみや資源として出ない」が6.8%、「⑥販売店の回収・販売店への返却」が4.3%などの順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	61.2%
② 燃やさないごみ	1.5%
③ 資源の集積所回収	-
④ 町会・自治会の集団回収	10.0%
⑤ 区施設の拠点回収	2.3%
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	4.3%
⑦ 自動販売機の回収ボックス	-
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	6.8%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	5.3%
無回答	8.6%

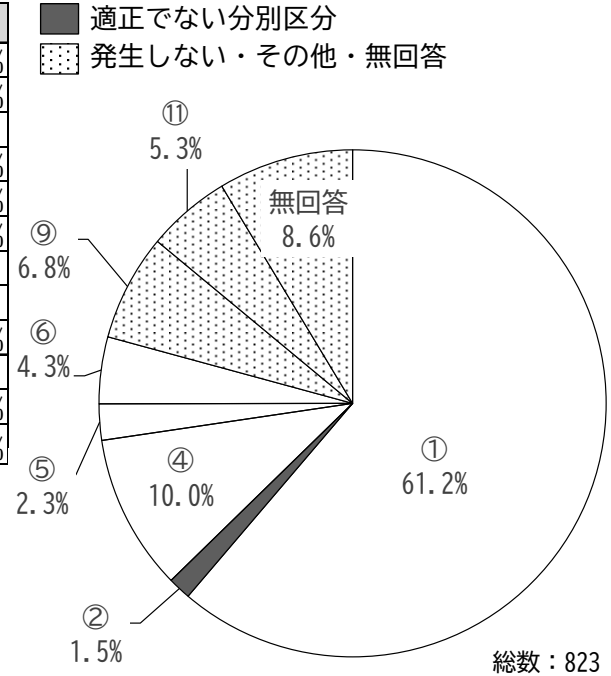


図 4-4-6 古着・古布

キ 生きびん

「③資源の集積所回収」が最も多く70.4%、次いで「⑨ごみや資源として出ない」が7.5%、「②燃やさないごみ」が6.8%、「⑥販売店の回収・販売店への返却」が3.4%などの順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	0.2%
② 燃やさないごみ	6.8%
③ 資源の集積所回収	70.4%
④ 町会・自治会の集団回収	-
⑤ 区施設の拠点回収	-
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	3.4%
⑦ 自動販売機の回収ボックス	0.5%
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	7.5%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	5.1%
無回答	6.1%

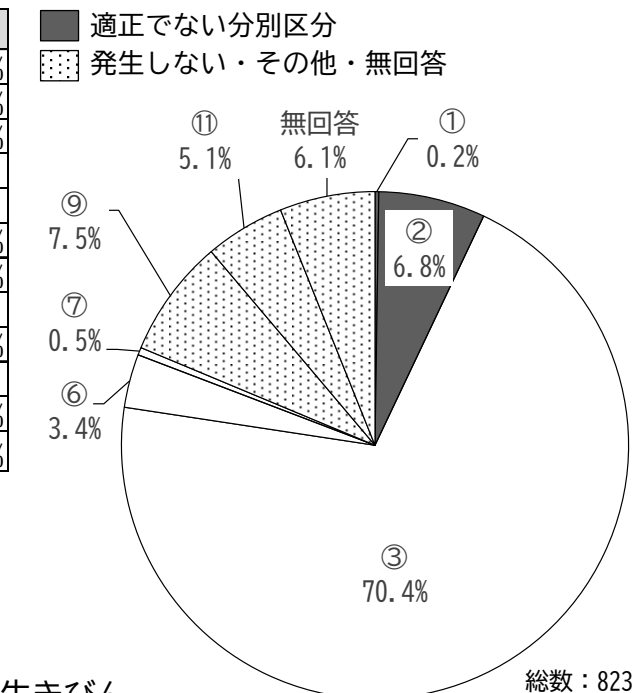


図 4-4-7 生きびん

ク 雑びん

「③資源の集積所回収」が最も多く 74.6%、次いで「②燃やさないごみ」が 13.5%、「⑨ごみや資源として出ない」が 1.6%、「⑦自動販売機の回収ボックス」が 0.6%などの順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	0.2%
② 燃やさないごみ	13.5%
③ 資源の集積所回収	74.6%
④ 町会・自治会の集団回収	-
⑤ 区施設の拠点回収	-
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	0.5%
⑦ 自動販売機の回収ボックス	0.6%
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	1.6%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	3.4%
無回答	5.6%

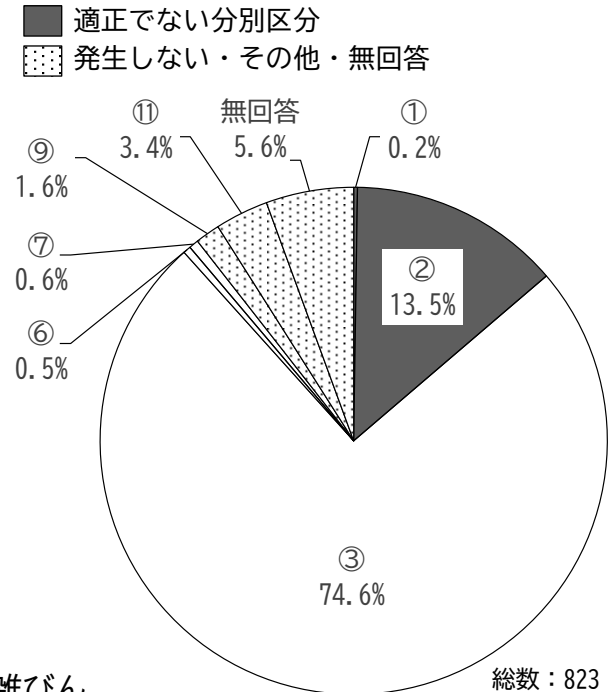


図 4-4-8 雑びん

ケ アルミ缶

「③資源の集積所回収」が最も多く 83.7%、次いで「②燃やさないごみ」が 6.6%、「⑨ごみや資源として出ない」が 1.0%、「⑥販売店の回収・販売店への返却」が 0.5%などの順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	0.2%
② 燃やさないごみ	6.6%
③ 資源の集積所回収	83.7%
④ 町会・自治会の集団回収	-
⑤ 区施設の拠点回収	-
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	0.5%
⑦ 自動販売機の回収ボックス	0.4%
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	1.0%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	3.5%
無回答	4.1%

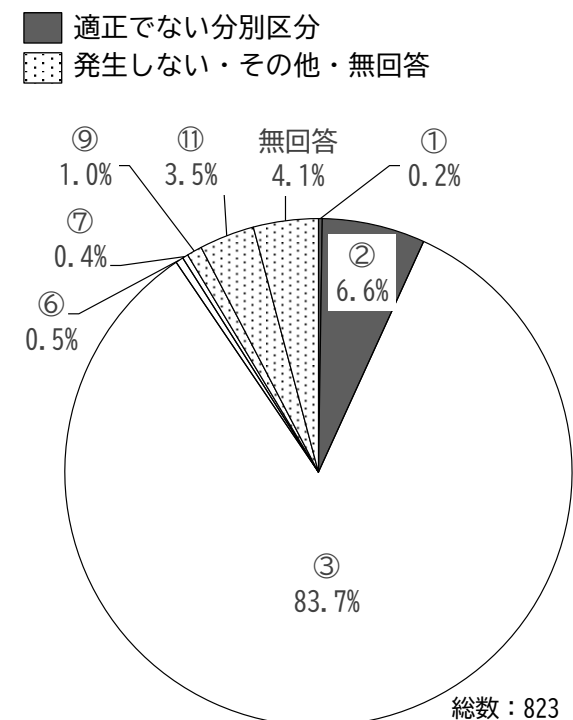


図 4-4-9 アルミ缶

コ スチール缶

「③資源の集積所回収」が最も多く 81.4%、次いで「②燃やさないごみ」が 7.7%、「⑨ごみや資源として出ない」が 1.9%、「⑥販売店の回収・販売店への返却」「⑦自動販売機の回収ボックス」が 0.5%などの順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	0.2%
② 燃やさないごみ	7.7%
③ 資源の集積所回収	81.4%
④ 町会・自治会の集団回収	-
⑤ 区施設の拠点回収	-
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	0.5%
⑦ 自動販売機の回収ボックス	0.5%
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	1.9%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	3.3%
無回答	4.5%

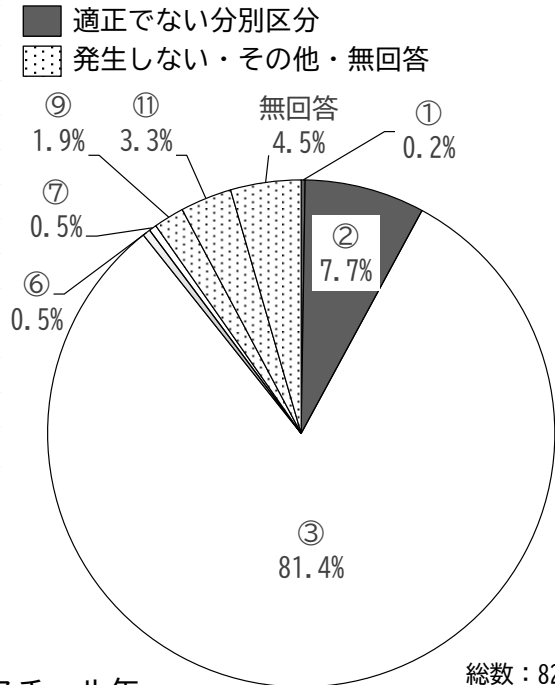


図 4-4-10 スチール缶

サ ペットボトル

「③資源の集積所回収」が最も多く 82.7%、次いで「②燃やさないごみ」が 4.9%、「⑥販売店の回収・販売店への返却」が 3.0%、「⑦自動販売機の回収ボックス」が 1.2%などの順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	1.0%
② 燃やさないごみ	4.9%
③ 資源の集積所回収	82.7%
④ 町会・自治会の集団回収	-
⑤ 区施設の拠点回収	-
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	3.0%
⑦ 自動販売機の回収ボックス	1.2%
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	0.2%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	3.2%
無回答	3.8%

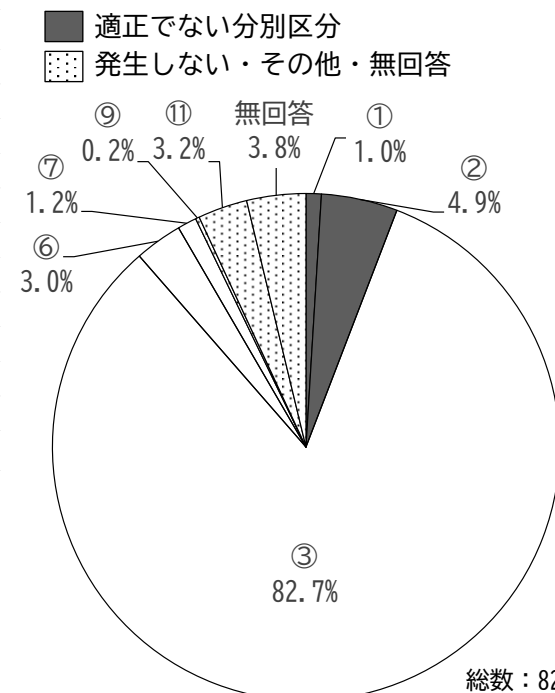


図 4-4-11 ペットボトル

シ ペットボトルキャップ

「③資源の集積所回収」が最も多く 44.6%、次いで「①燃やすごみ」が 18.2%、「②燃やさないごみ」が 13.4%、「⑥販売店の回収・販売店への返却」が 9.7%などの順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	18.2%
② 燃やさないごみ	13.4%
③ 資源の集積所回収	44.6%
④ 町会・自治会の集団回収	-
⑤ 区施設の拠点回収	3.3%
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	9.7%
⑦ 自動販売機の回収ボックス	0.7%
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	0.4%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	4.7%
無回答	5.0%

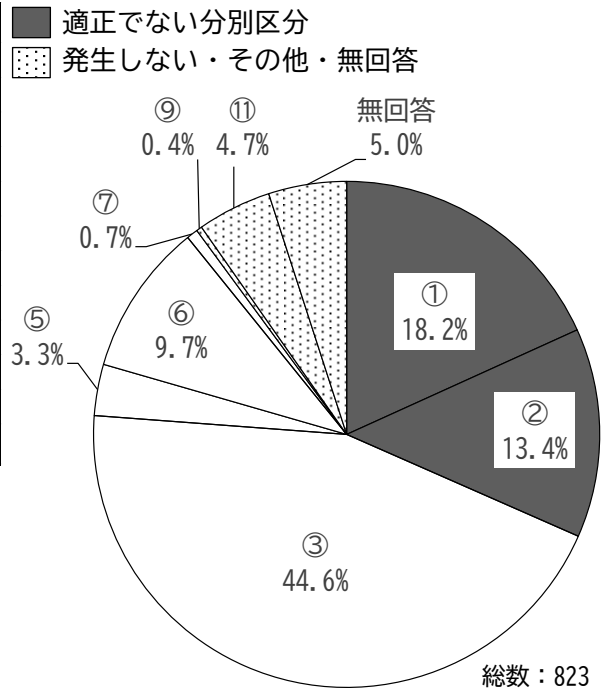


図 4-4-12 ペットボトルキャップ

ス 白色トレイ

「③資源の集積所回収」が最も多く 37.2%、次いで「①燃やすごみ」が 26.2%、「②燃やさないごみ」が 13.0%、「⑥販売店の回収・販売店への返却」が 11.8%などの順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	26.2%
② 燃やさないごみ	13.0%
③ 資源の集積所回収	37.2%
④ 町会・自治会の集団回収	-
⑤ 区施設の拠点回収	-
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	11.8%
⑦ 自動販売機の回収ボックス	-
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	3.2%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	2.7%
無回答	6.0%

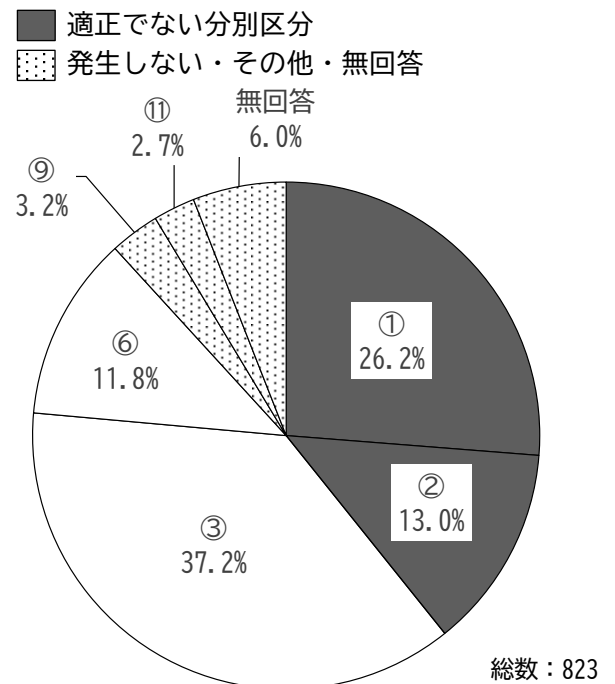


図 4-4-13 白色トレイ

セ 色柄のついたトレイ

「③資源の集積所回収」が最も多く 36.7%、次いで「①燃やすごみ」が 27.7%、「②燃やさないごみ」が 14.3%、「⑥販売店の回収・販売店への返却」が 9.2%などの順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	27.7%
② 燃やさないごみ	14.3%
③ 資源の集積所回収	36.7%
④ 町会・自治会の集団回収	-
⑤ 区施設の拠点回収	-
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	9.2%
⑦ 自動販売機の回収ボックス	-
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	3.4%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	2.3%
無回答	6.3%

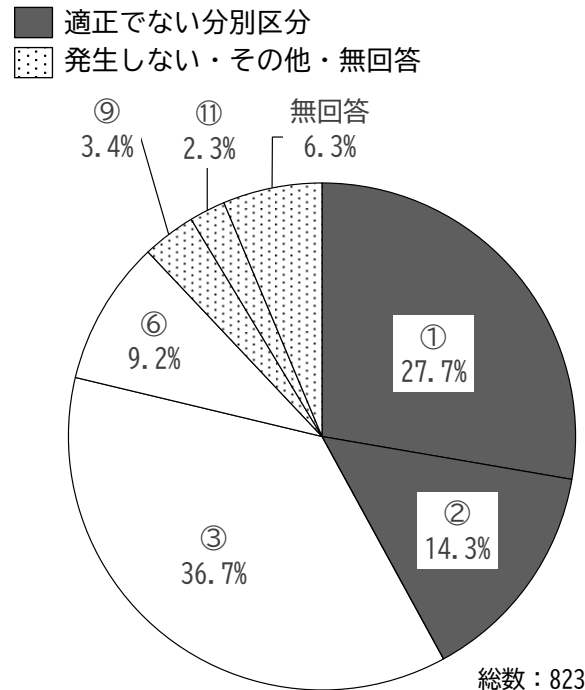


図 4-4-14 色柄のついたトレイ

ソ 製品プラスチック

「③資源の集積所回収」が最も多く 39.6%、次いで「①燃やすごみ」が 30.4%、「②燃やさないごみ」が 19.3%、「⑨ごみや資源として出ない」が 2.4%の順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	30.4%
② 燃やさないごみ	19.3%
③ 資源の集積所回収	39.6%
④ 町会・自治会の集団回収	-
⑤ 区施設の拠点回収	-
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	-
⑦ 自動販売機の回収ボックス	-
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	2.4%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	2.4%
無回答	5.8%

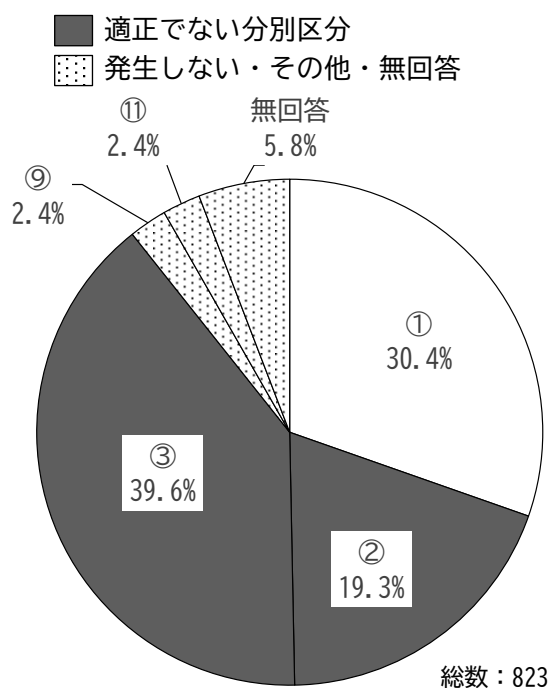


図 4-4-15 製品プラスチック

タ 生ごみ

「①燃やすごみ」が最も多く 92.1%、次いで「⑨ごみや資源として出ない」が 1.2%、「②燃やさないごみ」が 0.6%、「⑩庭に埋めるなどの自家処理」が 0.4% の順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	92.1%
② 燃やさないごみ	0.6%
③ 資源の集積所回収	-
④ 町会・自治会の集団回収	-
⑤ 区施設の拠点回収	-
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	-
⑦ 自動販売機の回収ボックス	-
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	1.2%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	0.4%
⑪ その他	1.1%
無回答	4.6%

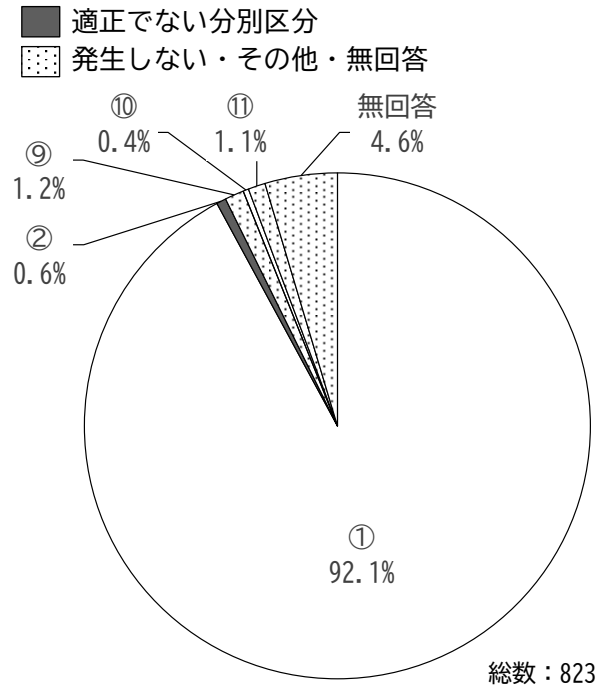


図 4-4-16 生ごみ

チ 廃食油

「①燃やすごみ」が最も多く 61.4%、次いで「⑨ごみや資源として出ない」が 20.2%、「②燃やさないごみ」が 2.8%、「⑤区施設の拠点回収」が 2.2% の順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	61.4%
② 燃やさないごみ	2.8%
③ 資源の集積所回収	-
④ 町会・自治会の集団回収	-
⑤ 区施設の拠点回収	2.2%
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	-
⑦ 自動販売機の回収ボックス	-
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	20.2%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	3.5%
無回答	10.0%

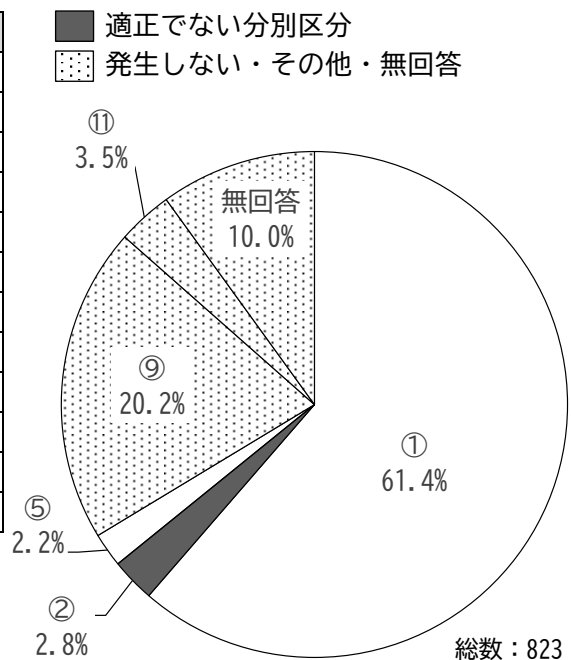


図 4-4-17 廃食油

ツ 木・草類

「①燃やすごみ」が最も多く73.1%、次いで「⑨ごみや資源として出ない」が16.4%、「⑩庭に埋めるなど自家処理」が1.5%、「②燃やさないごみ」が0.9%の順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	73.1%
② 燃やさないごみ	0.9%
③ 資源の集積所回収	-
④ 町会・自治会の集団回収	-
⑤ 区施設の拠点回収	-
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	-
⑦ 自動販売機の回収ボックス	-
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	16.4%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	1.5%
⑪ その他	1.5%
無回答	6.7%

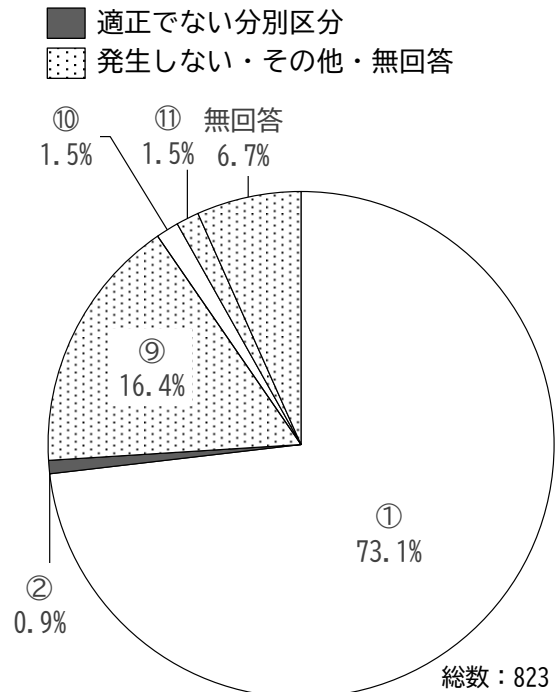


図 4-4-18 木・草類

テ 乾電池

「⑤区施設の拠点回収」が最も多く44.5%、次いで「②燃やさないごみ」が29.4%、「⑥販売店の回収・販売店への返却」が9.2%、「⑨ごみや資源として出ない」が4.4%などの順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	0.6%
② 燃やさないごみ	29.4%
③ 資源の集積所回収	-
④ 町会・自治会の集団回収	-
⑤ 区施設の拠点回収	44.5%
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	9.2%
⑦ 自動販売機の回収ボックス	-
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	4.4%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	6.2%
無回答	5.7%

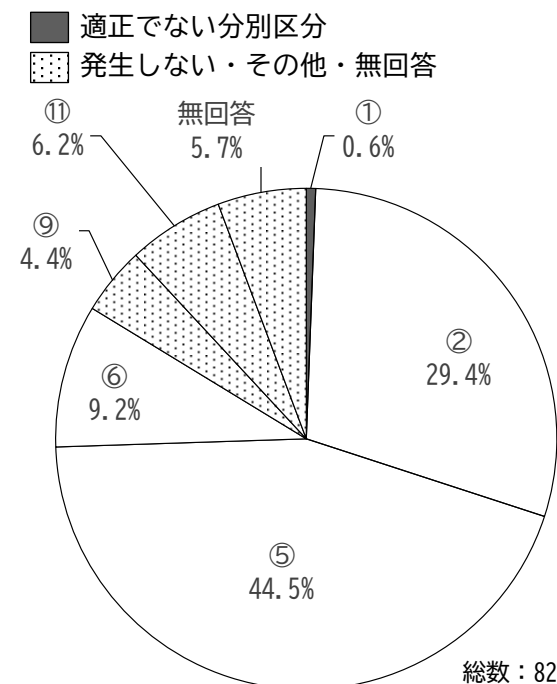


図 4-4-19 乾電池

ト ボタン電池

「②燃やさないごみ」が最も多く34.0%、次いで「⑥販売店の回収・販売店への返却」が33.0%、「⑨ごみや資源として出ない」が13.2%、「①燃やすごみ」が0.7%の順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	0.7%
② 燃やさないごみ	34.0%
③ 資源の集積所回収	-
④ 町会・自治会の集団回収	-
⑤ 区施設の拠点回収	-
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	33.0%
⑦ 自動販売機の回収ボックス	-
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	13.2%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	9.6%
無回答	9.4%

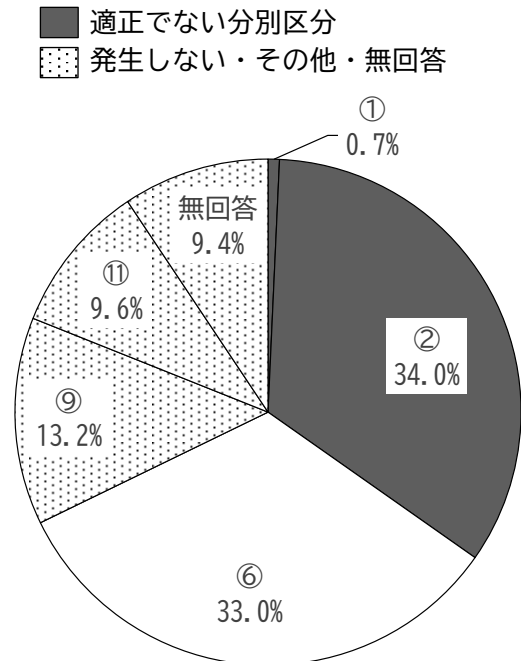


図 4-4-20 ボタン電池

ナ 充電式の電池

「②燃やさないごみ」が最も多く32.1%、次いで「⑥販売店の回収・販売店への返却」が28.4%、「⑨ごみや資源として出ない」が21.0%、「①燃やすごみ」が0.6%の順である。

選択肢	割合
① 燃やすごみ	0.6%
② 燃やさないごみ	32.1%
③ 資源の集積所回収	-
④ 町会・自治会の集団回収	-
⑤ 区施設の拠点回収	-
⑥ 販売店の回収・販売店への返却	28.4%
⑦ 自動販売機の回収ボックス	-
⑧ 新聞販売店の回収	-
⑨ ごみや資源として出ない	21.0%
⑩ 庭に埋めるなど自家処理	-
⑪ その他	8.4%
無回答	9.5%

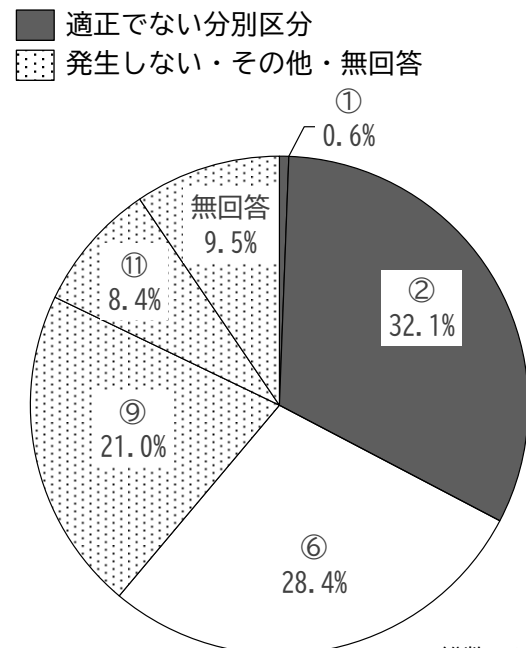
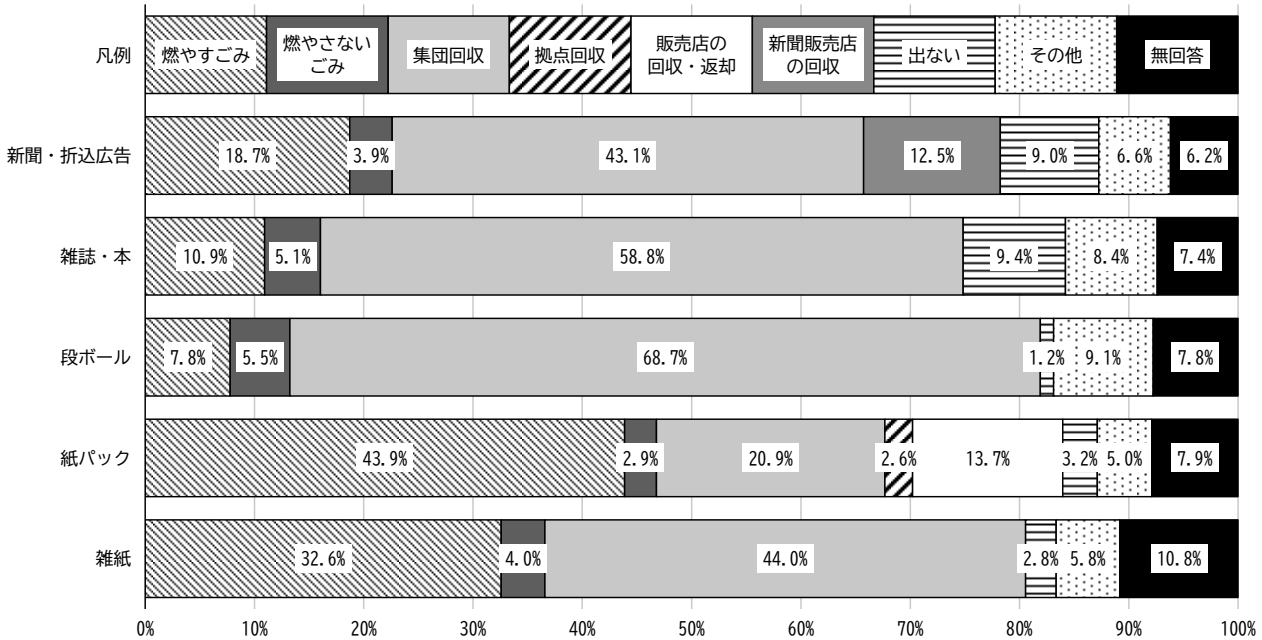


図 4-4-21 充電式の電池

■処分方法まとめ

ア 古紙の処分方法

新聞・折込広告、雑誌・本、段ボールと比較して、紙パックと雑紙はごみとして捨てられている割合が高い。

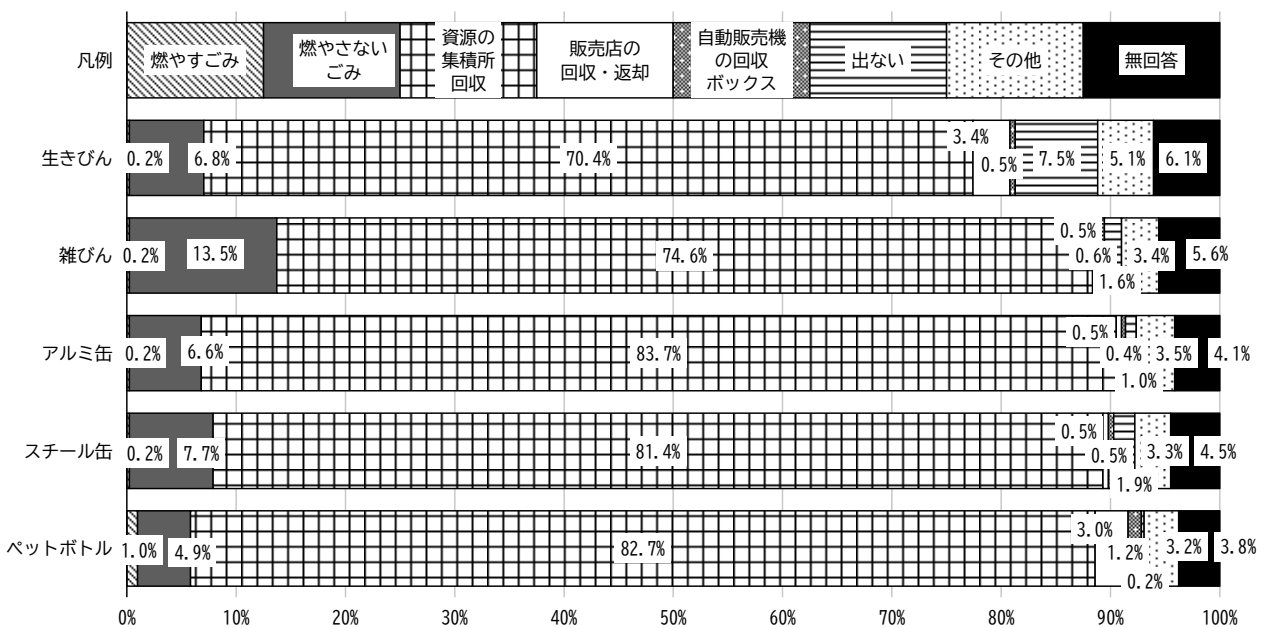


総数：823

図 4-4-22 古紙の処分方法(選択肢統合)

イ びん・缶・ペットボトルの処分方法

雑びんが燃やさないごみとして捨てられている割合が高い。

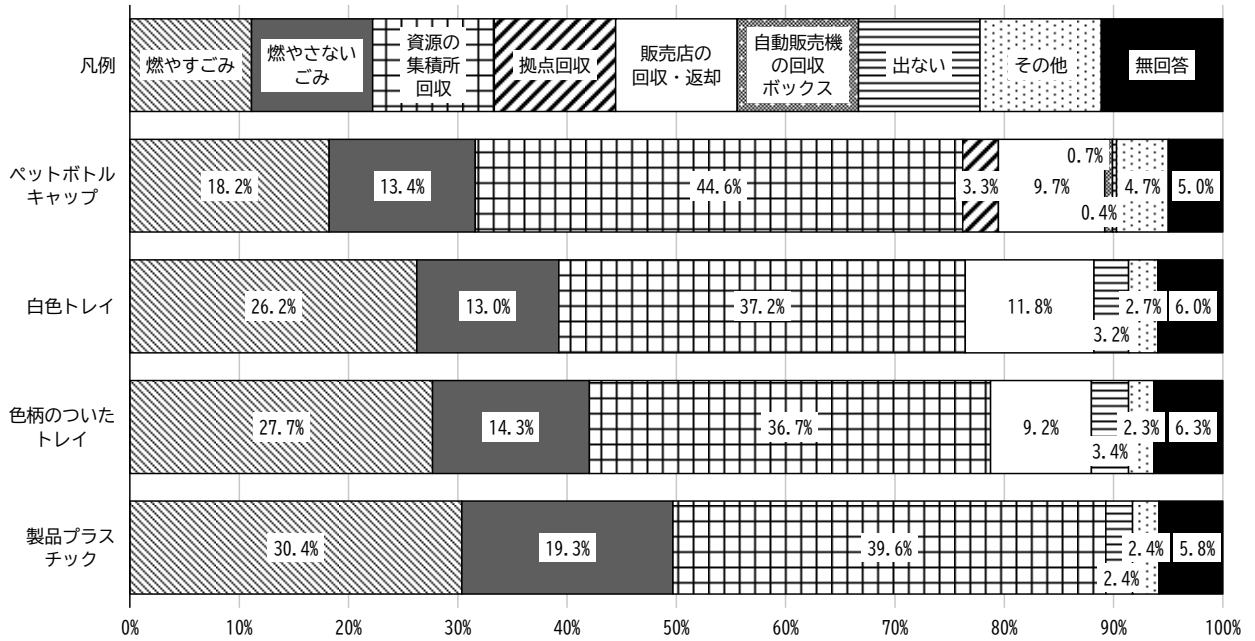


総数：823

図 4-4-23 びん・缶・ペットボトルの処分方法(選択肢統合)

ウ プラスチックの処分方法

プラスチック製容器包装、製品プラスチックともごみとして捨てられている割合が高い。

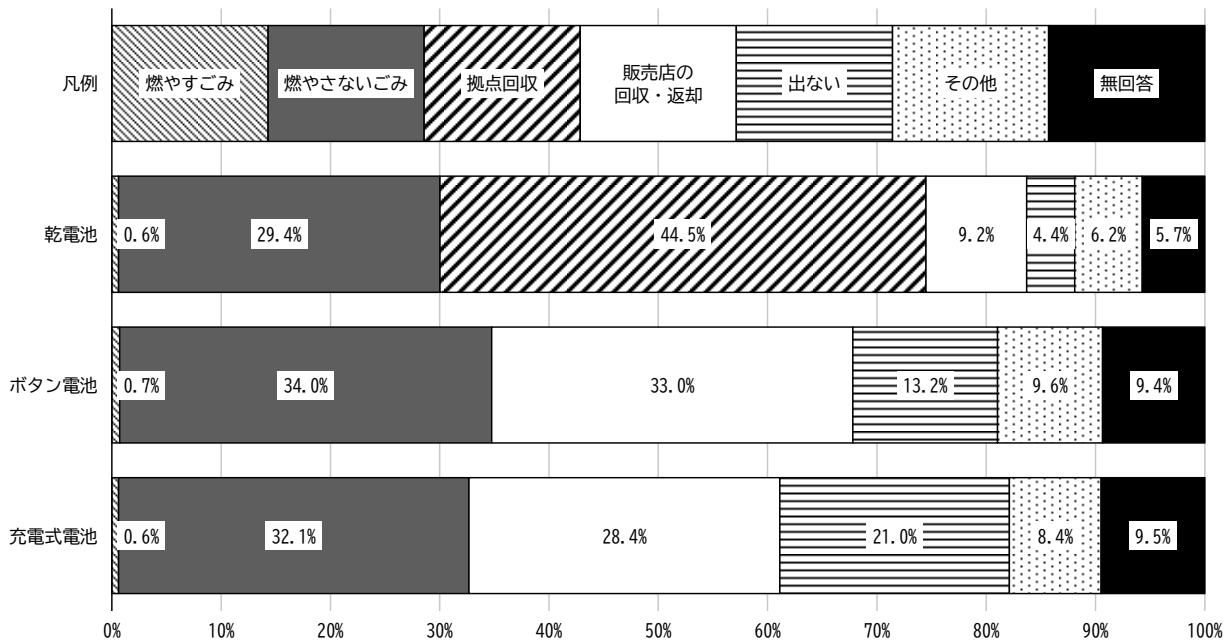


総数：823

図 4-4-24 プラスチックの処分方法(選択肢統合)

エ 電池の処分方法

乾電池、ボタン電池、充電式電池とも燃やさないごみが3割程度を占めている。



総数：823

図 4-4-25 電池の処分方法(選択肢統合)

(2) 容器包装プラスチックと製品プラスチックの資源回収について

ア 容器包装プラスチックの分別

容器包装プラスチックの分別について、「②代表的な（分別しやすい）ものを分別している」が最も多く 36.9%、次いで「①『資源とごみの分け方・出し方』などで確認して、細かく分別している」が 36.8%、「③分別方法がわからないので、燃やすごみに出している」が 15.4%などの順である。

年齢別では、60 歳代、70 歳以上で「①『資源とごみの分け方・出し方』などで確認して、細かく分別している」が多く、30 歳代、30 歳未満では少ない。

世帯人数別では、2人世帯、3人世帯で「①『資源とごみの分け方・出し方』などで確認して、細かく分別している」が多い。1人世帯では「③分別方法がわからないので、燃やすごみに出している」が多い。

選択肢	割合
① 『資源とごみの分け方・出し方』などで確認して、細かく分別している	36.8%
② 代表的な（分別しやすい）ものを分別している	36.9%
③ 分別方法がわからないので、燃やすごみに出している	15.4%
④ 分別方法がわからないので、燃やさないごみに出している	5.3%
⑤ 分別を意識したことはない	2.1%
⑥ その他	1.3%
無回答	2.1%

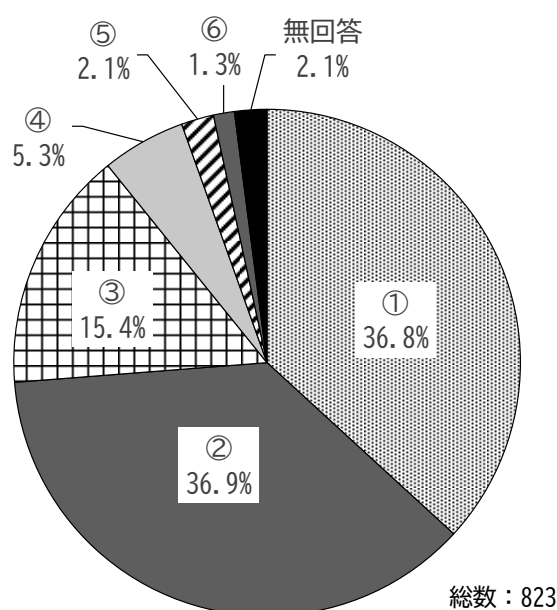


図 4-4-26 容器包装プラスチックの分別

表 4-4-1 容器包装プラスチックの分別(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問8 (1) 容器包装プラスチックの分別						その他	無回答
			『資源とごみの分け方・出し方』などで確認して、細かく分別している	代表的な(分別しやすい)ものを分別している	分別方法がわからないので、燃やすごみに出している	分別方法がわからないので、燃やさないごみに出している	分別を意識したことはない			
全体		823 100.0	303 36.8	304 36.9	127 15.4	44 5.3	17 2.1	11 1.3	17 2.1	
年齢	30歳未満	53 100.0	8 15.1	26 49.1	12 22.6	3 5.7	3 5.7	1 1.9	0 0.0	
	30歳代	108 100.0	21 19.4	49 45.4	21 19.4	7 6.5	6 5.6	1 0.9	3 2.8	
	40歳代	127 100.0	39 30.7	51 40.2	23 18.1	8 6.3	2 1.6	3 2.4	1 0.8	
	50歳代	152 100.0	55 36.2	67 44.1	20 13.2	5 3.3	4 2.6	0 0.0	1 0.7	
	60歳代	155 100.0	79 51.0	43 27.7	20 12.9	7 4.5	2 1.3	2 1.3	2 1.3	
	70歳以上	225 100.0	100 44.4	68 30.2	30 13.3	14 6.2	0 0.0	4 1.8	9 4.0	
世帯人数	1人	266 100.0	70 26.3	100 37.6	60 22.6	14 5.3	8 3.0	7 2.6	7 2.6	
	2人	272 100.0	119 43.8	96 35.3	31 11.4	13 4.8	5 1.8	2 0.7	6 2.2	
	3人	147 100.0	67 45.6	48 32.7	17 11.6	11 7.5	3 2.0	1 0.7	0 0.0	
	4人	85 100.0	29 34.1	37 43.5	13 15.3	2 2.4	1 1.2	1 1.2	2 2.4	
	5人以上	50 100.0	17 34.0	23 46.0	5 10.0	4 8.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	
地域(地区別)	北部	172 100.0	64 37.2	53 30.8	29 16.9	12 7.0	2 1.2	4 2.3	8 4.7	
	東部	142 100.0	61 43.0	41 28.9	20 14.1	9 6.3	4 2.8	6 4.2	1 0.7	
	中央	160 100.0	61 38.1	64 40.0	25 15.6	5 3.1	4 2.5	0 0.0	1 0.6	
	南部	186 100.0	68 36.6	74 39.8	31 16.7	7 3.8	3 1.6	1 0.5	2 1.1	
	西部	156 100.0	48 30.8	69 44.2	21 13.5	11 7.1	3 1.9	0 0.0	4 2.6	
住居の種類	一戸建て	314 100.0	144 45.9	103 32.8	37 11.8	16 5.1	4 1.3	2 0.6	8 2.5	
	居住者がごみ出しする共同住宅	291 100.0	87 29.9	119 40.9	50 17.2	17 5.8	8 2.7	3 1.0	7 2.4	
	管理人がごみ出しする共同住宅	184 100.0	64 34.8	67 36.4	32 17.4	11 6.0	4 2.2	5 2.7	1 0.5	
	居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	21 100.0	6 28.6	9 42.9	4 19.0	0 0.0	1 4.8	1 4.8	0 0.0	
	管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	8 100.0	1 12.5	5 62.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	その他	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	居住年数	41 100.0	9 22.0	22 53.7	7 17.1	0 0.0	2 4.9	0 0.0	0 0.0	1 2.4
1年以上～3年未満	89 100.0	20 22.5	37 41.6	17 19.1	7 7.9	5 5.6	2 2.2	1 1.1		
3年以上～10年未満	176 100.0	64 36.4	61 34.7	33 18.8	8 4.5	5 2.8	2 1.1	3 1.7		
10年以上～20年未満	131 100.0	39 29.8	58 44.3	19 14.5	8 6.1	2 1.5	4 3.1	1 0.8		
20年以上	384 100.0	171 44.5	126 32.8	50 13.0	21 5.5	3 0.8	3 0.8	10 2.6		

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

イ 製品プラスチックの分別収集

製品プラスチックの分別収集について、「①実施すべきである」が 42.3%、「③分別収集に必要な費用（税金）と、得られる効果のバランスで決めるべきである」が 33.0%である。「②実施すべきではない」は 4.0%と少ない。

年齢別では、60 歳代、70 歳以上で「①実施すべきである」が、30 歳代で「③分別収集に必要な費用（税金）と、得られる効果のバランスで決めるべきである」が多い。

世帯人数別では、5 人以上世帯では「①実施すべきである」が多く、「③分別収集に必要な費用（税金）と、得られる効果のバランスで決めるべきである」が少ない。

住居の種類では、居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅では「①実施すべきである」が少ない。

選択肢	割合
① 実施すべきである	42.3%
② 実施すべきではない	4.0%
③ 分別収集に必要な費用（税金）と、得られる効果のバランスで決めるべきである	33.0%
④ どちらともいえない・わからない	16.9%
⑤ その他	0.9%
無回答	2.9%

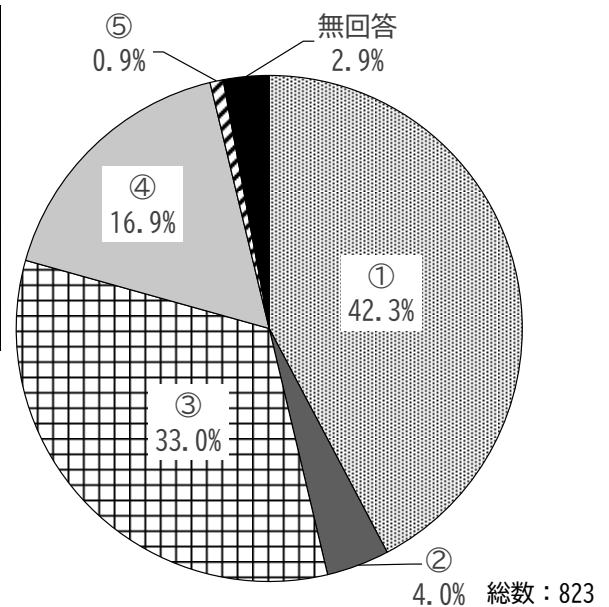


図 4-4-27 製品プラスチックの分別収集

表 4-4-2 製品プラスチックの分別収集(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問8(2) 製品プラスチックの分別収集について					無回答
			実施すべきである	実施すべきではない	分別収集に必要な費用(税金)と、得られる効果のバランスで決めるべきである	どちらともいえない・わからない	その他	
全体		823 100.0	348 42.3	33 4.0	272 33.0	139 16.9	7 0.9	24 2.9
年齢	30歳未満	53 100.0	21 39.6	5 9.4	20 37.7	7 13.2	0 0.0	0 0.0
	30歳代	108 100.0	35 32.4	8 7.4	47 43.5	16 14.8	0 0.0	2 1.9
	40歳代	127 100.0	44 34.6	4 3.1	49 38.6	27 21.3	1 0.8	2 1.6
	50歳代	152 100.0	60 39.5	5 3.3	58 38.2	26 17.1	1 0.7	2 1.3
	60歳代	155 100.0	78 50.3	4 2.6	46 29.7	22 14.2	2 1.3	3 1.9
	70歳以上	225 100.0	108 48.0	7 3.1	52 23.1	41 18.2	3 1.3	14 6.2
	世帯人数	1人	266 100.0	94 35.3	12 4.5	90 33.8	55 20.7	4 1.5
2人		272 100.0	129 47.4	13 4.8	89 32.7	32 11.8	2 0.7	7 2.6
3人		147 100.0	64 43.5	3 2.0	51 34.7	27 18.4	0 0.0	2 1.4
4人		85 100.0	33 38.8	4 4.7	31 36.5	15 17.6	0 0.0	2 2.4
5人以上		50 100.0	27 54.0	1 2.0	11 22.0	9 18.0	1 2.0	1 2.0
地域(地区別)	北部	172 100.0	69 40.1	7 4.1	63 36.6	24 14.0	2 1.2	7 4.1
	東部	142 100.0	68 47.9	8 5.6	38 26.8	23 16.2	1 0.7	4 2.8
	中央	160 100.0	65 40.6	6 3.8	61 38.1	26 16.3	1 0.6	1 0.6
	南部	186 100.0	83 44.6	9 4.8	51 27.4	37 19.9	2 1.1	4 2.2
	西部	156 100.0	58 37.2	3 1.9	58 37.2	29 18.6	1 0.6	7 4.5
住居の種類	一戸建て	314 100.0	149 47.5	9 2.9	89 28.3	54 17.2	2 0.6	11 3.5
	居住者がごみ出しする共同住宅	291 100.0	101 34.7	17 5.8	108 37.1	51 17.5	5 1.7	9 3.1
	管理人がごみ出しする共同住宅	184 100.0	87 47.3	6 3.3	63 34.2	25 13.6	0 0.0	3 1.6
	居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	21 100.0	4 19.0	1 4.8	8 38.1	8 38.1	0 0.0	0 0.0
	管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	8 100.0	3 37.5	0 0.0	4 50.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0
	その他	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住年数	1年未満	41 100.0	12 29.3	6 14.6	14 34.1	9 22.0	0 0.0	0 0.0
	1年以上～3年未満	89 100.0	38 42.7	3 3.4	31 34.8	14 15.7	0 0.0	3 3.4
	3年以上～10年未満	176 100.0	63 35.8	10 5.7	69 39.2	31 17.6	0 0.0	3 1.7
	10年以上～20年未満	131 100.0	56 42.7	4 3.1	42 32.1	24 18.3	3 2.3	2 1.5
	20年以上	384 100.0	178 46.4	10 2.6	116 30.2	61 15.9	4 1.0	15 3.9

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

ウ 製品プラスチックの排出方法

製品プラスチックの排出方法について、「①容器包装プラスチックと同じ袋で排出」が41.6%、「②容器包装プラスチックとは別の回収日に排出」が22.5%である。

年齢別では、年齢が高いほど「②容器包装プラスチックとは別の回収日に排出」が多い傾向がある。30歳未満、30歳代では「①容器包装プラスチックと同じ袋で排出」が多い。

選択肢	割合
① 容器包装プラスチックと同じ袋で排出	41.6%
② 容器包装プラスチックとは別の回収日に排出	22.5%
③ どちらともいえない・わからない	30.3%
④ その他	2.4%
無回答	3.3%

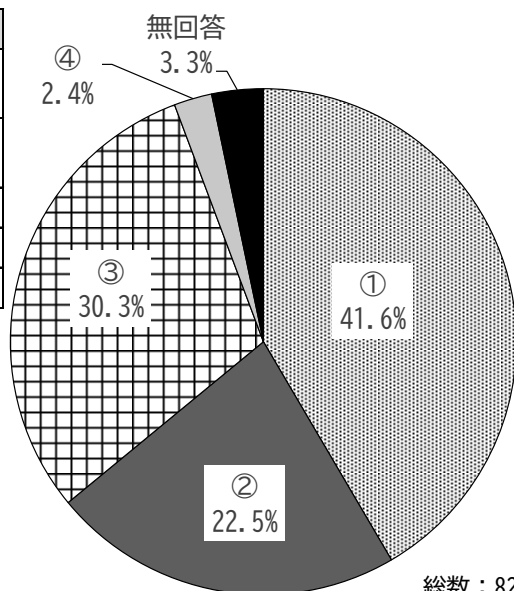


図 4-4-28 製品プラスチックの排出方法

表 4-4-3 製品プラスチックの排出方法(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問 8 (3) 製品プラスチックの排出方法				無回答
			容器包装プラスチックと同じ袋で排出	容器包装プラスチックは別の回収日に排出	どちらともいえない・わからない	その他	
全体		823 100.0	342 41.6	185 22.5	249 30.3	20 2.4	27 3.3
年齢	30歳未満	53 100.0	33 62.3	5 9.4	15 28.3	0 0.0	0 0.0
	30歳代	108 100.0	65 60.2	7 6.5	33 30.6	1 0.9	2 1.9
	40歳代	127 100.0	48 37.8	24 18.9	47 37.0	5 3.9	3 2.4
	50歳代	152 100.0	68 44.7	28 18.4	50 32.9	5 3.3	1 0.7
	60歳代	155 100.0	52 33.5	47 30.3	47 30.3	6 3.9	3 1.9
	70歳以上	225 100.0	75 33.3	73 32.4	57 25.3	3 1.3	17 7.6
	世帯人数	1人	266 100.0	114 42.9	49 18.4	83 31.2	9 3.4
2人		272 100.0	119 43.8	73 26.8	69 25.4	4 1.5	7 2.6
3人		147 100.0	57 38.8	40 27.2	45 30.6	2 1.4	3 2.0
4人		85 100.0	35 41.2	13 15.3	33 38.8	2 2.4	2 2.4
5人以上		50 100.0	17 34.0	9 18.0	18 36.0	3 6.0	3 6.0
地域(地区別)		北部	172 100.0	68 39.5	33 19.2	58 33.7	7 4.1
	東部	142 100.0	61 43.0	37 26.1	34 23.9	4 2.8	6 4.2
	中央	160 100.0	68 42.5	39 24.4	49 30.6	1 0.6	3 1.9
	南部	186 100.0	78 41.9	36 19.4	61 32.8	7 3.8	4 2.2
	西部	156 100.0	65 41.7	38 24.4	45 28.8	1 0.6	7 4.5
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	118 37.6	86 27.4	91 29.0	6 1.9
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	137 47.1	52 17.9	82 28.2	9 3.1	11 3.8
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	73 39.7	41 22.3	63 34.2	5 2.7	2 1.1
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	9 42.9	2 9.5	10 47.6	0 0.0	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	3 37.5	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0
その他		2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	21 51.2	7 17.1	13 31.7	0 0.0
	1年以上～3年未満	89 100.0	44 49.4	18 20.2	22 24.7	2 2.2	3 3.4
	3年以上～10年未満	176 100.0	82 46.6	25 14.2	60 34.1	5 2.8	4 2.3
	10年以上～20年未満	131 100.0	53 40.5	28 21.4	45 34.4	4 3.1	1 0.8
	20年以上	384 100.0	142 37.0	106 27.6	109 28.4	9 2.3	18 4.7

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

(3) 資源の拠点回収

ア 使用済小型家電回収ボックス

使用済小型家電回収ボックスについて、「③知らない」が54.6%で最も多く、半数以上が知らないと回答している。「②知っているが利用したことはない」が25.0%、「①利用したことがある」が18.8%である。

年齢別では、年齢の高いほうが「①利用したことがある」、年齢の低いほうが「③知らない」が多い傾向がある。

世帯人数別では、5人以上世帯で「①利用したことがある」が多く、1人世帯では「③知らない」が多い。

選択肢	割合
① 利用したことがある	18.8%
② 知っているが利用したことはない	25.0%
③ 知らない	54.6%
無回答	1.6%

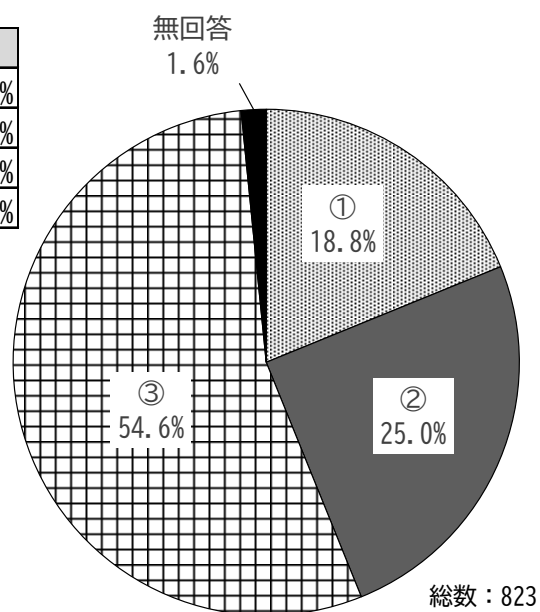


図 4-4-29 使用済小型家電回収ボックス

表 4-4-4 使用済小型家電回収ボックス(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問9 (1) 使用済小型家電回収ボックス				
		利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答	
全体	823 100.0	155 18.8	206 25.0	449 54.6	13 1.6	
年齢	30歳未満	53 100.0	2 3.8	13 24.5	38 71.7	0 0.0
	30歳代	108 100.0	14 13.0	28 25.9	65 60.2	1 0.9
	40歳代	127 100.0	24 18.9	27 21.3	75 59.1	1 0.8
	50歳代	152 100.0	31 20.4	44 28.9	76 50.0	1 0.7
	60歳代	155 100.0	31 20.0	45 29.0	78 50.3	1 0.6
	70歳以上	225 100.0	53 23.6	49 21.8	115 51.1	8 3.6
	世帯人数	1人	266 100.0	44 16.5	57 21.4	160 60.2
2人		272 100.0	51 18.8	72 26.5	144 52.9	5 1.8
3人		147 100.0	26 17.7	45 30.6	76 51.7	0 0.0
4人		85 100.0	18 21.2	19 22.4	47 55.3	1 1.2
5人以上		50 100.0	16 32.0	13 26.0	20 40.0	1 2.0
地域(地区別)		北部	172 100.0	22 12.8	45 26.2	101 58.7
	東部	142 100.0	29 20.4	41 28.9	71 50.0	1 0.7
	中央	160 100.0	34 21.3	45 28.1	80 50.0	1 0.6
	南部	186 100.0	38 20.4	39 21.0	107 57.5	2 1.1
	西部	156 100.0	28 17.9	36 23.1	88 56.4	4 2.6
住居の種類	一戸建て	314 100.0	79 25.2	81 25.8	147 46.8	7 2.2
	居住者がごみ出しする共同住宅	291 100.0	39 13.4	69 23.7	179 61.5	4 1.4
	管理人がごみ出しする共同住宅	184 100.0	30 16.3	47 25.5	106 57.6	1 0.5
	居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	21 100.0	5 23.8	5 23.8	11 52.4	0 0.0
	管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	8 100.0	1 12.5	3 37.5	4 50.0	0 0.0
	その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	居住年数	1年未満	41 100.0	2 4.9	8 19.5	31 75.6
1年以上～3年未満		89 100.0	12 13.5	30 33.7	46 51.7	1 1.1
3年以上～10年未満		176 100.0	34 19.3	34 19.3	105 59.7	3 1.7
10年以上～20年未満		131 100.0	24 18.3	35 26.7	71 54.2	1 0.8
20年以上		384 100.0	83 21.6	99 25.8	195 50.8	7 1.8

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

イ 乾電池回収ボックス

乾電池回収ボックスについて、「③知らない」が39.7%と最も多く、約4割が知らないと回答している。「①利用したことがある」が38.9%、「②知っているが利用したことはない」が19.9%である。

年齢別では、年齢の高いほうが「①利用したことがある」、年齢の低いほうが「③知らない」が多い傾向がある。

世帯人数別では、5人以上世帯で「①利用したことがある」が多く、1人世帯では「③知らない」が多い。

選択肢	割合
① 利用したことがある	38.9%
② 知っているが利用したことはない	19.9%
③ 知らない	39.7%
無回答	1.5%

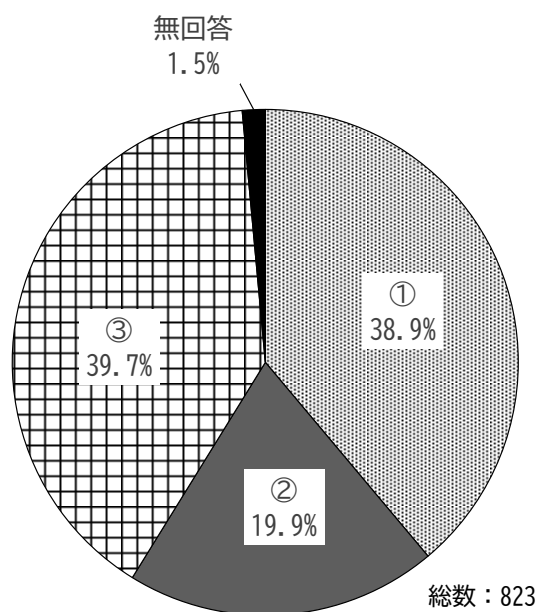


図 4-4-30 乾電池回収ボックス

表 4-4-5 乾電池回収ボックス(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問9 (2) 乾電池回収ボックス			
			利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	無回答
全体		823 100.0	320 38.9	164 19.9	327 39.7	12 1.5
年齢	30歳未満	53 100.0	7 13.2	11 20.8	35 66.0	0 0.0
	30歳代	108 100.0	21 19.4	31 28.7	55 50.9	1 0.9
	40歳代	127 100.0	45 35.4	24 18.9	57 44.9	1 0.8
	50歳代	152 100.0	60 39.5	36 23.7	55 36.2	1 0.7
	60歳代	155 100.0	76 49.0	33 21.3	46 29.7	0 0.0
	70歳以上	225 100.0	111 49.3	29 12.9	77 34.2	8 3.6
	世帯人数	1人	266 100.0	80 30.1	52 19.5	131 49.2
2人		272 100.0	104 38.2	52 19.1	110 40.4	6 2.2
3人		147 100.0	69 46.9	32 21.8	46 31.3	0 0.0
4人		85 100.0	38 44.7	18 21.2	28 32.9	1 1.2
5人以上		50 100.0	28 56.0	10 20.0	11 22.0	1 2.0
地域(地区別)		北部	172 100.0	44 25.6	45 26.2	80 46.5
	東部	142 100.0	63 44.4	27 19.0	51 35.9	1 0.7
	中央	160 100.0	69 43.1	34 21.3	57 35.6	0 0.0
	南部	186 100.0	72 38.7	31 16.7	80 43.0	3 1.6
	西部	156 100.0	68 43.6	27 17.3	57 36.5	4 2.6
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	165 52.5	55 17.5	88 28.0
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	93 32.0	60 20.6	134 46.0	4 1.4
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	47 25.5	44 23.9	92 50.0	1 0.5
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	11 52.4	3 14.3	7 33.3	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	2 25.0	2 25.0	4 50.0	0 0.0
その他		2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	6 14.6	10 24.4	25 61.0
	1年以上～3年未満	89 100.0	20 22.5	29 32.6	39 43.8	1 1.1
	3年以上～10年未満	176 100.0	56 31.8	33 18.8	85 48.3	2 1.1
	10年以上～20年未満	131 100.0	55 42.0	28 21.4	47 35.9	1 0.8
	20年以上	384 100.0	183 47.7	64 16.7	130 33.9	7 1.8

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

5 区の情報発信について

(1) 区からの情報提供

『資源とごみの分け方・出し方』など目黒区発行のパンフレット・チラシが最も多く45.2%、次いで「めぐろ区報」が43.5%、「目黒区ホームページ」が36.2%、「町会回覧・掲示板ポスター」が25.8%などの順である。

年齢別では、60歳代、70歳以上で「めぐろ区報」が多く、その他の年代では『資源とごみの分け方・出し方』など目黒区発行のパンフレット・チラシや「目黒区ホームページ」が多い。30歳未満は30歳代～60歳代と比較して「目黒区ホームページ」が少ない。

住居の種類別では、居住者がごみ出しする共同住宅、管理人がごみ出しする共同住宅で「町会回覧・掲示板ポスター」が少ない。

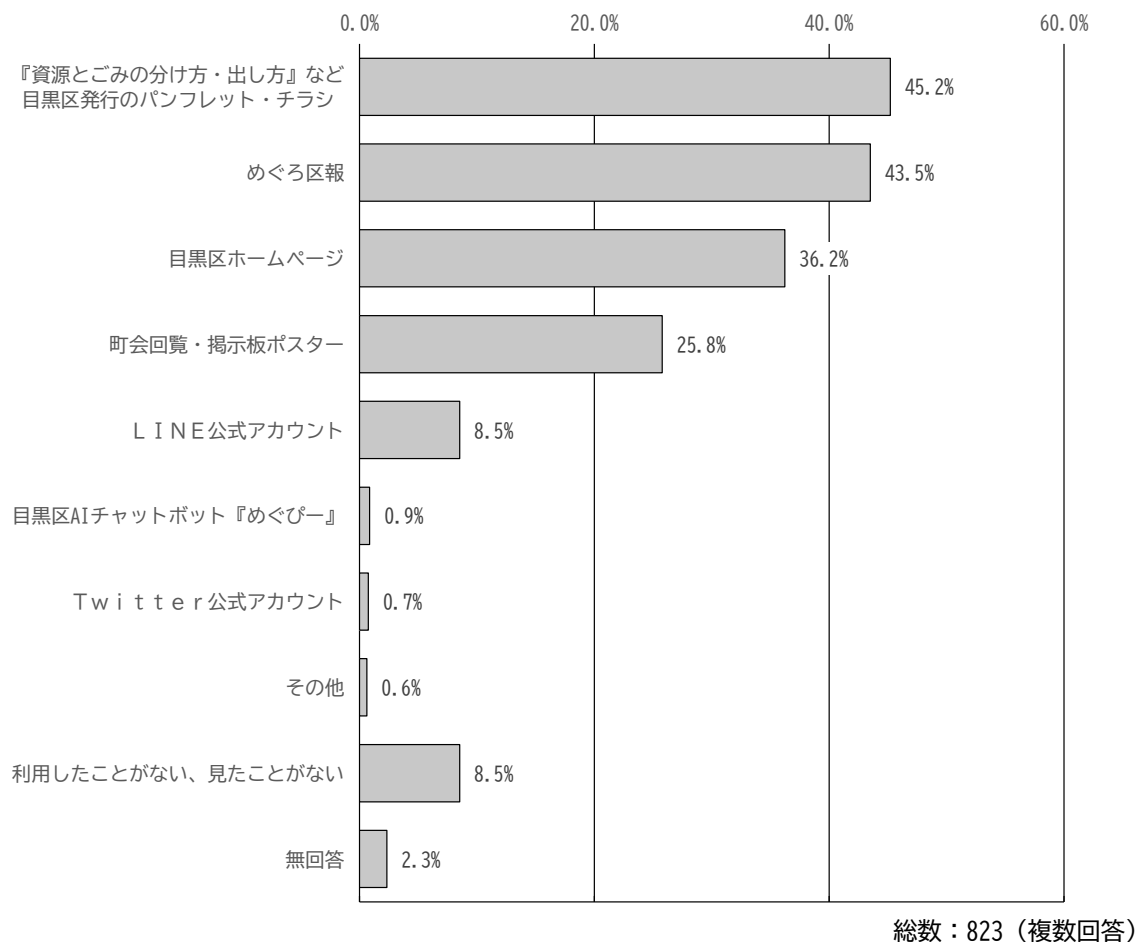


図 4-5-1 区からの情報提供

表 4-5-1 区からの情報提供(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問10(1) 利用したことのある区の情報提供										
		『資源とごみの分け方・出し方』など目黒区発行のパンフレット・チラシ	めぐろ区報	目黒区ホームページ	町会回覧・掲示板ポスター	LINE公式アカウント	目黒区AIチャットボット『めぐびー』	Twitter公式アカウント	その他	利用したことがない、見たことがない	無回答	
全体	823 100.0	372 45.2	358 43.5	298 36.2	212 25.8	70 8.5	7 0.9	6 0.7	5 0.6	70 8.5	19 2.3	
年齢	30歳未満	53 100.0	19 35.8	11 20.8	15 28.3	5 9.4	5 9.4	1 1.9	1 1.9	0 0.0	13 24.5	2 3.8
	30歳代	108 100.0	21 19.4	29 26.9	47 43.5	21 19.4	10 9.3	2 1.9	3 2.8	0 0.0	20 18.5	1 0.9
	40歳代	127 100.0	49 38.6	35 27.6	64 50.4	29 22.8	10 7.9	1 0.8	1 0.8	2 1.6	14 11.0	1 0.8
	50歳代	152 100.0	70 46.1	61 40.1	71 46.7	25 16.4	15 9.9	1 0.7	1 0.7	1 0.7	8 5.3	1 0.7
	60歳代	155 100.0	83 53.5	89 57.4	61 39.4	46 29.7	18 11.6	2 1.3	0 0.0	1 0.6	8 5.2	1 0.6
	70歳以上	225 100.0	130 57.8	133 59.1	38 16.9	86 38.2	12 5.3	0 0.0	0 0.0	1 0.4	7 3.1	12 5.3
	世帯人数	1人	266 100.0	127 47.7	95 35.7	90 33.8	54 20.3	21 7.9	1 0.4	1 0.4	1 0.4	24 9.0
2人		272 100.0	121 44.5	124 45.6	101 37.1	67 24.6	29 10.7	3 1.1	3 1.1	3 1.1	30 11.0	7 2.6
3人		147 100.0	66 44.9	77 52.4	57 38.8	50 34.0	6 4.1	1 0.7	0 0.0	1 0.7	9 6.1	0 0.0
4人		85 100.0	34 40.0	34 40.0	28 32.9	29 34.1	9 10.6	1 1.2	1 1.2	0 0.0	7 8.2	2 2.4
5人以上		50 100.0	23 46.0	28 56.0	21 42.0	12 24.0	5 10.0	1 2.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	2 4.0
地域(地区別)		北部	172 100.0	79 45.9	80 46.5	58 33.7	43 25.0	18 10.5	2 1.2	2 1.2	0 0.0	15 8.7
	東部	142 100.0	62 43.7	59 41.5	48 33.8	34 23.9	18 12.7	2 1.4	4 2.8	2 1.4	15 10.6	3 2.1
	中央	160 100.0	74 46.3	81 50.6	62 38.8	46 28.8	16 10.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	15 9.4	1 0.6
	南部	186 100.0	86 46.2	67 36.0	78 41.9	48 25.8	9 4.8	1 0.5	0 0.0	1 0.5	11 5.9	4 2.2
	西部	156 100.0	69 44.2	70 44.9	48 30.8	41 26.3	9 5.8	2 1.3	0 0.0	1 0.6	14 9.0	6 3.8
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	152 48.4	181 57.6	96 30.6	124 39.5	19 6.1	3 1.0	0 0.0	1 0.3	15 4.8
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	122 41.9	97 33.3	121 41.6	49 16.8	26 8.9	2 0.7	3 1.0	2 0.7	26 8.9	7 2.4
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	86 46.7	69 37.5	68 37.0	27 14.7	20 10.9	2 1.1	2 1.1	2 1.1	25 13.6	3 1.6
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	9 42.9	8 38.1	8 38.1	8 38.1	4 19.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	2 9.5	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	2 25.0	3 37.5	4 50.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0
その他		2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
1年未満		41 100.0	12 29.3	10 24.4	8 19.5	4 9.8	4 9.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 29.3	1 2.4
1年以上～3年未満		89 100.0	31 34.8	22 24.7	32 36.0	15 16.9	8 9.0	4 4.5	2 2.2	0 0.0	13 14.6	3 3.4
3年以上～10年未満	176 100.0	67 38.1	59 33.5	86 48.9	33 18.8	18 10.2	2 1.1	2 1.1	0 0.0	16 9.1	2 1.1	
10年以上～20年未満	131 100.0	54 41.2	49 37.4	58 44.3	32 24.4	15 11.5	1 0.8	2 1.5	2 1.5	12 9.2	1 0.8	
20年以上	384 100.0	208 54.2	218 56.8	113 29.4	128 33.3	25 6.5	0 0.0	0 0.0	3 0.8	17 4.4	11 2.9	

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

(2) 情報の満足度

「②どちらかといえば十分である」が最も多く43.5%、次いで「③どちらかといえば不十分である」が18.5%、「①十分である」が16.9%などの順である。

年齢別では、50歳代で「①十分である」が多く、30歳未満で「④不十分である」が多い。

居住年数別では、1年未満で「④不十分である」が多い。

選択肢	割合
① 十分である	16.9%
② どちらかといえば十分である	43.5%
③ どちらかといえば不十分である	18.5%
④ 不十分である	5.6%
⑤ あまり利用していないのでわからない	10.0%
⑥ その他	1.7%
無回答	3.9%

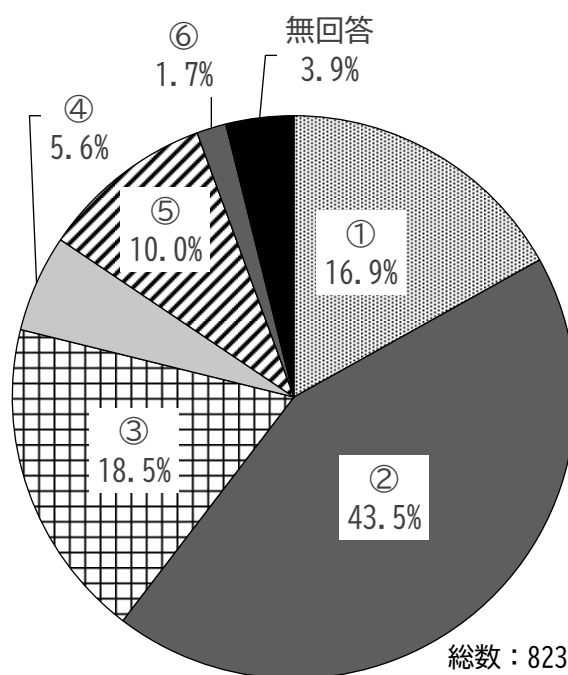


図 4-5-2 区からの情報の満足度

表 4-5-2 区からの情報の満足度(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問10(2) 区が実施している情報提供について							
		十分である	どちらかといえば十分である	どちらかといえば不十分である	不十分である	あまり利用していないのでわからない	その他	無回答	
全体	823 100.0	139 16.9	358 43.5	152 18.5	46 5.6	82 10.0	14 1.7	32 3.9	
年齢	30歳未満	53 100.0	7 13.2	18 34.0	10 18.9	6 11.3	9 17.0	0 0.0	3 5.7
	30歳代	108 100.0	19 17.6	42 38.9	21 19.4	3 2.8	19 17.6	2 1.9	2 1.9
	40歳代	127 100.0	23 18.1	49 38.6	20 15.7	10 7.9	19 15.0	3 2.4	3 2.4
	50歳代	152 100.0	32 21.1	69 45.4	27 17.8	7 4.6	12 7.9	3 2.0	2 1.3
	60歳代	155 100.0	15 9.7	68 43.9	44 28.4	11 7.1	9 5.8	5 3.2	3 1.9
	70歳以上	225 100.0	42 18.7	111 49.3	30 13.3	9 4.0	14 6.2	1 0.4	18 8.0
	世帯人数	1人	266 100.0	39 14.7	125 47.0	36 13.5	19 7.1	31 11.7	5 1.9
2人		272 100.0	48 17.6	109 40.1	64 23.5	12 4.4	27 9.9	4 1.5	8 2.9
3人		147 100.0	24 16.3	68 46.3	30 20.4	8 5.4	10 6.8	3 2.0	4 2.7
4人		85 100.0	18 21.2	36 42.4	10 11.8	5 5.9	12 14.1	0 0.0	4 4.7
5人以上		50 100.0	9 18.0	19 38.0	12 24.0	2 4.0	2 4.0	2 4.0	4 8.0
地域(地区別)		北部	172 100.0	26 15.1	72 41.9	41 23.8	10 5.8	14 8.1	3 1.7
	東部	142 100.0	26 18.3	62 43.7	24 16.9	6 4.2	15 10.6	4 2.8	5 3.5
	中央	160 100.0	28 17.5	77 48.1	25 15.6	9 5.6	15 9.4	1 0.6	5 3.1
	南部	186 100.0	33 17.7	75 40.3	39 21.0	11 5.9	20 10.8	3 1.6	5 2.7
	西部	156 100.0	24 15.4	71 45.5	22 14.1	9 5.8	18 11.5	3 1.9	9 5.8
住居の種類	一戸建て	314 100.0	55 17.5	140 44.6	60 19.1	18 5.7	22 7.0	5 1.6	14 4.5
	居住者がごみ出しする共同住宅	291 100.0	51 17.5	131 45.0	44 15.1	18 6.2	33 11.3	5 1.7	9 3.1
	管理人がごみ出しする共同住宅	184 100.0	23 12.5	77 41.8	40 21.7	10 5.4	23 12.5	4 2.2	7 3.8
	居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	21 100.0	4 19.0	8 38.1	7 33.3	0 0.0	2 9.5	0 0.0	0 0.0
	管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	8 100.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0
	その他	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	居住年数	1年未満	41 100.0	7 17.1	15 36.6	5 12.2	5 12.2	8 19.5	0 0.0
1年以上～3年未満		89 100.0	13 14.6	37 41.6	18 20.2	3 3.4	12 13.5	0 0.0	6 6.7
3年以上～10年未満		176 100.0	29 16.5	79 44.9	33 18.8	7 4.0	19 10.8	4 2.3	5 2.8
10年以上～20年未満		131 100.0	26 19.8	49 37.4	21 16.0	8 6.1	21 16.0	4 3.1	2 1.5
20年以上		384 100.0	63 16.4	178 46.4	75 19.5	23 6.0	22 5.7	6 1.6	17 4.4

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

6 収集回数について

すべての回収品目において「②適当」が最も多く、77.9%~91.9%と高い割合になっており、「③少なすぎる」が3.0%~17.5%、「①多すぎる」が0.1~1.9%にとどまっている。燃やさないごみに関しては、「③少なすぎる」が17.5%とやや多い。

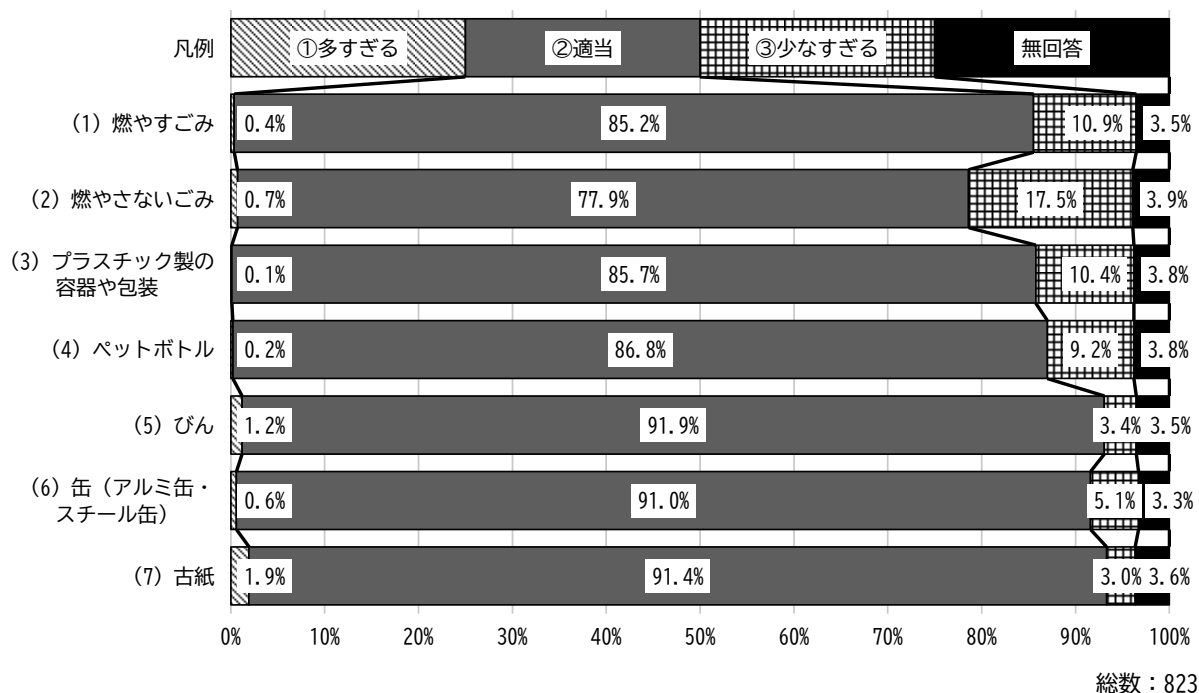


図 4-6-1 収集回数について

7 ごみ集積所について

(1) 困っていること

「特に問題がない」が最も多く 36.8%、次いで「分別のルールを守らない人がいる」が 33.8%、「決められた住民以外の方がごみを捨てていく」が 19.0%、「カラスや猫による被害がある」が 13.6%などの順である。

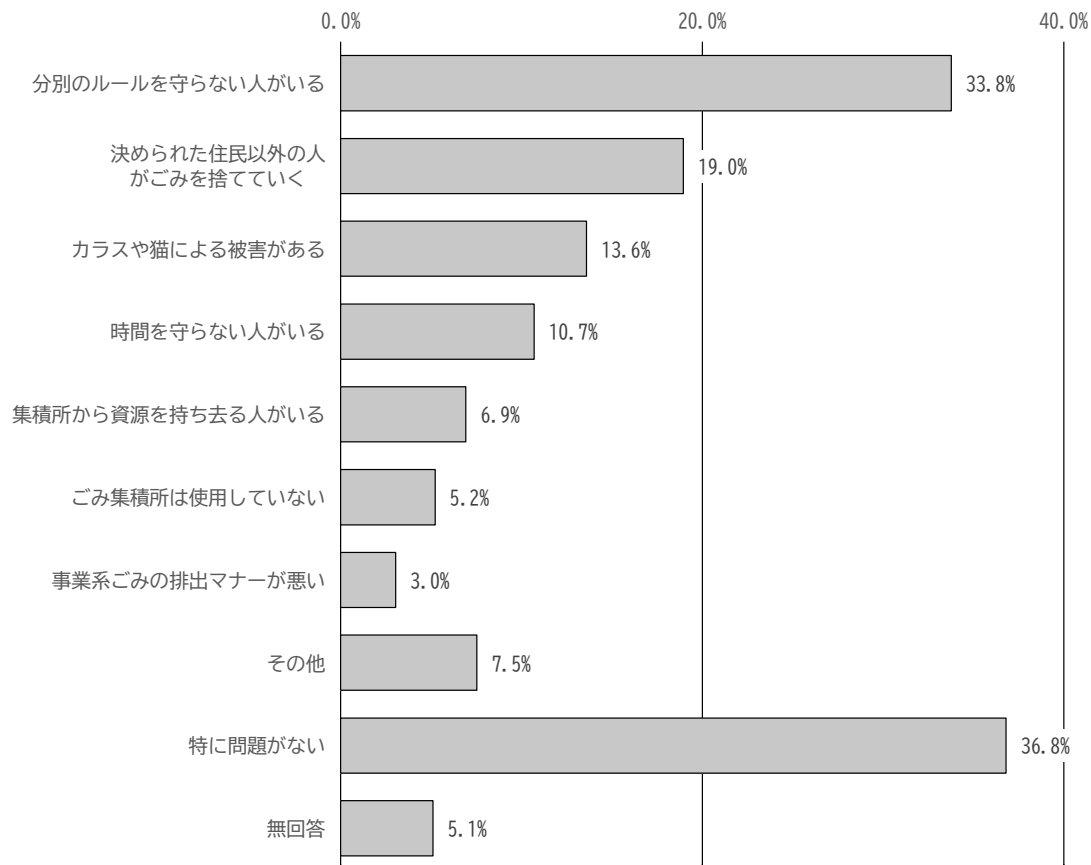


図 4-7-1 困っていること

総数：823（複数回答）

(2) 戸別収集について

「③どちらともいえない・わからない」が最も多く42.8%、次いで「②有料化するなら実施すべきではない」が31.0%、「①有料化してでも実施すべきである」が16.8%の順である。

年齢別では、70歳以上で「①有料化してでも実施すべきである」が多く、30歳未満、50歳代で少ない。30歳未満、30歳代で「②有料化するなら実施すべきではない」が多い。

世帯人数別では、4人世帯、5人以上世帯で「①有料化してでも実施すべきである」が多い。

住居の種類別では、一戸建てで「①有料化してでも実施すべきである」「②有料化するなら実施すべきではない」とともに多い。

選択肢	割合
① 有料化してでも実施すべきである	16.8%
② 有料化するなら実施すべきではない	31.0%
③ どちらともいえない・わからない	42.8%
④ その他	7.0%
無回答	2.4%

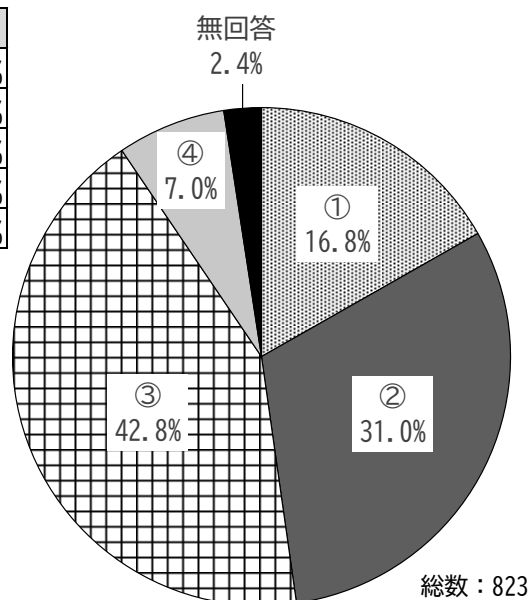


図 4-7-2 戸別収集について

表 4-7-1 戸別収集有料化について(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問13 戸別収集の有料化					無回答
		有料化してでも実施すべきである	有料化するなら実施すべきではない	どちらともいえない・わからない	その他		
全体	823 100.0	138 16.8	255 31.0	352 42.8	58 7.0	20 2.4	
年齢	30歳未満	53 100.0	4 7.5	22 41.5	24 45.3	0 0.0	3 5.7
	30歳代	108 100.0	15 13.9	46 42.6	46 42.6	1 0.9	0 0.0
	40歳代	127 100.0	25 19.7	37 29.1	55 43.3	8 6.3	2 1.6
	50歳代	152 100.0	17 11.2	48 31.6	77 50.7	10 6.6	0 0.0
	60歳代	155 100.0	25 16.1	49 31.6	61 39.4	16 10.3	4 2.6
	70歳以上	225 100.0	51 22.7	53 23.6	88 39.1	23 10.2	10 4.4
	世帯人数	1人	266 100.0	31 11.7	89 33.5	119 44.7	18 6.8
2人		272 100.0	51 18.8	79 29.0	120 44.1	17 6.3	5 1.8
3人		147 100.0	23 15.6	47 32.0	61 41.5	13 8.8	3 2.0
4人		85 100.0	18 21.2	27 31.8	34 40.0	5 5.9	1 1.2
5人以上		50 100.0	14 28.0	13 26.0	17 34.0	5 10.0	1 2.0
地域(地区別)	北部	172 100.0	25 14.5	50 29.1	83 48.3	11 6.4	3 1.7
	東部	142 100.0	31 21.8	46 32.4	47 33.1	15 10.6	3 2.1
	中央	160 100.0	26 16.3	48 30.0	74 46.3	7 4.4	5 3.1
	南部	186 100.0	23 12.4	70 37.6	77 41.4	11 5.9	5 2.7
	西部	156 100.0	32 20.5	38 24.4	70 44.9	13 8.3	3 1.9
住居の種類	一戸建て	314 100.0	63 20.1	105 33.4	109 34.7	28 8.9	9 2.9
	居住者がごみ出しする共同住宅	291 100.0	35 12.0	103 35.4	128 44.0	20 6.9	5 1.7
	管理人がごみ出しする共同住宅	184 100.0	35 19.0	40 21.7	99 53.8	6 3.3	4 2.2
	居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	21 100.0	3 14.3	6 28.6	9 42.9	3 14.3	0 0.0
	管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	8 100.0	1 12.5	1 12.5	6 75.0	0 0.0	0 0.0
	その他	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
	居住年数	1年未満	41 100.0	3 7.3	15 36.6	20 48.8	1 2.4
1年以上～3年未満		89 100.0	9 10.1	34 38.2	43 48.3	1 1.1	2 2.2
3年以上～10年未満		176 100.0	30 17.0	54 30.7	79 44.9	10 5.7	3 1.7
10年以上～20年未満		131 100.0	19 14.5	43 32.8	59 45.0	9 6.9	1 0.8
20年以上		384 100.0	76 19.8	109 28.4	151 39.3	37 9.6	11 2.9

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

8 今後の区の実施について

(1) ごみ収集等に関すること

「①正しい分別やごみ排出ルールを守らない人や事業所への指導」が最も多く 30.0%、次いで「⑥ごみ集積所の環境美化に向けたカラスなどの害獣対策や区民の意識啓発」が 19.8%、「④高齢者などごみを出すことが困難な世帯のごみの運び出し」が 18.2%などの順である。

年齢別では、30歳代で「⑥ごみ集積所の環境美化に向けたカラスなどの害獣対策や区民の意識啓発」が多い。

世帯人数別では、1人世帯で「④高齢者などごみを出すことが困難な世帯のごみの運び出し」が多い。

【その他の主な意見】

- ごみ収集回数と場所を増やす。
- 環境への負荷により有料化するなどメリハリのある対応。
- 使用済小型家電回収ボックスや乾電池回収ボックスを増やしてほしい。
- 違反シールを貼付された、ごみの取扱い。

選択肢	割合
① 正しい分別やごみ排出ルールを守らない人や事業所への指導	30.0%
② 不法投棄防止のための指導や資源物の持ち去りを防止するためのパトロール	7.0%
③ 分別されていないごみの取り残し（ごみ袋への違反内容シールの貼付）	6.4%
④ 高齢者などごみを出すことが困難な世帯のごみの運び出し	18.2%
⑤ 災害時に発生するごみの排出に関する日常的な啓発・指導	7.7%
⑥ ごみ集積所の環境美化に向けたカラスなどの害獣対策や区民の意識啓発	19.8%
⑦ その他	5.5%
無回答	5.3%

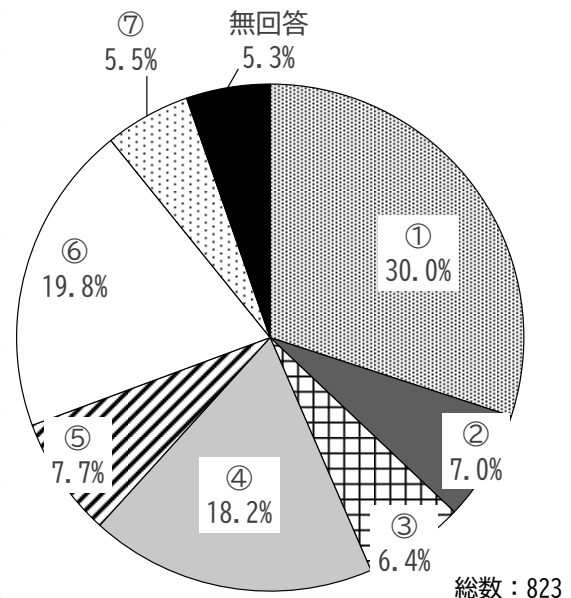


図 4-8-1 ごみ収集等に関すること

表 4-8-1 ごみ収集等に関すること(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問14 ごみ収集等に関することでもっと力を入れてほしいこと								
		正しい分別やごみ排出ルールを守らない人や事業所への指導	不法投棄防止のための指導や資源物の持ち去りを防止するためのパトロール	分別されていないごみの取り残し(ごみ袋への違反内容シールの貼付)	高齢者などごみを出すことが困難な世帯のごみの運び出し	災害時に発生するごみの排出に関する日常的な啓発・指導	ごみ集積所の環境美化に向けたカラースなどの害獣対策や区民の意識啓発	その他	無回答	
全体	823 100.0	247 30.0	58 7.0	53 6.4	150 18.2	63 7.7	163 19.8	45 5.5	44 5.3	
年齢	30歳未満	53 100.0	12 22.6	6 11.3	3 5.7	13 24.5	5 9.4	8 15.1	2 3.8	4 7.5
	30歳代	108 100.0	28 25.9	8 7.4	5 4.6	18 16.7	3 2.8	36 33.3	5 4.6	5 4.6
	40歳代	127 100.0	44 34.6	10 7.9	5 3.9	23 18.1	10 7.9	26 20.5	7 5.5	2 1.6
	50歳代	152 100.0	39 25.7	12 7.9	5 3.3	41 27.0	9 5.9	32 21.1	12 7.9	2 1.3
	60歳代	155 100.0	49 31.6	10 6.5	11 7.1	24 15.5	16 10.3	31 20.0	9 5.8	5 3.2
	70歳以上	225 100.0	74 32.9	12 5.3	23 10.2	31 13.8	20 8.9	30 13.3	10 4.4	25 11.1
世帯人数	1人	266 100.0	75 28.2	19 7.1	14 5.3	67 25.2	14 5.3	46 17.3	15 5.6	16 6.0
	2人	272 100.0	92 33.8	19 7.0	18 6.6	39 14.3	24 8.8	49 18.0	17 6.3	14 5.1
	3人	147 100.0	39 26.5	14 9.5	9 6.1	25 17.0	12 8.2	35 23.8	8 5.4	5 3.4
	4人	85 100.0	28 32.9	5 5.9	7 8.2	11 12.9	6 7.1	21 24.7	3 3.5	4 4.7
	5人以上	50 100.0	12 24.0	1 2.0	5 10.0	8 16.0	6 12.0	12 24.0	2 4.0	4 8.0
地域(地区別)	北部	172 100.0	52 30.2	14 8.1	5 2.9	32 18.6	19 11.0	34 19.8	9 5.2	7 4.1
	東部	142 100.0	48 33.8	11 7.7	10 7.0	21 14.8	8 5.6	27 19.0	9 6.3	8 5.6
	中央	160 100.0	51 31.9	8 5.0	10 6.3	30 18.8	14 8.8	25 15.6	9 5.6	13 8.1
	南部	186 100.0	53 28.5	10 5.4	11 5.9	36 19.4	11 5.9	48 25.8	12 6.5	5 2.7
	西部	156 100.0	40 25.6	14 9.0	17 10.9	30 19.2	11 7.1	28 17.9	6 3.8	10 6.4
住居の種類	一戸建て	314 100.0	99 31.5	20 6.4	26 8.3	54 17.2	29 9.2	49 15.6	18 5.7	19 6.1
	居住者がごみ出しする共同住宅	291 100.0	93 32.0	24 8.2	17 5.8	53 18.2	18 6.2	57 19.6	13 4.5	16 5.5
	管理者がごみ出しする共同住宅	184 100.0	47 25.5	12 6.5	8 4.3	39 21.2	15 8.2	48 26.1	11 6.0	4 2.2
	居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	21 100.0	5 23.8	1 4.8	1 4.8	3 14.3	1 4.8	5 23.8	2 9.5	3 14.3
	管理者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	8 100.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0
	その他	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
居住年数	1年未満	41 100.0	13 31.7	5 12.2	0 0.0	6 14.6	2 4.9	9 22.0	2 4.9	4 9.8
	1年以上～3年未満	89 100.0	22 24.7	6 6.7	9 10.1	10 11.2	7 7.9	25 28.1	6 6.7	4 4.5
	3年以上～10年未満	176 100.0	48 27.3	16 9.1	7 4.0	40 22.7	10 5.7	42 23.9	7 4.0	6 3.4
	10年以上～20年未満	131 100.0	40 30.5	9 6.9	8 6.1	23 17.6	5 3.8	32 24.4	11 8.4	3 2.3
	20年以上	384 100.0	123 32.0	22 5.7	29 7.6	71 18.5	39 10.2	55 14.3	19 4.9	26 6.8

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

(2) リサイクルの手法に関すること

「①布・古着のリサイクルの充実（現状の回収方法に新たな手法を追加する）」が最も多く38.8%、次いで「③不燃ごみのリサイクル（不燃ごみから金属以外のガラス、陶器なども選別する）」が18.5%、「⑤給食残渣や生ごみのリサイクル（バイオマス発電、たい肥化など）」が15.6%などの順である。

年齢別では、年齢が高いほど「①布・古着のリサイクルの充実（現状の回収方法に新たな手法を追加する）」が多い。「④『クラダシ』・『ジモティー』など民間会社との連携」については、年齢が低いほど高い傾向がある。

居住年数別では、居住年数が高いほど「①布・古着のリサイクルの充実（現状の回収方法に新たな手法を追加する）」が多い。

【その他の主な意見】

- 土の回収。
- 電子機器のリサイクルの充実。
- ごみ減量に向けた具体的な啓発活動の充実。
- プラスチックのリサイクルをもっと見える化。
- 不燃ごみをつくらないことを企業へ指導。

選択肢	割合
① 布・古着のリサイクルの充実（現状の回収方法に新たな手法を追加する）	38.8%
② 使用済紙おむつのリサイクル（使用済紙おむつからパルプ等を再生する）	1.9%
③ 不燃ごみのリサイクル（不燃ごみから金属以外のガラス、陶器なども選別する）	18.5%
④ 『クラダシ』・『ジモティー』など民間会社との連携	14.7%
⑤ 給食残渣や生ごみのリサイクル（バイオマス発電、たい肥化など）	15.6%
⑥ その他	4.0%
無回答	6.6%

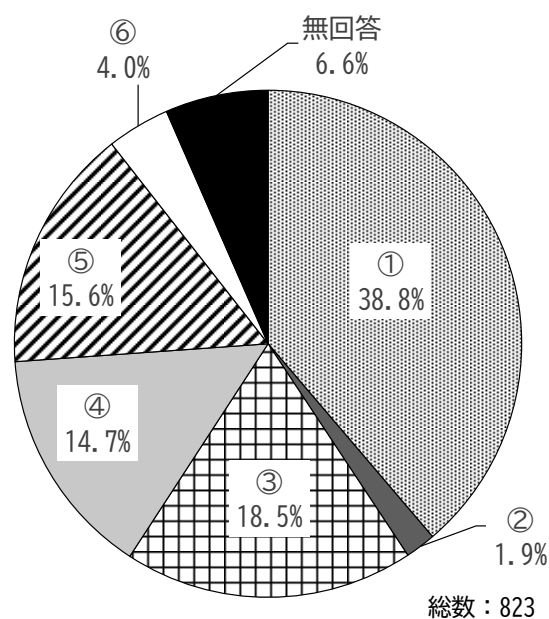


図 4-8-2 リサイクルの手法に関すること

表 4-8-2 リサイクルの手法に関すること(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問15 リサイクルの手法等で最も力を入れてほしいこと							無回答
		布・古着の リサイクルの充 実（現状の回収方 法に新たな手法を 追加する）	使用済紙 おむつのリサイク ル（使用済紙おむ つからパ ルプ等を 再生す る）	不燃ごみ のリサイ クル（不 燃ごみか ら金属以 外のガラ ス、陶器 なども選 別する）	『クラ ダ シ』・ 『ジモ テー ィ』な ど民間 会社と の連携	給食残渣 や生ごみ のリサイ クル（バ イオマス 発電、た い肥化な ど）	その他		
全体	823 100.0	319 38.8	16 1.9	152 18.5	121 14.7	128 15.6	33 4.0	54 6.6	
年齢	30歳未満	53 100.0	13 24.5	3 5.7	8 15.1	13 24.5	9 17.0	0 0.0	7 13.2
	30歳代	108 100.0	29 26.9	5 4.6	26 24.1	23 21.3	20 18.5	2 1.9	3 2.8
	40歳代	127 100.0	45 35.4	1 0.8	23 18.1	22 17.3	21 16.5	7 5.5	8 6.3
	50歳代	152 100.0	55 36.2	1 0.7	22 14.5	34 22.4	30 19.7	4 2.6	6 3.9
	60歳代	155 100.0	62 40.0	1 0.6	30 19.4	19 12.3	24 15.5	12 7.7	7 4.5
	70歳以上	225 100.0	114 50.7	5 2.2	42 18.7	10 4.4	24 10.7	8 3.6	22 9.8
	世帯人数	1人	266 100.0	102 38.3	5 1.9	43 16.2	41 15.4	43 16.2	13 4.9
2人		272 100.0	105 38.6	2 0.7	65 23.9	31 11.4	44 16.2	14 5.1	11 4.0
3人		147 100.0	59 40.1	5 3.4	24 16.3	22 15.0	23 15.6	4 2.7	10 6.8
4人		85 100.0	33 38.8	2 2.4	13 15.3	19 22.4	10 11.8	0 0.0	8 9.4
5人以上		50 100.0	19 38.0	1 2.0	7 14.0	8 16.0	8 16.0	2 4.0	5 10.0
地域 (地区別)		北部	172 100.0	59 34.3	4 2.3	35 20.3	30 17.4	26 15.1	9 5.2
	東部	142 100.0	60 42.3	0 0.0	28 19.7	17 12.0	22 15.5	5 3.5	10 7.0
	中央	160 100.0	57 35.6	5 3.1	32 20.0	21 13.1	27 16.9	7 4.4	11 6.9
	南部	186 100.0	73 39.2	3 1.6	35 18.8	27 14.5	34 18.3	6 3.2	8 4.3
	西部	156 100.0	67 42.9	4 2.6	20 12.8	26 16.7	19 12.2	6 3.8	14 9.0
	住居の 種類	一戸建て	314 100.0	134 42.7	6 1.9	60 19.1	34 10.8	44 14.0	10 3.2
居住者がごみ出しする共同 住宅		291 100.0	99 34.0	6 2.1	52 17.9	52 17.9	48 16.5	14 4.8	20 6.9
管理人がごみ出しする共同 住宅		184 100.0	75 40.8	3 1.6	33 17.9	32 17.4	30 16.3	8 4.3	3 1.6
居住者がごみ出しする店 舗・事務所併設の住宅		21 100.0	8 38.1	1 4.8	3 14.3	2 9.5	4 19.0	0 0.0	3 14.3
管理人がごみ出しする店 舗・事務所併設の住宅		8 100.0	2 25.0	0 0.0	3 37.5	1 12.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0
その他		2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
居住年 数		1年未満	41 100.0	11 26.8	2 4.9	9 22.0	8 19.5	6 14.6	1 2.4
	1年以上～3年未満	89 100.0	24 27.0	2 2.2	18 20.2	20 22.5	16 18.0	2 2.2	7 7.9
	3年以上～10年未満	176 100.0	55 31.3	5 2.8	32 18.2	39 22.2	30 17.0	8 4.5	7 4.0
	10年以上～20年未満	131 100.0	54 41.2	0 0.0	27 20.6	20 15.3	17 13.0	7 5.3	6 4.6
	20年以上	384 100.0	174 45.3	7 1.8	66 17.2	34 8.9	59 15.4	15 3.9	29 7.6

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

(3) ごみ減量の意識啓発に関すること

「③ごみ減量・リサイクルに関する事業者への働きかけ（過剰包装をやめるなど）」が最も多く 32.9%、次いで「②環境を重視した生活スタイルに向けた区民の意識啓発」が 23.9%、「①ごみ減量の取組事例等、情報提供の充実」が 23.3%などの順である。

年齢別では、30 歳代で「④子ども向けの環境学習」の関心が高い。70 歳以上以外で「③ごみ減量・リサイクルに関する事業者への働きかけ（過剰包装をやめるなど）」が多い。

【その他の主な意見】

- 古着の回収。
- 企業へのごみの減量の要請。
- 不動産業者の郵便物・チラシなどをやめて欲しい。
- 外国語での併記。
- スーパーで欧米の店のようになり売り。

選択肢	割合
① ごみ減量の取組事例等、情報提供の充実	23.3%
② 環境を重視した生活スタイルに向けた区民の意識啓発	23.9%
③ ごみ減量・リサイクルに関する事業者への働きかけ（過剰包装をやめるなど）	32.9%
④ 子ども向けの環境学習	12.2%
⑤ その他	2.6%
無回答	5.1%

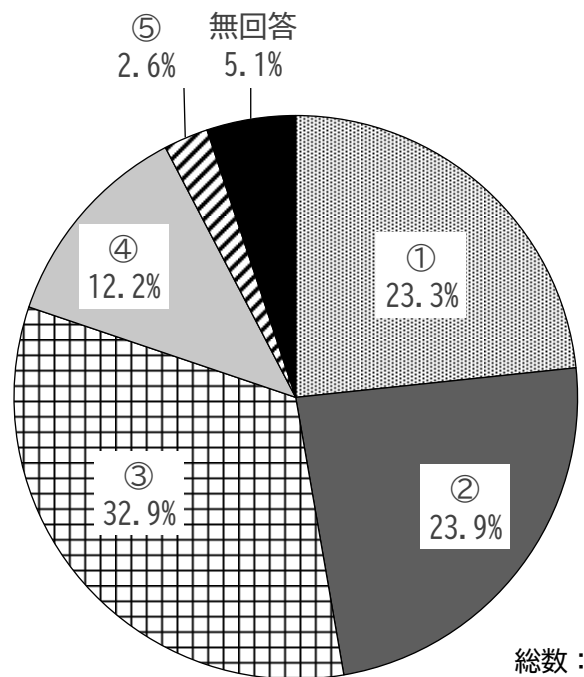


図 4-8-3 ごみ減量の意識啓発に関すること

表 4-8-3 ごみ減量の意識啓発に関すること(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問16 ごみ減量の意識啓発等で最も力を入れてほしいこと							
		ごみ減量の取組事例等、情報提供の充実	環境を重視した生活スタイルに向けた区民の意識啓発	ごみ減量・リサイクルに関する事業者への働きかけ(過剰包装をやめるなど)	子ども向けの環境学習	その他	無回答		
全体	823 100.0	192 23.3	197 23.9	271 32.9	100 12.2	21 2.6	42 5.1		
年齢	30歳未満	53 100.0	13 24.5	13 24.5	15 28.3	8 15.1	0 0.0	4 7.5	
	30歳代	108 100.0	21 19.4	27 25.0	35 32.4	22 20.4	2 1.9	1 0.9	
	40歳代	127 100.0	17 13.4	35 27.6	52 40.9	16 12.6	4 3.1	3 2.4	
	50歳代	152 100.0	31 20.4	35 23.0	58 38.2	19 12.5	2 1.3	7 4.6	
	60歳代	155 100.0	39 25.2	42 27.1	47 30.3	17 11.0	7 4.5	3 1.9	
	70歳以上	225 100.0	71 31.6	45 20.0	63 28.0	17 7.6	6 2.7	23 10.2	
	世帯人数	1人	266 100.0	63 23.7	63 23.7	95 35.7	20 7.5	8 3.0	17 6.4
2人		272 100.0	61 22.4	66 24.3	94 34.6	33 12.1	8 2.9	10 3.7	
3人		147 100.0	32 21.8	34 23.1	43 29.3	29 19.7	3 2.0	6 4.1	
4人		85 100.0	21 24.7	18 21.2	28 32.9	12 14.1	1 1.2	5 5.9	
5人以上		50 100.0	15 30.0	15 30.0	11 22.0	5 10.0	1 2.0	3 6.0	
地域(地区別)		北部	172 100.0	30 17.4	44 25.6	55 32.0	31 18.0	5 2.9	7 4.1
	東部	142 100.0	32 22.5	25 17.6	63 44.4	11 7.7	5 3.5	6 4.2	
	中央	160 100.0	36 22.5	49 30.6	44 27.5	16 10.0	3 1.9	12 7.5	
	南部	186 100.0	50 26.9	49 26.3	55 29.6	20 10.8	4 2.2	8 4.3	
	西部	156 100.0	41 26.3	29 18.6	53 34.0	21 13.5	4 2.6	8 5.1	
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	93 29.6	68 21.7	89 28.3	36 11.5	7 2.2	21 6.7
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	70 24.1	62 21.3	98 33.7	38 13.1	9 3.1	14 4.8	
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	27 14.7	54 29.3	74 40.2	22 12.0	4 2.2	3 1.6	
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	2 9.5	9 42.9	6 28.6	2 9.5	0 0.0	2 9.5	
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	0 0.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	
その他		2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	
居住年数		1年未満	41 100.0	8 19.5	13 31.7	14 34.1	3 7.3	0 0.0	3 7.3
		1年以上～3年未満	89 100.0	19 21.3	18 20.2	34 38.2	11 12.4	3 3.4	4 4.5
	3年以上～10年未満	176 100.0	26 14.8	50 28.4	57 32.4	31 17.6	5 2.8	7 4.0	
	10年以上～20年未満	131 100.0	27 20.6	32 24.4	56 42.7	10 7.6	3 2.3	3 2.3	
	20年以上	384 100.0	112 29.2	84 21.9	110 28.6	44 11.5	10 2.6	24 6.3	

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

第5章 事業所アンケート調査

1 調査概要

(1) 調査目的

事業所から排出されるごみと資源の発生量と処理状況、ごみ減量やりサイクルについての取組、区の施策・情報についての意識・意向を把握することにより、一般廃棄物処理基本計画の改定に向けた基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査内容

調査内容は、次のとおりである。設問はできる限り選択肢による回答ができるように設定した。

- ① 事業所の概要（業種、建物形態、従業員数、延床面積、所在地域）
- ② 品目別のごみと資源の処理方法と発生量
- ③ ごみの処理方法
- ④ 食品ロス
- ⑤ プラスチック
- ⑥ 関心・取組状況（自由意見を含む）

(3) 調査対象

最新の事業所・企業統計調査に使用した名簿（平成 28 年経済センサス活動調査名簿）より、従業員数 30 人未満の事業所から、事業所の構成比にあわせ「卸・小売業」「宿泊業・飲食サービス業」「紙ごみが出るサービス業（金融・保険・不動産業、教育機関・学習支援業）」「その他」から合計 2,500 事業所を抽出した。

(4) 調査方法

郵送法（郵送配布—郵送回収）、オンラインフォーム回答

(5) 調査期間

令和 4 年 8 月 10 日（水）～8 月 31 日（水）

(6) 回収状況

発送数 2,500 票のうち、569 票を回収した。宛先不明や転出などで返送された 460 票を除く 2,040 票に対し、有効回収率は 27.9%である。

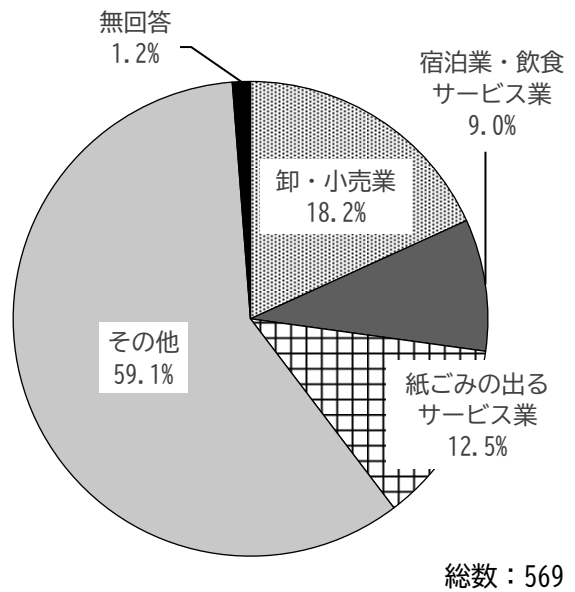
2 事業所の概要

事業所の概要は業種、建物形態、従業員数、延床面積、所在地域について質問した。これらの属性ごとに他の調査項目をクロス集計し、その属性の行動や考え方、意見を把握する。

(1) 業種

19業種に分けて質問し、4業種にグループ化した。「その他」が最も多く59.1%、次いで「卸・小売業」が18.2%、「紙ごみが出るサービス業」が12.5%、「宿泊業・飲食サービス業」が9.0%の順である。

選択肢	割合
卸・小売業	18.2%
宿泊業・飲食サービス業	9.0%
紙ごみが出るサービス業	12.5%
その他	59.1%
無回答	1.2%



選択肢		割合
卸・小売業	④ 食品卸売業	0.8%
	⑤ その他卸売業	3.5%
	⑥ コンビニエンスストア	0.5%
	⑦ スーパー・生協・百貨店	0.2%
	⑧ 食品小売店	3.1%
	⑨ 酒類小売店	0.2%
	⑩ 家電小売店	1.1%
	⑪ その他小売店	8.8%
宿泊業・飲食サービス業	⑫ ファミリーレストラン	0.5%
	⑬ ファストフード店	0.2%
	⑭ その他の飲食・宿泊業	8.3%
紙ごみが出るサービス業	⑮ 金融・保険・不動産	9.3%
	⑯ 教育機関・学習支援業	3.2%
その他	① 建設業	6.5%
	② 製造業	6.7%
	③ 運輸・通信業	0.4%
	⑰ 病院、診療所	7.0%
	⑱ その他サービス業	20.6%
	⑲ その他	17.9%
無回答		1.2%

図 5-2-1 業種

表 5-2-1 業種の割合(区全体との比較)

	卸・小売業	宿泊業・飲食サービス業	紙ごみが出るサービス業	その他	無回答	合計
回答事業所	18.2%	9.0%	12.5%	59.1%	1.2%	100.0%
目黒区全体	25.6%	16.0%	15.8%	42.6%	—	100.0%

※目黒区全体：平成28年経済センサス

(2) 建物形態

「②事業所ビルに入居」が最も多く 27.4%、次いで「④戸建住宅で住居と兼用」が 23.7%、「③集合住宅に事業所利用として入居」が 18.8%、「①単独事業所」が 16.3%、「⑤集合住宅で住居と兼用」が 9.5%の順である。

選択肢	割合
① 単独事業所	16.3%
② 事業所ビルに入居	27.4%
③ 集合住宅に事業所利用として入居	18.8%
④ 戸建住宅で住居と兼用	23.7%
⑤ 集合住宅で住居と兼用	9.5%
⑥ その他	2.6%
無回答	1.6%

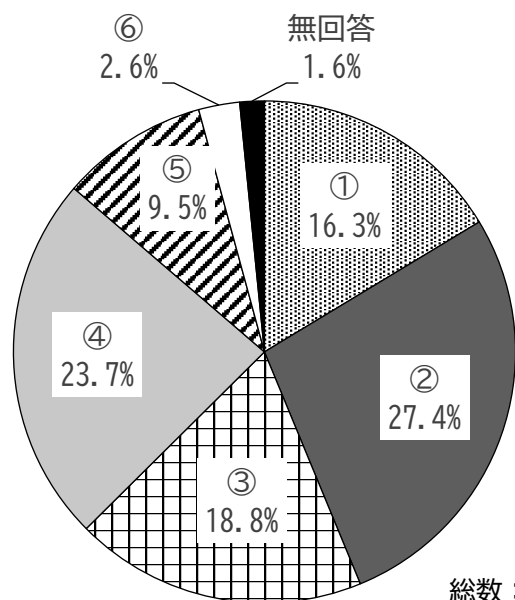


図 5-2-2 建物形態

(3) 従業員数

従業員数については数値で回答を得て3つに区分した。「①1～4人」が最も多く62.2%、次いで「③10人以上」が18.1%、「②5～9人」が17.8%の順である。

選択肢	割合
① 1～4人	62.2%
② 5～9人	17.8%
③ 10人以上	18.1%
無回答	1.9%

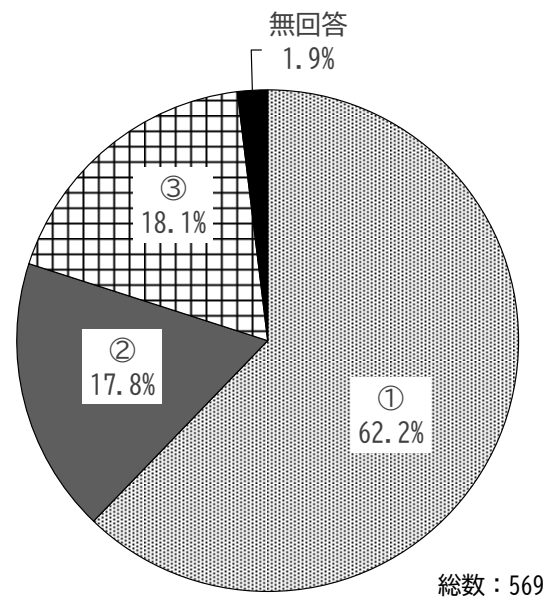


図 5-2-3 従業員数

(4) 延床面積

「①30㎡未満」が最も多く28.5%、次いで「③50㎡以上～100㎡未満」が26.0%、「②30㎡以上～50㎡未満」が25.5%、「④100㎡以上～300㎡未満」が12.5%などの順である。300㎡未満の事業所が92.4%を占めている。

選択肢	割合
① 30㎡(9坪)未満	28.5%
② 30㎡(9坪)以上～50㎡(15坪)未満	25.5%
③ 50㎡(15坪)以上～100㎡(30坪)未満	26.0%
④ 100㎡(30坪)以上～300㎡(90坪)未満	12.5%
⑤ 300㎡(90坪)以上	5.3%
無回答	2.3%

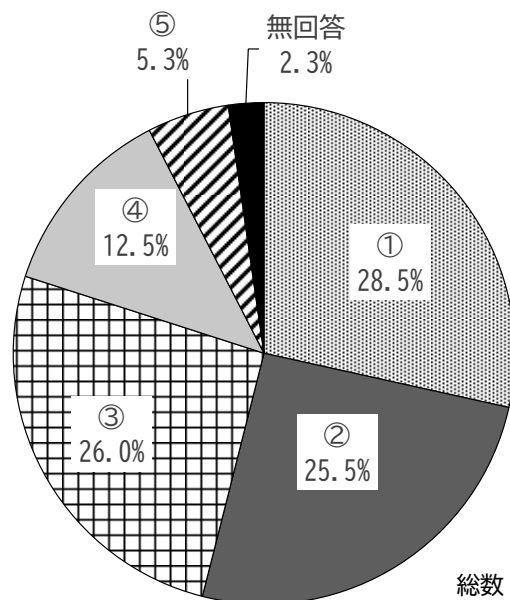


図 5-2-4 延床面積

(5) 所在地域

「⑤西部」が最も多く25.8%、次いで「②東部」「③中央」が20.2%、「①北部」が17.2%、「④南部」が13.9%の順である。

選択肢	割合
① 北部	17.2%
② 東部	20.2%
③ 中央	20.2%
④ 南部	13.9%
⑤ 西部	25.8%
無回答	2.6%

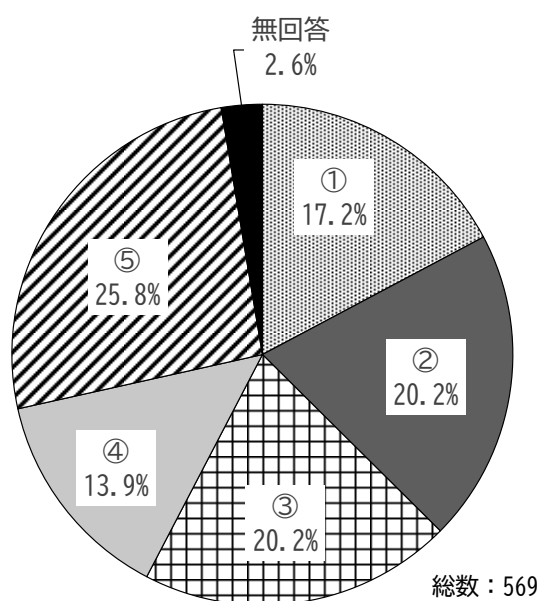


図 5-2-5 所在地域

3 品目別のごみと資源の処理方法と発生量

(1) ごみと資源の処理方法

古紙については、「②区のごみ収集に出す」の割合はコピー・OA用紙が38.5%と最も多く、40%近くが区のごみ収集に捨てられている。次いで、雑誌・パンフレットが25.1%、その他リサイクルが可能な紙類が20.9%、段ボールが20.6%、新聞紙・折込チラシが18.8%となっている。

「⑦区の資源分別収集に出す」は、コピー・OA用紙が10.5%と他の古紙と比較して少ない。

びん・缶・ペットボトルについては、「②区のごみ収集に出す」の割合がペットボトルで20.6%、飲料用缶類で19.0%、飲料用びん類で18.3%など、20%前後が区のごみ収集に捨てられている。

「⑦区の資源分別収集に出す」は、いずれも30%前後である。

生ごみと紙くず・木草などについては、「②区のごみ収集に出す」の割合が45%前後である。

弁当ガラと弁当ガラ以外のプラスチックについては、「⑦区の資源分別収集に出す」が、弁当ガラ以外のプラスチックで16.5%、弁当ガラで13.0%など、一定量がプラスチック製容器包装として集積所に排出されている。

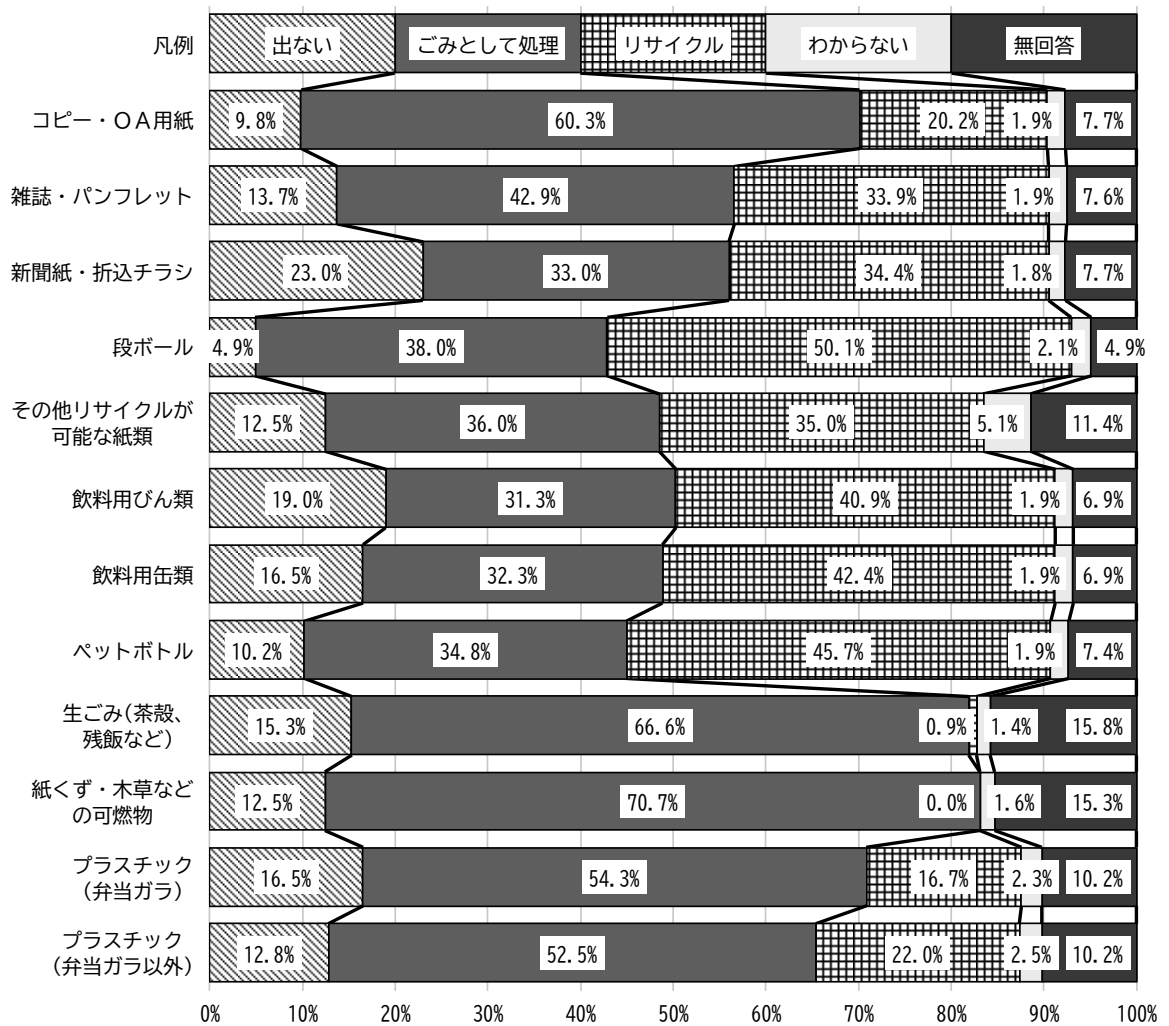
表 5-3-1 ごみと資源の処理方法

総数：569

選択肢	コピー・OA用紙		雑誌・パンフレット		新聞紙・折込チラシ		段ボール	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
①この品目は出ない	56	9.8%	78	13.7%	131	23.0%	28	4.9%
②区のごみ収集に出す	219	38.5%	143	25.1%	107	18.8%	117	20.6%
③自社で処理施設に持ち込んでいる	11	1.9%	9	1.6%	7	1.2%	14	2.5%
④廃棄物処理業者がごみとして処理	79	13.9%	67	11.8%	52	9.1%	57	10.0%
⑤ビル管理会社がごみとして分別している	28	4.9%	22	3.9%	20	3.5%	26	4.6%
⑥その他の方法でごみとして処理している	6	1.1%	3	0.5%	2	0.4%	2	0.4%
⑦区の資源分別収集に出す	60	10.5%	129	22.7%	112	19.7%	180	31.6%
⑧廃棄物処理業者や資源回収業者がリサイクルしている	30	5.3%	42	7.4%	55	9.7%	68	12.0%
⑨ビル管理会社が資源として分別している	11	1.9%	13	2.3%	12	2.1%	23	4.0%
⑩その他の方法でリサイクルしている	14	2.5%	9	1.6%	17	3.0%	14	2.5%
⑪わからない	11	1.9%	11	1.9%	10	1.8%	12	2.1%
無回答	44	7.7%	43	7.6%	44	7.7%	28	4.9%

選択肢	その他リサイクルが可能な紙類		飲料用びん類		飲料用缶類		ペットボトル	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
①この品目は出ない	71	12.5%	108	19.0%	94	16.5%	58	10.2%
②区のごみ収集に出す	119	20.9%	104	18.3%	108	19.0%	117	20.6%
③自社で処理施設に持ち込んでいる	11	1.9%	6	1.1%	4	0.7%	4	0.7%
④廃棄物処理業者がごみとして処理	53	9.3%	42	7.4%	46	8.1%	52	9.1%
⑤ビル管理会社がごみとして分別している	21	3.7%	21	3.7%	22	3.9%	21	3.7%
⑥その他の方法でごみとして処理している	1	0.2%	5	0.9%	4	0.7%	4	0.7%
⑦区の資源分別収集に出す	132	23.2%	158	27.8%	166	29.2%	176	30.9%
⑧廃棄物処理業者や資源回収業者がリサイクルしている	41	7.2%	37	6.5%	40	7.0%	43	7.6%
⑨ビル管理会社が資源として分別している	16	2.8%	20	3.5%	22	3.9%	24	4.2%
⑩その他の方法でリサイクルしている	10	1.8%	18	3.2%	13	2.3%	17	3.0%
⑪わからない	29	5.1%	11	1.9%	11	1.9%	11	1.9%
無回答	65	11.4%	39	6.9%	39	6.9%	42	7.4%

選択肢	生ごみ(茶殻、残飯など)		紙くず・木草などの可燃物		プラスチック(弁当ガラ)		プラスチック(弁当ガラ以外)	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
①この品目は出ない	87	15.3%	71	12.5%	94	16.5%	73	12.8%
②区のごみ収集に出す	255	44.8%	271	47.6%	188	33.0%	177	31.1%
③自社で処理施設に持ち込んでいる	6	1.1%	9	1.6%	7	1.2%	10	1.8%
④廃棄物処理業者がごみとして処理	84	14.8%	89	15.6%	76	13.4%	81	14.2%
⑤ビル管理会社がごみとして分別している	32	5.6%	32	5.6%	35	6.2%	29	5.1%
⑥その他の方法でごみとして処理している	2	0.4%	1	0.2%	3	0.5%	2	0.4%
⑦区の資源分別収集に出す					74	13.0%	94	16.5%
⑧廃棄物処理業者や資源回収業者がリサイクルしている	5	0.9%			12	2.1%	21	3.7%
⑨ビル管理会社が資源として分別している					6	1.1%	8	1.4%
⑩その他の方法でリサイクルしている	0	0.0%			3	0.5%	2	0.4%
⑪わからない	8	1.4%	9	1.6%	13	2.3%	14	2.5%
無回答	90	15.8%	87	15.3%	58	10.2%	58	10.2%



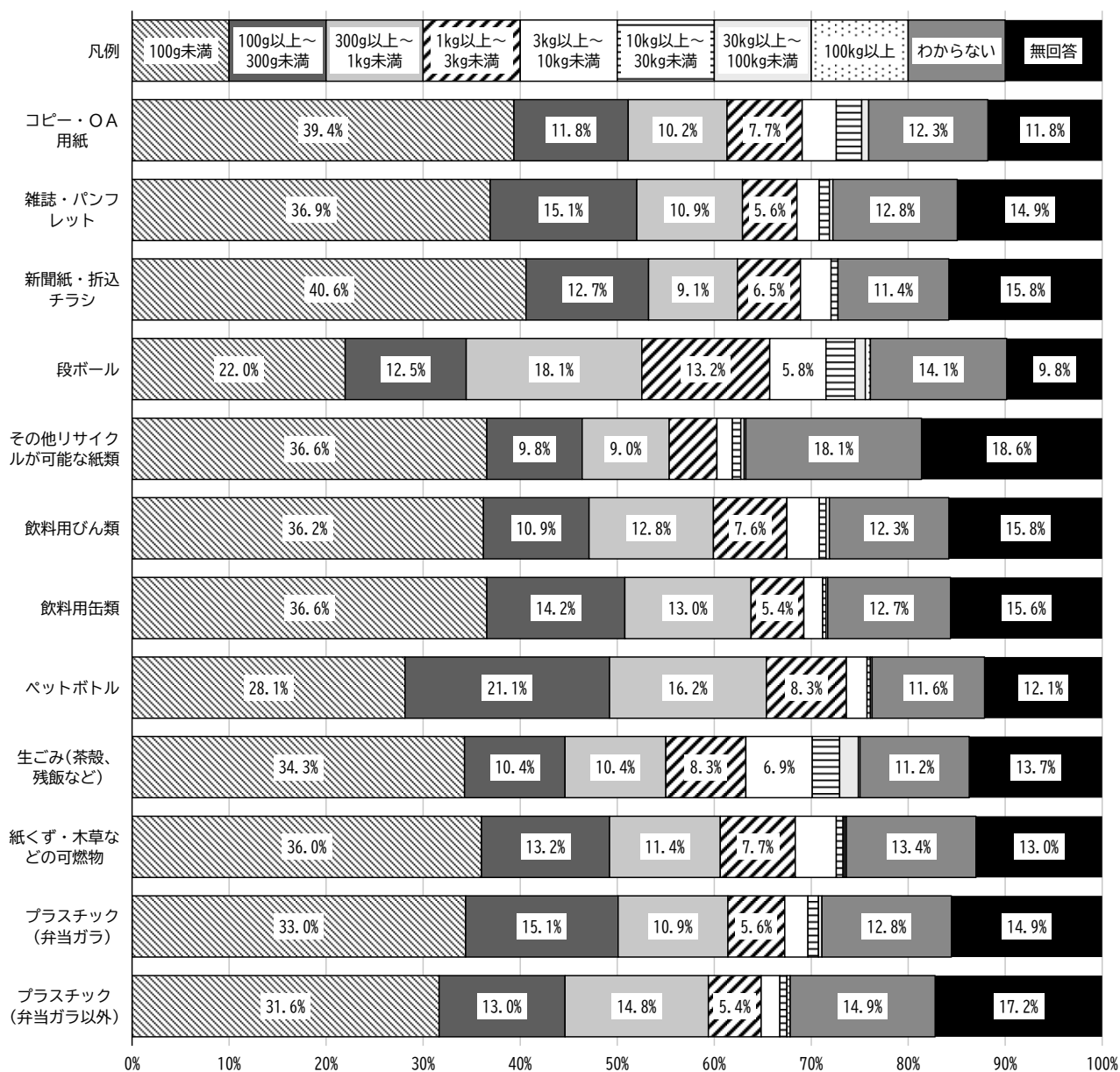
総数：569

図 5-3-1 ごみと資源の処理方法(選択肢まとめ)

※図 5-3-1 の「ごみとして処理」は「表 5-3-1 ごみと資源の処理方法」の選択肢②③④⑤⑥、「リサイクル」は選択肢⑦⑧⑨⑩を統合している。

(2) ごみと資源の1週間の発生量

すべての品目で、100g未満が最も多くなっている。100g未満の割合は、新聞紙・折込チラシが40.6%と最も多く、次いで、コピー・OA用紙が39.4%、雑誌・パンフレットが36.9%などとなっている。一方、他の品目と比較すると段ボールは100g未満が22.0%とやや少なく、300g以上～1kg未満が18.1%とやや多い。



総数：569

図 5-3-2 ごみと資源の1週間の発生量

4 ごみの処理方法

(1) ごみの処理方法

「②区のごみ集積所に出している」が最も多く 59.6%、次いで「①廃棄物処理業者に委託している」が 25.1%、「④ビルの管理会社が行っている」が 9.7%、「③自社で清掃工場に持ち込んでいる」が 1.4%の順である。

業種別では、その他の業種で「②区のごみ集積所に出している」が多く、宿泊業・飲食サービス業で少なくなっている。

建物形態別では、戸建住宅で住居と兼用で「②区のごみ集積所に出している」が多く、「①廃棄物処理業者に委託している」が少ない。一方、事業所ビルに入居で「①廃棄物処理業者に委託している」がやや多い。

従業員数別では、従業員数が多いほど「①廃棄物処理業者に委託している」が多く、「②区のごみ集積所に出している」が少ない。

延床面積別では、広いほど「①廃棄物処理業者に委託している」が多く、「②区のごみ集積所に出している」が少ない傾向がある。

選択肢	割合
① 廃棄物処理業者に委託している	25.1%
② 区のごみ集積所に出している	59.6%
③ 自社で清掃工場に持ち込んでいる	1.4%
④ ビルの管理会社が行っている	9.7%
無回答	4.2%

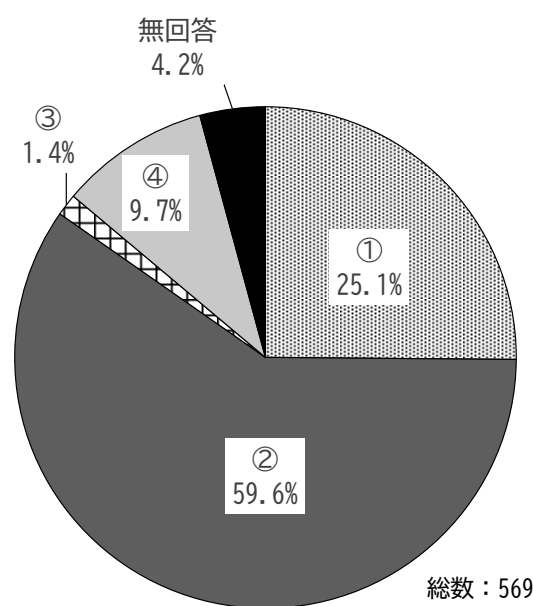


図 5-4-1 ごみの処理方法

表 5-4-1 ごみの処理方法(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問1 主なごみの処理方法				無回答
			廃棄物処理業者に委託している	区のごみ集積所に出している	自社で清掃工場に持ち込んでいる	ビルの管理会社が行っている	
全体		569	143	339	8	55	24
		100.0	25.1	59.6	1.4	9.7	4.2
業種	卸・小売業	104	31	53	3	10	7
		100.0	29.8	51.0	2.9	9.6	6.7
	宿泊業・飲食サービス業	51	22	23	0	5	1
		100.0	43.1	45.1	0.0	9.8	2.0
	紙ごみが出るサービス業	71	19	41	0	8	3
	100.0	26.8	57.7	0.0	11.3	4.2	
	その他	336	70	219	5	32	10
		100.0	20.8	65.2	1.5	9.5	3.0
建物形態	単独事業所	93	34	53	1	0	5
		100.0	36.6	57.0	1.1	0.0	5.4
	事業所ビルに入居	156	60	58	1	33	4
		100.0	38.5	37.2	0.6	21.2	2.6
	集合住宅に事業所利用として入居	107	24	58	3	16	6
		100.0	22.4	54.2	2.8	15.0	5.6
	戸建住宅で住居と兼用	135	14	115	2	0	4
	100.0	10.4	85.2	1.5	0.0	3.0	
	集合住宅で住居と兼用	54	5	42	1	5	1
		100.0	9.3	77.8	1.9	9.3	1.9
	その他	15	2	11	0	1	1
		100.0	13.3	73.3	0.0	6.7	6.7
従業員数	1～4人	354	58	242	7	33	14
		100.0	16.4	68.4	2.0	9.3	4.0
	5～9人	101	41	47	1	11	1
		100.0	40.6	46.5	1.0	10.9	1.0
	10人以上	103	43	43	0	11	6
		100.0	41.7	41.7	0.0	10.7	5.8
延床面積	30㎡(9坪)未満	162	22	118	0	15	7
		100.0	13.6	72.8	0.0	9.3	4.3
	30㎡(9坪)以上～50㎡(15坪)未満	145	38	85	5	14	3
		100.0	26.2	58.6	3.4	9.7	2.1
	50㎡(15坪)以上～100㎡(30坪)未満	148	44	84	3	11	6
		100.0	29.7	56.8	2.0	7.4	4.1
	100㎡(30坪)以上～300㎡(90坪)未満	71	23	33	0	12	3
		100.0	32.4	46.5	0.0	16.9	4.2
	300㎡(90坪)以上	30	12	15	0	1	2
		100.0	40.0	50.0	0.0	3.3	6.7

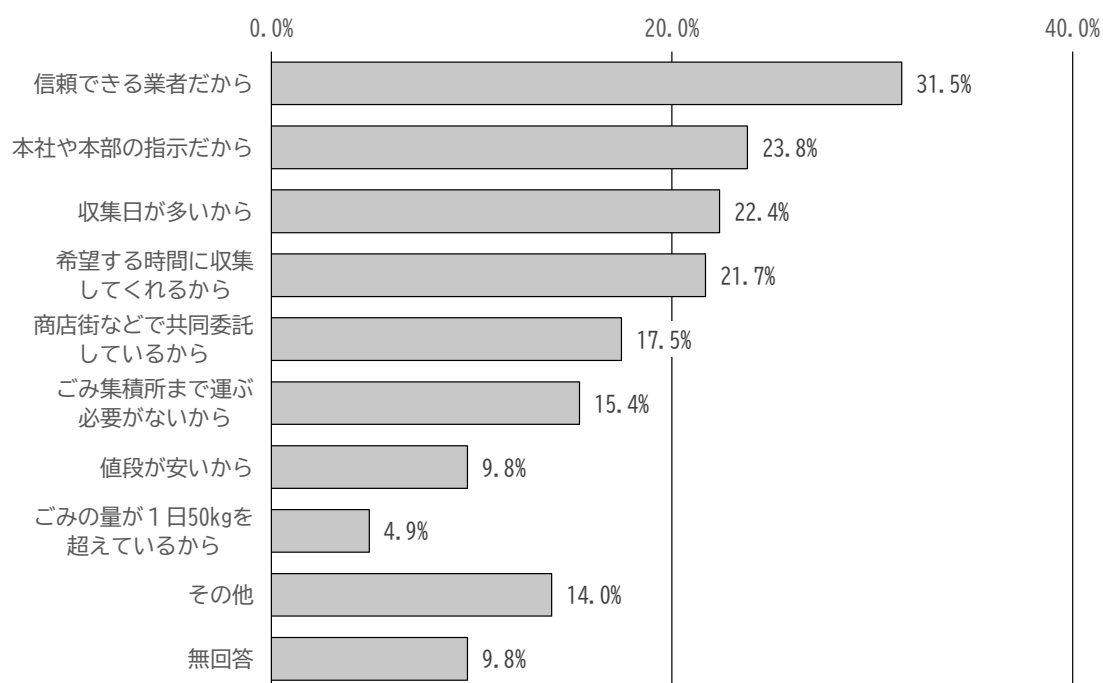
※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

(2) 廃棄物処理業者への委託理由

「信頼できる業者だから」が最も多く 31.5%、次いで「本社や本部の指示だから」が 23.8%、「収集日が多いから」が 22.4%、「希望する時間に収集してくれるから」が 21.7%、「商店街などで共同委託しているから」が 17.5%などの順である。

【その他の主な意見】

- 医療機関の為一般的なごみでない時がある。
- ごみ集積所がないから。
- テナントビルの指示だから。
- 主な廃棄物は紙類であり、まとめて廃紙専門処理業者に持って行くと無料で受け入れてくれるから。



総数：231（複数回答）

図 5-4-2 廃棄物処理業者への委託理由

(3) 事業系有料ごみ処理券の貼付

ア 事業系有料ごみ処理券（ごみ）

「①貼付している」が57.2%、「②貼付していない」が38.9%である。

業種別では、卸・小売業、宿泊業・飲食サービス業で「①貼付している」が多く、紙ごみが出るサービス業で少ない。

建物形態別では、事業所ビルに入居、集合住宅に事業所利用として入居で「①貼付している」が多く、集合住宅で住居と兼用で少ない。

従業員数別では、従業員数が多いほど「①貼付している」が多い。

延床面積別では、広いほど「①貼付している」が多い傾向がある。

イ 事業系有料ごみ処理券（資源）

「①貼付している」が38.9%、「②貼付していない」が46.3%である。資源はごみと比較して、貼付の割合が少ない。

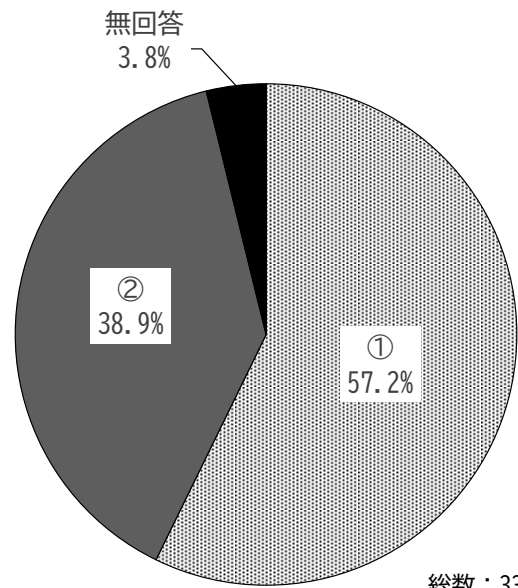
業種別では、卸・小売業、宿泊業・飲食サービス業で「①貼付している」が多く、紙ごみが出るサービス業で少ない。

建物形態別では、事業所ビルに入居、集合住宅に事業所利用として入居で「①貼付している」が多く、集合住宅で住居と兼用で少ない。

従業員数別では、従業員数が多いほど「①貼付している」が多い。

延床面積別では、広いほど「①貼付している」が多い傾向がある。

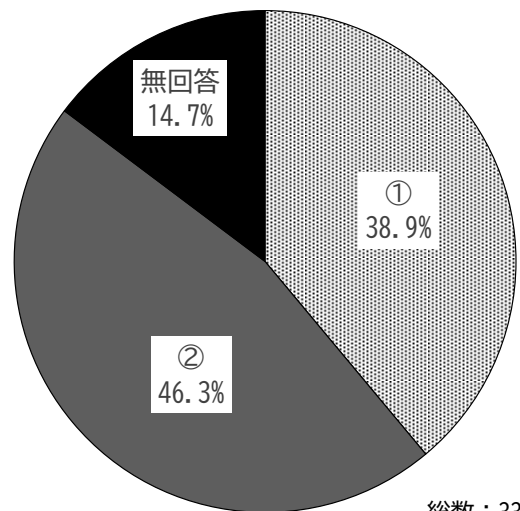
選択肢	割合
① 貼付している	57.2%
② 貼付していない	38.9%
無回答	3.8%



総数：339

図 5-4-3 事業系有料ごみ処理券の貼付(ごみ)

選択肢	割合
① 貼付している	38.9%
② 貼付していない	46.3%
無回答	14.7%



総数：339

図 5-4-4 事業系有料ごみ処理券の貼付(資源)

表 5-4-2 事業系有料ごみ処理券の貼付(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

		問3(1)有料ごみ処理券の貼付							
		ごみ				資源			
		合計	貼付して いる	貼付して いない	無回答	合計	貼付して いる	貼付して いない	無回答
全体		339	194	132	13	339	132	157	50
		100.0	57.2	38.9	3.8	100.0	38.9	46.3	14.7
業種	卸・小売業	53	37	14	2	53	25	19	9
		100.0	69.8	26.4	3.8	100.0	47.2	35.8	17.0
	宿泊業・飲食サービス業	23	20	3	0	23	10	12	1
		100.0	87.0	13.0	0.0	100.0	43.5	52.2	4.3
	紙ごみの出るサービス業	41	13	26	2	41	11	26	4
		100.0	31.7	63.4	4.9	100.0	26.8	63.4	9.8
	その他	219	121	89	9	219	85	99	35
		100.0	55.3	40.6	4.1	100.0	38.8	45.2	16.0
建物形態	単独事業所	53	36	14	3	53	24	23	6
		100.0	67.9	26.4	5.7	100.0	45.3	43.4	11.3
	事業所ビルに入居	58	49	8	1	58	34	21	3
		100.0	84.5	13.8	1.7	100.0	58.6	36.2	5.2
	集合住宅に事業所利用として入居	58	44	13	1	58	29	19	10
		100.0	75.9	22.4	1.7	100.0	50.0	32.8	17.2
	戸建住宅で住居と兼用	115	47	64	4	115	33	59	23
	100.0	40.9	55.7	3.5	100.0	28.7	51.3	20.0	
	集合住宅で住居と兼用	42	9	30	3	42	8	29	5
		100.0	21.4	71.4	7.1	100.0	19.0	69.0	11.9
	その他	11	8	2	1	11	3	5	3
	100.0	72.7	18.2	9.1	100.0	27.3	45.5	27.3	
従業員数	1～4人	242	117	114	11	242	75	126	41
		100.0	48.3	47.1	4.5	100.0	31.0	52.1	16.9
	5～9人	47	37	8	2	47	24	17	6
	100.0	78.7	17.0	4.3	100.0	51.1	36.2	12.8	
	10人以上	43	37	6	0	43	29	11	3
		100.0	86.0	14.0	0.0	100.0	67.4	25.6	7.0
延床面積	30㎡(9坪)未満	118	48	65	5	118	30	65	23
		100.0	40.7	55.1	4.2	100.0	25.4	55.1	19.5
	30㎡(9坪)以上～50㎡(15坪)未満	85	53	29	3	85	35	41	9
		100.0	62.4	34.1	3.5	100.0	41.2	48.2	10.6
	50㎡(15坪)以上～100㎡(30坪)未満	84	58	22	4	84	40	31	13
		100.0	69.0	26.2	4.8	100.0	47.6	36.9	15.5
	100㎡(30坪)以上～300㎡(90坪)未満	33	23	9	1	33	18	12	3
		100.0	69.7	27.3	3.0	100.0	54.5	36.4	9.1
	300㎡(90坪)以上	15	10	5	0	15	7	6	2
		100.0	66.7	33.3	0.0	100.0	46.7	40.0	13.3

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

(4) 一般廃棄物処理業者にごみ処理を委託していない理由

「ごみの量が少ないから」が最も多く 87.0%で 9 割近く、次いで「値段が高い（高そうだ）から」が 9.7%、「どこに連絡してよいかわからないから」、「優良な業者がわからないから」が 5.9%などの順である。

業種別では、宿泊業・飲食サービス業で「値段が高い（高そうだ）から」がやや多い。

建物形態別では、戸建住宅で住居と兼用で「値段が高い（高そうだ）から」、「どこに連絡してよいかわからないから」が少ない。

従業員数別では、5～9人で「値段が高い（高そうだ）から」が多い。

延床面積では、30 m²(9 坪)未満で「値段が高い（高そうだ）から」が少ない。

【その他の主な意見】

- 業者の車が入ってこれないため。
- 一般家庭用のごみと同等のごみのため。
- 集積所以外にどのような方法があるかわからない。
- 産廃業者に依頼するため。

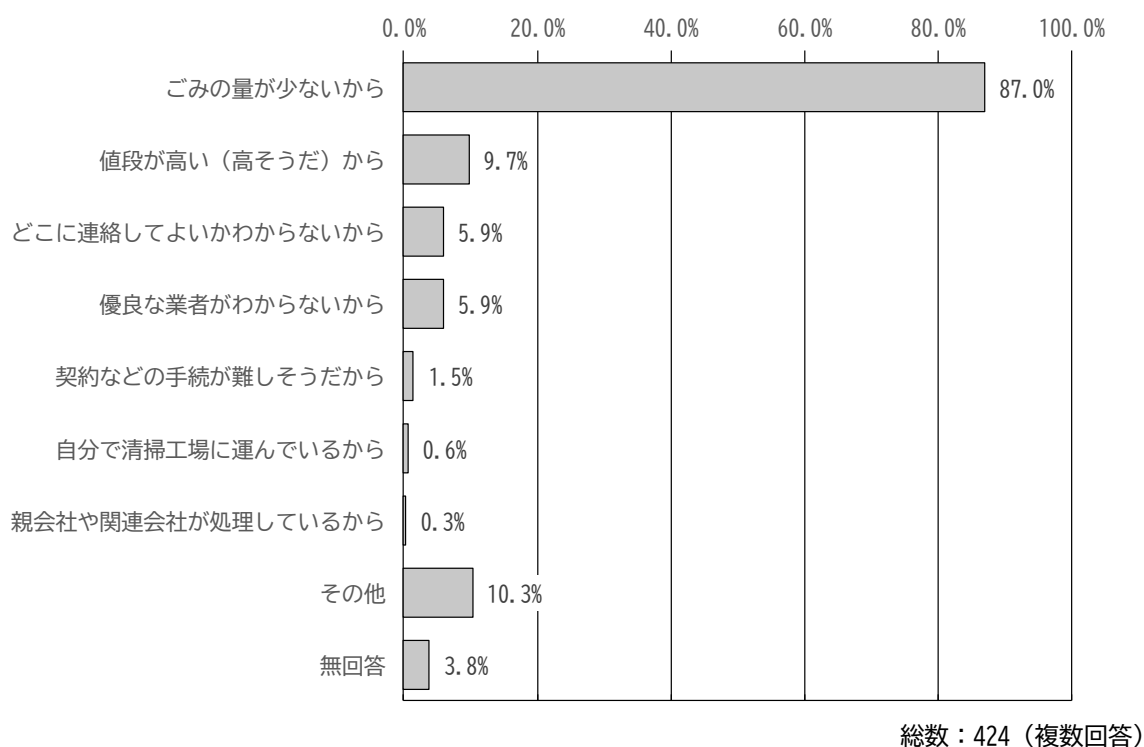


図 5-4-5 一般廃棄物処理業者にごみ処理を委託していない理由

表 5-4-3 一般廃棄物処理業者にごみ処理を委託していない理由(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問3(2) 一般廃棄物処理業者に委託していない理由								
			ごみの量が少ないから	値段が高い(高そうだから)	どこに連絡してよいかわからないから	優良な業者がわからないから	契約などの手続きが難しそうだから	自分で清掃工場に運んでいるから	親会社や関連会社が処理しているから	その他	無回答
全体		339	295	33	20	20	5	2	1	35	13
		100.0	87.0	9.7	5.9	5.9	1.5	0.6	0.3	10.3	3.8
業種	卸・小売業	53	48	9	5	6	0	1	0	3	0
		100.0	90.6	17.0	9.4	11.3	0.0	1.9	0.0	5.7	0.0
	宿泊業・飲食サービス業	23	19	7	3	4	2	0	0	1	2
		100.0	82.6	30.4	13.0	17.4	8.7	0.0	0.0	4.3	8.7
	紙ごみが出るサービス業	41	36	2	1	3	0	0	1	6	2
	100.0	87.8	4.9	2.4	7.3	0.0	0.0	2.4	14.6	4.9	
	その他	219	190	14	10	7	2	1	0	25	9
		100.0	86.8	6.4	4.6	3.2	0.9	0.5	0.0	11.4	4.1
建物形態	単独事業所	53	45	9	2	4	1	0	1	2	4
		100.0	84.9	17.0	3.8	7.5	1.9	0.0	1.9	3.8	7.5
	事業所ビルに入居	58	52	10	6	7	1	0	0	1	1
		100.0	89.7	17.2	10.3	12.1	1.7	0.0	0.0	1.7	1.7
	集合住宅に事業所利用として入居	58	54	8	4	6	1	0	0	3	2
		100.0	93.1	13.8	6.9	10.3	1.7	0.0	0.0	5.2	3.4
	戸建住宅で住居と兼用	115	100	2	2	1	1	2	0	18	4
	100.0	87.0	1.7	1.7	0.9	0.9	1.7	0.0	15.7	3.5	
	集合住宅で住居と兼用	42	34	3	5	2	1	0	0	8	2
		100.0	81.0	7.1	11.9	4.8	2.4	0.0	0.0	19.0	4.8
	その他	11	8	0	1	0	0	0	0	3	0
		100.0	72.7	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0
従業員数	1～4人	242	212	16	12	16	3	2	1	26	11
		100.0	87.6	6.6	5.0	6.6	1.2	0.8	0.4	10.7	4.5
	5～9人	47	38	11	1	2	0	0	0	8	2
		100.0	80.9	23.4	2.1	4.3	0.0	0.0	0.0	17.0	4.3
	10人以上	43	38	5	5	2	2	0	0	0	0
		100.0	88.4	11.6	11.6	4.7	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0
延床面積	30㎡(9坪)未満	118	106	5	6	6	1	1	1	18	3
		100.0	89.8	4.2	5.1	5.1	0.8	0.8	0.8	15.3	2.5
	30㎡(9坪)以上～50㎡(15坪)未満	85	73	9	6	7	2	1	0	4	5
		100.0	85.9	10.6	7.1	8.2	2.4	1.2	0.0	4.7	5.9
	50㎡(15坪)以上～100㎡(30坪)未満	84	72	14	5	5	2	0	0	8	3
		100.0	85.7	16.7	6.0	6.0	2.4	0.0	0.0	9.5	3.6
	100㎡(30坪)以上～300㎡(90坪)未満	33	29	3	1	2	0	0	0	2	2
		100.0	87.9	9.1	3.0	6.1	0.0	0.0	0.0	6.1	6.1
	300㎡(90坪)以上	15	13	1	1	0	0	0	0	2	0
		100.0	86.7	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

(5) 一般廃棄物処理業者に委託をする予定

「①条件次第では委託したい」が10.3%、「②委託するつもりはない」が84.4%で、8割以上が「委託するつもりはない」と回答している。

業種別では、宿泊業・飲食サービス業で「①条件次第では委託したい」がやや多い。

建物形態別では、集合住宅に事業所利用として入居で「①条件次第では委託したい」がやや多い。

従業員数別では、従業員数が多いほど「①条件次第では委託したい」が多い傾向がある。

延床面積別では、50 m²(15 坪)以上～100 m²(30 坪)未満で「①条件次第では委託したい」がやや多い。

選択肢	割合
① 条件次第では委託したい	10.3%
② 委託するつもりはない	84.4%
無回答	5.3%

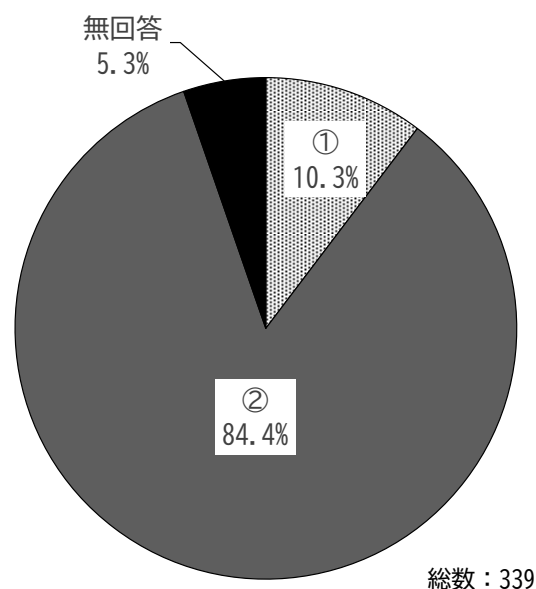


図 5-4-6 一般廃棄物処理業者に委託をする予定

表 5-4-4 一般廃棄物処理業者への委託意向(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問3(3) 一般廃棄物処理業者への委託意向			
			条件次第 では委託 したい	委託する つもりは ない	無回答	非該当
全体		339 100.0	35 10.3	286 84.4	18 5.3	230
業種	卸・小売業	53 100.0	5 9.4	47 88.7	1 1.9	51
	宿泊業・飲食サービス業	23 100.0	5 21.7	18 78.3	0 0.0	28
	紙ごみが出るサービス業	41 100.0	4 9.8	36 87.8	1 2.4	30
	その他	219 100.0	21 9.6	182 83.1	16 7.3	117
建物形態	単独事業所	53 100.0	6 11.3	45 84.9	2 3.8	40
	事業所ビルに入居	58 100.0	7 12.1	48 82.8	3 5.2	98
	集合住宅に事業所利用として入居	58 100.0	9 15.5	47 81.0	2 3.4	49
	戸建住宅で住居と兼用	115 100.0	12 10.4	95 82.6	8 7.0	20
	集合住宅で住居と兼用	42 100.0	1 2.4	39 92.9	2 4.8	12
	その他	11 100.0	0 0.0	10 90.9	1 9.1	4
従業員数	1～4人	242 100.0	21 8.7	208 86.0	13 5.4	112
	5～9人	47 100.0	4 8.5	40 85.1	3 6.4	54
	10人以上	43 100.0	10 23.3	32 74.4	1 2.3	60
延床面積	30㎡(9坪)未満	118 100.0	8 6.8	103 87.3	7 5.9	44
	30㎡(9坪)以上～50㎡(15坪)未満	85 100.0	8 9.4	70 82.4	7 8.2	60
	50㎡(15坪)以上～100㎡(30坪)未満	84 100.0	14 16.7	68 81.0	2 2.4	64
	100㎡(30坪)以上～300㎡(90坪)未満	33 100.0	3 9.1	29 87.9	1 3.0	38
	300㎡(90坪)以上	15 100.0	2 13.3	12 80.0	1 6.7	15

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

(6) 一般廃棄物処理業者に委託をする条件

「値段が安い」が80.0%で最も多く、次いで「信頼できる業者」が68.6%、「契約などの手続きが簡単」が40.0%、「事務所や店の前や中まで取りに来てくれる」が37.1%などの順である。

【その他の主な意見】

- 多量になった時。
- 定期集荷。

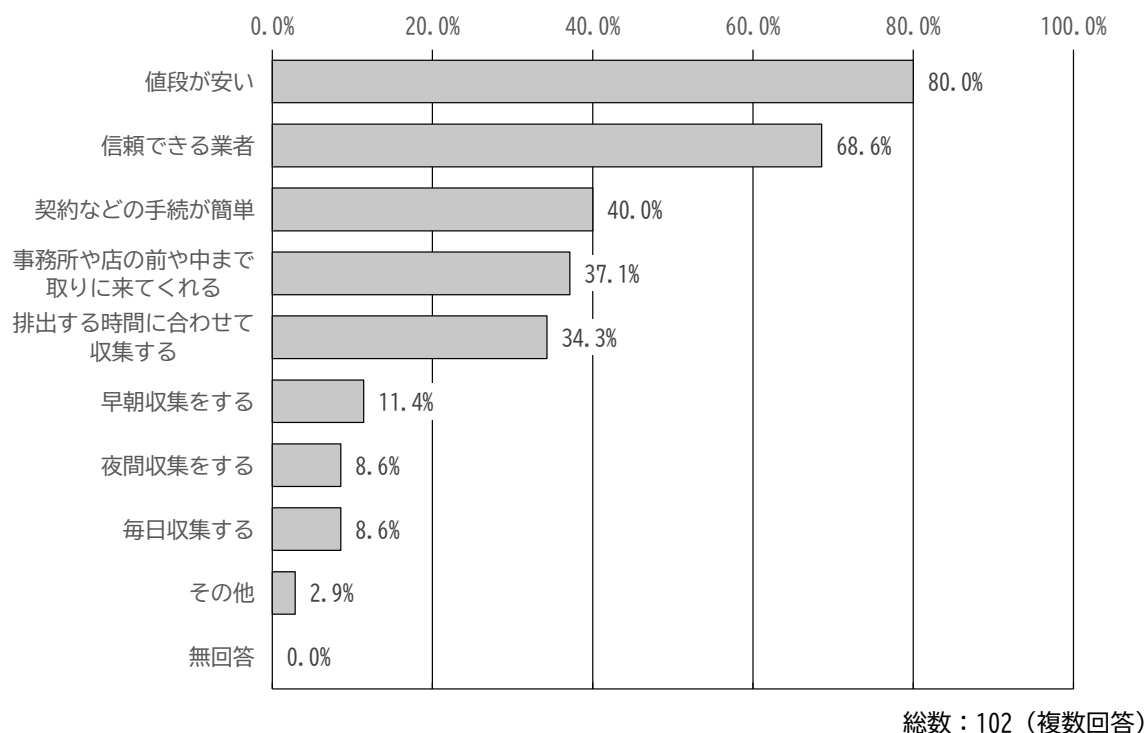


図 5-4-7 一般廃棄物処理業者に委託をする条件

(7) 1 か月あたりのごみ処理費用

「①5百円未満」が28.1%で最も多く、次いで「④2千円以上～5千円未満」が10.5%、「③千円以上～2千円未満」が8.8%、「②5百円以上～千円未満」が8.4%などの順である。

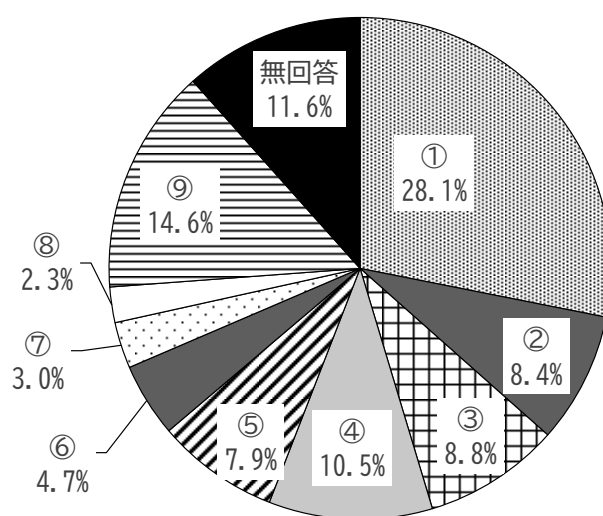
業種別では、紙ごみが出るサービス業で「①5百円未満」が多い。宿泊業・飲食サービス業では「④2千円以上～5千円未満」が多い。

建物形態別では、戸建住宅で住居と兼用、集合住宅で住居と兼用で「①5百円未満」が多い。

従業員数別では、従業員数が少ないほど「①5百円未満」が多い。

延床面積別では、広いほど「①5百円未満」が少ない。

選択肢	割合
① 5百円未満	28.1%
② 5百円以上～千円未満	8.4%
③ 千円以上～2千円未満	8.8%
④ 2千円以上～5千円未満	10.5%
⑤ 5千円以上～1万円未満	7.9%
⑥ 1万円以上～2万円未満	4.7%
⑦ 2万円以上～5万円未満	3.0%
⑧ 5万円以上～	2.3%
⑨ わからない	14.6%
無回答	11.6%



総数：569

図 5-4-8 1 か月あたりのごみ処理費用

表 5-4-5 1 か月あたりのごみ処理費用(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問4 1か月あたりのごみ処理費用									
			500円未満	500円以上～1千円未満	1千円以上～2千円未満	2千円以上～5千円未満	5千円以上～1万円未満	1万円以上～2万円未満	2万円以上～5万円未満	5万円以上～	わからない	無回答
全体		569	160	48	50	60	45	27	17	13	83	66
		100.0	28.1	8.4	8.8	10.5	7.9	4.7	3.0	2.3	14.6	11.6
業種	卸・小売業	104	23	13	8	13	8	4	4	5	16	10
		100.0	22.1	12.5	7.7	12.5	7.7	3.8	3.8	4.8	15.4	9.6
	宿泊業・飲食サービス業	51	2	1	4	15	11	5	2	0	3	8
		100.0	3.9	2.0	7.8	29.4	21.6	9.8	3.9	0.0	5.9	15.7
	紙ごみのお出のサービス業	71	24	1	4	7	4	3	3	2	13	10
	100.0	33.8	1.4	5.6	9.9	5.6	4.2	4.2	2.8	18.3	14.1	
	その他	336	111	32	33	25	22	14	8	6	51	34
		100.0	33.0	9.5	9.8	7.4	6.5	4.2	2.4	1.8	15.2	10.1
建物形態	単独事業所	93	20	9	5	10	10	10	8	3	8	10
		100.0	21.5	9.7	5.4	10.8	10.8	10.8	8.6	3.2	8.6	10.8
	事業所ビルに入居	156	20	13	20	18	14	9	5	7	29	21
		100.0	12.8	8.3	12.8	11.5	9.0	5.8	3.2	4.5	18.6	13.5
	集合住宅に事業所利用として入居	107	22	15	8	20	13	3	3	2	15	6
		100.0	20.6	14.0	7.5	18.7	12.1	2.8	2.8	1.9	14.0	5.6
	戸建住宅で住居と兼用	135	68	6	9	7	4	2	0	0	20	19
	100.0	50.4	4.4	6.7	5.2	3.0	1.5	0.0	0.0	14.8	14.1	
	集合住宅で住居と兼用	54	25	5	3	2	1	3	1	0	9	5
		100.0	46.3	9.3	5.6	3.7	1.9	5.6	1.9	0.0	16.7	9.3
	その他	15	4	0	4	2	1	0	0	0	2	2
		100.0	26.7	0.0	26.7	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	13.3	13.3
従業員数	1～4人	354	137	35	32	28	20	8	5	0	50	39
		100.0	38.7	9.9	9.0	7.9	5.6	2.3	1.4	0.0	14.1	11.0
	5～9人	101	14	8	11	15	14	6	4	2	14	13
		100.0	13.9	7.9	10.9	14.9	13.9	5.9	4.0	2.0	13.9	12.9
	10人以上	103	5	5	6	16	11	13	8	11	19	9
		100.0	4.9	4.9	5.8	15.5	10.7	12.6	7.8	10.7	18.4	8.7
延床面積	30㎡(9坪)未満	162	79	13	7	12	4	1	2	0	26	18
		100.0	48.8	8.0	4.3	7.4	2.5	0.6	1.2	0.0	16.0	11.1
	30㎡(9坪)以上～50㎡(15坪)未満	145	39	14	16	15	14	8	3	1	23	12
		100.0	26.9	9.7	11.0	10.3	9.7	5.5	2.1	0.7	15.9	8.3
	50㎡(15坪)以上～100㎡(30坪)未満	148	31	15	18	21	17	8	3	1	15	19
		100.0	20.9	10.1	12.2	14.2	11.5	5.4	2.0	0.7	10.1	12.8
	100㎡(30坪)以上～300㎡(90坪)未満	71	8	4	7	8	8	8	5	7	10	6
		100.0	11.3	5.6	9.9	11.3	11.3	11.3	7.0	9.9	14.1	8.5
	300㎡(90坪)以上	30	2	2	1	4	1	1	4	4	7	4
		100.0	6.7	6.7	3.3	13.3	3.3	3.3	13.3	13.3	23.3	13.3

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

(8) ごみ管理の担当者やリサイクルの担当者

「①決めている」が35.1%、「②決めていない」が51.1%で、約5割が決めていない。

業種別では、宿泊業・飲食サービス業で「①決めている」が多い。

建物形態別では、単独事業所、集合住宅に事業所利用として入居で「②決めていない」がやや多い。

従業員数別では、従業員数が多いほど「②決めていない」がやや多い。

延床面積別では、広いほど「①決めている」が多い傾向があるが、300㎡以上では少ない。

選択肢	割合
① 決めている	35.1%
② 決めていない	51.1%
③ その他	3.5%
無回答	10.2%

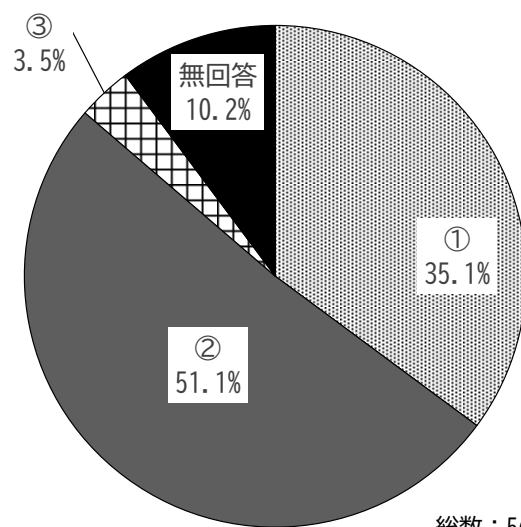


図 5-4-9 ごみ管理の担当者やリサイクルの担当者の有無

表 5-4-6 ごみ管理の担当者やリサイクルの担当者の有無(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問5ごみ管理の担当者やリサイクルの担当者の有無			
			決めている	決めていない	その他	無回答
全体		569 100.0	200 35.1	291 51.1	20 3.5	58 10.2
業種	卸・小売業	104 100.0	33 31.7	60 57.7	3 2.9	8 7.7
	宿泊業・飲食サービス業	51 100.0	28 54.9	17 33.3	0 0.0	6 11.8
	紙ごみが出るサービス業	71 100.0	22 31.0	37 52.1	5 7.0	7 9.9
	その他	336 100.0	116 34.5	175 52.1	12 3.6	33 9.8
建物形態	単独事業所	93 100.0	26 28.0	56 60.2	1 1.1	10 10.8
	事業所ビルに入居	156 100.0	53 34.0	79 50.6	7 4.5	17 10.9
	集合住宅に事業所利用として入居	107 100.0	39 36.4	60 56.1	2 1.9	6 5.6
	戸建住宅で住居と兼用	135 100.0	49 36.3	63 46.7	7 5.2	16 11.9
	集合住宅で住居と兼用	54 100.0	24 44.4	23 42.6	3 5.6	4 7.4
	その他	15 100.0	5 33.3	8 53.3	0 0.0	2 13.3
従業員数	1～4人	354 100.0	129 36.4	178 50.3	16 4.5	31 8.8
	5～9人	101 100.0	32 31.7	53 52.5	2 2.0	14 13.9
	10人以上	103 100.0	37 35.9	57 55.3	1 1.0	8 7.8
延床面積	30㎡(9坪)未満	162 100.0	47 29.0	86 53.1	12 7.4	17 10.5
	30㎡(9坪)以上～50㎡(15坪)未満	145 100.0	55 37.9	77 53.1	2 1.4	11 7.6
	50㎡(15坪)以上～100㎡(30坪)未満	148 100.0	56 37.8	71 48.0	3 2.0	18 12.2
	100㎡(30坪)以上～300㎡(90坪)未満	71 100.0	31 43.7	34 47.9	2 2.8	4 5.6
	300㎡(90坪)以上	30 100.0	10 33.3	18 60.0	1 3.3	1 3.3

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

5 食品ロス

(1) 「食品ロス」に対する関心

「①非常に関心がある」が30.2%、「②ある程度関心がある」が58.0%で関心があるが88.2%と高い割合である。

属性別での違いはあまりない。

選択肢	割合
① 非常に関心がある	30.2%
② ある程度関心がある	58.0%
③ あまり関心がない	6.7%
④ まったく関心がない	1.1%
⑤ わからない	3.0%
無回答	1.1%

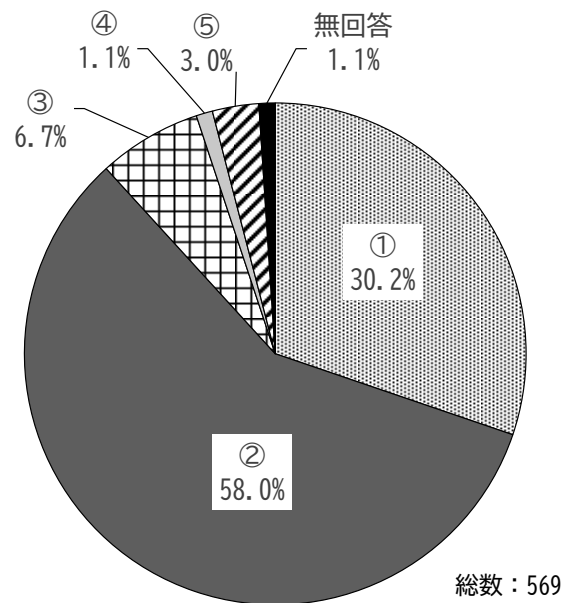


図 5-5-1 食品ロスに対する関心

表 5-5-1 食品ロスに対する関心（属性別）

（上段：回答者数、下段：構成比）

		合計	問7(1) 食品ロスに対する関心					無回答
			非常に関 心がある	ある程度 関心があ る	あまり関 心がない	まったく 関心がない	わからな い	
全体		569	172	330	38	6	17	6
		100.0	30.2	58.0	6.7	1.1	3.0	1.1
業種	卸・小売業	104	29	67	5	0	2	1
		100.0	27.9	64.4	4.8	0.0	1.9	1.0
	宿泊業・飲食サービ ス業	51	16	29	6	0	0	0
		100.0	31.4	56.9	11.8	0.0	0.0	0.0
	紙ごみが出るサービ ス業	71	20	45	3	1	2	0
	100.0	28.2	63.4	4.2	1.4	2.8	0.0	
	その他	336	103	188	24	5	13	3
		100.0	30.7	56.0	7.1	1.5	3.9	0.9
建物形態	単独事業所	93	30	54	5	0	4	0
		100.0	32.3	58.1	5.4	0.0	4.3	0.0
	事業所ビルに入居	156	40	96	11	1	6	2
		100.0	25.6	61.5	7.1	0.6	3.8	1.3
	集合住宅に事業所利 用として入居	107	27	67	11	0	1	1
		100.0	25.2	62.6	10.3	0.0	0.9	0.9
	戸建住宅で住居と兼 用	135	50	68	8	4	4	1
	100.0	37.0	50.4	5.9	3.0	3.0	0.7	
	集合住宅で住居と兼 用	54	17	32	2	1	2	0
		100.0	31.5	59.3	3.7	1.9	3.7	0.0
	その他	15	4	10	1	0	0	0
		100.0	26.7	66.7	6.7	0.0	0.0	0.0
従業員数	1～4人	354	112	206	23	5	6	2
		100.0	31.6	58.2	6.5	1.4	1.7	0.6
	5～9人	101	29	62	6	0	3	1
		100.0	28.7	61.4	5.9	0.0	3.0	1.0
	10人以上	103	27	59	8	1	8	0
		100.0	26.2	57.3	7.8	1.0	7.8	0.0
延床面積	30㎡(9坪)未満	162	49	94	12	2	5	0
		100.0	30.2	58.0	7.4	1.2	3.1	0.0
	30㎡(9坪)以上～50㎡ (15坪)未満	145	40	89	9	1	3	3
		100.0	27.6	61.4	6.2	0.7	2.1	2.1
	50㎡(15坪)以上～100 ㎡(30坪)未満	148	48	81	13	1	4	1
		100.0	32.4	54.7	8.8	0.7	2.7	0.7
	100㎡(30坪)以上～ 300㎡(90坪)未満	71	19	46	3	2	1	0
		100.0	26.8	64.8	4.2	2.8	1.4	0.0
	300㎡(90坪)以上	30	10	16	1	0	3	0
		100.0	33.3	53.3	3.3	0.0	10.0	0.0

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

(2) 1週間に出る「食品ロス」

「①まったく出ない」が62.9%で最も多く、次いで「②100g未満」が14.4%、「③100g以上～200g未満」が6.3%、「⑤500g以上～1kg未満」が4.6%などの順ある。

業種別では、卸・小売業で「まったく出ない」が多く、宿泊業・飲食サービス業で「500g以上～1kg未満」が多い。

従業員数別では、従業員数が多いほど「まったく出ない」がやや少ない。

選択肢	割合
① まったく出ない	62.9%
② 100g未満	14.4%
③ 100g以上～200g未満	6.3%
④ 200g以上～500g未満	3.0%
⑤ 500g以上～1kg未満	4.6%
⑥ 1kg以上～2kg未満	2.6%
⑦ 2kg以上～5kg未満	1.4%
⑧ 5kg以上～10kg未満	0.9%
⑨ 10kg以上	1.1%
無回答	2.8%

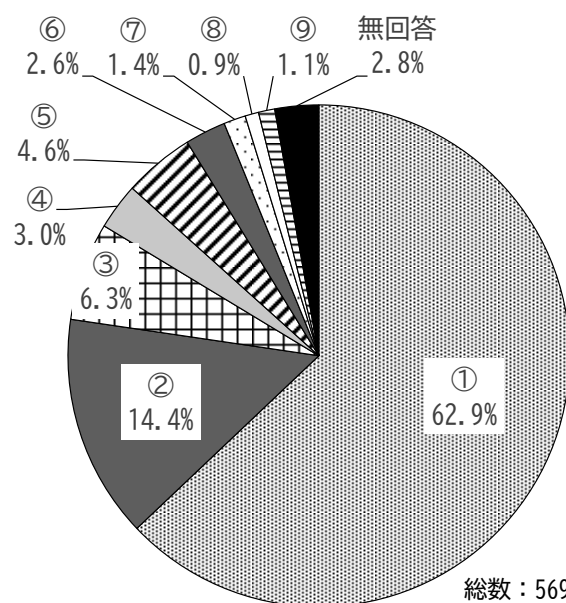


図 5-5-2 1週間に出る「食品ロス」

表 5-5-2 1 週間に出る「食品ロス」(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問7(2) 1 週間の食品ロスの量									
		まったく 出ない	100g未満	100g以上 ～200g未 満	200g以上 ～500g未 満	500g以上 ～1 kg未 満	1 kg以上 ～2 kg未 満	2 kg以上 ～5 kg未 満	5 kg以上 ～10kg未 満	10kg以上	無回答
全体	569	358	82	36	17	26	15	8	5	6	16
	100.0	62.9	14.4	6.3	3.0	4.6	2.6	1.4	0.9	1.1	2.8
業種	卸・小売業	104	69	12	5	3	3	4	0	0	4
		100.0	66.3	11.5	4.8	2.9	2.9	3.8	0.0	0.0	3.8
	宿泊業・飲食サー ビス業	51	3	8	5	5	14	8	3	3	0
		100.0	5.9	15.7	9.8	9.8	27.5	15.7	5.9	5.9	0.0
	紙ごみが出るサー ビス業	71	43	12	8	2	2	0	1	0	0
	100.0	60.6	16.9	11.3	2.8	2.8	0.0	1.4	0.0	0.0	
その他	336	240	49	18	7	7	3	4	2	1	5
	100.0	71.4	14.6	5.4	2.1	2.1	0.9	1.2	0.6	0.3	1.5
建物形態	単独事業所	93	54	19	2	5	7	1	0	2	1
		100.0	58.1	20.4	2.2	5.4	7.5	1.1	0.0	2.2	1.1
	事業所ビルに入居	156	101	20	10	4	2	6	4	1	3
		100.0	64.7	12.8	6.4	2.6	1.3	3.8	2.6	0.6	1.9
	集合住宅に事業所利 用として入居	107	66	17	5	5	7	3	0	0	1
		100.0	61.7	15.9	4.7	4.7	6.5	2.8	0.0	0.0	0.9
	戸建住宅で住居と兼 用	135	91	16	11	2	7	3	1	1	0
	100.0	67.4	11.9	8.1	1.5	5.2	2.2	0.7	0.7	0.0	
集合住宅で住居と兼 用	54	34	8	6	1	2	2	0	0	1	
	100.0	63.0	14.8	11.1	1.9	3.7	3.7	0.0	0.0	1.9	
その他	15	8	2	1	0	0	0	3	1	0	
	100.0	53.3	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	20.0	6.7	0.0	
従業員数	1～4人	354	231	52	18	10	21	9	2	1	0
		100.0	65.3	14.7	5.1	2.8	5.9	2.5	0.6	0.3	0.0
	5～9人	101	66	10	9	5	3	3	2	1	0
	100.0	65.3	9.9	8.9	5.0	3.0	3.0	2.0	1.0	0.0	
10人以上	103	58	18	7	2	1	3	3	3	6	
	100.0	56.3	17.5	6.8	1.9	1.0	2.9	2.9	2.9	5.8	
延床面積	30㎡(9坪)未満	162	119	18	6	0	10	4	2	0	0
		100.0	73.5	11.1	3.7	0.0	6.2	2.5	1.2	0.0	0.0
	30㎡(9坪)以上～50㎡ (15坪)未満	145	79	30	8	7	7	3	1	2	3
		100.0	54.5	20.7	5.5	4.8	4.8	2.1	0.7	1.4	2.1
	50㎡(15坪)以上～100 ㎡(30坪)未満	148	97	17	13	5	4	7	1	1	0
	100.0	65.5	11.5	8.8	3.4	2.7	4.7	0.7	0.7	0.0	
100㎡(30坪)以上～ 300㎡(90坪)未満	71	44	12	6	4	3	0	1	0	1	
	100.0	62.0	16.9	8.5	5.6	4.2	0.0	1.4	0.0	1.4	
300㎡(90坪)以上	30	11	4	3	1	1	1	3	2	2	
	100.0	36.7	13.3	10.0	3.3	3.3	3.3	10.0	6.7	6.7	

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

(3) 食品ロスの取組（飲食業）

「食材の在庫をこまめにチェックする」が78.4%で最も多く、次いで「食材を買いすぎない」が74.5%、「作りすぎない」が62.7%、「食べ残した料理の持ち帰りに対応している」が35.3%などの順である。

【その他の主な意見】

- 取り組む程ロスが出ない、ほとんど出ない。
- 台所のごみが主なので水分をカットする。
- 注文されすぎない様に量を伝える。

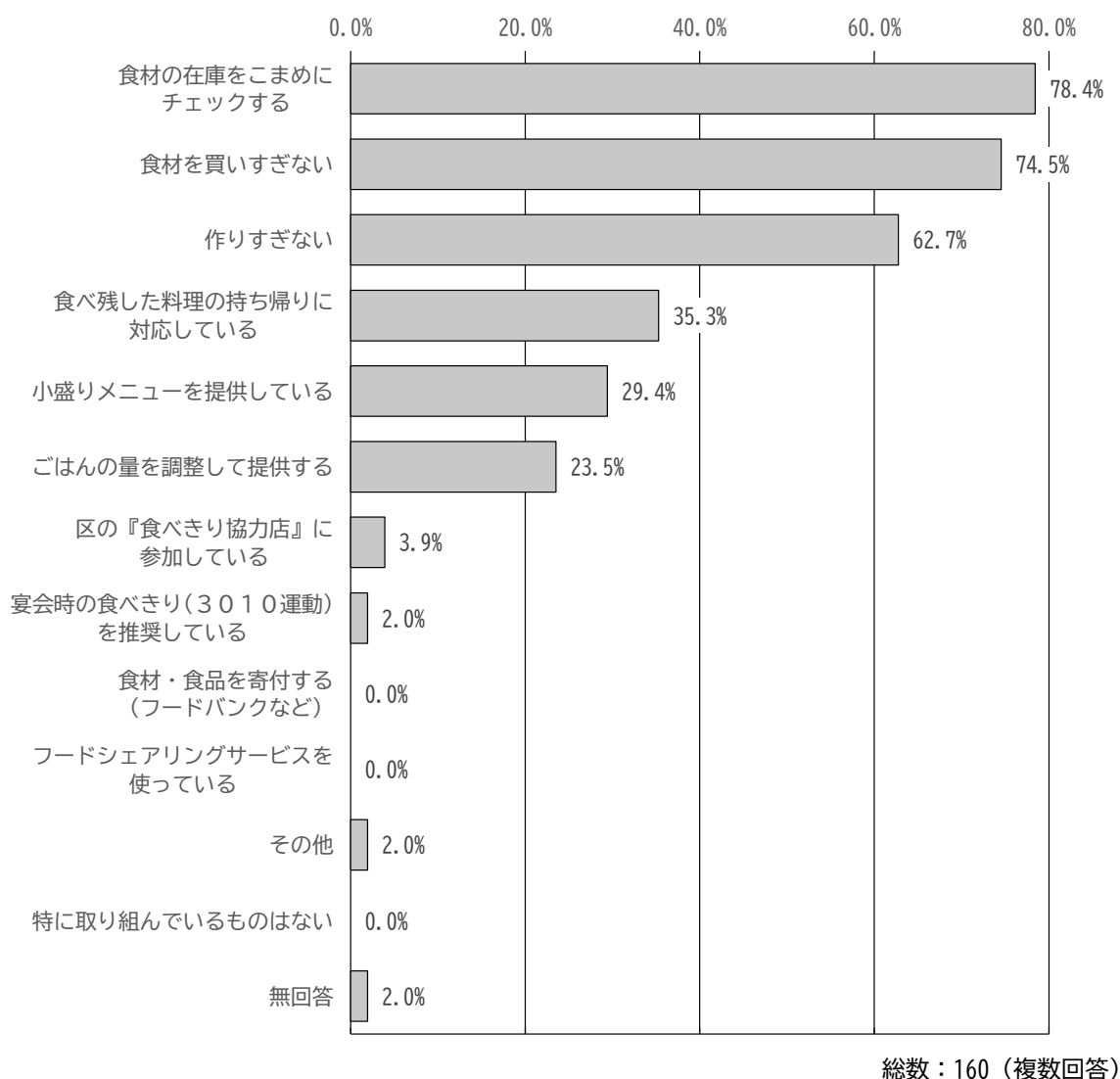


図 5-5-3 食品ロスの取組(飲食業)

表 5-5-3 食品ロスの取組(飲食業)

(上段：回答者数、下段：構成比)

		問7(3) 実施している食品ロスの取組 (飲食業)													
		合計	食材の在庫をこまめにチェックする	食材を買いすぎない	作りすぎない	食べ残した料理の持ち帰りに対応している	小盛りメニューを提供している	ごはんの量を調整して提供する	区の『食べきり協力店』に参加している	宴会時の食べきり(3010運動)を推奨している	食材・食品を寄附する(フードバンクなど)	フードシェアリングサービスを使っている	その他	特に取り組んでいるものはない	無回答
全体		51 100.0	40 78.4	38 74.5	32 62.7	18 35.3	15 29.4	12 23.5	2 3.9	1 2.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	1 2.0
業種	卸・小売業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	宿泊業・飲食サービス業	51 100.0	40 78.4	38 74.5	32 62.7	18 35.3	15 29.4	12 23.5	2 3.9	1 2.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	1 2.0
	紙ごみが出るサービス業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
建物形態	単独事業所	8 100.0	5 62.5	7 87.5	7 87.5	2 25.0	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	事業所ビルに入居	14 100.0	11 78.6	8 57.1	8 57.1	8 57.1	7 50.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0
	集合住宅に事業所利用として入居	13 100.0	10 76.9	11 84.6	8 61.5	4 30.8	3 23.1	4 30.8	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7
	戸建住宅で住居と兼用	10 100.0	10 100.0	8 80.0	6 60.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	集合住宅で住居と兼用	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
従業員数	1～4人	31 100.0	26 83.9	27 87.1	19 61.3	10 32.3	11 35.5	8 25.8	2 6.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	5～9人	9 100.0	7 77.8	7 77.8	7 77.8	5 55.6	3 33.3	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	10人以上	10 100.0	6 60.0	3 30.0	5 50.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0
延床面積	30㎡(9坪)未満	14 100.0	9 64.3	10 71.4	9 64.3	4 28.6	5 35.7	3 21.4	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30㎡(9坪)以上～50㎡(15坪)未満	18 100.0	15 83.3	13 72.2	11 61.1	7 38.9	6 33.3	6 33.3	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0
	50㎡(15坪)以上～100㎡(30坪)未満	12 100.0	10 83.3	9 75.0	8 66.7	4 33.3	2 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3
	100㎡(30坪)以上～300㎡(90坪)未満	6 100.0	5 83.3	5 83.3	4 66.7	3 50.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	300㎡(90坪)以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

(4) 食品ロスの今後の取組（飲食業）

「食材を買いすぎない」が25.5%で最も多く、次いで「作りすぎない」が19.6%、「食材の在庫をこまめにチェックする」が17.6%、「ごはんの量を調整して提供する」が15.7%などの順である。

【その他の主な意見】

- メニューを減らす。

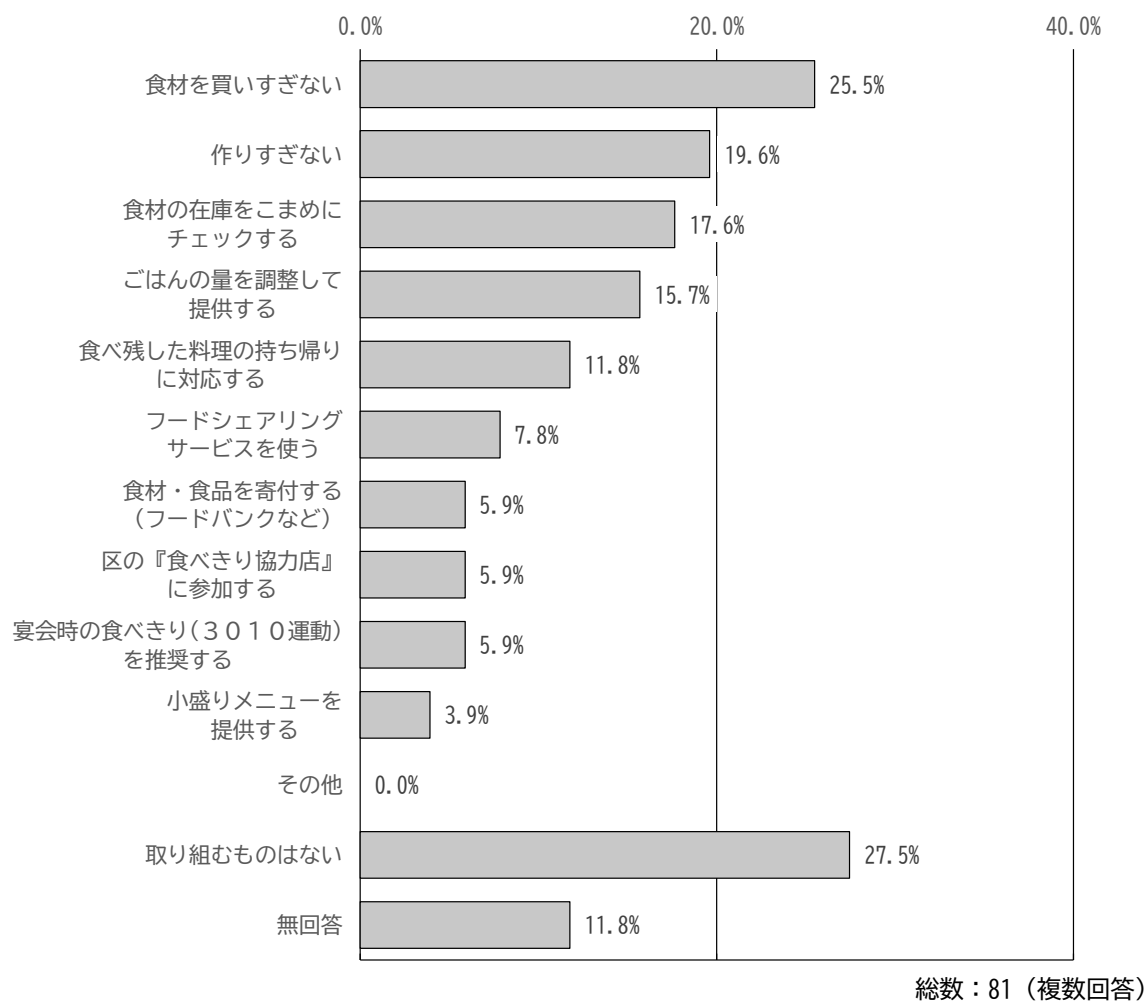


図 5-5-4 食品ロスの今後の取組（飲食業）

(5) 食品ロスの取組（飲食業以外）

「余計な食品や飲物は買わない」が61.6%で最も多く、次いで「備蓄品の在庫・賞味期限をこまめにチェックする」が30.1%などの順である。

【その他の主な意見】

- 事業所内では食事をしない。
- 賞味期限が近づくと安く売る。
- 冷凍する。
- 少量での販売。

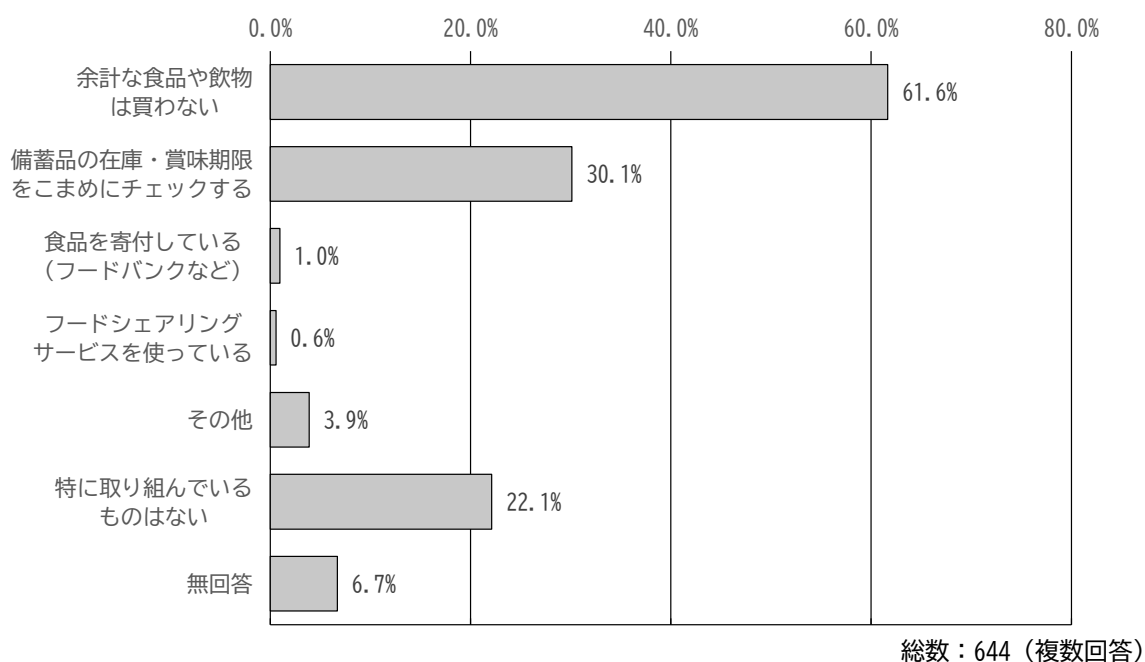


図 5-5-5 食品ロスの取組（飲食業以外）

(6) 食品ロスの今後の取組（飲食業以外）

「余計な食品や飲物は買わない」が32.5%で最も多く、次いで「備蓄品の在庫・賞味期限をこまめにチェックする」が21.9%、「食品を寄付する（フードバンクなど）」が6.7%、「フードシェアリングサービスを使う」が3.3%などの順である。

【その他の主な意見】

- 備蓄しない。
- 購入時にも、賞味期限、消費期限をよくチェックする。
- 冷凍する。
- 店頭にある賞味期限の迫っている食品を選んで買う。

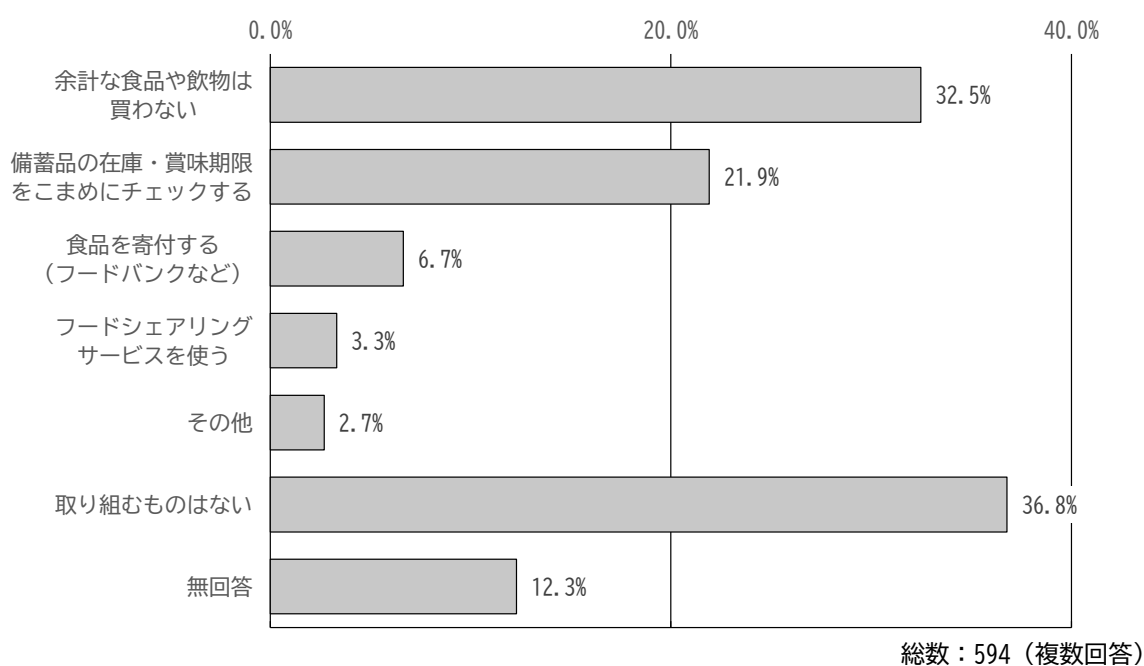


図 5-5-6 食品ロスの今後の取組（飲食業以外）

6 プラスチック

(1) プラスチック問題に対する関心

「①非常に関心がある」が29.2%、「②ある程度関心がある」が59.4%で、「関心がある」が88.6%を占めている。

業種別では、宿泊業・飲食サービス業で「関心がある」がやや少ない。

延床面積別では、30㎡(9坪)未満と50㎡(15坪)以上～100㎡(30坪)未満で「関心がある」がやや少ない。

選択肢	割合
① 非常に関心がある	29.2%
② ある程度関心がある	59.4%
③ あまり関心がない	5.3%
④ まったく関心がない	1.4%
⑤ わからない	3.0%
無回答	1.8%

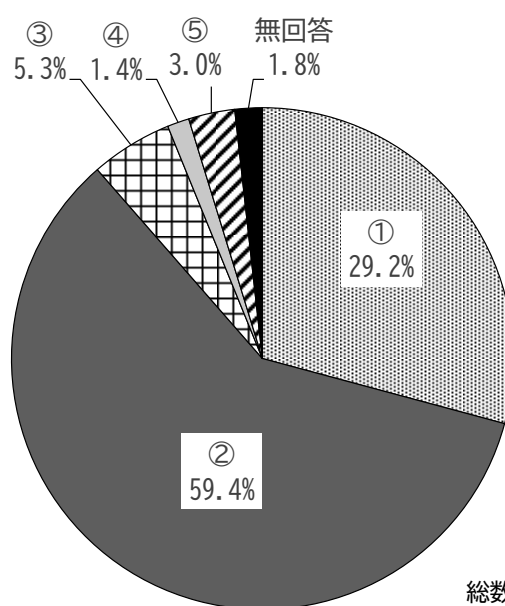


図 5-6-1 プラスチック問題に対する関心

表 5-6-1 プラスチック問題に対する関心

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問8(1) プラスチックごみ問題に対する関心					無回答
			非常に 関心がある	ある程度 関心がある	あまり関 心がない	まったく 関心がない	わからな い	
全体		569 100.0	166 29.2	338 59.4	30 5.3	8 1.4	17 3.0	10 1.8
業種	卸・小売業	104 100.0	29 27.9	65 62.5	7 6.7	0 0.0	1 1.0	2 1.9
	宿泊業・飲食サービス業	51 100.0	11 21.6	28 54.9	6 11.8	1 2.0	4 7.8	1 2.0
	紙ごみが出るサービス業	71 100.0	17 23.9	48 67.6	2 2.8	0 0.0	4 5.6	0 0.0
	その他	336 100.0	107 31.8	196 58.3	15 4.5	7 2.1	7 2.1	4 1.2
	建物形態	単独事業所	93 100.0	28 30.1	55 59.1	4 4.3	1 1.1	4 4.3
	事業所ビルに入居	156 100.0	34 21.8	104 66.7	9 5.8	3 1.9	5 3.2	1 0.6
	集合住宅に事業所利用として入居	107 100.0	28 26.2	69 64.5	7 6.5	0 0.0	3 2.8	0 0.0
	戸建住宅で住居と兼用	135 100.0	52 38.5	65 48.1	9 6.7	4 3.0	3 2.2	2 1.5
	集合住宅で住居と兼用	54 100.0	18 33.3	30 55.6	1 1.9	0 0.0	2 3.7	3 5.6
	その他	15 100.0	3 20.0	12 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
従業員数	1～4人	354 100.0	112 31.6	206 58.2	16 4.5	6 1.7	8 2.3	6 1.7
	5～9人	101 100.0	25 24.8	65 64.4	6 5.9	0 0.0	4 4.0	1 1.0
	10人以上	103 100.0	26 25.2	63 61.2	8 7.8	2 1.9	4 3.9	0 0.0
延床面積	30㎡(9坪)未満	162 100.0	47 29.0	94 58.0	7 4.3	5 3.1	6 3.7	3 1.9
	30㎡(9坪)以上～50㎡(15坪)未満	145 100.0	42 29.0	91 62.8	6 4.1	1 0.7	4 2.8	1 0.7
	50㎡(15坪)以上～100㎡(30坪)未満	148 100.0	47 31.8	81 54.7	13 8.8	1 0.7	4 2.7	2 1.4
	100㎡(30坪)以上～300㎡(90坪)未満	71 100.0	16 22.5	49 69.0	2 2.8	1 1.4	2 2.8	1 1.4
	300㎡(90坪)以上	30 100.0	10 33.3	17 56.7	2 6.7	0 0.0	1 3.3	0 0.0

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

(2) プラスチック問題への取組

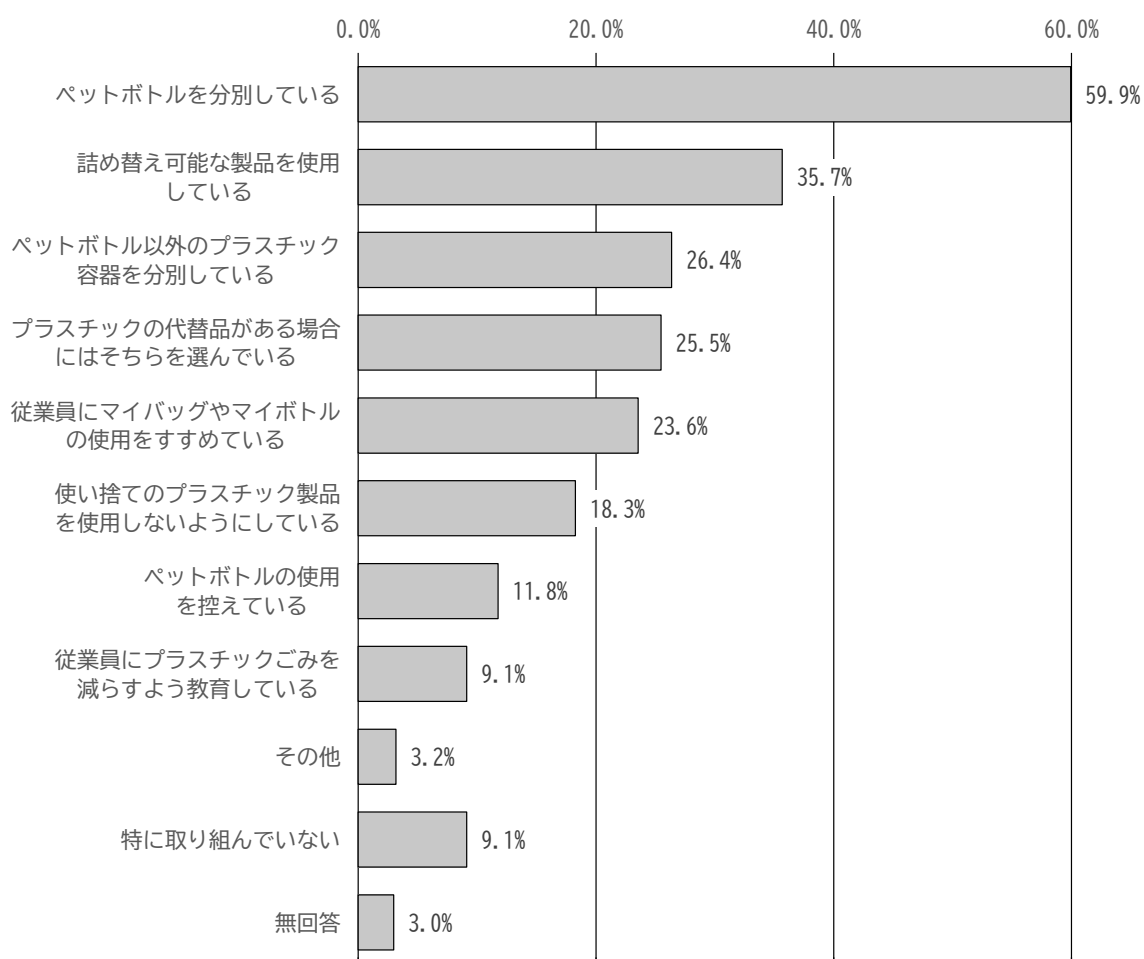
「ペットボトルを分別している」が59.9%で最も多く、次いで「詰め替え可能な製品を使用している」が35.7%、「ペットボトル以外のプラスチック容器を分別している」が26.4%、「プラスチックの代替品がある場合にはそちらを選んでいる」が25.5%などの順である。

業種別では、宿泊業・飲食サービス業で「ペットボトルの使用を控えている」「従業員にプラスチックごみを減らすよう教育している」がやや少ない。

建物形態別では、事業所ビルに入居、戸建住宅で住居と兼用で「ペットボトルの使用を控えている」が少ない。

【その他の主な意見】

- コンビニなどでスプーン、フォークなどは断っている。
- プラスチックごみは分別して洗って出す。
- プラスチックごみの出ないものを、なるべく購入する。
- 製造時の不良率を下げる活動をすることでプラごみの減量につながるようになっている。



総数：1283（複数回答）

図 5-6-2 プラスチック問題への取組

表 5-6-2 プラスチック問題への取組（属性別）

（上段：回答者数、下段：構成比）

	合計	問8(2) プラスチックごみの減量・リサイクルの取組											
		ペットボトルを分別している	詰め替え可能な製品を使用している	ペットボトル以外のプラスチック容器を分別している	プラスチックの代替品がある場合にはそちらを選んでいる	従業員にマイバッグやマイボトルの使用をすすめている	使い捨てのプラスチック製品を使用しないようにしている	ペットボトルの使用を控えている	従業員にプラスチックごみを減らすよう教育している	その他	特に取り組んでいない	無回答	
全体	569 100.0	341 59.9	203 35.7	150 26.4	145 25.5	134 23.6	104 18.3	67 11.8	52 9.1	18 3.2	52 9.1	17 3.0	
業種表側	卸・小売業	104 100.0	59 56.7	38 36.5	26 25.0	26 25.0	22 21.2	14 13.5	12 11.5	17 16.3	0 0.0	10 9.6	2 1.9
	宿泊業・飲食サービス業	51 100.0	30 58.8	20 39.2	17 33.3	14 27.5	14 27.5	8 15.7	4 7.8	4 7.8	0 0.0	7 13.7	1 2.0
	紙ごみが出るサービス業	71 100.0	48 67.6	23 32.4	20 28.2	13 18.3	15 21.1	15 21.1	8 11.3	9 12.7	2 2.8	8 11.3	2 2.8
	その他	336 100.0	204 60.7	120 35.7	87 25.9	92 27.4	82 24.4	65 19.3	43 12.8	22 6.5	15 4.5	27 8.0	9 2.7
	建物形態	93 100.0	51 54.8	29 31.2	17 18.3	23 24.7	24 25.8	20 21.5	11 11.8	16 17.2	5 5.4	12 12.9	1 1.1
	156 100.0	104 66.7	63 40.4	36 23.1	35 22.4	40 25.6	16 10.3	15 9.6	15 9.6	3 1.9	9 5.8	3 1.9	
	107 100.0	65 60.7	38 35.5	33 30.8	27 25.2	26 24.3	20 18.7	18 16.8	6 5.6	0 0.0	10 9.3	2 1.9	
	135 100.0	77 57.0	46 34.1	39 28.9	34 25.2	24 17.8	31 23.0	11 8.1	8 5.9	7 5.2	15 11.1	6 4.4	
	54 100.0	34 63.0	24 44.4	21 38.9	17 31.5	15 27.8	11 20.4	8 14.8	6 11.1	2 3.7	5 9.3	1 1.9	
	15 100.0	6 40.0	1 6.7	2 13.3	6 40.0	2 13.3	3 20.0	2 13.3	1 6.7	0 0.0	1 6.7	1 6.7	
従業員数	1～4人	354 100.0	216 61.0	124 35.0	99 28.0	96 27.1	72 20.3	74 20.9	48 13.6	25 7.1	13 3.7	34 9.6	13 3.7
	5～9人	101 100.0	60 59.4	42 41.6	25 24.8	21 20.8	33 32.7	16 15.8	11 10.9	12 11.9	2 2.0	5 5.0	1 1.0
	10人以上	103 100.0	60 58.3	33 32.0	25 24.3	25 24.3	26 25.2	12 11.7	8 7.8	14 13.6	2 1.9	13 12.6	0 0.0
延床面積	30㎡(9坪)未満	162 100.0	85 52.5	45 27.8	35 21.6	38 23.5	27 16.7	34 21.0	23 14.2	9 5.6	9 5.6	22 13.6	7 4.3
	30㎡(9坪)以上～50㎡(15坪)未満	145 100.0	92 63.4	63 43.4	40 27.6	40 27.6	35 24.1	25 17.2	18 12.4	15 10.3	1 0.7	13 9.0	3 2.1
	50㎡(15坪)以上～100㎡(30坪)未満	148 100.0	95 64.2	63 42.6	44 29.7	40 27.0	43 29.1	35 23.6	17 11.5	14 9.5	4 2.7	8 5.4	4 2.7
	100㎡(30坪)以上～300㎡(90坪)未満	71 100.0	46 64.8	21 29.6	14 19.7	21 29.6	18 25.4	8 11.3	9 12.7	7 9.9	1 1.4	6 8.5	0 0.0
	300㎡(90坪)以上	30 100.0	19 63.3	9 30.0	14 46.7	6 20.0	7 23.3	0 0.0	0 0.0	7 23.3	2 6.7	2 6.7	0 0.0

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

(3) プラスチック問題の今後の取組

「プラスチックの代替品がある場合にはそちらを選ぶ」が 31.5%で最も多く、次いで「詰め替え可能な製品を使用する」が 18.5%、「従業員にマイバッグやマイボトルの使用をすすめる」が 17.8%、「ペットボトルの使用を控える」「使い捨てのプラスチック製品を使用しない」が 16.7%などの順である。

【その他の主な意見】

- 消費者としてできることは、ほとんどない（販売者側の問題）。
- 量り売り、お客様に容器をお持ち頂く。
- 自分使用のペットボトルは再利用している。
- 余計な物はもらわない。スプーンなど（コンビニ等で）。

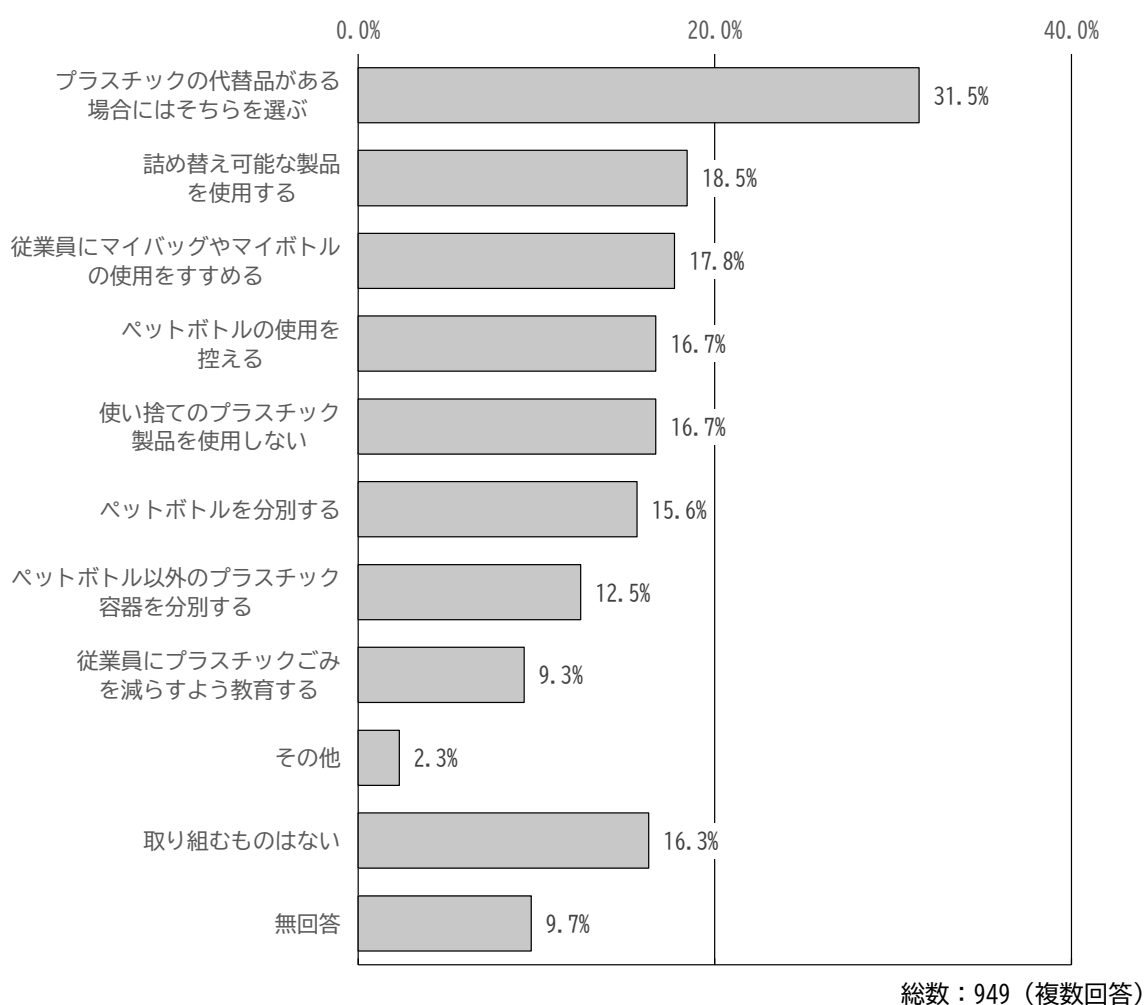


図 5-6-3 プラスチック問題の今後の取組

7 関心・取組状況

(1) 行っている取組

「職場に資源（紙、びん、缶、ペットボトルなど）の分別回収ボックスを設置している」が61.7%で最も多く、次いで「事務用品などにリサイクル品を使用している」が26.5%、「ごみ減量やリサイクルの推進について、従業員教育に努めている」が22.1%、「割りばし、紙コップなど使い捨て食器等を使用していない」が21.6%などの順である。

業種別では、紙ごみが出るサービス業で「職場に資源（紙、びん、缶、ペットボトルなど）の分別回収ボックスを設置している」が多い。

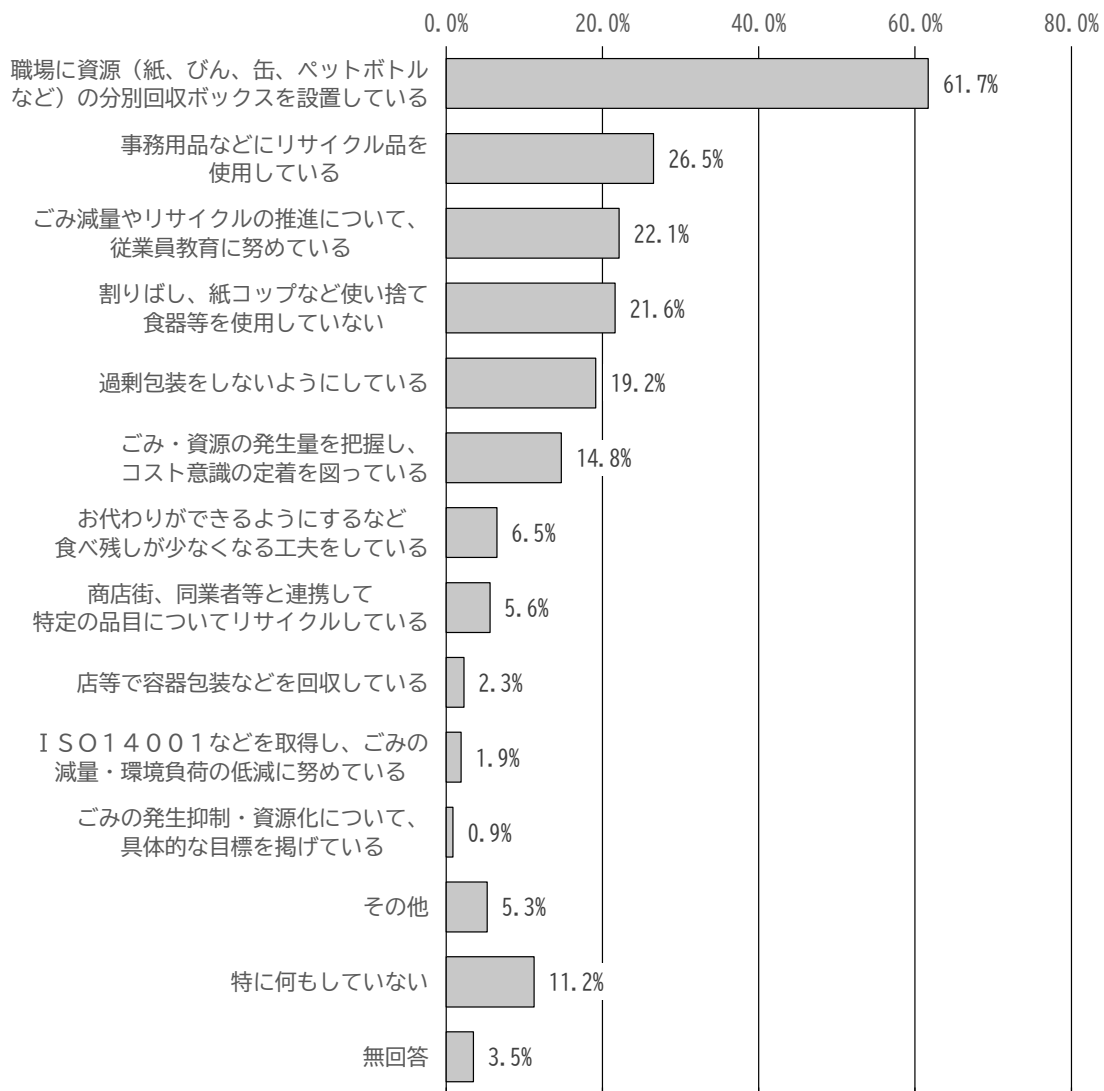
建物形態別では、単独事業所で「職場に資源（紙、びん、缶、ペットボトルなど）の分別回収ボックスを設置している」が多い。一方、戸建住宅で住居と兼用、集合住宅で住居と兼用で「割りばし、紙コップなど使い捨て食器等を使用していない」がやや多い。

従業員数別では、従業員数が多いほど「職場に資源（紙、びん、缶、ペットボトルなど）の分別回収ボックスを設置している」、「事務用品などにリサイクル品を使用している」、「ごみ減量やリサイクルの推進について、従業員教育に努めている」が多い。

延床面積別では、大きいほど「職場に資源（紙、びん、缶、ペットボトルなど）の分別回収ボックスを設置している」、「事務用品などにリサイクル品を使用している」が多い。一方、小さいほど「割りばし、紙コップなど使い捨て食器等を使用していない」が多い傾向がある。

【その他の主な意見】

- 書類対応をほとんど行っておらずデータで管理するようにしている。
- 区の取り決めに従って、きちんと分別、洗浄などを行い「きれいなごみ」として出している。
- 包装してきた袋を利用してごみを入れる。
- メルカリなど利用し不要品を人にゆずっている。
- カン、ペット等は持ち帰っている。



総数：1156（複数回答）

図 5-7-1 ごみ減量・リサイクルの取組

表 5-7-1 ごみ減量・リサイクルの取組(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問6(1) ごみ減量・リサイクルの取組														
		職場に資源(紙、びん、缶、ペットボトルなど)の分別回収ボックスを設置している	事務用品などにリサイクル品を使用している	ごみ減量やリサイクルの推進について、従業員に教育している	割りばし、紙コップなど捨て食器等を使用していない	過剰包装をしないようにしている	ごみ・資源の発生量を把握し、コスト意識を図っている	お代わりがきやすくなるなど残しが少ない工夫をしている	商店街、同等業者と連携して特定目録のリサイクルしている	店等で容器などを回収している	ISO14001などを取得し、ごみの減量・環境負荷の低減に努めている	ごみの発生抑制・資源化について、具体的な目標を掲げている	その他	特に何もない	無回答	
全体	569 100.0	351 61.7	151 26.5	126 22.1	123 21.6	109 19.2	84 14.8	37 6.5	32 5.6	13 2.3	11 1.9	5 0.9	30 5.3	64 11.2	20 3.5	
業種	卸・小売業	104 100.0	51 49.0	37 35.6	31 29.8	23 22.1	42 40.4	19 18.3	4 3.8	10 9.6	2 1.9	4 3.8	2 1.9	3 2.9	8 7.7	3 2.9
	宿泊業・飲食サービス業	51 100.0	29 56.9	9 17.6	12 23.5	12 23.5	16 31.4	9 17.6	11 21.6	7 13.7	2 3.9	2 3.9	1 2.0	1 2.0	5 9.8	1 2.0
	紙ごみが出るサービス業	71 100.0	45 63.4	16 22.5	15 21.1	10 14.1	6 8.5	11 15.5	3 4.2	2 2.8	2 2.8	1 1.4	0 0.0	2 2.8	13 18.3	3 4.2
	その他	336 100.0	223 66.4	88 26.2	68 20.2	76 22.6	45 13.4	45 13.4	18 5.4	13 3.9	7 2.1	4 1.2	2 0.6	24 7.1	37 11.0	11 3.3
建物形態	単独事業所	93 100.0	66 71.0	31 33.3	34 36.6	12 12.9	19 20.4	15 16.1	6 6.5	4 4.3	3 3.2	5 5.4	0 0.0	2 2.2	5 5.4	1 1.1
	事業所ビルに入居	156 100.0	106 67.9	48 30.8	38 24.4	31 19.9	36 23.1	29 18.6	6 3.8	4 2.6	2 1.3	5 3.2	1 0.6	4 2.6	18 11.5	2 1.3
	集合住宅に事業所利用として入居	107 100.0	67 62.6	32 29.9	24 22.4	24 22.4	26 24.3	18 16.8	10 9.3	11 10.3	4 3.7	0 0.0	0 0.0	3 2.8	10 9.3	3 2.8
	戸建住宅で住居と兼用	135 100.0	68 50.4	26 19.3	20 14.8	36 26.7	19 14.1	13 9.6	11 8.1	7 5.2	2 1.5	0 0.0	3 2.2	13 9.6	21 15.6	8 5.9
	集合住宅で住居と兼用	54 100.0	35 64.8	8 14.8	7 13.0	15 27.8	8 14.8	7 13.0	4 7.4	3 5.6	2 3.7	0 0.0	0 0.0	6 11.1	6 11.1	2 3.7
	その他	15 100.0	6 40.0	3 20.0	2 13.3	2 13.3	0 0.0	2 13.3	0 0.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	3 20.0	2 13.3
	従業員数	1～4人	354 100.0	196 55.4	71 20.1	64 18.1	88 24.9	68 19.2	48 13.6	24 6.8	23 6.5	6 1.7	2 0.6	2 0.6	25 7.1	47 13.3
5～9人		101 100.0	70 69.3	35 34.7	29 28.7	18 17.8	25 24.8	19 18.8	6 5.9	2 2.0	4 4.0	2 2.0	1 1.0	3 3.0	9 8.9	0 0.0
10人以上		103 100.0	81 78.6	44 42.7	31 30.1	16 15.5	15 14.6	16 15.5	6 5.8	7 6.8	2 1.9	7 6.8	2 1.9	1 1.0	6 5.8	2 1.9
延床面積	30㎡(9坪)未満	162 100.0	68 42.0	33 20.4	25 15.4	38 23.5	27 16.7	21 13.0	8 4.9	6 3.7	2 1.2	2 1.2	2 1.2	15 9.3	31 19.1	9 5.6
	30㎡(9坪)以上～50㎡(15坪)未満	145 100.0	93 64.1	31 21.4	30 20.7	33 22.8	36 24.8	24 16.6	13 9.0	7 4.8	4 2.8	0 0.0	0 0.0	4 2.8	16 11.0	4 2.8
	50㎡(15坪)以上～100㎡(30坪)未満	148 100.0	106 71.6	42 28.4	41 27.7	37 25.0	29 19.6	24 16.2	12 8.1	11 7.4	4 2.7	1 0.7	2 1.4	7 4.7	10 6.8	4 2.7
	100㎡(30坪)以上～300㎡(90坪)未満	71 100.0	53 74.6	30 42.3	17 23.9	10 14.1	13 18.3	9 12.7	3 4.2	6 8.5	2 2.8	4 5.6	0 0.0	3 4.2	5 7.0	0 0.0
	300㎡(90坪)以上	30 100.0	24 80.0	13 43.3	11 36.7	4 13.3	4 13.3	6 20.0	1 3.3	1 3.3	1 3.3	4 13.3	1 3.3	1 3.3	1 3.3	0 0.0

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

(2) ごみ減量・リサイクル活動推進に当たっての課題

「資源化できるものは出ない、また発生量が少ない」が20.9%で最も多く、次いで「保管するスペースがない」が20.7%、「経費をかけることが難しい」が18.3%、「機密文書が多く、リサイクルが難しい」が11.2%などの順である。

業種別では、卸・小売業で「保管するスペースがない」「経費をかけることが難しい」が多い。

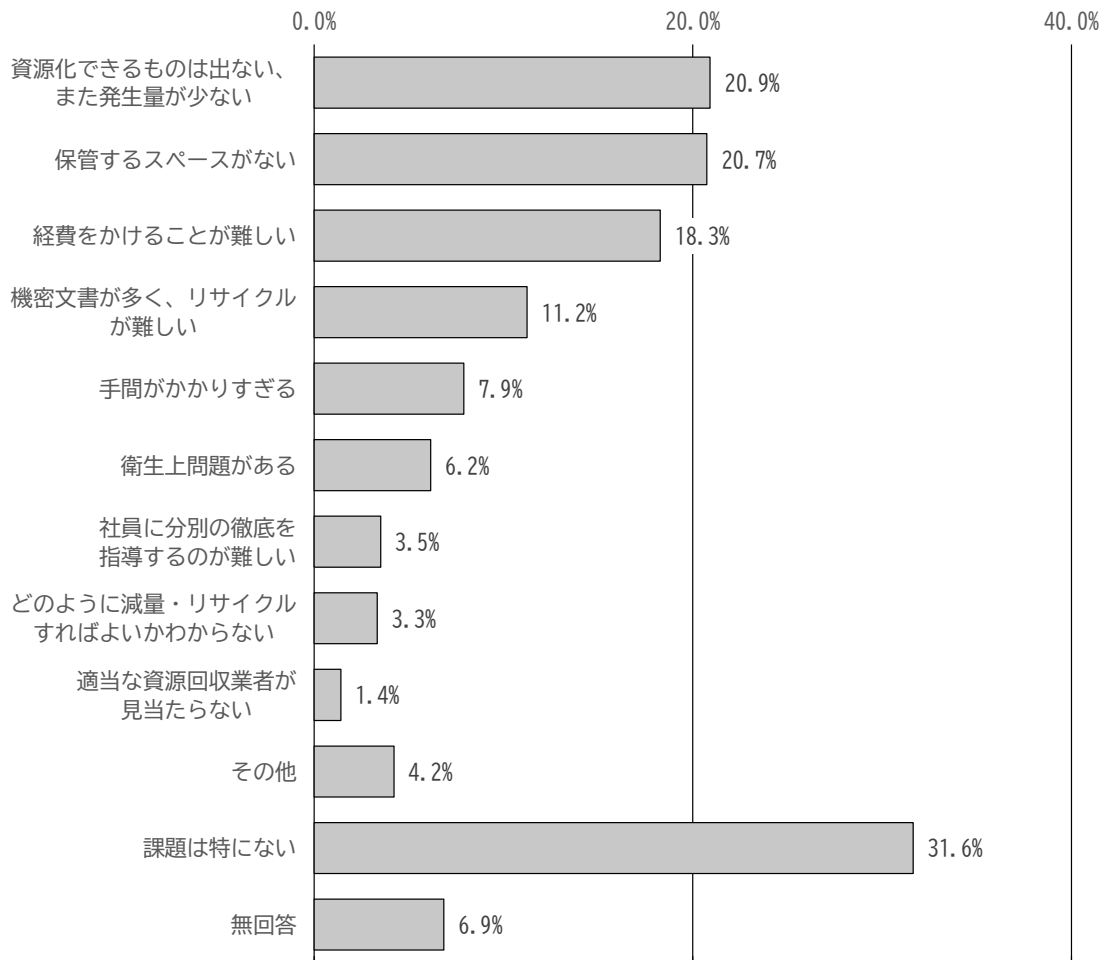
建物形態別では、戸建住宅で住居と兼用で「保管するスペースがない」が少ない。

従業員数別では、従業員数が多いほど「資源化できるものは出ない、また発生量が少ない」が少ない。また、10人以上で「機密文書が多く、リサイクルが難しい」が多い。

延床面積別では、面積が広いほど「資源化できるものは出ない、また発生量が少ない」が少ない傾向がある。

【その他の主な意見】

- 粗大ごみの処分に困る。1回あたりに高額な費用がかかるので、なるべくまとめて回収してもらっているが、それまでの間に粗大ごみが邪魔になる。
- お客様がきちんと分別しないケースがある。
- 衛生的にプラゼロが難しい。
- やり方を表示した冊子等があると嬉しい。
- 資源ごみも有料であるため、分別するメリットがない。



総数：775（複数回答）

図 5-7-2 ごみ減量・リサイクル活動推進に当たっての課題（複数選択）

表 5-7-2 ごみ減量・リサイクル活動推進に当たっての課題(属性別)

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問6(2) ごみ減量・リサイクル活動推進の課題											
			資源化できるものは出ない、また発生量が少ない	保管するスペースがない	経費をかけることが難しい	機密文書が多く、リサイクルが難しい	手間がかかりすぎる	衛生上問題がある	社員に分別の徹底を指導するのが難しい	どのように減量・リサイクルすればよいかかわからない	適当な回収業者が見当たらない	その他	課題は特にない	無回答
全体		569 100.0	119 20.9	118 20.7	104 18.3	64 11.2	45 7.9	35 6.2	20 3.5	19 3.3	8 1.4	24 4.2	180 31.6	39 6.9
業種	卸・小売業	104 100.0	22 21.2	34 32.7	30 28.8	10 9.6	9 8.7	5 4.8	5 4.8	2 1.9	2 1.9	3 2.9	23 22.1	8 7.7
	宿泊業・飲食サービス業	51 100.0	11 21.6	12 23.5	11 21.6	3 5.9	3 5.9	4 7.8	1 2.0	3 5.9	1 2.0	1 2.0	16 31.4	4 7.8
	紙ごみの出るサービス業	71 100.0	12 16.9	9 12.7	10 14.1	7 9.9	10 14.1	3 4.2	1 1.4	1 1.4	0 0.0	4 5.6	27 38.0	7 9.9
	その他	336 100.0	72 21.4	61 18.2	53 15.8	44 13.1	23 6.8	23 6.8	13 3.9	13 3.9	5 1.5	16 4.8	113 33.6	17 5.1
	建物形態	単独事業所	93 100.0	21 22.6	26 28.0	16 17.2	12 12.9	11 11.8	8 8.6	6 6.5	5 5.4	1 1.1	3 3.2	24 25.8
	事業所ビルに入居	156 100.0	27 17.3	42 26.9	35 22.4	24 15.4	15 9.6	9 5.8	10 6.4	3 1.9	0 0.0	5 3.2	44 28.2	8 5.1
	集合住宅に事業所利用として入居	107 100.0	20 18.7	27 25.2	27 25.2	13 12.1	6 5.6	11 10.3	2 1.9	6 5.6	4 3.7	3 2.8	36 33.6	2 1.9
	戸建住宅で住居と兼用	135 100.0	38 28.1	10 7.4	15 11.1	8 5.9	8 5.9	4 3.0	1 0.7	4 3.0	1 0.7	10 7.4	50 37.0	10 7.4
	集合住宅で住居と兼用	54 100.0	12 22.2	7 13.0	8 14.8	6 11.1	3 5.6	2 3.7	0 0.0	0 0.0	1 1.9	2 3.7	22 40.7	5 9.3
	その他	15 100.0	1 6.7	4 26.7	3 20.0	1 6.7	2 13.3	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	3 20.0	5 33.3
従業員数	1～4人	354 100.0	89 25.1	59 16.7	57 16.1	21 5.9	24 6.8	15 4.2	3 0.8	9 2.5	6 1.7	17 4.8	126 35.6	25 7.1
	5～9人	101 100.0	15 14.9	31 30.7	24 23.8	16 15.8	9 8.9	12 11.9	8 7.9	3 3.0	0 0.0	3 3.0	29 28.7	4 4.0
	10人以上	103 100.0	13 12.6	26 25.2	23 22.3	26 25.2	11 10.7	8 7.8	9 8.7	7 6.8	1 1.0	4 3.9	24 23.3	5 4.9
延床面積	30㎡(9坪)未満	162 100.0	43 26.5	23 14.2	25 15.4	6 3.7	4 2.5	7 4.3	2 1.2	6 3.7	3 1.9	10 6.2	61 37.7	11 6.8
	30㎡(9坪)以上～50㎡(15坪)未満	145 100.0	30 20.7	34 23.4	26 17.9	14 9.7	15 10.3	8 5.5	2 1.4	2 1.4	2 1.4	3 2.1	47 32.4	9 6.2
	50㎡(15坪)以上～100㎡(30坪)未満	148 100.0	29 19.6	38 25.7	31 20.9	23 15.5	13 8.8	13 8.8	6 4.1	4 2.7	2 1.4	5 3.4	44 29.7	9 6.1
	100㎡(30坪)以上～300㎡(90坪)未満	71 100.0	11 15.5	10 14.1	11 15.5	16 22.5	4 5.6	4 5.6	6 8.5	6 8.5	0 0.0	5 7.0	21 29.6	4 5.6
	300㎡(90坪)以上	30 100.0	5 16.7	10 33.3	11 36.7	3 10.0	9 30.0	3 10.0	3 10.0	1 3.3	1 3.3	1 3.3	5 16.7	1 3.3

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

第6章 粗大ごみ3R調査

1 調査概要

(1) 調査目的

粗大ごみの量は、過去5年間で約35%と大幅に増加している。粗大ごみの3Rについて、先進的な取組を実施している他自治体へのアンケート調査等を行うことで、粗大ごみ減量につながる施策を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

(2) 調査対象

調査対象自治体として、次のデータベースから52自治体を抽出した。

- 「日本の廃棄物処理(令和2年度版)」(令和4年3月 環境省)における、3Rの取組上位市町村「人口10万人以上50万人未満」と「人口50万人以上」の政令指定都市を除く自治体
- 「一般廃棄物処理実態調査結果 施設整備状況」(環境省ホームページ)における「リユース・リペア施設・資源化施設」において、リユース・リペアの活発な人口10万人以上の自治体

(3) 調査内容

調査内容は、次のとおりである。

- ① 粗大ごみリユース・リペア
- ② 拠点回収
- ③ 店頭回収
- ④ イベント回収
- ⑤ 民間リユース業者との連携
- ⑥ フリーマーケットへの支援
- ⑦ 不燃ごみからの資源化
- ⑧ 布類のリサイクル

(4) 調査方法

エクセルで作成した調査票を電子メールで送付した。

(5) 調査期間

令和4年10月3日(月)～10月25日(火)

(6) 回収状況

52自治体のうち40自治体からの回答を得た。

2 調査結果

(1) 粗大ごみリユース・リペア

粗大ごみリユース・リペア施設は、33自治体が34施設を所有している。

①施設の運営主体

施設の運営主体は、直営が13自治体、一部委託が10自治体、委託が11自治体である。

②リユース品の展示施設・リペア機能（修理再生機能）の有無

リユース品の展示施設・リペア機能（修理再生機能）の両方があるのは25自治体、リユース品の展示施設のみあるのが1自治体、リペア機能（修理再生機能）のみあるのが4自治体である。

③粗大ごみ回収時に使えるものと使えないものの判断方法

- 粗大ごみ収集車が処理場へ搬入する前に施設へ立ち寄り、施設の作業員が修理・販売するものを引き抜いている。
- 粗大ごみ搬入時にピットで委託会社が判断したもののの中から、リペアを委託している組合が選別している。
- 埋立処分場従事職員及び修復作業従事職員（いずれも委託業者）が、廃棄品の劣化・破損度合いと、在庫品の状況によって判断している。
- 通常粗大ごみの回収とは別に市民からまだ使えるものだと連絡を受けて職員が回収している。
- 家具のリユース・リペアについては、粗大ごみに出されたものではなく、不要な家具をお持ちの市民からの持ち込み、または依頼を受けて訪問し、リペア作業を行う者が現物を確認してリペア及び再利用が可能なものだけを収集している。

④売れ残った粗大ごみについて

○解体するなどして活用

- 家具、自転車ともに、ある程度の期間陳列して売れそうでなければ、解体して他の製品の材料にする。
- 約半年後に値下げし、売れないものは、廃材として工房で利用。（工房コーナーがあり、市民が廃材を利用して工作を行っている）。
- 値引きをし、数か月間様子を見る。売れなかったものは、分解し廃材にする。

○スペースに余裕がある限り置いておく

- 展示スペースに余裕があるため、当初設定した額のまま値引きせず売れるまで並べておく。
- 販売スペースに余裕があれば継続して販売し、手狭になった場合は処分する。

○期限を決めて処分

- 月に1回のリサイクル品販売を行っている。半年に1回を目安に処分をしている。
- 譲渡先が見つからなかった場合は翌月に持ち越し（再展示）し、3か月展示しても譲渡先がない場合は処分している。
- 2月に残る雛人形は12月まで、4・5月に残る人形・兜飾りは、次の2月まで保存している。
- 販売開始2週間で値引きし、その後2週間程度で希望者に譲渡する。
- 6か月間値引きをしながら販売し、売れなかったものはごみとして処理する。
- 家具については、基本的には廃棄処分とする。（在庫品の状況による）
- 年6回、提供申込・抽選を行っているが、2回連続で申込がないものは一旦下げ、1~2回間隔をあけてから、再度展示する。トータル6回程度申込がなかった場合に、年1回行っているリサイクルフェアの無料提供品や他の製品の部品として利用している。
- 概ね2年経過したものはごみとして処理している。

○値引き

- 自転車については、値引きをし、次回の販売時に再度展示する。
- 翌月に値下げを検討して販売する。
- 2か月間売れなかったものは値引きをしている。
- 売れなかったものは値引きし、別の月に展示・販売する。これを3回程度行っても売れなかったものは無料家具として展示し、それでも残ったものをごみとして処理している。

○ものによって判断

- 需要があると判断したものについては、次回開催時に再度出品している。需要がないものについては都度ごみとして処理している。

⑤事業の課題

○供給不足

- ネット等での個人売買が増えてきているためか集荷数が減少している。
- 自転車販売の需要に対し、供給（提供を受ける放置自転車の数）が不足している。

○需給バランス

- 大型家具、陶器磁器、本等のリユース、リペア品が購入者のニーズに合致してこなくなっている。
- 最近の住宅は、作り付けの収納（ウォークインクローゼット）が常備されているためか、家具の収集、販売数ともに減少傾向にある。
- 自己搬出が可能である市内在住の方のみが参加できるため、大型家具について入札件数が少なく、落札者なしの家具が発生してしまう。

○修理・再生の課題

- 自転車の修復・販売について、これまでは軽快車を中心に取り扱ってきたが、近年、スポーツタイプの自転車が流行してきたことから、取り扱い車種の多様化に対応するため、修復技術の向上が課題となっている。
- 修理をしている職人の高齢化による後継が課題である。

○財政状況

- 市財政の緊縮化により、再生家具や再生自転車の委託事業の費用も年々削減される傾向にある。そのため、家具や自転車の再生にあたる委託先からの派遣職員の人件費を削減しなければならない状況となっている。
- 再生、リサイクルに係る費用対効果が課題である。

○自家用車が必要

- 家具は購入者が自ら搬出・運搬を行うルールとなっているため、車を持っていない市民や自力で家具を運べない市民が家具を購入できない状況になっている。
- 公共交通機関の路線変更によりリサイクルプラザを経由しなくなったため、自家用車を使用しないと来所しにくくなった。

○その他

- 月1回の販売となっており販売する家具の保管場所の確保などが難しい。
- 高齢者の増加により、玄関先まで提供品を出せないという理由で、お断りをする場合が多くなってきている。
- 効果的な周知方法を模索している。
- 自転車の再生事業については、警察からの指導により、粗大ごみから出た自転車ではなく、放置自転車のみを使用している。しかし、放置自転車は劣化しているものが多く、再生コストが割高になっている。また、放置自転車が減少傾向にあるため、自転車の調達が難しくなっている。
- 感染症拡大防止の観点から、月に1回の頻度で行っていた即売会を中止し、市ホームページ等で入札販売を行っているが、販売数は従来（令和元年度）の5%程度に落ち込んでいる。

⑥その他の取組

- 受託NPO法人が「こどもフリーマーケット」を開催している。
- 災害時に無償提供をしている。
- 粗大ごみではないが取扱品である学生服や学生カバンは低価格で販売している。母子家庭や生活困窮世帯においては無償で提供している。
- 粗大ごみとして収集した自転車を整備し、市内の大学に無償で提供している。

(2) 拠点回収

拠点回収は、37 自治体で実施している。

①対象品目

○5自治体以上で実施されている対象品目

- 小型家電製品 23 自治体
- 古紙（紙パック含む） 14 自治体
- 乾電池 11 自治体
- インクカートリッジ 10 自治体
- ペットボトル 9 自治体
- 廃食油 9 自治体
- 蛍光管 7 自治体
- 水銀含有物 5 自治体
- 小型充電式電池 5 自治体

○その他参考となる品目

- コンタクトレンズの空ケース
- くつ・かばん
- 陶磁器
- くつ・上履き（市内の小中学校及び義務教育学校での回収）
- ボタン電池
- 電子たばこ・加熱式たばこ

②実施場所

ほとんどが自治体の施設であるが、一部の自治体では、大規模集合住宅や商業施設での回収を行っている。

③常設・日時指定

ほとんどが常設であるが、一部の品目では日時指定で行っている。

④方式

ほとんどがボックス・かご回収であるが、一部の品目では職員手渡しで行っている。

(3) 販売店が行っている店頭回収の状況の把握状況

販売店が行っている店頭回収の状況の把握は、14自治体で実施している。

- 店頭回収等を行っている店からの申請に基づいて「ごみ減量・リサイクル協力店」に認定し、同協力店の名称、回収品目及び地図情報を市ホームページに掲載している。
- 市内のスーパー10店舗にペットボトル回収機を設置しており、設置店舗一覧をホームページに掲載している。
- 店頭回収を行っている販売店の名称、住所、回収品目を自治体のホームページに記載している（全てを網羅できてはいない）
- 店頭回収を行っている販売店の名称と回収品目を、市のごみ分別マニュアルに記載している。
- リサイクルステーション（資源回収BOX）設置店を市のホームページに掲載している。
- 毎年作成して全戸配布しているごみ・リサイクルカレンダーに、主な拠点回収場所一覧を掲載している。
- 店頭回収を行っている店舗の名称、住所、回収品目を市のホームページ及び年に一度全戸配布するごみの収集カレンダー・パンフレットに掲載している。
- 年に1回、課で発行する情報誌にて情報提供している。
- セブンイレブンが行っているペットボトルの店頭回収事業については、開始当初は市広報誌にて啓発を行い、市のホームページにて事業の紹介を行っている。
- 店頭回収を行っている販売店の名称、住所、回収品目を市のホームページや「ごみ・資源収集カレンダー」に記載している。
- 店頭回収を行っている販売店の名称と回収品目を市のホームページや市民に配布している「ごみ・資源分別カレンダー」に記載している。
- 店頭回収実施店舗の名称、住所、回収品目等を市のホームページにて公表している。
- 古紙等については、店頭回収を行っている販売店の名称、住所、回収品目を自治体のホームページに記載している。
- 店頭回収を行っている販売店の名称を自治体のホームページ、ごみ収集カレンダーに記載している。また、施設見学及び出前講座等で紹介している。

(4) 自治体の催し物における資源のイベント回収

自治体の催し物における資源のイベント回収は、6自治体で実施している。

- 年1回の環境まつりと月1回の臨時拠点収集を実施している。令和3年度の実績は、環境まつりは新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。臨時拠点回収は、ぬいぐるみ等 893 kg、食用油 121 kgである。
- 年4回程度、資源物の拠点回収を市内の公園や広場、スーパーマーケット等で行っている。また、例年5月にリサイクルセンターで開催するフリーマーケットと、例年9月に公園で開催する環境フェスティバルにおいても回収を行っており、合計で年6回程度開催している。回収品目は、陶磁器食器、小型家電、未利用食品、廃食油、牛乳パック、雑貨で、5回開催した令和3年度の回収量は、陶磁器食器が 3,840kg、小型家電が 140kg、未利用食品が 107.8kg (836品)、廃食油が 151ℓ、牛乳パックが 35kg、雑貨が 220kgである。
- 年1回、高等専門学校で学祭に参加している。学・官連携事業の一環で、若い世代へのリサイクル意識の向上を目的に、学祭ブースの一部を借りて、小型家電による希少金属等のリサイクル・ごみ分別クイズによる再資源化等の啓発を行っている。令和元年度の回収量は小型家電 3.2kgである。近年はコロナ禍に伴い参加を自粛している。
- 年1回市役所前で実施する市民まつりで、フードドライブを実施し、賞味期限の切れていない食品を回収している。
- 主に市主催の環境イベントにおいて、家庭で使用しなくなったおもちゃや絵本を必要な人へ引き渡す交換会を年2回程度実施している。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、開催回数は1回となった。持込数はおもちゃ、絵本ともに約40点である。
- 市が拠点回収する全品目（小型家電、布類、再生可能な古紙、繰り返し利用できるびん、プラスチック製品、傘、金属、木質素材、廃食用油）の臨時拠点回収を概ね年2回、スーパーの駐車場等にて実施している。また、市主催の環境イベントにおいて、開催したこともある。令和3年度は、合計 2,104.4 kgを回収した。

(5) 民間リユース業者との連携

民間リユース業者との連携については、11自治体で実施している。

○株式会社ジモティー

- クリーンセンターに搬入された粗大ごみから再生可能な家具類の補修等を行った後、ジモティーにリユース品を掲載し、市民に還元する。令和4年10月から試行実施を開始した。
- 市施設にて市民からまだ使える不用品を無償で引き取り、ジモティーに掲載し、必要とされる方へ現地で有償にて販売（一部無償で譲渡）する。また、市が回収した粗大ごみ等の中でまだ使える品物についても一部市施設へ搬入し、上記のスキームにて併せてリユースを行っている。
- 市民がリユース品をリサイクル事務所に併設されている「ジモテースポット」に持ち込み、不用品売買・交換の掲示板サイト「ジモティー」を通じて希望者にリユース品を譲渡している。また、クリーンセンターに持ち込まれた粗大ごみの中で、持ち込み者から了承されたものをリユース品として扱っている。
- 市は、協定に基づき、地域情報サイト「ジモティー」を活用したリユース方法の周知・啓発を行い、市内のさらなる資源のリユース活動の促進を図っている。
- リユース活動を促進するための企画立案や広報啓発を行うことで、ジモティーと市の各資源や機能等の活用を図り、市内のリユース活動を促進し、市民サービスの向上と循環型社会の形成に寄与する。

○株式会社マーケットエンタープライズ

- 不用品の一括査定サービス「おいくら」の紹介

○NPO法人等

- 不用品を有効活用するため、市民活動団体との協働事業として情報提供を行っている。「譲りたい」「譲ってほしい」の掲示板登録を受け、応募者に情報を提供する。成立した場合、引き渡しは当事者同士で直接行ってもらう。
- 民間事業者が市内4か所に古布・靴等のリサイクルコンテナを設置し、回収を行う。社会福祉法人が設置されたコンテナを管理し、回収量に応じて民間事業者が社会福祉法人へ手数料を支払う。市はコンテナを設置する土地の無償提供（市役所などの公共施設）や市内商業施設への設置交渉、2者の支援を行う。

(6) フリーマーケットへの支援

フリーマーケットへの支援は5自治体で実施している。

- フリーマーケットに限った支援ではないが、行事を行うにあたり、後援等名義使用申請をし、承認された団体は、その行事のお知らせを市報に掲載したり、市内広報掲示板にポスターを掲示したりすることができる。
- リサイクルプラザのソフト事業の企画・運営業務を委託している団体が行う、フリーマーケットに実施場所を提供していたが、コロナ禍のため一昨年から開催していない。
- 市として後援等を行っている。NPO法人が主催のフリーマーケットの後援依頼を受け付けている。
- 後援として、フリーマーケットの出展者募集等の広報誌への掲載を行っている。
- 実施概要を市ホームページに掲載している。

(7) 不燃ごみからの資源化

不燃ごみからの資源化は、37自治体で実施している。実施主体は、直営(一部事務組合を含む。)が17自治体、委託が19自治体、直営・委託の併用が1自治体である。

- 民間会社に委託し、中間処理(積替え、運搬、選別、破碎、資源化等)を実施し、可燃残さは焼却、有価物は売却している。中間処理後、小型家電はA社が引き取り、資源化処理を実施、不燃残さ(陶磁器くず、ガラスくず、プラスチック含有金属くず等)は、B社が引き取り、溶融固化処理を実施している。
- 複数の民間処理施設に委託し、市の不燃・粗大ごみ積替え・保管施設から排出される不燃系ごみ(小型家電、プラ・金属・木などの複合製品、せともの、ゴム製品、汚れた容器等)をケミカルリサイクルまたはサーマルリサイクルしている。
- 金属類、小型家電、自転車、ゴルフクラブ、携帯電話、雑線などを手作業により分別し有価物として処理している。ガラス・陶磁器、蛍光灯、乾電池などは処理委託先によりリサイクルしている。

(8) 布類のリサイクル

布類の回収は34自治体で実施している。分別回収は32自治体、拠点回収は10自治体、イベント回収は1自治体で実施している。分別回収では、最も多い自治体で1,794tを回収している。資源価格は逆有償から16円/kgと幅があるが、多くの自治体では1円前後である。

第7章 目黒区ごみのフロー推計

1 排出原単位の推計

令和2年10月の国勢調査の結果を用いて、世帯人数等別の人口割合を算定する。この人口割合で補正した世帯人数等別の排出原単位を加重平均して、排出原単位を推計する。

(1) 世帯人数等別人口推計

令和2年10月の国勢調査による、目黒区の世帯人数別の世帯数と人口を表7-1-1に示す。

表7-1-1 世帯人数別の世帯数と人口

	世帯数（世帯）	人口（人）
1人	82,777	82,777
2人	35,949	71,898
3人	20,329	60,987
4人	13,406	53,624
5人	2,608	13,040
6人	455	2,730
7人以上	86	627
合計	155,610	285,683

同じく国勢調査による、単身世帯の年齢別人口を表7-1-2に示す。

表7-1-2 単身世帯の年齢別人口

	人口（人）	割合
30歳未満	18,352	23.2%
30歳以上	60,640	76.8%
合計	78,992	100.0%

※表7-1-1の1人世帯人口には年齢不詳者が含まれているため、表7-1-2の合計人口と相違している。

表 7-1-1 の 4 人以上を足し上げ、1 人世帯を表 7-1-2 の割合で按分した、世帯人数等別の人口と割合を表 7-1-3 に示す。

表 7-1-3 世帯人数等別の人口と割合

	人口 (人)	割合
1 人(30歳未満)	19,231	6.7%
1 人(30歳以上)	63,546	22.2%
2 人	71,898	25.3%
3 人	60,987	21.3%
4 人以上	70,021	24.5%
合計	285,683	100.0%

(2) 排出原単位の推計

世帯人数等別の可燃ごみの排出原単位に、世帯人数等別の人口割合を乗じて推計した可燃ごみの排出原単位を表 7-1-4 に示す。家庭から排出される可燃ごみの排出原単位は 347.0 g/人日である。

表 7-1-4 排出原単位の推計

	排出原単位 (g/人日)	世帯人数別 人口割合
1 人世帯・30歳未満	271.6	6.7%
1 人世帯・30歳以上	440.7	22.2%
2 人世帯	349.2	25.3%
3 人世帯	339.0	21.3%
4 人以上世帯	287.3	24.5%
排出原単位	347.0	100.0%

2 家庭ごみ・事業系ごみ別の区収集ごみ量の推計

(1) 目黒区の区収集ごみ量

令和3年度の目黒区の区収集ごみ量を表7-2-1に示す。

表7-2-1 目黒区の区収集ごみ量

単位：t/年	
	区収集ごみ量
可燃ごみ	48,130
不燃ごみ	2,017
粗大ごみ	3,068

(2) 不燃ごみ

事業系不燃ごみは、ごく少量しか排出されていないと推測されたため、区で収集した不燃ごみは、すべて家庭ごみと見なす。

(3) 家庭可燃ごみ量の推計（補正前）

家庭可燃ごみ量は、表7-1-4の排出原単位に令和3年10月1日現在の人口と年間日数（365日）を乗じて推計する。家庭可燃ごみ量は35,399t/年と推計される。

表7-2-2 排出原単位から推計した家庭可燃ごみ量（補正前）

	排出原単位 (g/人日)	人口 (人)	家庭 可燃ごみ量 (補正前) (t/年)
可燃ごみ	347.0	279,489	35,399

(注)人口は令和3年10月1日現在。

(4) 事業系可燃ごみ量の推計（補正前）

券種の容積に、令和3年度の事業系有料ごみ処理券の売上枚数を乗じて、年間売上容積を算定し、45リットル袋に換算した枚数は340,468枚である。事業系ごみ組成分析調査から、45リットル袋あたりの重量は4.48kg/枚、事業系有料ごみ処理券の容積貼付率は81.5%であるため、事業系可燃ごみ量は1,872t/年と推計される。

表 7-2-3 事業系有料ごみ処理券の売上枚数等から推計した事業系可燃ごみ量(補正前)

券種	枚数 (枚/年)	容積 (ℓ)	45ℓ袋 換算 (枚)	45ℓ袋あたり の重量 (kg/45ℓ)	容積貼付率 (%)	事業系可燃ごみ量 (補正前) (t/年)
A	B	C=A*B	D=C/45	E	F	G=D*E/F/1,000
70ℓ	25,750	1,802,500	/	/	/	/
45ℓ	270,270	12,162,150				
20ℓ	47,030	940,600				
10ℓ	41,580	415,800				
合計	384,630	15,321,050	340,468	4.48	81.5%	1,872

(5) 実績値による補正

推計した家庭可燃ごみ量(補正前)は35,399t/年、事業系可燃ごみ量(補正前)は1,872t/年、合計で37,271t/年である。一方、令和3年度の区収集可燃ごみ量は48,130tで、推計値は実績値の77.4%である。そのため、補正前の推計値を77.4%で除して推計した補正後のごみ量は、家庭可燃ごみ量が45,713t/年、事業系可燃ごみ量が2,417t/年である。

表 7-2-4 実績値により補正した家庭・事業系別の区収集可燃ごみ量

	推計値 (補正前)	令和3年度 区収集ごみ量	実績値に対する 推計値の割合	推計値 (補正後)
数式	A	B	C=A/B	D=A/C
家庭ごみ量	35,399	/	/	45,713
事業系ごみ量	1,872			2,417
合計	37,271	48,130	77.4%	48,130

3 品目別の区収集ごみ量の推計

表 7-2-4 に示す家庭・事業系別の区収集可燃ごみ量及び表 7-2-1 に示す不燃ごみ量を、組成分析調査の品目別割合で按分した、品目別区収集ごみの割合を表 7-3-1~3 に示す。

(1) 家庭可燃ごみ

表 7-3-1 家庭可燃ごみの品目別ごみ量の推計

大分類	中分類	小分類	重量 (t/年)	割合	
資源(古紙)	新聞・折込広告		325	0.7%	
	雑誌・本		1,064	2.3%	
	段ボール		571	1.2%	
	容器包装紙類	紙箱	1,478	3.2%	
		包装紙	129	0.3%	
		紙袋	432	0.9%	
	その他紙類		2,968	6.5%	
資源(びん・缶・PET)	びん	生きびん(リターナブル)	0	0.0%	
		雑びん	46	0.1%	
	缶	飲食用スチール缶	12	0.0%	
		飲食用アルミ缶	9	0.0%	
	ペットボトル		168	0.4%	
資源(プラスチック)	レジ袋	レジ袋(中身あり)	414	0.9%	
		レジ袋(中身なし)	67	0.1%	
	発泡トレイ	発泡トレイ(白)	37	0.1%	
		発泡トレイ(柄)	49	0.1%	
	その他プラスチック製容器包装	ペットボトルのふた	55	0.1%	
		その他製品	508	1.1%	
		発泡スチロール	28	0.1%	
		食品用透明プラ容器	712	1.6%	
		その他プラスチック容器(硬いもの)	1,215	2.7%	
その他プラスチック包装(柔らかいもの)		2,384	5.2%		
資源(拠点回収)	紙パック		284	0.6%	
	乾電池		8	0.0%	
	小型家電製品(拠点回収対象9品目)		24	0.1%	
可燃物	生ごみ	直接廃棄	3,106	6.8%	
		食べ残し	2,290	5.0%	
		飲み残し	84	0.2%	
		調理くず等(物理的可食)	1,997	4.4%	
		調理くず等(非可食)	4,300	9.4%	
		紙類(リサイクル不可)	6,556	14.3%	
	繊維	繊維(リサイクル可)	2,386	5.2%	
		繊維(リサイクル不可)	443	1.0%	
	紙おむつ		1,438	3.1%	
	木・草類		1,400	3.1%	
	製品プラスチック	製品プラスチック(硬いもの)		836	1.8%
		製品プラスチック(柔らかいもの)		1,018	2.2%
		製品プラスチック(複合品)		548	1.2%
		製品プラスチック(電池内蔵)		0	0.0%
	その他可燃物	プラスチック製チューブ		98	0.2%
		ゴム・皮革類		589	1.3%
	その他可燃		4,331	9.5%	
	不燃物	金属	飲食以外の缶・金属容器	23	0.0%
			針金ハンガー	2	0.0%
			なべ・フライパン・やかんなど	20	0.0%
その他金属			123	0.3%	
スプレー缶等中身無し			9	0.0%	
小型家電製品(9品目以外)		84	0.2%		
陶磁器		41	0.1%		
その他不燃物		ライター(着火可能性なし)		8	0.0%
		その他不燃		156	0.3%

大分類	中分類	小分類	重量 (t/年)	割合
危険物・水銀含有物	水銀体温計		0	0.0%
	蛍光管		0	0.0%
	充電電池		0	0.0%
	ボタン電池		0	0.0%
	スプレー缶等中身有り		2	0.0%
	ライター(着火可能性あり)		3	0.0%
	医療系廃棄物		3	0.0%
収集不適物	園芸土		298	0.7%
	土砂・灰・石		25	0.1%
	プラスチック袋		380	0.8%
外袋	レジ袋		95	0.2%
	紙袋		34	0.1%
	合計		45,713	100.0%

大分類	中分類	重量 (t/年)	割合	
資源(古紙)	新聞・折込広告	325	0.7%	
	雑誌・本	1,064	2.3%	
	段ボール	571	1.2%	
	容器包装紙類	2,039	4.5%	
	その他紙類	2,968	6.5%	
資源(びん・缶・PET)	びん	46	0.1%	
	缶	21	0.0%	
	ペットボトル	168	0.4%	
資源(プラスチック)	レジ袋	481	1.1%	
	発泡トレイ	86	0.2%	
	その他プラスチック製容器包装	4,902	10.7%	
	資源(拠点回収)	316	0.7%	
可燃物	生ごみ	11,777	25.8%	
	紙類	6,556	14.3%	
	繊維	2,829	6.2%	
	紙おむつ	1,438	3.1%	
	木・草類	1,400	3.1%	
	製品プラスチック	2,402	5.3%	
	その他可燃物	5,018	11.0%	
	不燃物	金属	177	0.4%
		小型家電製品(9品目以外)	84	0.2%
		陶磁器	41	0.1%
その他不燃物		164	0.4%	
危険物・水銀含有物		5	0.0%	
収集不適物		326	0.7%	
外袋		509	1.1%	

大分類	重量 (t/年)	割合
資源(古紙)	6,967	15.2%
資源(びん・缶・PET)	235	0.5%
資源(プラスチック)	5,469	12.0%
資源(拠点回収)	316	0.7%
資源合計	12,987	28.4%
可燃物	31,420	68.7%
不燃物	466	1.0%
危険物・水銀含有物	5	0.0%
収集不適物	326	0.7%
外袋	509	1.1%
分別が適正なもの	31,929	69.8%
分別が不適正なもの	13,784	30.2%

(2) 事業系可燃ごみ

表 7-3-2 事業系可燃ごみの品目別ごみ量の推計

大分類	中分類	小分類	重量 (t/年)	割合	
資源(古紙)	新聞及び折込みチラシ		5	0.2%	
	雑誌・本		46	1.9%	
	段ボール		12	0.5%	
	コピー用紙・OA用紙		38	1.6%	
	シュレッダー紙		71	2.9%	
		その他紙類	224	9.3%	
資源(びん・缶・PET)	飲料びん		2	0.1%	
	飲食用缶		1	0.0%	
	ペットボトル		6	0.3%	
資源(プラスチック)	弁当ガラ		17	0.7%	
	その他プラスチック製容器包装	レジ袋(中身あり)	11	0.5%	
		レジ袋(中身なし)	2	0.1%	
		発泡トレイ(白)	0	0.0%	
		発泡トレイ(柄)	0	0.0%	
		その他プラスチック製容器包装	194	8.0%	
資源(その他)	紙パック		5	0.2%	
	電池		0	0.0%	
可燃物	生ごみ	直接廃棄	32	1.3%	
		食べ残し	86	3.6%	
		飲み残し	3	0.1%	
		調理くず等	554	22.8%	
		廃食用油	106	4.4%	
	紙類(リサイクル不可)			475	19.7%
		繊維	繊維(リサイクル可)	31	1.3%
	繊維(リサイクル不可)		32	1.3%	
	木・草類		99	4.1%	
	製品プラスチック	製品プラスチック(プラスチックのみ)		102	4.2%
		製品プラスチック(複合品)		5	0.2%
		製品プラスチック(電池内蔵)		0	0.0%
	その他可燃物	ゴム・皮革類		53	2.2%
その他可燃		162	6.7%		
不燃物	その他金属		10	0.4%	
	小型家電製品		1	0.0%	
	その他不燃物		8	0.3%	
危険物・水銀含有物		0	0.0%		
収集不適物		1	0.0%		
外袋	プラスチック袋		21	0.9%	
	レジ袋		1	0.0%	
	紙袋		1	0.0%	
合計			2,417	100.0%	

大分類	重量 (t/年)	割合
資源(古紙)	396	16.4%
資源(びん・缶・PET)	9	0.4%
資源(プラスチック)	224	9.3%
資源(その他)	5	0.2%
資源合計	634	26.2%
可燃物	1,740	72.0%
不燃物	19	0.8%
危険物・水銀含有物	0	0.0%
収集不適物	1	0.0%
外袋	23	1.0%
分別が適正なもの	1,763	72.9%
分別が不適正なもの	654	100.0%

(3) 不燃ごみ

表 7-3-3 不燃ごみの品目別ごみ量の推計

大分類	中分類	小分類	重量 (t/年)	割合		
資源(古紙)	新聞・折込広告		0	0.0%		
	雑誌・本		0	0.0%		
	段ボール		0	0.0%		
	容器包装紙類	紙箱	1	0.1%		
		包装紙	0	0.0%		
		紙袋	1	0.0%		
その他紙類		1	0.1%			
資源(びん・缶・PET)	びん	生きびん(リターナブル)	3	0.1%		
		雑びん	98	4.8%		
	缶	飲食用スチール缶	27	1.3%		
		飲食用アルミ缶	14	0.7%		
	ペットボトル		2	0.1%		
資源(プラスチック)	レジ袋	レジ袋(中身あり)	3	0.2%		
		レジ袋(中身なし)	1	0.0%		
	発泡トレイ	発泡トレイ(白)	0	0.0%		
		発泡トレイ(柄)	0	0.0%		
	その他プラスチック製容器包装	ペットボトルのふた	0	0.0%		
		その他ボトル	13	0.6%		
		発泡スチロール	0	0.0%		
		食品用透明プラスチック容器	0	0.0%		
		その他プラスチック容器(硬いもの)	5	0.3%		
		その他プラスチック包装(柔らかいもの)	4	0.2%		
資源(拠点回収)	紙パック		0	0.0%		
	乾電池		39	1.9%		
	小型家電製品(拠点回収対象9品目)		21	1.1%		
可燃物	生ごみ	直接廃棄	21	1.0%		
		食べ残し	0	0.0%		
		飲み残し	0	0.0%		
		調理くず等(物理的可食)	0	0.0%		
		調理くず等(非可食)	3	0.2%		
	紙類(リサイクル不可)			6	0.3%	
	繊維	繊維(リサイクル可)			0	0.0%
		繊維(リサイクル不可)			1	0.0%
	紙おむつ				0	0.0%
	木・草類				15	0.7%
	製品プラスチック	製品プラスチック(硬いもの)		130	6.4%	
		製品プラスチック(柔らかいもの)		4	0.2%	
		製品プラスチック(複合品)		74	3.7%	
		製品プラスチック(電池内蔵)		1	0.1%	
	その他可燃物	プラスチック製チューブ		1	0.1%	
ゴム・皮革類		15	0.8%			
その他可燃		7	0.3%			
不燃物	金属	飲食以外の缶・金属容器	18	0.9%		
		針金ハンガー	7	0.4%		
		なべ・フライパン・やかんなど	117	5.8%		
		その他金属	272	13.5%		
		スプレー缶等中身無し	45	2.2%		
	小型家電製品(9品目以外)		305	15.1%		
	陶磁器		271	13.4%		
	その他不燃物	ライター(着火可能性なし)	2	0.1%		
		その他不燃	412	20.4%		

大分類	中分類	小分類	重量 (t/年)	割合
危険物・水銀含有物	水銀体温計		0	0.0%
	蛍光管		4	0.2%
	充電電池		0	0.0%
	ボタン電池		0	0.0%
	スプレー缶等中身有り		11	0.5%
	ライター(着火可能性あり)		1	0.1%
収集不適物	医療系廃棄物		0	0.0%
	園芸土		20	1.0%
	土砂・灰・石		2	0.1%
外袋	プラスチック袋		5	0.3%
	レジ袋		7	0.4%
	紙袋		7	0.3%
合計			2,017	100.0%

大分類	中分類	重量 (t/年)	割合	
資源(古紙)	新聞・折込広告	0	0.0%	
	雑誌・本	0	0.0%	
	段ボール	0	0.0%	
	容器包装紙類	2	0.1%	
	その他紙類	1	0.0%	
	資源(びん・缶・PET)	びん	101	5.0%
	缶	41	2.0%	
	ペットボトル	2	0.1%	
資源(プラスチック)	レジ袋	4	0.2%	
	発泡トレイ	0	0.0%	
	その他プラスチック製容器包装	22	1.1%	
資源(拠点回収)			60	3.0%
可燃物	生ごみ	24	1.2%	
	紙類	6	0.3%	
	繊維	1	0.0%	
	紙おむつ	0	0.0%	
	木・草類	15	0.7%	
	製品プラスチック	209	10.4%	
	その他可燃物	23	1.1%	
不燃物	金属	459	22.8%	
	小型家電製品(9品目以外)	305	15.1%	
	陶磁器	271	13.4%	
	その他不燃物	414	20.5%	
危険物・水銀含有物			16	0.8%
収集不適物			22	1.1%
外袋			19	0.9%

大分類	重量 (t/年)	割合
資源(古紙)	3	0.1%
資源(びん・缶・PET)	144	7.1%
資源(プラスチック)	26	1.3%
資源(拠点回収)	60	3.0%
資源合計	233	11.6%
可燃物	278	13.8%
不燃物	1,449	71.8%
危険物・水銀含有物	16	0.8%
収集不適物	22	1.1%
外袋	19	0.9%
分別が適正なもの	1,468	72.8%
分別が不適正なもの	549	27.2%

(4) 家庭ごみ・事業系ごみ別の品目別区収集ごみ量

家庭ごみ・事業系ごみ別の品目別区収集ごみ量を表 7-3-4 に示す。

区収集ごみには、資源(古紙)が 7,366t、資源(びん・缶・PET)が 388t、資源(プラスチック)が 5,719t、資源(拠点回収)が 381t 含まれていると推計される。

表 7-3-4 家庭ごみ・事業系ごみ別の品目別区収集ごみ量の推計

単位：t/年

		可燃ごみ			不燃ごみ	合計
		家庭	事業系	合計		
資源(古紙)	新聞・折込広告	325	5	330	0	330
	雑誌・本、パンフレット	1,064	46	1,110	0	1,110
	段ボール	571	12	583	0	583
	容器包装紙類	2,039	—	2,039	2	2,041
	コピー用紙・OA用紙	—	38	38	—	38
	シュレッダー紙	—	71	71	—	71
	その他紙類	2,968	224	3,192	1	3,193
資源(びん・缶・PET)	びん	46	2	48	101	149
	缶	21	1	22	41	63
	ペットボトル	168	6	174	2	176
資源(プラスチック)	レジ袋	481	13	494	4	498
	発泡トレイ	86	0	86	0	86
	その他プラスチック製容器包装	4,902	211	5,113	22	5,135
資源(拠点回収)		316	5	321	60	381
可燃物	生ごみ	11,777	781	12,558	24	12,582
	紙類	6,556	475	7,031	6	7,037
	繊維	2,829	63	2,892	1	2,893
	紙おむつ	1,438	—	1,438	0	1,438
	木・草類	1,400	99	1,499	15	1,514
	製品プラスチック	2,402	107	2,509	209	2,718
	その他可燃物	5,018	215	5,233	23	5,256
不燃物	金属	177	10	187	459	646
	小型家電製品(9品目以外)	84	1	85	305	390
	陶磁器	41	—	41	271	312
	その他不燃物	164	8	172	414	586
危険物・水銀含有物		5	0	5	16	21
収集不適物		326	1	327	22	349
外袋		509	23	532	19	551
資源(古紙)		6,967	396	7,363	3	7,366
資源(びん・缶・PET)		235	9	244	144	388
資源(プラスチック)		5,469	224	5,693	26	5,719
資源(拠点回収)		316	5	321	60	381
可燃物		31,420	1,740	33,160	278	33,438
不燃物		466	19	485	1,449	1,934
危険物・水銀含有物		5	0	5	16	21
収集不適物		326	1	327	22	349
外袋		509	23	532	19	551
合計		45,713	2,417	48,130	2,017	50,147

4 資源化量の推計

(1) 公共関与の資源化量

令和3年度の目黒区の資源量を表7-4-1に示す。

表7-4-1 令和3年度の目黒区の資源量

単位(t/年)

品目	分別・ 拠点回収	集団回収	ピックアップ 回収	合計
新聞・折込広告	16	2,587		2,603
雑誌・雑がみ	60	3,419		3,479
段ボール	157	5,311		5,468
紙パック	4	0		4
布類	0	11		11
びん	3,185			3,185
缶	855			855
ペットボトル	1,182			1,182
発泡トレイ				0
プラスチック製容器包装	1,708			1,708
廃食用油				0
乾電池	18			18
小型家電	7			7
蛍光管	13			13
粗大ごみ			80	80
合計	7,206	11,328	80	18,614

(2) 公共非関与の資源化量

新聞販売店回収やペットボトルの店頭回収など、目黒区で把握していないデータについては、行政回収量のデータと、区民アンケート調査の回答割合から推計した。

表7-4-2 公共非関与の資源化量の推計

品目	公共関与 の資源化 (t/年)	アンケート回答割合		店頭回収 販売店回収等 (t/年)
		公共関与 の資源化 (%)	店頭回収 販売店回収 (%)	
		A	B	
新聞・折込広告	2,603	43.1%	12.5%	755
紙パック	4	23.5%	13.7%	3
布類	11	12.3%	4.3%	4
びん	3,185	74.6%	0.5%	21
缶(注)	855	82.6%	0.5%	5
ペットボトル	1,182	82.7%	4.2%	60
乾電池	18	44.5%	9.2%	4

(注)缶のアンケート回答割合は、アルミ缶とスチール缶の平均

品目	燃やすごみ (t/年)	アンケート回答割合		自家処理 (t/年)
		燃やすごみ (%)	自家処理 (%)	
		A	B	
生ごみ	11,777	92.1%	0.4%	51

5 目黒区のごみ・資源のフロー（持込ごみを除く。）

持込ごみを除く目黒区のごみ・資源のフローを表7-5-1に示す。新聞・折込広告、段ボール、びん、缶、ペットボトルの資源化率は高いが、その他紙類、プラスチック製容器包装、資源(拠点回収)の資源化率は低く、ごみ減量の余地がある。

表 7-5-1 持込ごみを除く目黒区のごみ・資源のフロー

		ごみ(A)				資源(B)			資源化率 B/(A+B)
大分類	中分類	可燃 ごみ	不燃 ごみ	粗大 ごみ	ごみ 小計	公共 関与	公共 非関与	資源 小計	
資源(古紙)	新聞・折込広告	330	0		330	2,603	755	3,358	91.1%
	段ボール	583	0		583	5,468		5,468	90.4%
	その他紙類(注)	6,450	3		6,453	3,479		3,479	35.0%
資源(びん・缶・PET)	びん	48	101		149	3,185	21	3,206	95.6%
	缶	22	41		63	855	5	860	93.2%
	ペットボトル	174	2		176	1,182	60	1,242	87.6%
資源(プラスチック)	レジ袋	494	4		498			0	0.0%
	発泡トレイ	86	0		86			0	0.0%
	その他プラスチック製容器包装	5,113	22		5,135	1,708		1,708	25.0%
資源(拠点回収)		321	60		381	29	6	35	8.4%
可燃物	生ごみ	12,558	24		12,582		51	51	0.4%
	紙類	7,031	6		7,037			0	0.0%
	繊維	2,892	1		2,893	11	4	15	0.5%
	紙おむつ	1,438	0		1,438			0	0.0%
	木・草類	1,499	15		1,514			0	0.0%
	製品プラスチック	2,509	209		2,718			0	0.0%
	その他可燃物	5,233	23		5,256			0	0.0%
不燃物	金属	187	459		646			0	0.0%
	小型家電製品(9品目以外)	85	305		390			0	0.0%
	陶磁器	41	271		312			0	0.0%
	その他不燃物	172	414		586			0	0.0%
危険物・水銀含有物		5	16		21	13		13	38.2%
収集不適物		327	22		349			0	0.0%
外袋		532	19		551			0	0.0%
粗大ごみ				3,068	3,068	80		80	2.5%

大分類	ごみ(A)				資源(B)			資源化率 B/(A+B)
	可燃 ごみ	不燃 ごみ	粗大 ごみ	ごみ 小計	公共 関与	公共 非関与	資源 小計	
資源(古紙)	7,365	3	0	7,366	11,550	755	12,305	62.6%
資源(びん・缶・PET)	243	144	0	388	5,222	86	5,308	93.2%
資源(プラスチック)	5,694	26	0	5,719	1,708	0	1,708	23.0%
資源(拠点回収)	321	60	0	381	29	6	35	8.4%
可燃物	33,157	278	0	33,438	11	55	66	0.2%
不燃物	484	1,449	0	1,934	0	0	0	0.0%
危険物・水銀含有物	6	16	0	21	13	0	13	38.2%
収集不適物	327	22	0	349	0	0	0	0.0%
外袋	532	19	0	551	0	0	0	0.0%
粗大ごみ	0	0	3,068	3,068	80	0	80	2.5%
合計	48,130	2,017	3,068	53,215	18,613	902	19,515	26.8%

(注)その他紙類は「雑誌・本、パンフレット」「容器包装紙類」「コピー用紙・OA用紙」「シュレッダー紙」を含む。

6 分別徹底によるごみ減量の可能性

仮に、ごみに含まれている資源がすべて公共関与の資源化に排出され、可燃ごみと不燃ごみが適正に排出された場合には、ごみ量は 53,215t から 39,012t へと 26.7%の減量になる。

表 7-6-1 分別徹底によるごみ減量の可能性

単位(t/年)

		ごみ(A)				資源(B)			資源化率 B/(A+B)
		可燃 ごみ	不燃 ごみ	粗大 ごみ	ごみ 小計	公共 関与	公共 非関与	資源 小計	
資源(古紙)	新聞・折込広告				0	2,933	755	3,688	100.0%
	段ボール				0	6,051		6,051	100.0%
	その他紙類(注)				0	9,932		9,932	100.0%
資源(びん・缶・PET)	びん				0	3,334	21	3,355	100.0%
	缶				0	918	5	923	100.0%
	ペットボトル				0	1,358	60	1,418	100.0%
資源(プラスチック)	レジ袋				0	498		498	100.0%
	発泡トレイ				0	86		86	100.0%
	その他プラスチック製容器包装				0	6,843		6,843	100.0%
資源(拠点回収)					0	410	6	416	100.0%
可燃物	生ごみ	12,582			12,582		51	51	0.4%
	紙類	7,037			7,037			0	100.0%
	繊維	2,893			2,893	11	4	15	0.5%
	紙おむつ	1,438			1,438			0	0.0%
	木・草類	1,514			1,514			0	0.0%
	製品プラスチック	2,718			2,718			0	0.0%
	その他可燃物	5,256			5,256			0	0.0%
不燃物	金属		646		646			0	0.0%
	小型家電製品(9品目以外)		390		390			0	0.0%
	陶磁器		312		312			0	0.0%
	その他不燃物		586		586			0	0.0%
危険物・水銀含有物			21		21	13		13	38.2%
収集不適物					0			0	—
外袋		532	19		551			0	0.0%
粗大ごみ				3,068	3,068	80		80	2.5%

大分類	ごみ(A)				資源(B)			資源化率 B/(A+B)
	可燃 ごみ	不燃 ごみ	粗大 ごみ	ごみ 小計	公共 関与	公共 非関与	資源 小計	
資源(古紙)	0	0	0	0	18,916	755	19,671	100.0%
資源(びん・缶・PET)	0	0	0	0	5,610	86	5,696	100.0%
資源(プラスチック)	0	0	0	0	7,427	0	7,427	100.0%
資源(拠点回収)	0	0	0	0	410	6	416	100.0%
可燃物	33,438	0	0	33,438	11	55	66	0.2%
不燃物	0	1,934	0	1,934	0	0	0	0.0%
危険物・水銀含有物	0	21	0	21	13	0	13	38.2%
収集不適物	0	0	0	0	0	0	0	—
外袋	532	19	0	551	0	0	0	0.0%
粗大ごみ	0	0	3,068	3,068	80	0	80	2.5%
合計	33,970	1,974	3,068	39,012	32,467	902	33,369	46.1%

(注)その他紙類は「雑誌・本、パンフレット」「容器包装紙類」「コピー用紙・OA用紙」「シュレッダー紙」を含む。

7 持込ごみ

令和3年度の事業用大規模建築物における再利用計画書の発生量から再利用量を差し引いて処分量を算定し、処分量の品目別割合を算定した結果を表7-7-1に示す。

- 処分量 = 発生量 - 再利用量
- 処分量割合 = 各品目別処分量 / 処分量合計

表 7-7-1 令和3年度再利用計画書集計結果

		単位(t/年)			
		発生量	再利用量	処分量	処分量割合
資源(古紙)	コピー・OA用紙	1,190	1,152	38	0.7%
	雑誌・パンフレット	442	432	10	0.2%
	新聞紙	104	101	3	0.1%
	段ボール	2,294	2,291	3	0.1%
	その他の紙類	2,356	510	1,846	36.3%
資源(その他)	びん類	161	157	4	0.1%
	缶類	159	158	1	0.0%
	ペットボトル	300	298	2	0.0%
	食用油	216	194	22	0.4%
生ごみ類		2,086	376	1,710	33.7%
木・草・繊維		403	50	353	7.0%
不燃・焼却不適物		2,372	1,287	1,085	21.4%
合計		12,083	7,006	5,077	100.0%

この割合に令和3年度の目黒区の持込ごみ量 18,566t/年を乗じて、目黒区の持込ごみ量の組成割合を推計した。

表 7-7-2 持込ごみ量の品目別の推計

		単位(t/年)
		持込ごみ量
資源(古紙)	コピー・OA用紙	130
	雑誌・パンフレット	37
	新聞紙	19
	段ボール	19
	その他の紙類	6,738
資源(その他)	びん類	19
	缶類	0
	ペットボトル	0
	食用油	74
生ごみ類		6,257
木・草・繊維		1,300
不燃・焼却不適物		3,973
合計		18,566

參考資料

1 区民アンケート調査の主なクロス集計

表 実践している発生抑制の取組 買い物袋(マイバッグ)を持参する
(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問1(1) 買い物袋(マイバッグ)を持参する				
			常に行 う	ある程 度行う	あまり 行わな い	全く行 わない	無回答
全体		823 100.0	500 60.8	245 29.8	43 5.2	29 3.5	6 0.7
年齢	30歳未満	53 100.0	22 41.5	19 35.8	10 18.9	2 3.8	0 0.0
	30歳代	108 100.0	44 40.7	53 49.1	6 5.6	5 4.6	0 0.0
	40歳代	127 100.0	74 58.3	44 34.6	3 2.4	5 3.9	1 0.8
	50歳代	152 100.0	95 62.5	45 29.6	8 5.3	4 2.6	0 0.0
	60歳代	155 100.0	110 71.0	37 23.9	4 2.6	4 2.6	0 0.0
	70歳以上	225 100.0	154 68.4	47 20.9	11 4.9	9 4.0	4 1.8
	世帯人数	1人	266 100.0	142 53.4	84 31.6	24 9.0	15 5.6
2人		272 100.0	185 68.0	65 23.9	11 4.0	10 3.7	1 0.4
3人		147 100.0	90 61.2	50 34.0	3 2.0	4 2.7	0 0.0
4人		85 100.0	51 60.0	31 36.5	2 2.4	0 0.0	1 1.2
5人以上		50 100.0	32 64.0	14 28.0	2 4.0	0 0.0	2 4.0
地域 (地区別)		北部	172 100.0	106 61.6	49 28.5	10 5.8	7 4.1
	東部	142 100.0	88 62.0	43 30.3	6 4.2	3 2.1	2 1.4
	中央	160 100.0	94 58.8	51 31.9	4 2.5	9 5.6	2 1.3
	南部	186 100.0	111 59.7	56 30.1	12 6.5	6 3.2	1 0.5
	西部	156 100.0	98 62.8	44 28.2	10 6.4	4 2.6	0 0.0
住居の 種類	一戸建て	314 100.0	211 67.2	81 25.8	6 1.9	12 3.8	4 1.3
	居住者がごみ出しする共同 住宅	291 100.0	153 52.6	102 35.1	23 7.9	12 4.1	1 0.3
	管理人がごみ出しする共同 住宅	184 100.0	117 63.6	50 27.2	12 6.5	5 2.7	0 0.0
	居住者がごみ出しする店 舗・事務所併設の住宅	21 100.0	11 52.4	9 42.9	1 4.8	0 0.0	0 0.0
	管理人がごみ出しする店 舗・事務所併設の住宅	8 100.0	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	居住 年数	1年未満	41 100.0	21 51.2	17 41.5	3 7.3	0 0.0
1年以上～3年未満		89 100.0	44 49.4	27 30.3	10 11.2	7 7.9	1 1.1
3年以上～10年未満		176 100.0	93 52.8	70 39.8	7 4.0	6 3.4	0 0.0
10年以上～20年未満		131 100.0	79 60.3	43 32.8	6 4.6	3 2.3	0 0.0
20年以上		384 100.0	263 68.5	88 22.9	16 4.2	13 3.4	4 1.0

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 実践している発生抑制の取組 ばら売り・量り売りの商品を選ぶ

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問1(2) ばら売り・量り売りの商品を選ぶ					
		常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない	無回答	
全体	823 100.0	91 11.1	255 31.0	331 40.2	130 15.8	16 1.9	
年齢	30歳未満	53 100.0	4 7.5	19 35.8	16 30.2	13 24.5	1 1.9
	30歳代	108 100.0	11 10.2	33 30.6	44 40.7	20 18.5	0 0.0
	40歳代	127 100.0	8 6.3	32 25.2	62 48.8	24 18.9	1 0.8
	50歳代	152 100.0	18 11.8	42 27.6	70 46.1	22 14.5	0 0.0
	60歳代	155 100.0	14 9.0	55 35.5	63 40.6	19 12.3	4 2.6
	70歳以上	225 100.0	36 16.0	73 32.4	76 33.8	31 13.8	9 4.0
	世帯人数	1人	266 100.0	34 12.8	85 32.0	92 34.6	49 18.4
2人		272 100.0	31 11.4	86 31.6	104 38.2	47 17.3	4 1.5
3人		147 100.0	11 7.5	41 27.9	73 49.7	21 14.3	1 0.7
4人		85 100.0	9 10.6	27 31.8	42 49.4	6 7.1	1 1.2
5人以上		50 100.0	6 12.0	16 32.0	19 38.0	6 12.0	3 6.0
地域 (地区別)		北部	172 100.0	20 11.6	53 30.8	69 40.1	28 16.3
	東部	142 100.0	16 11.3	41 28.9	60 42.3	22 15.5	3 2.1
	中央	160 100.0	13 8.1	51 31.9	68 42.5	23 14.4	5 3.1
	南部	186 100.0	21 11.3	62 33.3	72 38.7	29 15.6	2 1.1
	西部	156 100.0	19 12.2	46 29.5	61 39.1	27 17.3	3 1.9
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	34 10.8	100 31.8	139 44.3	33 10.5
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	38 13.1	85 29.2	107 36.8	56 19.2	5 1.7
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	15 8.2	63 34.2	68 37.0	37 20.1	1 0.5
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	1 4.8	7 33.3	11 52.4	2 9.5	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	2 25.0	0 0.0	5 62.5	1 12.5	0 0.0
その他		2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	1 2.4	16 39.0	14 34.1	10 24.4
	1年以上～3年未満	89 100.0	6 6.7	28 31.5	37 41.6	16 18.0	2 2.2
	3年以上～10年未満	176 100.0	17 9.7	52 29.5	76 43.2	29 16.5	2 1.1
	10年以上～20年未満	131 100.0	13 9.9	40 30.5	53 40.5	24 18.3	1 0.8
	20年以上	384 100.0	54 14.1	119 31.0	151 39.3	50 13.0	10 2.6

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 実践している発生抑制の取組 詰め替えのできる商品を選ぶ

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問1(3) 詰め替えのできる商品を選ぶ					
		常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない	無回答	
全体	823 100.0	551 67.0	229 27.8	22 2.7	10 1.2	11 1.3	
年齢	30歳未満	53 100.0	34 64.2	15 28.3	2 3.8	1 1.9	1 1.9
	30歳代	108 100.0	72 66.7	34 31.5	2 1.9	0 0.0	0 0.0
	40歳代	127 100.0	80 63.0	42 33.1	4 3.1	0 0.0	1 0.8
	50歳代	152 100.0	100 65.8	49 32.2	3 2.0	0 0.0	0 0.0
	60歳代	155 100.0	107 69.0	42 27.1	2 1.3	2 1.3	2 1.3
	70歳以上	225 100.0	156 69.3	47 20.9	9 4.0	7 3.1	6 2.7
	世帯人数	1人	266 100.0	162 60.9	80 30.1	14 5.3	5 1.9
2人		272 100.0	189 69.5	74 27.2	4 1.5	3 1.1	2 0.7
3人		147 100.0	107 72.8	37 25.2	2 1.4	1 0.7	0 0.0
4人		85 100.0	56 65.9	26 30.6	1 1.2	1 1.2	1 1.2
5人以上		50 100.0	36 72.0	11 22.0	1 2.0	0 0.0	2 4.0
地域 (地区別)	北部	172 100.0	105 61.0	56 32.6	7 4.1	2 1.2	2 1.2
	東部	142 100.0	103 72.5	33 23.2	2 1.4	3 2.1	1 0.7
	中央	160 100.0	102 63.8	48 30.0	5 3.1	2 1.3	3 1.9
	南部	186 100.0	130 69.9	46 24.7	3 1.6	3 1.6	4 2.2
	西部	156 100.0	108 69.2	43 27.6	5 3.2	0 0.0	0 0.0
住居の種類	一戸建て	314 100.0	223 71.0	73 23.2	9 2.9	5 1.6	4 1.3
	居住者がごみ出しする共同住宅	291 100.0	188 64.6	88 30.2	7 2.4	4 1.4	4 1.4
	管理人がごみ出しする共同住宅	184 100.0	121 65.8	57 31.0	4 2.2	1 0.5	1 0.5
	居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	21 100.0	10 47.6	9 42.9	2 9.5	0 0.0	0 0.0
	管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	8 100.0	7 87.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住年数	1年未満	41 100.0	32 78.0	9 22.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	1年以上～3年未満	89 100.0	59 66.3	26 29.2	1 1.1	1 1.1	2 2.2
	3年以上～10年未満	176 100.0	115 65.3	55 31.3	4 2.3	2 1.1	0 0.0
	10年以上～20年未満	131 100.0	86 65.6	36 27.5	5 3.8	2 1.5	2 1.5
	20年以上	384 100.0	258 67.2	103 26.8	12 3.1	5 1.3	6 1.6

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 実践している発生抑制の取組 食材を買いすぎない

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問1(4) 食材を買いすぎない					
		常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない	無回答	
全体	823 100.0	349 42.4	401 48.7	58 7.0	7 0.9	8 1.0	
年齢	30歳未満	53 100.0	20 37.7	28 52.8	4 7.5	0 0.0	1 1.9
	30歳代	108 100.0	52 48.1	48 44.4	8 7.4	0 0.0	0 0.0
	40歳代	127 100.0	55 43.3	51 40.2	18 14.2	2 1.6	1 0.8
	50歳代	152 100.0	61 40.1	86 56.6	4 2.6	1 0.7	0 0.0
	60歳代	155 100.0	62 40.0	81 52.3	11 7.1	1 0.6	0 0.0
	70歳以上	225 100.0	97 43.1	107 47.6	13 5.8	3 1.3	5 2.2
	世帯人数	1人	266 100.0	135 50.8	109 41.0	16 6.0	3 1.1
2人		272 100.0	116 42.6	137 50.4	17 6.3	2 0.7	0 0.0
3人		147 100.0	49 33.3	84 57.1	13 8.8	0 0.0	1 0.7
4人		85 100.0	26 30.6	52 61.2	6 7.1	0 0.0	1 1.2
5人以上		50 100.0	22 44.0	18 36.0	6 12.0	2 4.0	2 4.0
地域 (地区別)		北部	172 100.0	68 39.5	89 51.7	12 7.0	1 0.6
	東部	142 100.0	62 43.7	64 45.1	13 9.2	1 0.7	2 1.4
	中央	160 100.0	62 38.8	85 53.1	9 5.6	2 1.3	2 1.3
	南部	186 100.0	86 46.2	85 45.7	11 5.9	3 1.6	1 0.5
	西部	156 100.0	68 43.6	75 48.1	13 8.3	0 0.0	0 0.0
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	131 41.7	151 48.1	24 7.6	4 1.3
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	124 42.6	142 48.8	21 7.2	2 0.7	2 0.7
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	76 41.3	96 52.2	11 6.0	1 0.5	0 0.0
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	11 52.4	8 38.1	2 9.5	0 0.0	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	4 50.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他		2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	18 43.9	20 48.8	3 7.3	0 0.0
	1年以上～3年未満	89 100.0	38 42.7	43 48.3	6 6.7	0 0.0	2 2.2
	3年以上～10年未満	176 100.0	85 48.3	81 46.0	9 5.1	1 0.6	0 0.0
	10年以上～20年未満	131 100.0	50 38.2	65 49.6	15 11.5	1 0.8	0 0.0
	20年以上	384 100.0	157 40.9	192 50.0	25 6.5	5 1.3	5 1.3

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 実践している発生抑制の取組 料理を残さず食べる

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問1(5)料理を残さず食べる				
			常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない	無回答
全体		823 100.0	550 66.8	244 29.6	16 1.9	3 0.4	10 1.2
年齢	30歳未満	53 100.0	30 56.6	20 37.7	2 3.8	0 0.0	1 1.9
	30歳代	108 100.0	71 65.7	31 28.7	6 5.6	0 0.0	0 0.0
	40歳代	127 100.0	81 63.8	40 31.5	3 2.4	1 0.8	2 1.6
	50歳代	152 100.0	111 73.0	41 27.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	60歳代	155 100.0	104 67.1	50 32.3	0 0.0	1 0.6	0 0.0
	70歳以上	225 100.0	152 67.6	61 27.1	5 2.2	1 0.4	6 2.7
	世帯人数	1人	266 100.0	176 66.2	76 28.6	8 3.0	3 1.1
2人		272 100.0	197 72.4	72 26.5	3 1.1	0 0.0	0 0.0
3人		147 100.0	96 65.3	44 29.9	4 2.7	0 0.0	3 2.0
4人		85 100.0	47 55.3	36 42.4	1 1.2	0 0.0	1 1.2
5人以上		50 100.0	33 66.0	15 30.0	0 0.0	0 0.0	2 4.0
地域 (地区別)		北部	172 100.0	109 63.4	55 32.0	6 3.5	0 0.0
	東部	142 100.0	94 66.2	41 28.9	4 2.8	1 0.7	2 1.4
	中央	160 100.0	113 70.6	42 26.3	1 0.6	1 0.6	3 1.9
	南部	186 100.0	122 65.6	57 30.6	4 2.2	1 0.5	2 1.1
	西部	156 100.0	110 70.5	45 28.8	1 0.6	0 0.0	0 0.0
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	217 69.1	90 28.7	1 0.3	1 0.3
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	193 66.3	83 28.5	10 3.4	2 0.7	3 1.0
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	117 63.6	62 33.7	5 2.7	0 0.0	0 0.0
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	14 66.7	7 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他		2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	24 58.5	16 39.0	1 2.4	0 0.0
	1年以上～3年未満	89 100.0	53 59.6	29 32.6	3 3.4	1 1.1	3 3.4
	3年以上～10年未満	176 100.0	121 68.8	50 28.4	4 2.3	1 0.6	0 0.0
	10年以上～20年未満	131 100.0	87 66.4	41 31.3	3 2.3	0 0.0	0 0.0
	20年以上	384 100.0	264 68.8	108 28.1	5 1.3	1 0.3	6 1.6

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 実践している発生抑制の取組 繰り返し使えるものを購入する

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問1(6) 繰り返し使えるものを購入する					
		常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない	無回答	
全体	823 100.0	388 47.1	372 45.2	43 5.2	5 0.6	15 1.8	
年齢	30歳未満	53 100.0	18 34.0	29 54.7	5 9.4	0 0.0	1 1.9
	30歳代	108 100.0	52 48.1	47 43.5	7 6.5	2 1.9	0 0.0
	40歳代	127 100.0	58 45.7	58 45.7	9 7.1	1 0.8	1 0.8
	50歳代	152 100.0	65 42.8	79 52.0	8 5.3	0 0.0	0 0.0
	60歳代	155 100.0	69 44.5	79 51.0	4 2.6	1 0.6	2 1.3
	70歳以上	225 100.0	125 55.6	79 35.1	10 4.4	1 0.4	10 4.4
	世帯人数	1人	266 100.0	127 47.7	110 41.4	18 6.8	4 1.5
2人		272 100.0	132 48.5	125 46.0	12 4.4	1 0.4	2 0.7
3人		147 100.0	64 43.5	72 49.0	9 6.1	0 0.0	2 1.4
4人		85 100.0	36 42.4	44 51.8	4 4.7	0 0.0	1 1.2
5人以上		50 100.0	28 56.0	20 40.0	0 0.0	0 0.0	2 4.0
地域 (地区別)		北部	172 100.0	78 45.3	81 47.1	10 5.8	1 0.6
	東部	142 100.0	68 47.9	64 45.1	8 5.6	1 0.7	1 0.7
	中央	160 100.0	80 50.0	68 42.5	9 5.6	0 0.0	3 1.9
	南部	186 100.0	93 50.0	77 41.4	9 4.8	2 1.1	5 2.7
	西部	156 100.0	66 42.3	79 50.6	7 4.5	1 0.6	3 1.9
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	153 48.7	139 44.3	13 4.1	1 0.3
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	132 45.4	134 46.0	18 6.2	3 1.0	4 1.4
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	89 48.4	82 44.6	11 6.0	1 0.5	1 0.5
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	9 42.9	12 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	2 25.0	5 62.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0
その他		2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	16 39.0	24 58.5	1 2.4	0 0.0
	1年以上～3年未満	89 100.0	33 37.1	48 53.9	6 6.7	0 0.0	2 2.2
	3年以上～10年未満	176 100.0	93 52.8	70 39.8	10 5.7	2 1.1	1 0.6
	10年以上～20年未満	131 100.0	58 44.3	60 45.8	11 8.4	2 1.5	0 0.0
	20年以上	384 100.0	187 48.7	170 44.3	15 3.9	1 0.3	11 2.9

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 実践している発生抑制の取組 故障しても修理して使う

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問1 (7) 故障しても修理して使う					
		常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない	無回答	
全体	823 100.0	224 27.2	438 53.2	125 15.2	25 3.0	11 1.3	
年齢	30歳未満	53 100.0	12 22.6	22 41.5	15 28.3	3 5.7	1 1.9
	30歳代	108 100.0	27 25.0	57 52.8	20 18.5	4 3.7	0 0.0
	40歳代	127 100.0	26 20.5	78 61.4	18 14.2	4 3.1	1 0.8
	50歳代	152 100.0	35 23.0	89 58.6	23 15.1	4 2.6	1 0.7
	60歳代	155 100.0	47 30.3	85 54.8	20 12.9	3 1.9	0 0.0
	70歳以上	225 100.0	76 33.8	107 47.6	28 12.4	7 3.1	7 3.1
	世帯人数	1人	266 100.0	63 23.7	136 51.1	50 18.8	11 4.1
2人		272 100.0	86 31.6	138 50.7	41 15.1	6 2.2	1 0.4
3人		147 100.0	35 23.8	86 58.5	19 12.9	7 4.8	0 0.0
4人		85 100.0	22 25.9	50 58.8	11 12.9	1 1.2	1 1.2
5人以上		50 100.0	17 34.0	27 54.0	4 8.0	0 0.0	2 4.0
地域 (地区別)		北部	172 100.0	37 21.5	98 57.0	29 16.9	4 2.3
	東部	142 100.0	39 27.5	73 51.4	26 18.3	3 2.1	1 0.7
	中央	160 100.0	40 25.0	95 59.4	19 11.9	3 1.9	3 1.9
	南部	186 100.0	59 31.7	92 49.5	28 15.1	6 3.2	1 0.5
	西部	156 100.0	47 30.1	76 48.7	23 14.7	9 5.8	1 0.6
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	102 32.5	164 52.2	34 10.8	10 3.2
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	71 24.4	147 50.5	58 19.9	11 3.8	4 1.4
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	43 23.4	107 58.2	29 15.8	4 2.2	1 0.5
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	3 14.3	14 66.7	4 19.0	0 0.0	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	2 25.0	6 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他		2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	6 14.6	25 61.0	8 19.5	2 4.9
	1年以上～3年未満	89 100.0	23 25.8	46 51.7	16 18.0	2 2.2	2 2.2
	3年以上～10年未満	176 100.0	44 25.0	101 57.4	24 13.6	7 4.0	0 0.0
	10年以上～20年未満	131 100.0	29 22.1	72 55.0	24 18.3	5 3.8	1 0.8
	20年以上	384 100.0	121 31.5	194 50.5	53 13.8	9 2.3	7 1.8

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 実践している発生抑制の取組 リサイクルショップ等を利用する

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問1 (8) リサイクルショップ等を利用する					
		常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない	無回答	
全体	823 100.0	57 6.9	175 21.3	328 39.9	250 30.4	13 1.6	
年齢	30歳未満	53 100.0	2 3.8	15 28.3	21 39.6	13 24.5	2 3.8
	30歳代	108 100.0	6 5.6	29 26.9	36 33.3	37 34.3	0 0.0
	40歳代	127 100.0	14 11.0	29 22.8	46 36.2	36 28.3	2 1.6
	50歳代	152 100.0	9 5.9	36 23.7	61 40.1	46 30.3	0 0.0
	60歳代	155 100.0	8 5.2	32 20.6	73 47.1	41 26.5	1 0.6
	70歳以上	225 100.0	18 8.0	34 15.1	89 39.6	77 34.2	7 3.1
	世帯人数	1人	266 100.0	17 6.4	54 20.3	92 34.6	99 37.2
2人		272 100.0	21 7.7	56 20.6	113 41.5	80 29.4	2 0.7
3人		147 100.0	9 6.1	29 19.7	65 44.2	42 28.6	2 1.4
4人		85 100.0	6 7.1	21 24.7	37 43.5	20 23.5	1 1.2
5人以上		50 100.0	4 8.0	15 30.0	19 38.0	9 18.0	3 6.0
地域 (地区別)		北部	172 100.0	6 3.5	45 26.2	64 37.2	52 30.2
	東部	142 100.0	9 6.3	21 14.8	64 45.1	46 32.4	2 1.4
	中央	160 100.0	14 8.8	36 22.5	58 36.3	50 31.3	2 1.3
	南部	186 100.0	16 8.6	35 18.8	75 40.3	58 31.2	2 1.1
	西部	156 100.0	11 7.1	37 23.7	63 40.4	44 28.2	1 0.6
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	27 8.6	58 18.5	127 40.4	96 30.6
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	15 5.2	78 26.8	109 37.5	85 29.2	4 1.4
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	13 7.1	34 18.5	78 42.4	58 31.5	1 0.5
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	1 4.8	3 14.3	9 42.9	8 38.1	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	0 0.0	1 12.5	4 50.0	3 37.5	0 0.0
その他		2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	2 4.9	11 26.8	16 39.0	12 29.3
	1年以上～3年未満	89 100.0	6 6.7	23 25.8	36 40.4	21 23.6	3 3.4
	3年以上～10年未満	176 100.0	13 7.4	45 25.6	59 33.5	58 33.0	1 0.6
	10年以上～20年未満	131 100.0	7 5.3	28 21.4	51 38.9	43 32.8	2 1.5
	20年以上	384 100.0	29 7.6	68 17.7	165 43.0	116 30.2	6 1.6

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 実践している発生抑制の取組 リサイクル材料使用商品を購入する

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問1(9) リサイクル材料使用商品を購入する					
		常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない	無回答	
全体	823 100.0	93 11.3	390 47.4	276 33.5	54 6.6	10 1.2	
年齢	30歳未満	53 100.0	3 5.7	18 34.0	22 41.5	9 17.0	1 1.9
	30歳代	108 100.0	8 7.4	44 40.7	45 41.7	11 10.2	0 0.0
	40歳代	127 100.0	11 8.7	57 44.9	49 38.6	9 7.1	1 0.8
	50歳代	152 100.0	16 10.5	71 46.7	53 34.9	12 7.9	0 0.0
	60歳代	155 100.0	19 12.3	86 55.5	46 29.7	4 2.6	0 0.0
	70歳以上	225 100.0	36 16.0	113 50.2	61 27.1	8 3.6	7 3.1
	世帯人数	1人	266 100.0	28 10.5	133 50.0	82 30.8	20 7.5
2人		272 100.0	30 11.0	132 48.5	92 33.8	17 6.3	1 0.4
3人		147 100.0	15 10.2	69 46.9	53 36.1	9 6.1	1 0.7
4人		85 100.0	9 10.6	35 41.2	35 41.2	4 4.7	2 2.4
5人以上		50 100.0	11 22.0	21 42.0	13 26.0	3 6.0	2 4.0
地域 (地区別)		北部	172 100.0	21 12.2	82 47.7	50 29.1	17 9.9
	東部	142 100.0	18 12.7	70 49.3	40 28.2	13 9.2	1 0.7
	中央	160 100.0	16 10.0	72 45.0	63 39.4	7 4.4	2 1.3
	南部	186 100.0	19 10.2	85 45.7	72 38.7	8 4.3	2 1.1
	西部	156 100.0	19 12.2	78 50.0	49 31.4	8 5.1	2 1.3
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	41 13.1	159 50.6	99 31.5	9 2.9
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	27 9.3	127 43.6	106 36.4	30 10.3	1 0.3
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	22 12.0	89 48.4	59 32.1	14 7.6	0 0.0
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	1 4.8	10 47.6	10 47.6	0 0.0	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	0 0.0	5 62.5	2 25.0	0 0.0	1 12.5
その他		2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	4 9.8	13 31.7	20 48.8	4 9.8
	1年以上～3年未満	89 100.0	4 4.5	38 42.7	34 38.2	11 12.4	2 2.2
	3年以上～10年未満	176 100.0	15 8.5	78 44.3	69 39.2	14 8.0	0 0.0
	10年以上～20年未満	131 100.0	15 11.5	64 48.9	37 28.2	14 10.7	1 0.8
	20年以上	384 100.0	55 14.3	197 51.3	116 30.2	10 2.6	6 1.6

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 実践している発生抑制の取組 使い捨て商品を買わない(割り箸など)

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問1 (10) 使い捨て商品を買わない(割り箸など)					
		常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない	無回答	
全体	823 100.0	255 31.0	346 42.0	168 20.4	47 5.7	7 0.9	
年齢	30歳未満	53 100.0	7 13.2	25 47.2	13 24.5	7 13.2	1 1.9
	30歳代	108 100.0	30 27.8	46 42.6	23 21.3	9 8.3	0 0.0
	40歳代	127 100.0	33 26.0	58 45.7	28 22.0	7 5.5	1 0.8
	50歳代	152 100.0	38 25.0	73 48.0	38 25.0	3 2.0	0 0.0
	60歳代	155 100.0	55 35.5	63 40.6	30 19.4	7 4.5	0 0.0
	70歳以上	225 100.0	91 40.4	80 35.6	36 16.0	14 6.2	4 1.8
	世帯人数	1人	266 100.0	92 34.6	94 35.3	53 19.9	25 9.4
2人		272 100.0	91 33.5	122 44.9	50 18.4	9 3.3	0 0.0
3人		147 100.0	35 23.8	67 45.6	34 23.1	10 6.8	1 0.7
4人		85 100.0	23 27.1	38 44.7	21 24.7	2 2.4	1 1.2
5人以上		50 100.0	12 24.0	25 50.0	10 20.0	1 2.0	2 4.0
地域(地区別)		北部	172 100.0	50 29.1	74 43.0	35 20.3	11 6.4
	東部	142 100.0	53 37.3	59 41.5	22 15.5	7 4.9	1 0.7
	中央	160 100.0	38 23.8	74 46.3	35 21.9	11 6.9	2 1.3
	南部	186 100.0	58 31.2	67 36.0	48 25.8	12 6.5	1 0.5
	西部	156 100.0	54 34.6	69 44.2	27 17.3	6 3.8	0 0.0
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	97 30.9	142 45.2	60 19.1	11 3.5
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	85 29.2	109 37.5	67 23.0	29 10.0	1 0.3
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	64 34.8	84 45.7	33 17.9	3 1.6	0 0.0
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	6 28.6	5 23.8	6 28.6	4 19.0	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	1 12.5	6 75.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0
その他		2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	9 22.0	24 58.5	6 14.6	2 4.9
	1年以上～3年未満	89 100.0	22 24.7	38 42.7	18 20.2	9 10.1	2 2.2
	3年以上～10年未満	176 100.0	51 29.0	71 40.3	44 25.0	10 5.7	0 0.0
	10年以上～20年未満	131 100.0	30 22.9	53 40.5	37 28.2	11 8.4	0 0.0
	20年以上	384 100.0	142 37.0	160 41.7	63 16.4	15 3.9	4 1.0

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 実践している発生抑制の取組 必要のないスプーン等をもらわない

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問1 (11) 必要のないスプーン等をもらわない				
			常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない	無回答
全体		823 100.0	375 45.6	296 36.0	105 12.8	38 4.6	9 1.1
年齢	30歳未満	53 100.0	8 15.1	21 39.6	15 28.3	8 15.1	1 1.9
	30歳代	108 100.0	36 33.3	48 44.4	15 13.9	9 8.3	0 0.0
	40歳代	127 100.0	56 44.1	49 38.6	19 15.0	2 1.6	1 0.8
	50歳代	152 100.0	72 47.4	63 41.4	14 9.2	3 2.0	0 0.0
	60歳代	155 100.0	80 51.6	56 36.1	14 9.0	4 2.6	1 0.6
	70歳以上	225 100.0	122 54.2	58 25.8	28 12.4	12 5.3	5 2.2
	世帯人数	1人	266 100.0	122 45.9	88 33.1	35 13.2	17 6.4
2人		272 100.0	133 48.9	95 34.9	32 11.8	12 4.4	0 0.0
3人		147 100.0	65 44.2	56 38.1	19 12.9	6 4.1	1 0.7
4人		85 100.0	31 36.5	39 45.9	13 15.3	1 1.2	1 1.2
5人以上		50 100.0	22 44.0	18 36.0	6 12.0	2 4.0	2 4.0
地域 (地区別)		北部	172 100.0	77 44.8	58 33.7	25 14.5	9 5.2
	東部	142 100.0	74 52.1	43 30.3	19 13.4	5 3.5	1 0.7
	中央	160 100.0	60 37.5	71 44.4	16 10.0	10 6.3	3 1.9
	南部	186 100.0	85 45.7	67 36.0	23 12.4	10 5.4	1 0.5
	西部	156 100.0	75 48.1	55 35.3	22 14.1	4 2.6	0 0.0
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	153 48.7	116 36.9	29 9.2	11 3.5
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	117 40.2	103 35.4	49 16.8	21 7.2	1 0.3
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	93 50.5	64 34.8	23 12.5	3 1.6	1 0.5
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	8 38.1	7 33.3	4 19.0	2 9.5	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	2 25.0	6 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他		2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	10 24.4	20 48.8	8 19.5	3 7.3
	1年以上～3年未満	89 100.0	24 27.0	37 41.6	15 16.9	11 12.4	2 2.2
	3年以上～10年未満	176 100.0	78 44.3	64 36.4	26 14.8	7 4.0	1 0.6
	10年以上～20年未満	131 100.0	63 48.1	46 35.1	19 14.5	3 2.3	0 0.0
	20年以上	384 100.0	199 51.8	129 33.6	37 9.6	14 3.6	5 1.3

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 実践している発生抑制の取組 外出時にマイボトルを持参する

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問1 (12) 外出時にマイボトルを持参する				無回答
			常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない	
全体		823 100.0	235 28.6	275 33.4	182 22.1	121 14.7	10 1.2
年齢	30歳未満	53 100.0	8 15.1	12 22.6	19 35.8	13 24.5	1 1.9
	30歳代	108 100.0	19 17.6	29 26.9	35 32.4	25 23.1	0 0.0
	40歳代	127 100.0	24 18.9	56 44.1	26 20.5	18 14.2	3 2.4
	50歳代	152 100.0	36 23.7	65 42.8	30 19.7	21 13.8	0 0.0
	60歳代	155 100.0	51 32.9	55 35.5	35 22.6	14 9.0	0 0.0
	70歳以上	225 100.0	97 43.1	57 25.3	37 16.4	29 12.9	5 2.2
	世帯人数	1人	266 100.0	78 29.3	73 27.4	56 21.1	56 21.1
2人		272 100.0	79 29.0	93 34.2	63 23.2	35 12.9	2 0.7
3人		147 100.0	36 24.5	56 38.1	37 25.2	18 12.2	0 0.0
4人		85 100.0	26 30.6	34 40.0	17 20.0	6 7.1	2 2.4
5人以上		50 100.0	16 32.0	18 36.0	9 18.0	5 10.0	2 4.0
地域 (地区別)		北部	172 100.0	48 27.9	56 32.6	40 23.3	26 15.1
	東部	142 100.0	35 24.6	50 35.2	35 24.6	21 14.8	1 0.7
	中央	160 100.0	41 25.6	60 37.5	31 19.4	24 15.0	4 2.5
	南部	186 100.0	59 31.7	51 27.4	46 24.7	29 15.6	1 0.5
	西部	156 100.0	51 32.7	55 35.3	29 18.6	20 12.8	1 0.6
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	105 33.4	107 34.1	65 20.7	33 10.5
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	75 25.8	86 29.6	68 23.4	59 20.3	3 1.0
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	48 26.1	66 35.9	45 24.5	24 13.0	1 0.5
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	4 19.0	11 52.4	2 9.5	4 19.0	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	2 25.0	5 62.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0
その他		2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	7 17.1	12 29.3	14 34.1	8 19.5
	1年以上～3年未満	89 100.0	22 24.7	18 20.2	27 30.3	20 22.5	2 2.2
	3年以上～10年未満	176 100.0	38 21.6	55 31.3	44 25.0	36 20.5	3 1.7
	10年以上～20年未満	131 100.0	31 23.7	57 43.5	28 21.4	15 11.5	0 0.0
	20年以上	384 100.0	137 35.7	133 34.6	69 18.0	41 10.7	4 1.0

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 実践している発生抑制の取組 ペットボトルに入ったものを買わない

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問1 (13) ペットボトルに入ったものを買わない					
		常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない	無回答	
全体	823 100.0	41 5.0	232 28.2	316 38.4	222 27.0	12 1.5	
年齢	30歳未満	53 100.0	1 1.9	6 11.3	22 41.5	23 43.4	1 1.9
	30歳代	108 100.0	0 0.0	19 17.6	44 40.7	45 41.7	0 0.0
	40歳代	127 100.0	6 4.7	32 25.2	46 36.2	41 32.3	2 1.6
	50歳代	152 100.0	3 2.0	43 28.3	62 40.8	44 28.9	0 0.0
	60歳代	155 100.0	7 4.5	44 28.4	72 46.5	30 19.4	2 1.3
	70歳以上	225 100.0	24 10.7	87 38.7	70 31.1	38 16.9	6 2.7
	世帯人数	1人	266 100.0	16 6.0	82 30.8	92 34.6	73 27.4
2人		272 100.0	15 5.5	75 27.6	109 40.1	71 26.1	2 0.7
3人		147 100.0	4 2.7	35 23.8	59 40.1	47 32.0	2 1.4
4人		85 100.0	4 4.7	24 28.2	34 40.0	22 25.9	1 1.2
5人以上		50 100.0	2 4.0	16 32.0	22 44.0	8 16.0	2 4.0
地域 (地区別)	北部	172 100.0	11 6.4	45 26.2	66 38.4	48 27.9	2 1.2
	東部	142 100.0	8 5.6	35 24.6	56 39.4	42 29.6	1 0.7
	中央	160 100.0	6 3.8	46 28.8	63 39.4	42 26.3	3 1.9
	南部	186 100.0	6 3.2	53 28.5	72 38.7	54 29.0	1 0.5
	西部	156 100.0	9 5.8	52 33.3	56 35.9	35 22.4	4 2.6
住居の種類	一戸建て	314 100.0	17 5.4	96 30.6	129 41.1	65 20.7	7 2.2
	居住者がごみ出しする共同住宅	291 100.0	11 3.8	88 30.2	94 32.3	97 33.3	1 0.3
	管理人がごみ出しする共同住宅	184 100.0	10 5.4	42 22.8	77 41.8	54 29.3	1 0.5
	居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	21 100.0	1 4.8	3 14.3	11 52.4	5 23.8	1 4.8
	管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅	8 100.0	1 12.5	3 37.5	4 50.0	0 0.0	0 0.0
	その他	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
居住年数	1年未満	41 100.0	0 0.0	7 17.1	19 46.3	15 36.6	0 0.0
	1年以上～3年未満	89 100.0	4 4.5	18 20.2	32 36.0	33 37.1	2 2.2
	3年以上～10年未満	176 100.0	13 7.4	44 25.0	59 33.5	59 33.5	1 0.6
	10年以上～20年未満	131 100.0	2 1.5	44 33.6	52 39.7	33 25.2	0 0.0
	20年以上	384 100.0	22 5.7	119 31.0	154 40.1	81 21.1	8 2.1

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 実践している発生抑制の取組 フリマアプリを利用する

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問1 (14) フリマアプリを利用する				
			常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない	無回答
全体		823 100.0	63 7.7	167 20.3	165 20.0	415 50.4	13 1.6
年齢	30歳未満	53 100.0	5 9.4	18 34.0	15 28.3	14 26.4	1 1.9
	30歳代	108 100.0	14 13.0	39 36.1	22 20.4	33 30.6	0 0.0
	40歳代	127 100.0	14 11.0	44 34.6	26 20.5	42 33.1	1 0.8
	50歳代	152 100.0	10 6.6	37 24.3	27 17.8	78 51.3	0 0.0
	60歳代	155 100.0	10 6.5	20 12.9	42 27.1	83 53.5	0 0.0
	70歳以上	225 100.0	9 4.0	9 4.0	32 14.2	165 73.3	10 4.4
	世帯人数	1人	266 100.0	18 6.8	50 18.8	40 15.0	155 58.3
2人		272 100.0	19 7.0	44 16.2	60 22.1	144 52.9	5 1.8
3人		147 100.0	12 8.2	34 23.1	34 23.1	66 44.9	1 0.7
4人		85 100.0	6 7.1	27 31.8	23 27.1	28 32.9	1 1.2
5人以上		50 100.0	7 14.0	12 24.0	7 14.0	22 44.0	2 4.0
地域 (地区別)		北部	172 100.0	8 4.7	33 19.2	44 25.6	85 49.4
	東部	142 100.0	11 7.7	25 17.6	32 22.5	72 50.7	2 1.4
	中央	160 100.0	10 6.3	35 21.9	28 17.5	85 53.1	2 1.3
	南部	186 100.0	18 9.7	42 22.6	32 17.2	90 48.4	4 2.2
	西部	156 100.0	14 9.0	32 20.5	27 17.3	81 51.9	2 1.3
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	23 7.3	48 15.3	57 18.2	177 56.4
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	22 7.6	77 26.5	62 21.3	129 44.3	1 0.3
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	15 8.2	35 19.0	38 20.7	95 51.6	1 0.5
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	2 9.5	3 14.3	6 28.6	10 47.6	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	0 0.0	3 37.5	2 25.0	3 37.5	0 0.0
その他		2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	2 4.9	18 43.9	11 26.8	10 24.4
	1年以上～3年未満	89 100.0	8 9.0	32 36.0	17 19.1	30 33.7	2 2.2
	3年以上～10年未満	176 100.0	18 10.2	49 27.8	41 23.3	68 38.6	0 0.0
	10年以上～20年未満	131 100.0	9 6.9	28 21.4	28 21.4	66 50.4	0 0.0
	20年以上	384 100.0	25 6.5	40 10.4	68 17.7	241 62.8	10 2.6

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 実践している発生抑制の取組 古着回収ボックスを利用する

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問1 (15) 古着回収ボックスを利用する				
			常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない	無回答
全体		823 100.0	32 3.9	125 15.2	222 27.0	428 52.0	16 1.9
年齢	30歳未満	53 100.0	1 1.9	4 7.5	17 32.1	30 56.6	1 1.9
	30歳代	108 100.0	5 4.6	17 15.7	32 29.6	54 50.0	0 0.0
	40歳代	127 100.0	4 3.1	28 22.0	26 20.5	67 52.8	2 1.6
	50歳代	152 100.0	11 7.2	22 14.5	56 36.8	62 40.8	1 0.7
	60歳代	155 100.0	6 3.9	31 20.0	48 31.0	70 45.2	0 0.0
	70歳以上	225 100.0	5 2.2	23 10.2	42 18.7	144 64.0	11 4.9
	世帯人数	1人	266 100.0	18 6.8	35 13.2	59 22.2	148 55.6
2人		272 100.0	5 1.8	41 15.1	81 29.8	143 52.6	2 0.7
3人		147 100.0	4 2.7	22 15.0	42 28.6	78 53.1	1 0.7
4人		85 100.0	2 2.4	17 20.0	28 32.9	36 42.4	2 2.4
5人以上		50 100.0	3 6.0	9 18.0	12 24.0	22 44.0	4 8.0
地域 (地区別)		北部	172 100.0	6 3.5	33 19.2	44 25.6	86 50.0
	東部	142 100.0	11 7.7	18 12.7	39 27.5	72 50.7	2 1.4
	中央	160 100.0	2 1.3	24 15.0	47 29.4	82 51.3	5 3.1
	南部	186 100.0	10 5.4	28 15.1	48 25.8	98 52.7	2 1.1
	西部	156 100.0	2 1.3	22 14.1	42 26.9	88 56.4	2 1.3
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	7 2.2	56 17.8	81 25.8	161 51.3
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	14 4.8	34 11.7	79 27.1	159 54.6	5 1.7
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	9 4.9	32 17.4	52 28.3	91 49.5	0 0.0
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	1 4.8	2 9.5	7 33.3	11 52.4	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	0 0.0	1 12.5	3 37.5	4 50.0	0 0.0
その他		2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	1 2.4	8 19.5	11 26.8	21 51.2
	1年以上～3年未満	89 100.0	2 2.2	14 15.7	22 24.7	48 53.9	3 3.4
	3年以上～10年未満	176 100.0	11 6.3	26 14.8	54 30.7	84 47.7	1 0.6
	10年以上～20年未満	131 100.0	4 3.1	26 19.8	36 27.5	63 48.1	2 1.5
	20年以上	384 100.0	14 3.6	51 13.3	99 25.8	211 54.9	9 2.3

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 実践している発生抑制の取組 食品トレイ回収ボックスを利用する

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問1 (16) 食品トレイ回収ボックスを利用する					
		常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない	無回答	
全体	823 100.0	125 15.2	110 13.4	215 26.1	361 43.9	12 1.5	
年齢	30歳未満	53 100.0	4 7.5	3 5.7	12 22.6	32 60.4	2 3.8
	30歳代	108 100.0	13 12.0	7 6.5	29 26.9	59 54.6	0 0.0
	40歳代	127 100.0	15 11.8	14 11.0	30 23.6	66 52.0	2 1.6
	50歳代	152 100.0	23 15.1	19 12.5	48 31.6	62 40.8	0 0.0
	60歳代	155 100.0	29 18.7	28 18.1	41 26.5	56 36.1	1 0.6
	70歳以上	225 100.0	41 18.2	38 16.9	54 24.0	86 38.2	6 2.7
	世帯人数	1人	266 100.0	38 14.3	31 11.7	61 22.9	130 48.9
2人		272 100.0	44 16.2	41 15.1	66 24.3	119 43.8	2 0.7
3人		147 100.0	18 12.2	16 10.9	49 33.3	64 43.5	0 0.0
4人		85 100.0	13 15.3	12 14.1	23 27.1	36 42.4	1 1.2
5人以上		50 100.0	12 24.0	10 20.0	14 28.0	12 24.0	2 4.0
地域 (地区別)		北部	172 100.0	18 10.5	21 12.2	51 29.7	78 45.3
	東部	142 100.0	23 16.2	20 14.1	31 21.8	66 46.5	2 1.4
	中央	160 100.0	33 20.6	22 13.8	44 27.5	59 36.9	2 1.3
	南部	186 100.0	27 14.5	26 14.0	47 25.3	83 44.6	3 1.6
	西部	156 100.0	22 14.1	20 12.8	40 25.6	74 47.4	0 0.0
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	51 16.2	65 20.7	91 29.0	103 32.8
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	44 15.1	23 7.9	71 24.4	148 50.9	5 1.7
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	24 13.0	17 9.2	45 24.5	97 52.7	1 0.5
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	4 19.0	4 19.0	4 19.0	9 42.9	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	3 37.5	0 0.0
その他		2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	7 17.1	4 9.8	9 22.0	20 48.8
	1年以上～3年未満	89 100.0	8 9.0	10 11.2	25 28.1	44 49.4	2 2.2
	3年以上～10年未満	176 100.0	28 15.9	12 6.8	43 24.4	91 51.7	2 1.1
	10年以上～20年未満	131 100.0	15 11.5	20 15.3	37 28.2	58 44.3	1 0.8
	20年以上	384 100.0	67 17.4	64 16.7	100 26.0	148 38.5	5 1.3

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 実践している発生抑制の取組 買い物の時に手前取りする

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問1 (17) 買い物の時に手前取りする				
			常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない	無回答
全体		823 100.0	92 11.2	296 36.0	296 36.0	130 15.8	9 1.1
年齢	30歳未満	53 100.0	6 11.3	20 37.7	18 34.0	8 15.1	1 1.9
	30歳代	108 100.0	14 13.0	31 28.7	40 37.0	22 20.4	1 0.9
	40歳代	127 100.0	14 11.0	45 35.4	40 31.5	27 21.3	1 0.8
	50歳代	152 100.0	16 10.5	65 42.8	49 32.2	22 14.5	0 0.0
	60歳代	155 100.0	14 9.0	57 36.8	63 40.6	21 13.5	0 0.0
	70歳以上	225 100.0	28 12.4	77 34.2	86 38.2	29 12.9	5 2.2
	世帯人数	1人	266 100.0	25 9.4	102 38.3	97 36.5	38 14.3
2人		272 100.0	38 14.0	89 32.7	95 34.9	49 18.0	1 0.4
3人		147 100.0	11 7.5	50 34.0	60 40.8	26 17.7	0 0.0
4人		85 100.0	10 11.8	33 38.8	30 35.3	11 12.9	1 1.2
5人以上		50 100.0	8 16.0	21 42.0	14 28.0	5 10.0	2 4.0
地域 (地区別)		北部	172 100.0	16 9.3	56 32.6	69 40.1	29 16.9
	東部	142 100.0	20 14.1	60 42.3	38 26.8	22 15.5	2 1.4
	中央	160 100.0	20 12.5	52 32.5	61 38.1	25 15.6	2 1.3
	南部	186 100.0	25 13.4	65 34.9	67 36.0	28 15.1	1 0.5
	西部	156 100.0	11 7.1	60 38.5	59 37.8	25 16.0	1 0.6
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	36 11.5	113 36.0	114 36.3	47 15.0
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	37 12.7	102 35.1	100 34.4	50 17.2	2 0.7
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	16 8.7	69 37.5	70 38.0	29 15.8	0 0.0
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	3 14.3	7 33.3	9 42.9	1 4.8	1 4.8
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	0 0.0	5 62.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0
その他		2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	2 4.9	15 36.6	16 39.0	8 19.5
	1年以上～3年未満	89 100.0	10 11.2	27 30.3	33 37.1	17 19.1	2 2.2
	3年以上～10年未満	176 100.0	22 12.5	69 39.2	53 30.1	31 17.6	1 0.6
	10年以上～20年未満	131 100.0	10 7.6	47 35.9	56 42.7	17 13.0	1 0.8
	20年以上	384 100.0	48 12.5	138 35.9	138 35.9	56 14.6	4 1.0

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 発生抑制や再使用に関する取組の認知度 Loop(ループ)

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問2 (1) Loop (ループ)					
		知っている-利用したことがある	知っている-利用していない	知らなかった-利用してみたい	知らなかった-興味が無い	無回答	
全体	823 100.0	97 11.8	253 30.7	307 37.3	150 18.2	16 1.9	
年齢	30歳未満	53 100.0	6 11.3	10 18.9	27 50.9	9 17.0	1 1.9
	30歳代	108 100.0	5 4.6	30 27.8	47 43.5	26 24.1	0 0.0
	40歳代	127 100.0	7 5.5	34 26.8	58 45.7	27 21.3	1 0.8
	50歳代	152 100.0	10 6.6	44 28.9	72 47.4	26 17.1	0 0.0
	60歳代	155 100.0	28 18.1	62 40.0	44 28.4	18 11.6	3 1.9
	70歳以上	225 100.0	41 18.2	73 32.4	57 25.3	44 19.6	10 4.4
	世帯人数	1人	266 100.0	22 8.3	85 32.0	106 39.8	48 18.0
2人		272 100.0	42 15.4	77 28.3	96 35.3	53 19.5	4 1.5
3人		147 100.0	17 11.6	44 29.9	56 38.1	28 19.0	2 1.4
4人		85 100.0	12 14.1	24 28.2	31 36.5	15 17.6	3 3.5
5人以上		50 100.0	4 8.0	22 44.0	17 34.0	6 12.0	1 2.0
地域(地区別)		北部	172 100.0	24 14.0	53 30.8	59 34.3	33 19.2
	東部	142 100.0	22 15.5	39 27.5	53 37.3	25 17.6	3 2.1
	中央	160 100.0	16 10.0	57 35.6	61 38.1	25 15.6	1 0.6
	南部	186 100.0	20 10.8	54 29.0	76 40.9	32 17.2	4 2.2
	西部	156 100.0	14 9.0	48 30.8	57 36.5	33 21.2	4 2.6
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	47 15.0	108 34.4	98 31.2	52 16.6
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	27 9.3	79 27.1	123 42.3	58 19.9	4 1.4
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	20 10.9	56 30.4	71 38.6	36 19.6	1 0.5
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	2 9.5	6 28.6	9 42.9	4 19.0	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	1 12.5	4 50.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0
その他		2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	1 2.4	8 19.5	21 51.2	11 26.8
	1年以上～3年未満	89 100.0	9 10.1	23 25.8	41 46.1	15 16.9	1 1.1
	3年以上～10年未満	176 100.0	15 8.5	53 30.1	77 43.8	30 17.0	1 0.6
	10年以上～20年未満	131 100.0	12 9.2	35 26.7	47 35.9	35 26.7	2 1.5
	20年以上	384 100.0	60 15.6	134 34.9	120 31.3	59 15.4	11 2.9

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 発生抑制や再使用に関する取組の認知度 フードドライブ

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問2(2) フードドライブ					
		知っている-利用したことがある	知っている-利用していない	知らなかった-利用してみたい	知らなかった-興味が無い	無回答	
全体	823 100.0	29 3.5	318 38.6	264 32.1	196 23.8	16 1.9	
年齢	30歳未満	53 100.0	0 0.0	12 22.6	28 52.8	12 22.6	1 1.9
	30歳代	108 100.0	0 0.0	25 23.1	50 46.3	33 30.6	0 0.0
	40歳代	127 100.0	5 3.9	30 23.6	52 40.9	39 30.7	1 0.8
	50歳代	152 100.0	5 3.3	60 39.5	53 34.9	34 22.4	0 0.0
	60歳代	155 100.0	11 7.1	78 50.3	35 22.6	29 18.7	2 1.3
	70歳以上	225 100.0	8 3.6	113 50.2	44 19.6	49 21.8	11 4.9
	世帯人数	1人	266 100.0	8 3.0	95 35.7	91 34.2	67 25.2
2人		272 100.0	9 3.3	107 39.3	85 31.3	66 24.3	5 1.8
3人		147 100.0	8 5.4	54 36.7	48 32.7	35 23.8	2 1.4
4人		85 100.0	1 1.2	39 45.9	25 29.4	19 22.4	1 1.2
5人以上		50 100.0	3 6.0	22 44.0	14 28.0	9 18.0	2 4.0
地域(地区別)		北部	172 100.0	9 5.2	76 44.2	52 30.2	31 18.0
	東部	142 100.0	4 2.8	54 38.0	52 36.6	30 21.1	2 1.4
	中央	160 100.0	7 4.4	59 36.9	47 29.4	46 28.8	1 0.6
	南部	186 100.0	5 2.7	72 38.7	55 29.6	49 26.3	5 2.7
	西部	156 100.0	3 1.9	56 35.9	56 35.9	38 24.4	3 1.9
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	15 4.8	146 46.5	77 24.5	68 21.7
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	4 1.4	96 33.0	110 37.8	76 26.1	5 1.7
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	9 4.9	65 35.3	64 34.8	45 24.5	1 0.5
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	1 4.8	8 38.1	6 28.6	6 28.6	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	0 0.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5	0 0.0
その他		2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	1 2.4	11 26.8	18 43.9	11 26.8
	1年以上～3年未満	89 100.0	2 2.2	22 24.7	40 44.9	24 27.0	1 1.1
	3年以上～10年未満	176 100.0	7 4.0	54 30.7	73 41.5	41 23.3	1 0.6
	10年以上～20年未満	131 100.0	2 1.5	48 36.6	43 32.8	36 27.5	2 1.5
	20年以上	384 100.0	17 4.4	183 47.7	89 23.2	84 21.9	11 2.9

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 発生抑制や再使用に関する取組の認知度 クラダシ、ジュニジュニ

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問2 (3) クラダシ、ジュニジュニ				
			知っている-利用したことがある	知っている-利用していない	知らなかった-利用してみたい	知らなかった-興味が無い	無回答
全体		823 100.0	13 1.6	149 18.1	341 41.4	300 36.5	20 2.4
年齢	30歳未満	53 100.0	1 1.9	4 7.5	27 50.9	20 37.7	1 1.9
	30歳代	108 100.0	0 0.0	10 9.3	56 51.9	42 38.9	0 0.0
	40歳代	127 100.0	0 0.0	8 6.3	71 55.9	47 37.0	1 0.8
	50歳代	152 100.0	4 2.6	23 15.1	69 45.4	56 36.8	0 0.0
	60歳代	155 100.0	8 5.2	35 22.6	56 36.1	53 34.2	3 1.9
	70歳以上	225 100.0	0 0.0	69 30.7	60 26.7	82 36.4	14 6.2
	世帯人数	1人	266 100.0	4 1.5	44 16.5	118 44.4	95 35.7
2人		272 100.0	3 1.1	50 18.4	110 40.4	101 37.1	8 2.9
3人		147 100.0	4 2.7	31 21.1	56 38.1	54 36.7	2 1.4
4人		85 100.0	1 1.2	15 17.6	34 40.0	33 38.8	2 2.4
5人以上		50 100.0	1 2.0	8 16.0	22 44.0	17 34.0	2 4.0
地域 (地区別)		北部	172 100.0	2 1.2	35 20.3	75 43.6	57 33.1
	東部	142 100.0	4 2.8	26 18.3	63 44.4	45 31.7	4 2.8
	中央	160 100.0	3 1.9	25 15.6	64 40.0	66 41.3	2 1.3
	南部	186 100.0	3 1.6	33 17.7	69 37.1	74 39.8	7 3.8
	西部	156 100.0	1 0.6	29 18.6	68 43.6	55 35.3	3 1.9
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	5 1.6	71 22.6	103 32.8	123 39.2
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	1 0.3	45 15.5	137 47.1	103 35.4	5 1.7
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	7 3.8	28 15.2	85 46.2	63 34.2	1 0.5
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	0 0.0	4 19.0	9 42.9	8 38.1	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	0 0.0	1 12.5	4 50.0	3 37.5	0 0.0
その他		2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	0 0.0	3 7.3	19 46.3	19 46.3
	1年以上～3年未満	89 100.0	0 0.0	7 7.9	48 53.9	33 37.1	1 1.1
	3年以上～10年未満	176 100.0	8 4.5	29 16.5	86 48.9	53 30.1	0 0.0
	10年以上～20年未満	131 100.0	0 0.0	18 13.7	63 48.1	48 36.6	2 1.5
	20年以上	384 100.0	5 1.3	92 24.0	124 32.3	147 38.3	16 4.2

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 発生抑制や再使用に関する取組の認知度 TABETE

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問2(4) TABETE					
		知っている-利用したことがある	知っている-利用していない	知らなかった-利用してみたい	知らなかった-興味が無い	無回答	
全体	823 100.0	16 1.9	220 26.7	317 38.5	253 30.7	17 2.1	
年齢	30歳未満	53 100.0	2 3.8	12 22.6	23 43.4	15 28.3	1 1.9
	30歳代	108 100.0	1 0.9	18 16.7	53 49.1	36 33.3	0 0.0
	40歳代	127 100.0	3 2.4	18 14.2	70 55.1	35 27.6	1 0.8
	50歳代	152 100.0	5 3.3	46 30.3	53 34.9	48 31.6	0 0.0
	60歳代	155 100.0	4 2.6	51 32.9	50 32.3	48 31.0	2 1.3
	70歳以上	225 100.0	1 0.4	75 33.3	66 29.3	71 31.6	12 5.3
	世帯人数	1人	266 100.0	4 1.5	71 26.7	109 41.0	78 29.3
2人		272 100.0	7 2.6	72 26.5	107 39.3	79 29.0	7 2.6
3人		147 100.0	4 2.7	41 27.9	52 35.4	48 32.7	2 1.4
4人		85 100.0	0 0.0	24 28.2	27 31.8	33 38.8	1 1.2
5人以上		50 100.0	1 2.0	11 22.0	21 42.0	15 30.0	2 4.0
地域(地区別)		北部	172 100.0	1 0.6	55 32.0	64 37.2	49 28.5
	東部	142 100.0	4 2.8	36 25.4	65 45.8	34 23.9	3 2.1
	中央	160 100.0	1 0.6	45 28.1	58 36.3	55 34.4	1 0.6
	南部	186 100.0	6 3.2	49 26.3	65 34.9	60 32.3	6 3.2
	西部	156 100.0	4 2.6	33 21.2	63 40.4	53 34.0	3 1.9
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	7 2.2	96 30.6	95 30.3	107 34.1
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	7 2.4	67 23.0	129 44.3	83 28.5	5 1.7
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	2 1.1	50 27.2	79 42.9	52 28.3	1 0.5
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	0 0.0	3 14.3	10 47.6	8 38.1	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	0 0.0	3 37.5	2 25.0	3 37.5	0 0.0
その他		2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	0 0.0	9 22.0	17 41.5	15 36.6
	1年以上～3年未満	89 100.0	3 3.4	11 12.4	44 49.4	30 33.7	1 1.1
	3年以上～10年未満	176 100.0	5 2.8	49 27.8	81 46.0	41 23.3	0 0.0
	10年以上～20年未満	131 100.0	1 0.8	30 22.9	60 45.8	38 29.0	2 1.5
	20年以上	384 100.0	7 1.8	121 31.5	114 29.7	129 33.6	13 3.4

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 発生抑制や再使用に関する区の実組の認知度 エコテイクアウト

(上段：回答者数、下段：構成比)

	合計	問3 (1) エコテイクアウト					
		知っている-利用したことがある	知っている-利用したことがない	知らなかった-利用してみたい	知らなかった-興味が無い	無回答	
全体	823 100.0	45 5.5	159 19.3	431 52.4	164 19.9	24 2.9	
年齢	30歳未満	53 100.0	5 9.4	4 7.5	31 58.5	12 22.6	1 1.9
	30歳代	108 100.0	4 3.7	12 11.1	66 61.1	25 23.1	1 0.9
	40歳代	127 100.0	3 2.4	9 7.1	83 65.4	30 23.6	2 1.6
	50歳代	152 100.0	10 6.6	21 13.8	93 61.2	26 17.1	2 1.3
	60歳代	155 100.0	8 5.2	34 21.9	79 51.0	32 20.6	2 1.3
	70歳以上	225 100.0	15 6.7	79 35.1	77 34.2	39 17.3	15 6.7
	世帯人数	1人	266 100.0	15 5.6	41 15.4	155 58.3	47 17.7
2人		272 100.0	14 5.1	61 22.4	144 52.9	46 16.9	7 2.6
3人		147 100.0	7 4.8	29 19.7	66 44.9	41 27.9	4 2.7
4人		85 100.0	6 7.1	13 15.3	42 49.4	22 25.9	2 2.4
5人以上		50 100.0	3 6.0	14 28.0	23 46.0	8 16.0	2 4.0
地域(地区別)		北部	172 100.0	12 7.0	35 20.3	84 48.8	35 20.3
	東部	142 100.0	10 7.0	24 16.9	80 56.3	23 16.2	5 3.5
	中央	160 100.0	7 4.4	34 21.3	84 52.5	32 20.0	3 1.9
	南部	186 100.0	8 4.3	40 21.5	96 51.6	38 20.4	4 2.2
	西部	156 100.0	8 5.1	26 16.7	85 54.5	33 21.2	4 2.6
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	17 5.4	89 28.3	130 41.4	66 21.0
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	18 6.2	37 12.7	167 57.4	61 21.0	8 2.7
管理者がごみ出しする共同住宅		184 100.0	8 4.3	29 15.8	113 61.4	32 17.4	2 1.1
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	0 0.0	3 14.3	13 61.9	5 23.8	0 0.0
管理者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	2 25.0	1 12.5	5 62.5	0 0.0	0 0.0
その他		2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	1 2.4	2 4.9	25 61.0	13 31.7
	1年以上～3年未満	89 100.0	6 6.7	7 7.9	53 59.6	22 24.7	1 1.1
	3年以上～10年未満	176 100.0	13 7.4	26 14.8	106 60.2	30 17.0	1 0.6
	10年以上～20年未満	131 100.0	4 3.1	17 13.0	77 58.8	29 22.1	4 3.1
	20年以上	384 100.0	21 5.5	107 27.9	169 44.0	70 18.2	17 4.4

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 発生抑制や再使用に関する区の取組の認知度 マイ容器利用キャンペーン

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問3 (2) マイ容器利用キャンペーン				
			知っている-利用したことがある	知っている-利用したことがない	知らなかった-利用してみたい	知らなかった-興味が無い	無回答
全体		823 100.0	21 2.6	200 24.3	411 49.9	161 19.6	30 3.6
年齢	30歳未満	53 100.0	2 3.8	6 11.3	25 47.2	19 35.8	1 1.9
	30歳代	108 100.0	1 0.9	17 15.7	62 57.4	27 25.0	1 0.9
	40歳代	127 100.0	2 1.6	15 11.8	81 63.8	28 22.0	1 0.8
	50歳代	152 100.0	6 3.9	25 16.4	93 61.2	26 17.1	2 1.3
	60歳代	155 100.0	6 3.9	45 29.0	75 48.4	25 16.1	4 2.6
	70歳以上	225 100.0	4 1.8	92 40.9	74 32.9	36 16.0	19 8.4
	世帯人数	1人	266 100.0	6 2.3	61 22.9	139 52.3	53 19.9
2人		272 100.0	9 3.3	80 29.4	125 46.0	49 18.0	9 3.3
3人		147 100.0	2 1.4	28 19.0	77 52.4	33 22.4	7 4.8
4人		85 100.0	2 2.4	19 22.4	46 54.1	16 18.8	2 2.4
5人以上		50 100.0	2 4.0	12 24.0	23 46.0	10 20.0	3 6.0
地域(地区別)		北部	172 100.0	5 2.9	43 25.0	86 50.0	34 19.8
	東部	142 100.0	6 4.2	29 20.4	82 57.7	22 15.5	3 2.1
	中央	160 100.0	1 0.6	46 28.8	78 48.8	31 19.4	4 2.5
	南部	186 100.0	5 2.7	49 26.3	84 45.2	41 22.0	7 3.8
	西部	156 100.0	4 2.6	32 20.5	80 51.3	30 19.2	10 6.4
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	12 3.8	98 31.2	133 42.4	54 17.2
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	5 1.7	57 19.6	151 51.9	69 23.7	9 3.1
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	4 2.2	41 22.3	107 58.2	31 16.8	1 0.5
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	0 0.0	2 9.5	13 61.9	6 28.6	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	0 0.0	2 25.0	5 62.5	1 12.5	0 0.0
その他		2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	2 4.9	1 2.4	27 65.9	11 26.8
	1年以上～3年未満	89 100.0	1 1.1	8 9.0	51 57.3	28 31.5	1 1.1
	3年以上～10年未満	176 100.0	4 2.3	40 22.7	96 54.5	34 19.3	2 1.1
	10年以上～20年未満	131 100.0	1 0.8	28 21.4	78 59.5	23 17.6	1 0.8
	20年以上	384 100.0	13 3.4	123 32.0	159 41.4	65 16.9	24 6.3

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 発生抑制や再使用に関する区の実施の認知度 めぐる買い物ルール参加店

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問3 (3) めぐる買い物ルール参加店				
			知っている-利用したことがある	知っている-利用したことがない	知らなかった-利用してみたい	知らなかった-興味が無い	無回答
全体		823 100.0	42 5.1	136 16.5	476 57.8	141 17.1	28 3.4
年齢	30歳未満	53 100.0	0 0.0	1 1.9	33 62.3	18 34.0	1 1.9
	30歳代	108 100.0	0 0.0	10 9.3	73 67.6	25 23.1	0 0.0
	40歳代	127 100.0	5 3.9	11 8.7	84 66.1	26 20.5	1 0.8
	50歳代	152 100.0	5 3.3	22 14.5	103 67.8	21 13.8	1 0.7
	60歳代	155 100.0	13 8.4	26 16.8	93 60.0	21 13.5	2 1.3
	70歳以上	225 100.0	19 8.4	66 29.3	88 39.1	30 13.3	22 9.8
	世帯人数	1人	266 100.0	7 2.6	39 14.7	164 61.7	48 18.0
2人		272 100.0	14 5.1	43 15.8	159 58.5	46 16.9	10 3.7
3人		147 100.0	12 8.2	25 17.0	80 54.4	26 17.7	4 2.7
4人		85 100.0	2 2.4	17 20.0	51 60.0	14 16.5	1 1.2
5人以上		50 100.0	7 14.0	12 24.0	20 40.0	7 14.0	4 8.0
地域(地区別)		北部	172 100.0	8 4.7	30 17.4	98 57.0	29 16.9
	東部	142 100.0	5 3.5	16 11.3	93 65.5	23 16.2	5 3.5
	中央	160 100.0	12 7.5	26 16.3	87 54.4	32 20.0	3 1.9
	南部	186 100.0	9 4.8	37 19.9	100 53.8	33 17.7	7 3.8
	西部	156 100.0	8 5.1	26 16.7	94 60.3	23 14.7	5 3.2
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	29 9.2	66 21.0	161 51.3	43 13.7
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	7 2.4	38 13.1	172 59.1	63 21.6	11 3.8
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	6 3.3	28 15.2	120 65.2	30 16.3	0 0.0
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	0 0.0	3 14.3	14 66.7	4 19.0	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	0 0.0	1 12.5	6 75.0	1 12.5	0 0.0
その他		2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	2 4.9	0 0.0	25 61.0	14 34.1
	1年以上～3年未満	89 100.0	0 0.0	9 10.1	55 61.8	24 27.0	1 1.1
	3年以上～10年未満	176 100.0	5 2.8	21 11.9	120 68.2	29 16.5	1 0.6
	10年以上～20年未満	131 100.0	4 3.1	21 16.0	76 58.0	28 21.4	2 1.5
	20年以上	384 100.0	31 8.1	85 22.1	199 51.8	46 12.0	23 6.0

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

表 発生抑制や再使用に関する区の取組の認知度 食べきり協力店

(上段：回答者数、下段：構成比)

		合計	問3 (4) 食べきり協力店				
			知っている-利用したことがある	知っている-利用したことがない	知らなかった-利用してみたい	知らなかった-興味が無い	無回答
全体		823 100.0	13 1.6	122 14.8	494 60.0	168 20.4	26 3.2
年齢	30歳未満	53 100.0	0 0.0	2 3.8	34 64.2	16 30.2	1 1.9
	30歳代	108 100.0	0 0.0	6 5.6	81 75.0	21 19.4	0 0.0
	40歳代	127 100.0	1 0.8	9 7.1	82 64.6	34 26.8	1 0.8
	50歳代	152 100.0	2 1.3	15 9.9	112 73.7	22 14.5	1 0.7
	60歳代	155 100.0	7 4.5	26 16.8	91 58.7	30 19.4	1 0.6
	70歳以上	225 100.0	3 1.3	64 28.4	92 40.9	45 20.0	21 9.3
	世帯人数	1人	266 100.0	3 1.1	35 13.2	168 63.2	54 20.3
2人		272 100.0	6 2.2	40 14.7	169 62.1	49 18.0	8 2.9
3人		147 100.0	2 1.4	24 16.3	82 55.8	33 22.4	6 4.1
4人		85 100.0	0 0.0	13 15.3	49 57.6	22 25.9	1 1.2
5人以上		50 100.0	2 4.0	10 20.0	24 48.0	10 20.0	4 8.0
地域(地区別)		北部	172 100.0	3 1.7	33 19.2	96 55.8	36 20.9
	東部	142 100.0	3 2.1	12 8.5	91 64.1	33 23.2	3 2.1
	中央	160 100.0	4 2.5	23 14.4	97 60.6	30 18.8	6 3.8
	南部	186 100.0	3 1.6	34 18.3	103 55.4	41 22.0	5 2.7
	西部	156 100.0	0 0.0	20 12.8	103 66.0	26 16.7	7 4.5
	住居の種類	一戸建て	314 100.0	9 2.9	59 18.8	172 54.8	58 18.5
居住者がごみ出しする共同住宅		291 100.0	0 0.0	39 13.4	177 60.8	68 23.4	7 2.4
管理人がごみ出しする共同住宅		184 100.0	4 2.2	19 10.3	124 67.4	36 19.6	1 0.5
居住者がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		21 100.0	0 0.0	3 14.3	13 61.9	5 23.8	0 0.0
管理人がごみ出しする店舗・事務所併設の住宅		8 100.0	0 0.0	1 12.5	6 75.0	1 12.5	0 0.0
その他		2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
居住年数		1年未満	41 100.0	0 0.0	0 0.0	28 68.3	13 31.7
	1年以上～3年未満	89 100.0	0 0.0	8 9.0	58 65.2	22 24.7	1 1.1
	3年以上～10年未満	176 100.0	3 1.7	16 9.1	126 71.6	31 17.6	0 0.0
	10年以上～20年未満	131 100.0	0 0.0	22 16.8	74 56.5	34 26.0	1 0.8
	20年以上	384 100.0	10 2.6	76 19.8	207 53.9	68 17.7	23 6.0

※割合は小数点第1位までで表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

2 区民アンケート調査の主な自由意見

① 収集に対する要望

- 紙類を資源に出す方がもっと増えるとごみ量が減ると思う。
- 製品プラスチックを燃やすゴミにしているのは、環境に良くない。製品プラスチックの分別収集を実施して欲しい。
- 千葉県習志野市では有料で家庭ゴミを引き取るサービス（予約制）がある。他自治体の行政サービスを参考にしてほしい。
- リサイクルセンターをもっと増やして、利用しやすくして欲しい。
- 乾電池回収ボックスに、ボタン電池と充電式電池の回収ボックスを併設して欲しい。
- 回収ボックスを住区センターなどに設置してくれたら分別しやすくなり助かる。
- 回収場所が分かりにくい。意識を高めるためにも、大規模スーパーなどにも協力してもらうことが必要ではないか。
- 回収日以外に持ち込めるごみ収集所が近くにあると良い。
- 粗大ごみなどを常時持ち込める場所があると便利。
- 回収しない場合は必ず違反内容（回収しない理由）をシールに丁寧に書いてほしい。
- ごみ収集の時間をもう少し遅く（早く）して欲しい。

② 収集して欲しい品目

- 保冷剤のリサイクルをお願いしたい。
- 園芸用の土を廃棄する手段がほしい（同様意見2件）。
- 古着の回収を再開してほしい。（同様意見5件）
- 子どものいらなくなった物が、まだまだ使えるときがある。粗大ごみで処分するのはもったいない。フリマアプリなどで処分するのは手間なので、区のリサイクルで誰かに使ってもらいたい。
- 布・古着・小型家電のリサイクルについては、どこで回収しているのか分からない。簡単に、いろいろな場所で回収して欲しい。フリマアプリなどは面倒。

③ 戸別収集

- 生活・仕事の多様化により、ごみ出しの時間帯に自宅に居ない方がいる。決まった日時に自分で出せない方々のために戸別収集があっても良い。ご近所付き合いも希薄になっている。
- 戸別収集について議論を進めてほしい。大家族時代とは異なる暮らし方を多くの区民がしている。老人世帯のために目黒区も取り組んでほしい。
- ごみの出し方がいいかげんな方がいるので戸別収集にしてほしい。
- 我が家は、びんやペットボトル回収に場所を提供している。しかし、マナーが悪い方がおり、このまま自宅を提供することに不平等を感じる。当番制にするにもルールが難しいので、戸別回収にして欲しい。

④ 有料化

- もし、ごみ袋が有料（指定袋）になったら、減量を心がけると思う。

- 「ごみ」は生活に伴って出るもの。有料化することで世帯間の負担の差、不法投棄が出ることを危惧している。上下水道・ごみ処理は貧富の差なく誰しものが安心して享受できるものとする。 (ガスや電気の値上げはこたえた)
- ごみ収集を有料化すると、買いたいものを買わなくなり、経済が回らなくなる。ごみを減らす企業努力は必要。

⑤ 普及啓発・情報提供

- 1年に1回、出し方に迷うようなごみの一覧表(問合せの多いもの)を配ってほしい。
- より効率的にリサイクルや環境事業を行う手段を見つけてほしい。そのためには、民間の協力を得て、使い勝手のいいウェブサイトを作る。ユーザーにとって直感的に使いやすいような商業ベースのウェブサイトを作っている会社をリサーチしたほうがよい。
- 意見・要望を気軽に言える双方向のサイトを区のホームページに開設すべき。
- 現在のごみの状況を知りたい。私たちの分別する努力が役立っているのか。どのように処理されて資源となっているのか。製品プラを資源分別にするメリット、デメリット(環境面、経済面ではどうか)。
- 不用品(古着、布、雑貨等)の交換会などの情報の提供。ガスボンベやライターなどの危険物の回収などの情報がほしい。古い土の回収などについても、安心して使える情報がほしい。
- どこで、どんなリサイクル活動をしているか、その回収場所等の情報が少ない。
- 目黒区エコプラザに関する情報の発信をもっとやってほしい。
- 分別やリサイクルのイメージを新たにして、“SDGs”の一環として、若い人と年輩の方がどちらも意識をもってごみ出しできる雰囲気づくりを目指してほしい。
- 汚れたプラごみを分別するべきか、いつも悩む。少し汚れているものはプラなのか。どの程度だとダメなのか。また、ポンプ式の容器のバネはあってもいいのか。ちょっとした疑問をチャットなどで気軽に聞けるシステムがあると良い。
- 回収された資源がその先にどうなるかを広報してほしい。分別した結果、資源化に協力できているのか、知りたい。
- 子供に家のごみ捨てを週一でお願いしている。目黒区でのごみの行方について(どこで燃やしている、給食の残り物をどうしているかなど)学校などで出前授業があるとよい。

⑥ 意識の向上

- 子どもが、小学生のときに、環境学習で「埋立地がいっぱいになったらもう捨てられない」と知り、とても驚いていた。少しでもごみを減らすよう努力していきたい。
- 賃貸に住んでいるが、大きめの戸建てエリアとは、ごみの量が全然ちがうことに驚いた。ごみを減らす意識を高めたい。

⑦ 企業責任

- リサイクルの前に、製品の段階で作らせないことが大事。例えば、紙とアルミを両方使用する菓子容器など。
- 過剰包装が多い。包装がいらぬ人には、シールで対応してほしい。

- 簡易包装の食品をスーパーが提供しないと、消費者は買うことができない。ごみ袋を有料化すればよいかもしれない。
- 分別を個人に任せるのではなく、製品を作る企業や、区のコストで分別を実施して欲しい。それによって税金が上がっても良い。

⑧ 感謝満足

- いつもありがとうございます（同様意見 48 件）。
- 暑い中、寒い中、雨天大変だろうと思って感謝しております（同様意見 9 件）。
- 清掃リサイクルの方はいつもやさしく、時間ぎりぎりに出したときでも親切に持って行ってくれる。分別はちゃんとしている方としていない方の差が激しいと思う。目黒区はきれいな町なので、みんなの意識が大切。

⑨ その他

- 収集をして下さる方々に感謝の気持ちを伝える機会を積極的に増やし、それを区民に発信して欲しい。
- ゴミの削減と資源化、啓蒙活動を 2 3 区の中でも率先して取り組んで頂きたい。
- プラごみのリサイクルについては、全量焼却処分した場合と環境負荷を比較して検討するべき。お役所仕事の無謬性をなくしてほしい。
- 区の財政が安泰ではないので、必要以上に環境に配慮しないでほしい。役所や一部区民の自己満足は不要。福祉など真に必要な部門に税金を配分すべき。
- 重要な課題として取組を期待する。
- 質問が多かった。忙しい方は難しい。手軽な A 4 1 枚ぐらいのアンケートであれば、どの年代も解答してくれるだろう。
- 収集側の働き方改革は必要。
- ごみ収集される前の朝のカラスは大きくてこわい。何か良い対策はないか。
- 美化にも資する統一のゴミ箱を提供して欲しい。
- ゴミ収集車輛の安全運転のために道路を拡幅してほしい。
- 生ゴミを土にかえすことやプラを減らしたり、新たな製品に作りかえたりすることが必要。当たり前のようにプラスチックがあふれている。意識を変えてもらう事が一番大事。
- 他の区では、目黒区でリサイクルしているものを燃やしていると聞いたことがある。自分がやっている分別に意味を感じなくなってしまった。
- もっとリサイクルに力を入れるべき。昔、産廃の関係で夢の島によく行った。本当に夢の島だった。ダンス・イス・テーブル等なんでもあった。キッチンと分別すればゴミは宝。昔は物をとことん使いきった。長もちする良い物を買っていた。すぐ新しいものを買うのは良くない。
- 使いすてカイロは目黒区では不燃だが、可燃の自治体もある。大阪の NPO が使用済カイロで水の浄化をはじめたというニュースを見た。有効に使えたらよい。
- プラスチック（PET 以外）の再利用について、区のレベルを超えて取り組んでほしい。

3 事業所アンケート調査の主な自由意見

① ごみ・資源の収集

- 高額でもいいので、事業所の机、椅子、棚等の家具も有料で区が回収してほしい。パソコンや電化製品を回収・処理する有名な業者は、沢山あるので問題ないが、事業所の家具を処理してもらえる優良な業者が分からず困っている。
- 事業系ごみの委託業者が少なく、探すのが大変。
- 事業所も、古紙等の資源ごみを街角の集積場に出せるようにしてほしい。家庭ごみを有料にしない限り、ごみの減量は見込めない。
- 会社の始業時間が遅いため、びん、カンの集荷に間に合わない場合がある。
- 集荷時間が決められた時間内で助かっている。
- ポストに不要なチラシが多くあり迷惑している。
- 山手通りに面しており、昔は色々なゴミが捨てられ大変汚かったが、最近は見違えるほどきれいなゴミ集積所になった。区の清掃の方の努力だと思う。ありがとうございます。
- 集積所にゴミが多すぎて、人や車の通行の妨げになっている。分別されていないゴミが残されていて汚い。注意喚起をしてほしい。
- 時々回収が漏れており、連絡して回収してもらおう事がある。
- 不燃ゴミが週一回、ものによっては月一回だが、出す日を守らない、あるいは判断を誤る人がいて、ゴミが残ることがある。もう少し収集の頻度が上がると助かる。
- 事業所としては、ごみは特殊なので、指定業者に廃棄委託している。住民としては、資源回収を週2回以上にしてほしい。
- 駅前に目立つリサイクル品置場（外見の美しいもの）を設置して欲しい。
- 不用となった電気製品等の回収を無償で実施してもらいたい。
- 段ボールなどリサイクルできるものは、回収を毎日やってほしい。
- 不要品を引き取り、販売する区施設がほしい。
- ボタン電池を回収する区施設は助かる。

② 事業系ごみ処理手数料

- リサイクルする資源を出すのは無料にしてほしい。特に、ダンボール、ペットボトル及びプラスチック。
- 事業系一般廃棄物ごみ処理券の料金が安い。結構な出費になる。
- 有料ごみ処理券のサイズが10リットルだと大きすぎる。3リットルとか5リットルのシールを作ってくれれば、それを利用する。
- 事業所は有料ごみ処理券が必要という認識がなかった。

③ 普及啓発

- 朝、出ている資源ごみや金属類を持っていくトラックを見かける。違法業者の情報を広報やネットに載せていただくとありがたい。

- びんやプラスチック容器に付いているシールをはがすのに毎日苦労している。どの程度が求められているのか知りたい。自分はきれいにはがれない部分は切り取って可燃ゴミに回している。ビンのラベルも水につけてなるべくきれいに取るが、そのまま出している人も多い。
- 生ごみをビニール袋に入れず、ダンボールに入れて、出す人がいる。注意できず、困っている。
- 近隣の集積所のゴミが分別されていないので、分別の周知徹底を進めて欲しい。
- 集積所の掲示板がボロボロになっている。新品の入手方法を教えてほしい。
- 太陽光パネルの廃棄方法、廃棄総費用について教えてほしい。
- 有害物質《鉛、セレン、カドミウム、ヒ素など》の廃棄方法を教えてほしい。私達の健康への影響についても知りたい。
- ホームページを充実させて、どの種類のごみはどの用に廃棄すべきかを具体的に示して欲しい。特にPC、OA機器関連は廃棄に苦労する。

④ 意識の向上

- 協力できることがあれば協力したい。
- 資源に対してもっと簡単にらせるようになったら、アパートなどの若者住民にも注意が生まれると思う。
- ピアノ教室だが、ゴミは全く出ない。生徒のゴミに対する意識は高く、学校で教育があるのだと思う。楽譜も電子化されつつある。また、紙の楽譜は捨てるという意識はなく、一生持ち続けている。写真と同じ感覚。最近は楽譜もリユースしたりして新しく購入しないこともある。
- ゴミ問題は大きすぎる。新しい材質が次々に出てくる。リサイクルはできることを行うしかない。協力をしたい。

⑤ 企業責任

- 作る側も売る側も考えてほしい。器持参の量り売りなどを国も後押ししてほしい。
- 食品ロス、プラスチックごみ、その他のごみ問題も、消費者、流通業者、廃棄業者など、一人一人の知識のなさ、責任感のなさ、教育のなさが原因ではないか。目黒区がリーダーシップを取ることを期待している。

⑥ その他

- 民間の事業者の活用を検討するべき。
- ごみの処理等に関しては本部の方針で決定されており、事業所の独自の対策を行うことはできない。
- ねずみの駆除をお願いしたい。
- 小学校内での事業を行なっているため、学校の指示に従っている。
- 薬品の空瓶やパッケージ 感染性廃棄物等については、専門の処理業者に委託している。一般ゴミも量は少ない。シールを適正に貼っている。お弁当を持参し、マイ食器を使用。
- 生ごみや食品残渣などをメタンガスに再利用出来ないのか。

区民のみなさまへ

目黒区環境清掃部清掃リサイクル課

目黒区資源とごみに関するアンケート調査について（お願い）

日頃から、目黒区の清掃リサイクル行政にご理解・ご協力いただきありがとうございます。目黒区では、将来に向けたごみの減量や資源化施策を検討するための基礎資料として、区民の皆様のご意見をお伺いし、参考にさせていただきたいと考えております。

つきましては、お忙しいところ、恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、本アンケート調査の結果につきましては、統計的に処理を行います。個別の調査内容について公表することは一切ございませんので、ぜひご協力くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

1 送付書類

- お願い文（この用紙です）
- アンケート調査票
- 返信用封筒

2 回答方法

アンケート調査票に直接記入し、返信用封筒（切手を貼る必要はありません。）に入れてお送りください。

オンラインフォームでの回答も可能です。次のコードまたはURLからアクセスしてください。

オンラインフォームURL：<https://logoform.jp/form/KeTk/ang>

【留意点】

- 調査票や返信用封筒に回答なさる方のご住所、お名前などの記入は不要です。
- オンラインによるご回答には別途通信料がかかりますのでご注意ください。



3 回答期限

8月15日（月曜日）まで

ポストへ投函又はオンラインフォームで回答していただきますようお願いいたします。

4 個人情報の取り扱い等

- この調査票は、区の住民基本台帳から、無作為に2,500世帯を選んでお送りしています。
- 回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票が公表されることはありません。
- 返信用封筒の表に印刷してあるバーコードは返信先郵便局を特定するものであって、個人を特定するためのものではありません。

<お問い合わせ先>

目黒区環境清掃部清掃リサイクル課計画普及係

電話 03-5722-9883

担当 井上（いのうえ）・緒方（おがた）

目黒区資源とごみに関するアンケート調査票

ご記入に際してのお願い

- ご回答は、なるべくご家族の中で普段ごみを主に取り扱っている方がご記入ください。
- 各項目について、思ったことをお気軽にお答えください。
- ご回答は、あてはまる選択肢に○を付けてください。
- その他の（ ）内や自由記入欄には、具体的なお意見をお書きください。

I あなたご自身とご家族について

(1) あなたの年齢をお選びください。(○はひとつ)

- | | | | | | |
|---|-------|---|------|---|-------|
| 1 | 30歳未満 | 2 | 30歳代 | 3 | 40歳代 |
| 4 | 50歳代 | 5 | 60歳代 | 6 | 70歳以上 |

(2) あなたを含めた同居のご家族の人数をお選びください。(○はひとつ)

- | | | | | | |
|---|----|---|------|---|----|
| 1 | 1人 | 2 | 2人 | 3 | 3人 |
| 4 | 4人 | 5 | 5人以上 | | |

(3) お住まいの地域を例にしたがって記入してください。

	町名	丁目	(例)	町名	丁目	
目黒区	<input type="text"/>	<input type="text"/> 丁目	目黒区	上目黒	2	丁目

(4) お住まいの種類 (○はひとつ)

- 1 一戸建て
- 2 各居住者が集積所にごみ出しする共同住宅
- 3 管理人がごみ出しする共同住宅
- 4 各居住者が集積所にごみ出しする店舗・事務所併設の住宅
- 5 管理人がごみ出しをする店舗・事務所併設の住宅
- 6 その他(具体的に)

(5) 区にお住まいの年数 (○はひとつ)

- 1 1年未満
- 2 1年以上～3年未満
- 3 3年以上～10年未満
- 4 10年以上～20年未満
- 5 20年以上

Ⅱ 発生抑制 (Reduce) ・再使用 (Reuse) について

問1 あなたのご家庭で、ごみ減量のために日頃から心がけていることは何ですか？
(設問ごとに○はひとつ)

	常に行う	ある程度行う	あまり行わない	全く行わない
(1) 買い物袋 (マイバッグ) を持参し、レジ袋はできるだけ買わない				
(2) ばら売り・量り売りの商品をなるべく選ぶ				
(3) シャンプー・洗剤等は詰め替えのできる商品を選ぶ				
(4) 食材を買いすぎない				
(5) 家で調理した料理や、外食時に注文した料理を残さず食べる				
(6) 長く、繰り返し使えるものを買う				
(7) 故障してもすぐには捨てずに、修理して使う				
(8) リサイクルショップやフリーマーケットを利用する				
(9) 再生紙などリサイクルされた原料や部品を使用した商品を優先して買う				
(10) 使い捨て商品を買わない (紙コップ・割りばしなど)				
(11) 必要のない使い捨てのスプーンやフォークをもらわない				
(12) 外出時にマイボトルを持参する				
(13) ペットボトルに入ったものを買わない				
(14) フリマアプリを利用する (『メルカリ』・『ラクマ』など)				
(15) 洋服販売店に設置されている古着回収ボックスを利用する				
(16) スーパーなどに設置されている食品トレイ回収ボックスを利用する				
(17) 買い物するとき、賞味期限の近い手前の商品から選ぶ (『手前取り』)				

問2 あなたは、発生抑制や再使用について次のような取組を知っていますか？また、利用したことがありますか？ (設問ごとに○はひとつ)

	知っている		知らなかった	
	利用したことがある	利用したことがない	利用してみたい	興味が無い
(1) 日用消耗品や食品に繰り返し使えるリユース容器を利用した『Loop (ループ)』など				
(2) 家庭で余っている食品を集めて必要な人に寄付する「フードドライブ」				
(3) 社会貢献型ショッピングサイト『クラダシ』『ジュニジュニ』など				
(4) 「食品ロス」を減らすフードシェアリングサービス『TABETE』など				

問3 あなたは、発生抑制や再使用に関する区の実施を知っていますか？また、利用したことがありますか？（設問ごとに○はひとつ）

	知っている		知らなかった	
	利用したことがある	利用したことがない	利用してみたい	興味が無い
<p>(1) 『エコテイクアウト』 プラスチック製以外の環境に配慮した素材の容器包装（エコ容器包装）を導入する事業者を支援する事業です。 ※『エコテイクアウト』事業参加店がエコ容器包装で提供するテイクアウト料理の利用の有無について、ご回答ください。</p>				
<p>(2) 『マイ容器利用キャンペーン』 テイクアウト料理購入時にマイ容器を持参又はリユース容器を利用することで割引になるキャンペーンのことです。</p>				
<p>(3) 『めぐろ買い物ルール』参加店 『めぐろ買い物ルール』は賢い買い物を区内に広めるルールです。リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、食品ロス削減につながる5つのルールがあり、いずれかの取組を行っているお店は『めぐろ買い物ルール』参加店として登録されています。 【めぐろ買い物ルール】 ルール1 ノーレジ袋のすすめ ルール2 バラ売りを選ぼう！ ルール3 詰め替え商品を選ぼう！ ルール4 残さず食べる工夫をしよう！ ルール5 「長く」「繰り返し」使おう！</p>				
<p>(4) 『食べきり協力店』 『めぐろ買い物ルール』の5つのルールのうち、ルール2「バラ売りを選ぼう！」ルール4「残さず食べる工夫をしよう！」のどちらか、あるいは両方に取り組むお店は『めぐろ買い物ルール』参加店と同時に「食べきり協力店」としても登録されています。</p>				

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物で、日本では年間約522万トン、1日1人あたりお茶碗1杯分の量を捨てていることとなります。

問4 食品ロスについておたずねします。

(1) 普段の生活で食品ロスを意識していますか？（○はひとつ）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 とても意識している | 2 少し意識している |
| 3 あまり意識していない | 4 まったく意識していない |
| 5 どちらともいえない | |

消費期限：記載の年月日まで「安全に食べられる期限」のこと
賞味期限：記載の年月日まで「品質が変わらずにおいしく食べられる期限」のこと

(2) あなたは「消費期限」と「賞味期限」の違いを理解していますか？（○はひとつ）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 どちらも理解している | 2 消費期限は理解している |
| 3 賞味期限は理解している | 4 どちらもわからない |

(3) 「賞味期限」の過ぎた食品をどのように扱いますか？ (○はひとつ)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1 1週間以内であれば使う | 2 1か月以内であれば使う |
| 3 3か月以内であれば使う | 4 色や見た目、において判断する |
| 5 捨てる | |
| 6 その他 (具体的に |) |

(4) 食品ロスを出さないために、普段、あなたが行っていることはありますか？ (○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 食品は必要な分だけ買う | 2 賞味期限、消費期限の近い食品を早めに使う |
| 3 料理を作りすぎない | 4 食材を無駄なく使う |
| 5 飲食店では食べきれぬ量を注文する | 6 見切り品を積極的に購入する |
| 7 フードドライブを利用する | 8 特に何もしていない |
| 9 その他 (具体的に |) |

(5) あなたはこの1か月間で、食品 (食材) を捨てたことはありますか？ (○はひとつ)

- 1 よくあった 2 たまにあった 3 あまりなかった 4 まったくなかった

(6) (5) で捨てたことのある食品 (食材) は何ですか？ (○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 野菜・果物、肉、魚などの生鮮品 | 2 ご飯、パン、麺類などの主食 |
| 3 缶詰、レトルト食品などの保存食品 | 4 お菓子などの嗜好品 |
| 5 買って来た弁当、惣菜 | 6 自分または家族が調理したおかず |
| 7 自宅での食べ残し | 8 外食での食べ残し |
| 9 特にない | |
| 10 その他 (具体的に |) |

問5 令和2年7月1日からレジ袋が有料になりました。以前と比べて、レジ袋をもらったり買ったりする枚数は減りましたか？ (○はひとつ)

- | | | |
|-------------------------------------|-------------|------------|
| 1 減っていない | 2 20%くらい減った | 3 半分くらい減った |
| 4 80%くらい減った | 5 100%減った | |
| 6 有料化になる以前からレジ袋はもらったり買ったりしないようにしている | | |

問6 台所で発生した生ごみはどのように処理していますか？ (○はいくつでも)

- 1 三角コーナーや流しのフィルターにプラスチック網をセットするなどして、自然に水を切ってからごみに出している
- 2 生ごみを出すときは、しばってから出している
- 3 生ごみはできるだけ水にぬらさないようにしている
- 4 生ごみを新聞などに包んで水分がもれないようにして捨てている
- 5 家庭用コンポスト機でたい肥にしている
- 6 家庭用生ごみ処理機 (乾燥式) で処理している
- 7 自宅の庭に埋めている
- 8 ディスポーザーで処理している
- 9 特に何もしていない
- 10 その他 (具体的に

Ⅲ ごみの分別や再生利用（Recycle）について

問7 あなたのご家庭では、下記の品目をどのように出していますか？ごみや資源の品目ごとに、最も多い処分方法をひとつずつお選びください。（品目ごとに○はひとつ）

処分方法 品目	①燃やすごみ	②燃やさないごみ	③資源の集積所回収	④町会・自治会の集団回収（注1）	⑤区施設の拠点回収	⑥販売店の回収・販売店への返却	⑦自動販売機の回収ボックス	⑧新聞販売店の回収	⑨ごみや資源として出ない	⑩庭に埋めるなど自家処理	⑪その他（具体的に）
新聞・折込広告	1	2		4				8	9		
雑誌・本	1	2		4					9		
段ボール	1	2		4					9		
紙パック	1	2		4	5	6			9		
雑紙（箱、包装紙、コピー紙など）	1	2		4					9		
古着・古布	1	2		4	5	6			9		
生きびん（注2）	1	2	3			6	7		9		
雑びん（生きびん以外のびん）	1	2	3			6	7		9		
アルミ缶	1	2	3			6	7		9		
スチール缶	1	2	3			6	7		9		
ペットボトル	1	2	3			6	7		9		
ペットボトルキャップ	1	2	3		5	6	7		9		
白色のトレイ	1	2	3			6			9		
色柄のついたトレイ	1	2	3			6			9		
製品プラスチック（注3）	1	2	3						9		
生ごみ	1	2							9	10	
廃食油	1	2			5				9		
木・草類	1	2							9	10	
乾電池	1	2			5	6			9		
ボタン電池	1	2				6			9		
充電式の電池	1	2				6			9		

（注1） 集団回収とは、町会や自治会・マンションの管理組合・子ども会・PTAなどが、日時・場所・品目・回収業者を決め、資源を資源回収業者に引き取ってもらう、自主的なりサイクル活動です。

（注2） 生きびんとは、一升びん、ビールびんなど、洗って繰り返し使えるびんのことです。

（注3） 製品プラスチックとは、現在、資源の日を集めているプラスチック製容器包装以外のプラスチック製品です。（洗面器やプラスチック製のおもちゃ、プラスチック製のハンガーなど）

プラスチックには、「容器包装プラスチック」と「製品プラスチック」があります。

◎「容器包装プラスチック」

商品を入れたり包んだりするもので、中身を出したり、使った後は不要になるプラスチックのことです。右のような識別マークがついています。菓子の袋、弁当の容器、飲み物のカップ、シャンプーのボトル、食品のトレイ、レジ袋などです。



◎「製品プラスチック」

プラスチックそのものが商品となるものです。ポリバケツ、洗面器、歯ブラシ、おもちゃ、文具などです。

問 8 区では平成20年度から容器包装プラスチックの資源回収を行っています。今後、容器包装プラスチックと同様に、製品プラスチックの分別収集を実施することについて検討する予定です。プラスチックの分別収集についておたずねします。

(1) 現在、容器包装プラスチックの分別はどのように行っていますか？ (○はひとつ)

- 1 『資源とごみの分け方・出し方』などで確認して、細かく分別している
- 2 代表的な(分別しやすい)ものを分別している
- 3 分別方法がわからないので、燃やすごみに出している
- 4 分別方法がわからないので、燃やさないごみに出している
- 5 分別を意識したことはない
- 6 その他(具体的に)

(2) 製品プラスチックの分別収集について、どのようにお考えですか？ (○はひとつ)

- 1 実施すべきである
- 2 実施すべきではない
- 3 分別収集に必要な費用(税金)と、得られる効果のバランスで決めるべきである
- 4 どちらともいえない・わからない
- 5 その他(具体的に)

(3) 製品プラスチックを分別収集する場合、どのような排出方法がよいとお考えですか？ (○はひとつ)

- 1 容器包装プラスチックと同じ袋で排出
- 2 容器包装プラスチックとは別の回収日に排出
- 3 どちらともいえない・わからない
- 4 その他(具体的に)

問 9 区が行っている資源の拠点回収を知っていますか？ (設問ごとに○はひとつ)

(1) 使用済小型家電回収ボックス

- 1 利用したことがある 2 知っているが利用したことはない 3 知らない

(2) 乾電池回収ボックス

- 1 利用したことがある 2 知っているが利用したことはない 3 知らない

IV 区の情報発信について

問10 区では、ごみや資源の出し方などについて、様々な方法で情報提供を行っています。

(1) ごみや資源の出し方、リサイクルなどについて区からの情報をご覧になった又はご利用になったことがあるものをお選びください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|----------------------|
| 1 めぐる区報 | 2 町会回覧・掲示板ポスター |
| 3 目黒区ホームページ | 4 目黒区AIチャットボット『めぐぴー』 |
| 5 Twitter公式アカウント | 6 LINE公式アカウント |
| 7 『資源とごみの分け方・出し方』など目黒区発行のパンフレット・チラシ | |
| 8 利用したことがない、見たことがない | |
| 9 その他(具体的に) | |

(2) 上記の方法で、必要な情報が十分に伝えられていると思いますか？(〇はひとつ)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 十分である | 2 どちらかといえば十分である |
| 3 どちらかといえば不十分である | 4 不十分である |
| 5 あまり利用していないのでわからない | |
| 6 その他(具体的に) | |

(3) あなたが期待する情報提供手段があればご記入ください。

V 収集回数について

問11 現在のごみや資源の収集回数についてどのように感じていますか？ごみや資源の分別区分ごとに、ひとつずつお選びください。(設問ごとに〇はひとつ)

	現在の回数	多すぎる	適当	少なすぎる
(1) 燃やすごみ	週2回			
(2) 燃やさないごみ	月2回			
(3) プラスチック製の容器や包装	週1回			
(4) ペットボトル	週1回			
(5) びん	週1回			
(6) 缶(アルミ缶・スチール缶)	週1回			
(7) 古紙	週1回			

VI ごみ集積所について

問12 あなたが使用している集積所で、お困りのことはありますか？(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 時間を守らない人がいる | 2 分別のルールを守らない人がいる |
| 3 決められた住民以外の方がごみを捨てていく | 4 カラスや猫による被害がある |
| 5 事業系ごみの排出マナーが悪い | 6 集積所から資源を持ち去る人がいる |
| 7 特に問題がない | 8 ごみ集積所は使用していない |
| 9 その他(具体的に) | |

問13 戸別収集について、どのようにお考えですか？（○はひとつ）

- 1 有料化してでも実施すべきである
- 2 有料化するなら実施すべきではない
- 3 どちらともいえない・わからない
- 4 その他
(具体的に

「戸別収集」とは、ごみを集積所へ出すのではなく、各家庭の玄関先や、集合住宅の前等、建物ごとに出していただき、清掃職員が一軒ずつ収集していく方法です。

)

VII 今後の区の取組について

問14 ごみ収集等に関する事で、区に最も力を入れてほしいことは何ですか？（○はひとつ）

- 1 正しい分別やごみ排出ルールを守らない人や事業所への指導
- 2 不法投棄防止のための指導や資源物の持ち去りを防止するためのパトロール
- 3 分別されていないごみの取り残し（ごみ袋への違反内容シールの貼付）
- 4 高齢者などごみを出すことが困難な世帯のごみの運び出し
- 5 災害時に発生するごみの排出に関する日常的な啓発・指導
- 6 ごみ集積所の環境美化に向けたカラスなどの害獣対策や区民の意識啓発
- 7 その他（具体的に

)

問15 リサイクルの手法等で、区に最も力を入れてほしいことは何ですか？（○はひとつ）

- 1 布・古着のリサイクルの充実（現状の回収方法に新たな手法を追加する）
- 2 使用済紙おむつのリサイクル（使用済紙おむつからパルプ等を再生する）
- 3 不燃ごみのリサイクル（不燃ごみから金属以外のガラス、陶器なども選別する）
- 4 『クラダシ』・『ジモティー』など民間会社との連携
- 5 給食残渣や生ごみのリサイクル（バイオマス発電、たい肥化など）
- 6 その他（具体的に

)

問16 ごみ減量の意識啓発等で、区に最も力を入れてほしいことは何ですか？（○はひとつ）

- 1 ごみ減量の取組事例等、情報提供の充実
- 2 環境を重視した生活スタイルに向けた区民の意識啓発
- 3 ごみ減量・リサイクルに関する事業者への働きかけ（過剰包装をやめるなど）
- 4 子ども向けの環境学習
- 5 その他（具体的に

)

目黒区の清掃リサイクル事業へのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、この調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、8月15日（月曜日）までにポストへ投函くださいますようお願いいたします。

事業者のみなさまへ

目黒区環境清掃部清掃リサイクル課

目黒区資源とごみに関する事業所アンケート調査について（お願い）

日頃から、目黒区の清掃リサイクル行政にご理解・ご協力いただきありがとうございます。目黒区では、将来に向けたごみの減量や資源化施策を検討するための基礎資料として、区内事業所の皆様のご意見をお伺いし、参考にさせていただきたいと考えております。

つきましては、お忙しいところ、恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、本アンケート調査の結果につきましては、統計的に処理を行います。個別の調査内容について公表することは一切ございませんので、ぜひご協力くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

1 送付書類

- お願い文（この用紙です）
- アンケート調査票
- 返信用封筒

2 回答方法

アンケート調査票に直接記入し、返信用封筒（切手を貼る必要はありません。）に入れてお送りください。

オンラインフォームでの回答も可能です。次のコードまたはURLからアクセスしてください。

オンラインフォームURL：<https://logoform.jp/form/KeTk/jigyou>

【留意点】

- 調査票や返信用封筒に貴所の所在地や事業所名などを記入する必要はありません。
- オンラインによるご回答には別途通信料がかかりますのでご注意ください。
また、臨時のシステムメンテナンス等でアクセスできないことがあります。



3 回答期限

8月31日（水曜日）まで

ポストに投函又はオンラインフォームでの回答をお願いいたします。

4 個人情報の取り扱い等

- この調査票は、区内の従業員30人未満の事業所から、無作為に2,500事業所を選んでお送りしています。
- 回答は、すべて統計的に処理し、個々の調査票が公表されることはありません。
- 返信用封筒の表に印刷してあるバーコードは返信先郵便局を特定するものであって、個人を特定するためのものではありません。

<お問い合わせ先>

目黒区環境清掃部清掃リサイクル課計画普及係

電話 03-5722-9883

担当 井上（いのうえ）・緒方（おがた）

目黒区資源とごみに関する事業所アンケート調査票

- 1 事業活動で発生するごみと資源（紙くずや生ごみなどのごみ、古紙やびん・缶類などの資源）についてお答えください。建設業で発生する建設廃材、製造業の製造ラインから出る廃棄物などは除きます。
- 2 アンケートは、このアンケート調査票が届いた事業所単位（たとえば、〇〇会社△△支店なら△△支店の状況）でお答えください。
- 3 このアンケートのご回答は、貴事業所のごみの管理を担当されている方にお願いいたします。
- 4 ご回答は、あてはまる選択肢に○を付けてください。また、その他の（ ）内には、具体的にお書きください。

I ごみ・資源の発生・処理状況について

廃棄物の処理及び清掃に関する法律では、「事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない(第3条)」と定めています。

一般的な処理方法は廃棄物処理業者への委託ですが、目黒区では、資源とごみの量が合わせて1日50kg未滿の事業所については、事業系有料ごみ処理券を貼付して、区の収集を利用することも可能となっています。

問1 貴事業所では、主にごみをどのように処理していますか。（○はひとつ）

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1 廃棄物処理業者に委託している | →問2へお進みください |
| 2 区のごみ集積所に出している | →問3へお進みください |
| 3 自社で清掃工場に持ち込んでいる | →問4へお進みください |
| 4 ビルの管理会社が行っている | →問4へお進みください |

※問2は、問1で「1 廃棄物処理業者に委託している」を選んだ方がご回答ください。

問2 一般廃棄物処理業者に処理を委託している事業所におたずねします。

(1) 一般廃棄物処理業者に委託している理由をお答えください。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 値段が安いから | 2 収集日が多いから |
| 3 信頼できる業者だから | 4 商店街などで共同委託しているから |
| 5 希望する時間に収集してくれるから | 6 ごみ集積所まで運ぶ必要がないから |
| 7 本社や本部の指示だから | 8 ごみの量が1日50kgを超えているから |
| 9 その他（具体的に | ） |

→問4へお進みください

※問3は、問1で「2 区のごみ集積所に出している」を選んだ方がご回答ください。

問3 区の収集を利用されている事業所におたずねします。

(1) 区が収集するごみの集積所にごみや資源を出す場合、事業系有料ごみ処理券を貼付していますか。(ごみ・資源ごとに○をひとつ付けてください)

<ごみ>

- 1 貼付している
- 2 貼付していない

<資源>

- 1 貼付している
- 2 貼付していない

(2) 一般廃棄物処理業者に、ごみ処理を委託していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 ごみの量が少ないから | 2 値段が高い(高そうだ)から |
| 3 どこに連絡してよいかわからないから | 4 優良な業者がわからないから |
| 5 契約などの手続きが難しそうだから | 6 自分で清掃工場に運んでいるから |
| 7 親会社や関連会社が処理しているから | |
| 8 その他(具体的に |) |

(3) 今後、一般廃棄物処理業者にごみ処理を委託するお考えはありますか。(○はひとつ)

- 1 条件次第では委託したい → (4)へお進みください
- 2 委託するつもりはない → 問4へお進みください

※(4)は、(3)で「1 条件次第では委託したい」を選んだ方がご回答ください。

(4) どのような条件なら一般廃棄物処理業者に委託したいですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------|---------------|-----------------------|
| 1 値段が安い | 2 毎日収集する | 3 排出する時間に合わせて収集する |
| 4 早朝収集をする | 5 夜間収集をする | 6 事務所や店の前や中まで取りに来てくれる |
| 7 信頼できる業者 | 8 契約などの手続きが簡単 | |
| 9 その他(具体的に | |) |

問4 現在の1か月あたりのごみ処理費用をお答えください。(○はひとつ)

- | | | |
|---------------------|--------------------|---------------------|
| 1 500円未満 | 2 500円以上～1000円未満 | 3 1000円以上～2000円未満 |
| 4 2000円以上～5000円未満 | 5 5000円以上～10000円未満 | 6 10000円以上～20000円未満 |
| 7 20000円以上～50000円未満 | 8 50000円以上～ | 9 わからない |

問5 貴事業所では、ごみ管理担当者やリサイクル担当者を決めていますか。(○はひとつ)

- 1 決めている
- 2 決めていない
- 3 その他(具体的に
-)

Ⅱ 関心・取り組み状況について

問6 貴事業所が取り組んでいるごみ減量・リサイクル活動についておうかがいします。

(1) 貴事業所では、現在どのような取組を行っていますか。(○はいくつでも)

- 1 職場に資源(紙、びん、缶、ペットボトルなど)の分別回収ボックスを設置している
- 2 ごみ減量やリサイクルの推進について、従業員教育に努めている
- 3 事務用品などにリサイクル品を使用している
- 4 ごみ・資源の発生量を把握し、コスト意識の定着を図っている
- 5 割りばし、紙コップなど使い捨て食器等を使用していない
- 6 お代わりができるようにするなど食べ残しが少なくなる工夫をしている
- 7 店等で容器包装などを回収している
- 8 過剰包装をしないようにしている
- 9 商店街、同業者等と連携して特定の品目についてリサイクルしている
- 10 ごみの発生抑制・資源化について、具体的な目標を掲げている
(具体的な目標の例)
- 11 ISO14001などを取得し、ごみの減量・環境負荷の低減に努めている
- 12 特に何もしていない
- 13 その他(具体的に)

(2) 貴事業所のごみ減量・リサイクル活動推進にあたり課題は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 手間がかかりすぎる
- 2 経費をかけることが難しい
- 3 保管するスペースがない
- 4 衛生上問題がある
- 5 機密文書が多く、リサイクルが難しい
- 6 社員に分別の徹底を指導するのが難しい
- 7 資源化できるものは出ない、または発生量が少ない
- 8 適当な資源回収業者が見当たらない
- 9 どのように減量・リサイクルすればよいかわからない
- 10 課題は特にない
- 11 その他(具体的に)

問7 食品ロス問題についておたずねします。

食品ロス問題は、世界的にも大きな課題となっています。日本では年間約522万トンの食品ロスが生じており、そのうちの約半数である275万トンが事業系食品ロスであると推計されています。

(1) 食品ロス問題に関心がありますか。(○はひとつ)

- 1 非常に関心がある
- 2 ある程度関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 まったく関心がない
- 5 わからない

(2) 貴事業所では、1週間に「食品ロス」はおおよそどのくらい出ますか。(○はひとつ)

- | | | |
|---------------------|-------------------|-------------------|
| 1 まったく出ない | 2 100g 未満 | 3 100g 以上～200g 未満 |
| 4 200g 以上～500g 未満 | 5 500g 以上～1 kg 未満 | 6 1 kg 以上～2 kg 未満 |
| 7 2 kg 以上～5 kg 未満 | 8 5 kg 以上～10kg 未満 | |
| 9 10kg 以上 (おおよそ kg) | | |

※(3) (4) は、飲食業の方にご回答をお願いします。

(3) 「食品ロス」についてどのような取組を実施していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1 食材を買いすぎない | 2 食材の在庫をこまめにチェックする |
| 3 作りすぎない | 4 ごはんの量を調整して提供する |
| 5 小盛りメニューを提供している | 6 宴会時の食べきり(3010運動)を推奨している |
| 7 食べ残した料理の持ち帰りに対応している | 8 区の『食べきり協力店』に参加している |
| 9 食材・食品を寄付する(フードバンクなど) | |
| 10 フードシェアリングサービスを使っている | 11 特に取り組んでいるものはない |
| 12 その他(具体的に) | |

(4) 現在取り組んでいないことで、今後取り組めそうなことは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1 食材を買いすぎない | 2 食材の在庫をこまめにチェックする |
| 3 作りすぎない | 4 ごはんの量を調整して提供する |
| 5 小盛りメニューを提供する | 6 宴会時の食べきり(3010運動)を推奨する |
| 7 食べ残した料理の持ち帰りに対応する | 8 区の『食べきり協力店』に参加する |
| 9 食材・食品を寄付する(フードバンクなど) | |
| 10 フードシェアリングサービスを使う | 11 取り組むものはない |
| 12 その他(具体的に) | |

フードバンクとは、食品を取り扱う企業等から、まだ安全に食べられるのに廃棄されてしまう食品や製造工程で発生する規格外品等の食品を引き取り、福祉施設等へ無料で提供する団体や活動のことです。

フードシェアリングサービスとは、売り切れずに食品ロスになりそうな食べ物を消費者のニーズとマッチングさせることで食品ロスの発生や、無駄を減らす仕組みです。

※(5) (6) は、飲食業以外の方にご回答をお願いします。

(5) 「食品ロス」についてどのような取組を実施していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|--|
| 1 余計な食品や飲物は買わない | |
| 2 備蓄品の在庫・賞味期限をこまめにチェックする | |
| 3 食品を寄付している(フードバンクなど) | |
| 4 フードシェアリングサービスを使っている | |
| 5 特に取り組んでいるものはない | |
| 6 その他(具体的に) | |

(6) 現在取り組んでいないことで、今後取り組みそうなことは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 余計な食品や飲物は買わない
- 2 備蓄品の在庫・賞味期限をこまめにチェックする
- 3 食品を寄付する(フードバンクなど)
- 4 フードシェアリングサービスを使う
- 5 取り組むものはない
- 6 その他(具体的に)

問8 プラスチック問題についておたずねします。

プラスチックごみ問題は、世界的にも大きな課題となっています。

2022年4月にプラスチック資源循環促進法が施行されました。

プラスチックの資源循環に向けては「プラスチック使用製品設計指針と認定制度」や「特定プラスチック使用製品の使用の合理化」、「製造・販売事業者等による自主回収・再資源化」、「排出事業者による排出の抑制・再資源化等」に取り組むことが重要です。

(1) プラスチックごみ問題に関心がありますか。(〇はひとつ)

- 1 非常に関心がある
- 2 ある程度関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 まったく関心がない
- 5 わからない

(2) 貴事業所では、プラスチックごみの減量・リサイクルに取り組んでいますか。

(〇はいくつでも)

- 1 使い捨てのプラスチック製品を使用しないようにしている
- 2 プラスチックの代替品がある場合にはそちらを選んでいる
- 3 詰め替え可能な製品を使用している
- 4 従業員にプラスチックごみを減らすよう教育している
- 5 従業員にマイバッグやマイボトルの使用をすすめている
- 6 ペットボトルの使用を控えている
- 7 ペットボトルを分別している
- 8 ペットボトル以外のプラスチック容器を分別している
- 9 特に取り組んでいない
- 10 その他(具体的に)

(3) 現在取り組んでいないことで、今後取り組みそうなことは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 使い捨てのプラスチック製品を使用しない
- 2 プラスチックの代替品がある場合にはそちらを選ぶ
- 3 詰め替え可能な製品を使用する
- 4 従業員にプラスチックごみを減らすよう教育する
- 5 従業員にマイバッグやマイボトルの使用をすすめる
- 6 ペットボトルの使用を控える
- 7 ペットボトルを分別する
- 8 ペットボトル以外のプラスチック容器を分別する
- 9 取り組むものはない
- 10 その他(具体的に)

問9 ごみと資源物の処理方法についておたずねします。品目ごとに該当するものに○を付けてください。処理方法が2つ以上ある場合は、主な処理方法をお答えください。処理方法がよくわからない場合には、「わからない」の欄に○を付けてください。※建設業で発生する建設廃材、製造業の製造ラインから出る廃棄物は除きます。

品目	1 この品目は出ない	ごみとして処理					リサイクル				11 わからない
		2 区のごみ収集に出す	3 自社で処理施設に持ち込んでいる	4 廃棄物処理業者がごみとして処理	5 分別している	6 ビル管理会社がごみとして処理している	7 区のリサイクル分別収集に出す	8 廃棄物処理業者や資源回収業者がリサイクルしている	9 分別している	10 ビル管理会社が資源としてリサイクルしている	
(1) コピー・OA用紙											
(2) 雑誌・パンフレット											
(3) 新聞紙・折込チラシ											
(4) 段ボール											
(5) その他リサイクルが可能な紙類											
(6) 飲料用びん類											
(7) 飲料用缶類											
(8) ペットボトル											
(9) 生ごみ(茶殻、残飯など)											
(10) 紙くず・木草などの可燃物											
(11) プラスチック(弁当ガラ)											
(12) プラスチック(弁当ガラ以外)											

問 10 おおよそで結構ですので、貴事業所での 1 週間の発生量 についてお答えください。品目ごとに発生量の該当するものに○を付けてください。1 週間の発生量が 100kg 以上の場合には、具体的な量を kg 単位でご記入ください。発生量がよくわからない場合には、「わからない」の欄に○を付けてください。※建設業で発生する建設廃材、製造業の製造ラインから出る廃棄物は除きます。

<発生量の目安>

- ・生ごみをポリ容器（45L 容器）に入れたときの重量は、約20kg 程度です。袋の場合は45L 袋で、約12kg 程度です。
- ・OA用紙は、A4サイズのもので1,000枚（束ねると高さ約10cm）で約4kg です。
- ・ペットボトルは1本あたり500ml が約25g、2L が約60g です。
- ・びんは、1本あたり一升びんが約1kg、ビール大びんが約600g です。
- ・缶は、1本あたりアルミ缶が約15g、スチール缶が約30g です。

品目	1週間の発生量								わからない
	100g未満	100g以上 300g未満	300g以上 1kg未満	1kg以上 3kg未満	3kg以上 10kg未満	10kg以上 30kg未満	30kg以上 100kg未満	100kg以上 (具体的な量をご記入ください。)	
(1) コピー・OA用紙									
(2) 雑誌・パンフレット									
(3) 新聞紙・折込チラシ									
(4) 段ボール									
(5) その他リサイクルが可能な紙類									
(6) 飲料用びん類									
(7) 飲料用缶類									
(8) ペットボトル									
(9) 生ごみ(茶殻、残飯など)									
(10) 紙くず・木草などの可燃物									
(11) プラスチック(弁当ガラ)									
(12) プラスチック(弁当ガラ以外)									

Ⅲ 貴事業所の概要について

(1) 業種について、該当するものに○を付けてください。なお、業種が2つ以上該当する場合には代表的な業種をお答えください。(○はひとつ)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1 建設業 | 2 製造業 | 3 運輸・通信業 |
| 4 食品卸売業 | 5 その他の卸売業 | 6 コンビニエンスストア |
| 7 スーパー・生協・百貨店 | 8 食品小売店 | 9 酒類小売店 |
| 10 家電小売店 | 11 その他小売店 | 12 ファミリーレストラン |
| 13 ファストフード店 | 14 その他の飲食・宿泊業 | 15 金融・保険・不動産 |
| 16 教育機関・学習支援業 | 17 病院、診療所 | 18 その他サービス業 |
| 19 その他(具体的に | |) |

(2) 貴事業所の入っている建物形態は、次の中でどれにあてはまりますか。最も近いものを選択してください。(○はひとつ)

- | | | |
|--------------|--------------|-------------------|
| 1 単独事業所 | 2 事業所ビルに入居 | 3 集合住宅に事業所利用として入居 |
| 4 戸建住宅で住居と兼用 | 5 集合住宅で住居と兼用 | |
| 6 その他(具体的に | |) |

(3) 貴事業所の従業員数(社長、店主、パート、アルバイトを含む。)は何人ですか。

-----人

(4) 貴事業所の延床面積について、㎡または坪でお答えください。よくわからない場合は、おおよそで結構です。(住居と一体の場合は事業所占有面積)(○はひとつ)

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1 30㎡(9坪)未満 | 2 30㎡(9坪)以上~50㎡(15坪)未満 |
| 3 50㎡(15坪)以上~100㎡(30坪)未満 | 4 100㎡(30坪)以上~300㎡(90坪)未満 |
| 5 300㎡(90坪)以上 | |

(5) 貴事業所の所在地域を例にしたがってご記入ください。

	町名	丁目	(例)	町名	丁目
目黒区	-----	-----丁目	目黒区	上目黒	3丁目

<区の清掃・リサイクル事業について、ご意見・ご要望をご自由にお書きください。>

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、この調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

8月31日(水曜日)までにポストへ投函くださいますようお願いいたします。

目黒区一般廃棄物処理基本計画改定に向けた
基礎調査報告書

令和5年1月発行

主要印刷物番号
4-42 号

発行 目黒区

編集 目黒区環境清掃部清掃リサイクル課
〒153-8573 東京都目黒区上目黒二丁目19番15号
TEL : 03-5722-9883 (直通)
調査委託先 株式会社 杉山・栗原環境事務所
〒107-0062 東京都港区南青山2-2-15-942
TEL : 03-6324-0566